

平成３０年度
高山市まちづくりアンケート調査
—報告書—

平成３０年１２月
高山市

目次

第1章 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の期間	1
3	調査の項目	1
4	調査の方法	1
5	回収結果	1
6	標本の構成	2
7	その他	2

第2章 調査結果の分析

1 高山市への想いや生活環境について

1	高山市への「誇り」や「愛着」	3
2	高山市への定住意向	7
3	高山市の暮らしやすさ	15
4	日常生活での不安	21
5	働く場としての高山市の魅力	27

2 高山市の市政運営について

1	市政運営への関心	33
2	今後の重要課題	36
3	高山市の取り組みに対する満足度	43

3 協働のまちづくりについて

1	まちづくり協議会の認知度	46
2	町内会への加入状況	49
3	まちづくり活動に参加しやすくするための条件	57
4	重点的に協働で取り組むべき分野	63
5	協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの	66

4 高山駅西側のまちづくりについて

1	駅西地区に訪れる頻度	69
2	駅西地区に訪れる目的	70
3	駅西地区の将来的なイメージ	71
4	駅西地区に期待する機能（施設）	72

5 将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など（自由記述）

1	未来の高山市の望ましい姿	73
2	未来の高山市のための自分や地域の取り組み	105
3	その他自由記述	114

第1章 調査の概要

1 調査の目的

高山市第八次総合計画期間における市民意識の経年比較、評価検証等

2 調査の期間

平成30年5月18日～6月8日

3 調査の項目

○高山市への想いや生活環境について

- ・高山市への「誇り」や「愛着」
- ・高山市への定住意向
- ・高山市の暮らしやすさ
- ・日常生活での不安
- ・働く場としての高山市の魅力

○高山市の市政運営について

- ・市政運営への関心
- ・今後の重要課題
- ・高山市の取り組みに対する満足度

○協働のまちづくりについて

- ・まちづくり協議会の認知度
- ・町内会への加入状況
- ・まちづくり活動に参加しやすくするための条件
- ・重点的に協働で取り組むべき分野
- ・協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの

○高山駅西側のまちづくりについて

- ・駅西地区に訪れる頻度
- ・駅西地区に訪れる目的
- ・駅西地区の将来的なイメージ
- ・駅西地区に期待する機能（施設）

○将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など（自由記述）

- ・未来の高山市の望ましい姿
- ・未来の高山市のための自分や地域の取り組み
- ・その他自由記述

4 調査の方法

調査地域 高山市内全地域

実施方法 郵送による配布・回収、無記名式

調査対象 18歳以上の市民、3,000人

抽出方法 平成30年5月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

5 回収結果

発送数 3,000人

回収数 1,453人

回収率 48.4%

6 標本の構成

		件数 (件)	構成比 (%)
性別	男性	612	42.1
	女性	773	53.2
	無回答	68	4.7
年齢	10・20代	93	6.4
	30代	130	8.9
	40代	205	14.1
	50代	222	15.3
	60代	337	23.2
	70代以上	447	30.8
	無回答	19	1.3
居住地域	高山地域	997	68.6
	丹生川地域	65	4.5
	清見地域	25	1.7
	荘川地域	19	1.3
	一之宮地域	43	3.0
	久々野地域	72	5.0
	朝日地域	24	1.7
	高根地域	3	0.2
	国府地域	114	7.8
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	65	4.5
	無回答	26	1.8
家族構成	単身世帯	156	10.7
	夫婦のみ	311	21.4
	二世帯世帯	574	39.5
	(うち中学生以下の子と同居)	(192)	(13.2)
	三世帯世帯	355	24.4
	(うち中学生以下の子と同居)	(192)	(13.2)
	その他(※1)	22	1.5
	無回答	35	2.4

		件数 (件)	構成比 (%)
職業	農林畜産業	73	5.0
	自営業	164	11.3
	会社員・公務員・団体職員	422	29.0
	パート・アルバイト・内職	249	17.1
	家事従事者	114	7.9
	学生	24	1.7
	無職	340	23.4
	その他(※2)	37	2.6
定住年数	無回答	30	2.1
	1年未満	21	1.5
	1年以上～5年未満	44	3.0
	5年以上～10年未満	42	2.9
	10年以上～20年未満	115	7.9
	20年以上	1,211	83.3
居住形態	無回答	20	1.4
	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,272	87.5
	借家(アパート含む)	124	8.5
	間借	8	0.6
	社宅・寮	21	1.5
	その他(※3)	9	0.6
	無回答	19	1.3

「その他」の内容

※1 四世代世帯、姉と同居 など

※2 会社役員、契約社員 など

※3 老人施設入所 など

7 その他

- ・この報告書における「回答率」は、次の計算式により算出している。

回答率＝回答数／標本数

回答率は百分率(%)で、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計値が必ずしも100%とならない。また、2つ以上の回答を求めたものについての合計値は100%を超える。

- ・過去の調査結果との比較について、比較対象は第八次総合計画を策定した平成26年度としている。ただし、問6～8は、複数年調査を行っているため、各調査年度(平成26・28・29年度)の結果についても比較対象とし、問9及び問13は、まちづくり協議会が本格的にスタートした平成27年度を比較対象としている。

第2章 調査結果の分析

1 高山市への想いや生活環境について

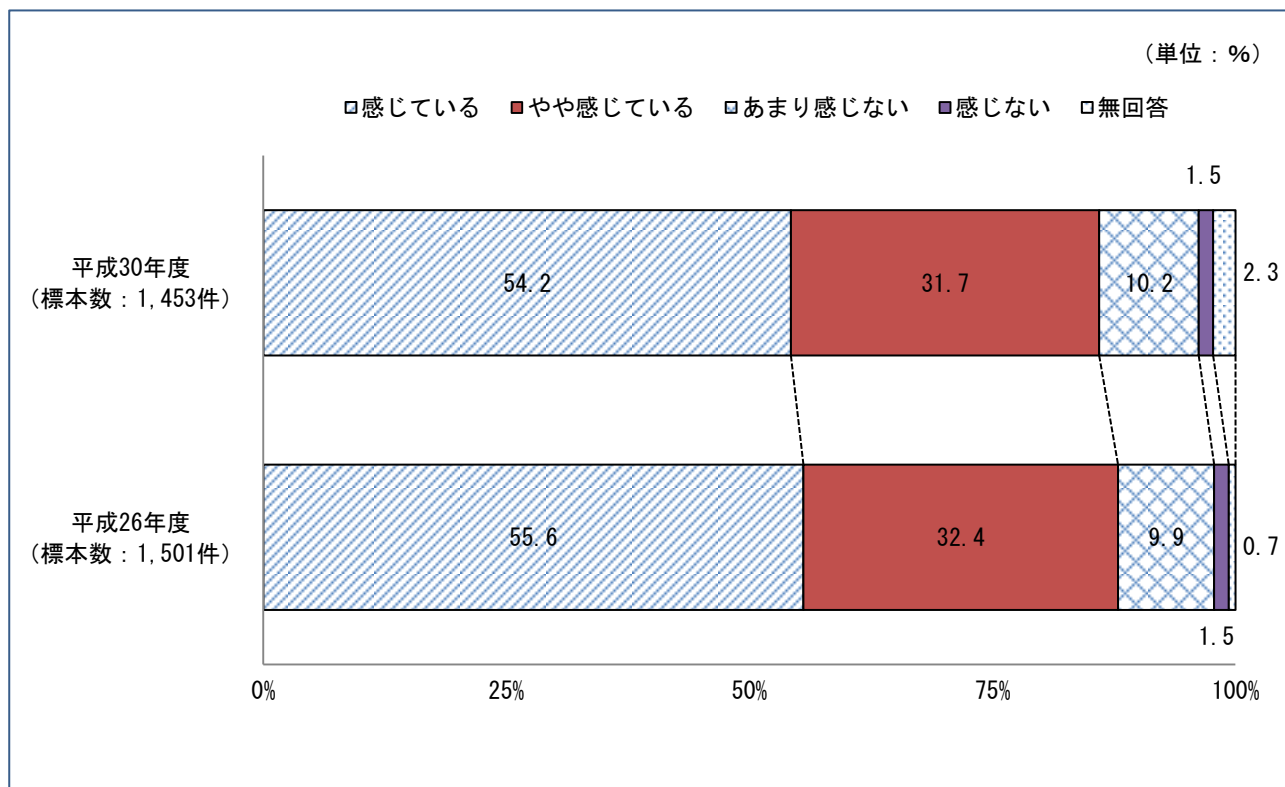
1 高山市への「誇り」や「愛着」

- ・「感じている」の割合が最も高い。
- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせると 85.9%を占めるが、前回（H26）の調査結果（88.0%）に比べ2.1ポイント低下している。

問1 あなたは、高山市に対し「誇り」や「愛着」を感じていますか。（1つに○印）

	回答数（件）	回答率（%）
感じている	788	54.2
やや感じている	461	31.7
あまり感じない	148	10.2
感じない	22	1.5
無回答	34	2.3
計	1,453	

（標本数：1,453件）



属性別集計（年齢別、居住地域別、定住年数別）

		標本数(件)	高山市への「誇り」や「愛着」(%)				
			感じている	やや感じている	あまり感じない	感じない	無回答
年齢	10代・20代	93	44.1	40.9	15.1	0.0	0.0
	30代	130	41.5	40.0	15.4	3.1	0.0
	40代	205	42.9	44.4	8.3	2.9	1.5
	50代	222	53.2	35.6	10.8	0.5	0.0
	60代	337	56.7	29.4	10.7	1.5	1.8
	70代以上	447	64.4	22.6	8.1	1.3	3.6
居住地域	高山地域	997	55.7	31.6	9.8	1.4	1.5
	丹生川地域	65	58.5	24.6	15.4	0.0	1.5
	清見地域	25	56.0	36.0	0.0	4.0	4.0
	荘川地域	19	42.1	42.1	10.5	0.0	5.3
	一之宮地域	43	48.8	30.2	14.0	4.7	2.3
	久々野地域	72	51.4	33.3	11.1	1.4	2.8
	朝日地域	24	58.3	37.5	0.0	4.2	0.0
	高根地域	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	国府地域	114	49.1	32.5	13.2	1.8	3.5
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	65	50.8	38.5	7.7	1.5	1.5
定住年数	1年未満	21	9.5	47.6	38.1	4.8	0.0
	1年以上～5年未満	44	18.2	52.3	20.5	9.1	0.0
	5年以上～10年未満	42	42.9	42.9	11.9	2.4	0.0
	10年以上～20年未満	115	47.0	37.4	13.9	0.9	0.9
	20年以上	1,211	57.7	30.1	8.9	1.2	2.0

【年齢別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、50代（88.8%）が最も高く、30代（81.5%）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、高根地域（100.0%）及び朝日地域（95.8%）が高く、一之宮地域（79.0%）が最も低い。

【定住年数別】

- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせた割合は、20年以上（87.8%）が最も高く、1年未満（57.1%）が最も低い。
- ・「感じている」の割合は、年数が上がるにつれて高くなり、特に定住年数が5年以上になると大幅に高くなる。

1-2 高山市への「誇り」や「愛着」を感じるどころ

- ・「自然環境」の割合が、前回（H26）の調査結果と同様で最も高い。
- ・前回（H26）の調査結果に比べ「町並み・景観」の順位・割合が上昇している。

問1-2 問1で、「感じている」または「やや感じている」に○をつけた方に伺います。どんなところに「誇り」や「愛着」を感じますか。（3つまで○印）

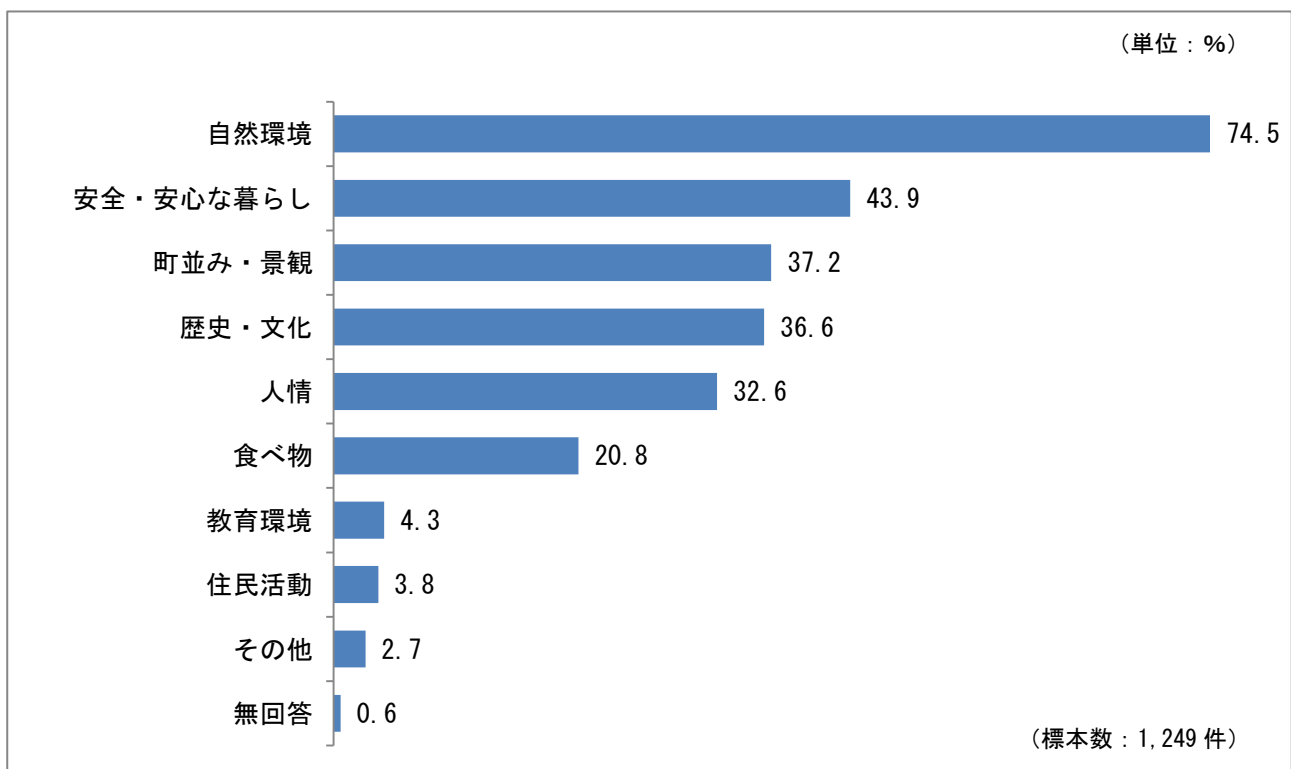
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回(H26)	
				順位	回答率(%)
1	自然環境	931	74.5	1	73.4
2	安全・安心な暮らし	548	43.9	2	43.9
3	町並み・景観	465	37.2	5	31.4
4	歴史・文化	457	36.6	4	33.4
5	人情	407	32.6	3	36.9
6	食べ物	260	20.8	6	23.3
7	教育環境	54	4.3	7	3.7
8	住民活動	47	3.8	8	2.8
	その他	34	2.7		1.1
	無回答	7	0.6		0.7
計		3,210			

(標本数：1,249 件)

(標本数：1,321 件)

※「その他」の内容

- ・「生まれ育った場所だから」、「知名度が高い」 など



属性別集計（年齢別、居住地域別、定住年数別）

		標本数 (件)	高山市への「誇り」や「愛着」を感じる場所(%)									
			自然環境	安全・安心な暮らし	町並み・景観	歴史・文化	人情	食べ物	教育環境	住民活動	その他	無回答
年齢	10代・20代	79	70.9	35.4	63.3	29.1	22.8	27.8	5.1	1.3	3.8	0.0
	30代	106	67.0	39.6	50.0	25.5	33.0	30.2	11.3	1.9	1.9	0.0
	40代	179	70.9	38.5	46.4	39.7	24.6	21.2	6.7	1.1	3.4	0.6
	50代	197	72.6	40.6	45.7	42.6	29.9	19.3	3.6	2.5	1.0	0.5
	60代	290	78.6	49.0	29.0	41.4	28.3	19.7	3.1	3.8	3.1	0.7
	70代以上	389	76.9	47.0	26.5	33.2	42.7	18.5	2.3	6.4	2.8	0.8
居住地域	高山地域	870	70.7	43.3	43.4	39.3	31.7	21.8	4.1	2.9	2.4	0.7
	丹生川地域	54	81.5	51.9	22.2	31.5	38.9	20.4	5.6	5.6	1.9	0.0
	清見地域	23	87.0	43.5	13.0	17.4	39.1	17.4	4.3	0.0	0.0	0.0
	荘川地域	16	93.8	25.0	25.0	37.5	43.8	12.5	12.5	6.3	0.0	0.0
	一之宮地域	34	88.2	32.4	23.5	41.2	23.5	17.6	0.0	2.9	5.9	0.0
	久々野地域	61	75.4	52.5	24.6	27.9	49.2	27.9	9.8	9.8	1.6	0.0
	朝日地域	23	82.6	39.1	26.1	39.1	30.4	21.7	0.0	0.0	4.3	0.0
	高根地域	3	100.0	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	国府地域	93	82.8	47.3	25.8	34.4	25.8	15.1	4.3	4.3	4.3	1.1
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	58	87.9	43.1	22.4	20.7	32.8	13.8	1.7	5.2	5.2	0.0
定住年数	1年未満	12	58.3	33.3	25.0	33.3	50.0	41.7	8.3	0.0	0.0	0.0
	1年以上～5年未満	31	71.0	35.5	48.4	22.6	25.8	19.4	3.2	0.0	6.5	0.0
	5年以上～10年未満	36	55.6	50.0	61.1	27.8	30.6	30.6	5.6	5.6	2.8	0.0
	10年以上～20年未満	97	81.4	35.1	36.1	32.0	25.8	20.6	8.2	4.1	1.0	2.1
	20年以上	1,064	74.8	44.5	36.5	37.6	33.4	20.2	3.8	3.6	2.7	0.5

【年齢別】

- ・全ての年代で「自然環境」の割合が最も高い。
- ・2番目に割合が高いのは、50代以下は「町並み・景観」で、60代以上は「安全・安心な暮らし」である。

【居住地域別】

- ・全ての居住地域で「自然環境」の割合が最も高い。

【定住年数別】

- ・5年以上～10年未満のみ「町並み・景観」の割合が最も高く、その他は「自然環境」の割合が最も高い。
- ・1年未満は他の定住年数と比べ「人情」、「食べ物」の割合が特に高く、「町並み・景観」の割合が特に低い。

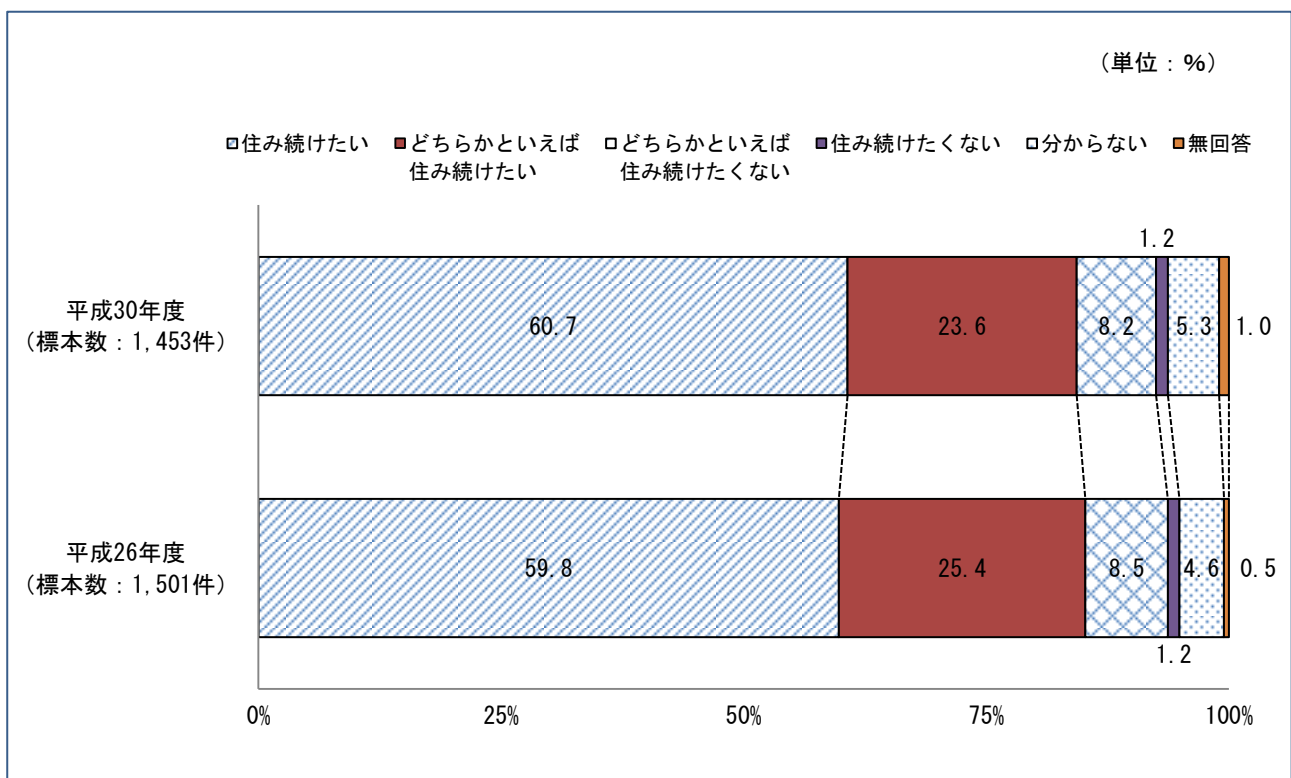
2 高山市への定住意向

- ・「住み続けたい」の割合が最も高い。
- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせると 84.3%を占め、前回（H26）の調査結果（85.2%）とほぼ同様である。

問2 あなたは、これからも高山市に住み続けたいと思いますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
住み続けたい	882	60.7
どちらかといえば住み続けたい	343	23.6
どちらかといえば住み続けたくない	119	8.2
住み続けたくない	18	1.2
分からない	77	5.3
無回答	14	1.0
計	1,453	

（標本数：1,453 件）



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	高山市への定住意向(%)					
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	分からない	無回答
年齢	10代・20代	93	38.7	33.3	11.8	2.2	14.0	0.0
	30代	130	51.5	24.6	12.3	3.1	7.7	0.8
	40代	205	50.2	27.8	14.6	1.5	5.9	0.0
	50代	222	54.1	29.7	9.9	0.9	4.5	0.9
	60代	337	61.7	24.9	6.8	1.5	5.0	0.0
	70代以上	447	76.1	15.7	3.8	0.4	3.4	0.7
居住地域	高山地域	997	61.4	23.8	8.3	1.2	4.9	0.4
	丹生川地域	65	76.9	15.4	3.1	0.0	4.6	0.0
	清見地域	25	64.0	24.0	12.0	0.0	0.0	0.0
	荘川地域	19	47.4	26.3	21.1	5.3	0.0	0.0
	一之宮地域	43	51.2	20.9	16.3	0.0	9.3	2.3
	久々野地域	72	55.6	31.9	4.2	1.4	6.9	0.0
	朝日地域	24	50.0	29.2	8.3	4.2	8.3	0.0
	高根地域	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	国府地域	114	62.3	24.6	3.5	1.8	7.0	0.9
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	65	61.5	15.4	15.4	1.5	6.2	0.0

【年齢別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、年代が上がるにつれて高くなる。10代・20代（72.0%）が最も低く、70代以上（91.8%）が最も高い。

【居住地域別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、高根地域（100.0%）及び丹生川地域（92.3%）が高く、一之宮地域（72.1%）が最も低い。

属性別集計（定住年数別、居住形態別）

		標本数(件)	高山市への定住意向(%)					
			住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	分からない	無回答
定住年数	1年未満	21	28.6	23.8	19.0	4.8	23.8	0.0
	1年以上～5年未満	44	27.3	29.5	20.5	4.5	15.9	2.3
	5年以上～10年未満	42	38.1	35.7	19.0	2.4	4.8	0.0
	10年以上～20年未満	115	40.9	33.9	10.4	1.7	12.2	0.9
	20年以上	1,211	65.5	22.2	6.9	1.0	4.0	0.3
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,272	63.8	23.2	7.1	0.9	4.7	0.4
	借家(アパート含む)	124	37.9	32.3	16.1	3.2	10.5	0.0
	間借	8	62.5	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0
	社宅・寮	21	42.9	9.5	28.6	4.8	9.5	4.8
	その他	9	33.3	33.3	22.2	11.1	11.1	0.0

【定住年数別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、年数が上がるにつれて高くなる。1年未満（52.4%）が最も低く、20年以上（87.7%）が最も高い。

【居住形態別】

- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた割合は、持ち家（87.0%）が最も高く、社宅・寮（52.4%）が最も低い。

2-2 高山市に住み続けたくない理由

- ・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が、前回（H26）の調査結果と同様で最も高い。
- ・前回（H26）の調査結果に比べ「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の順位・割合、「地域行事や近所付き合いが面倒」の割合が上昇している。

問2-2 問2で、「住み続けたくない」または「どちらかといえば住み続けたくない」に○をつけた方に伺います。高山市に住み続けたくない理由は何ですか。（3つまで○印）

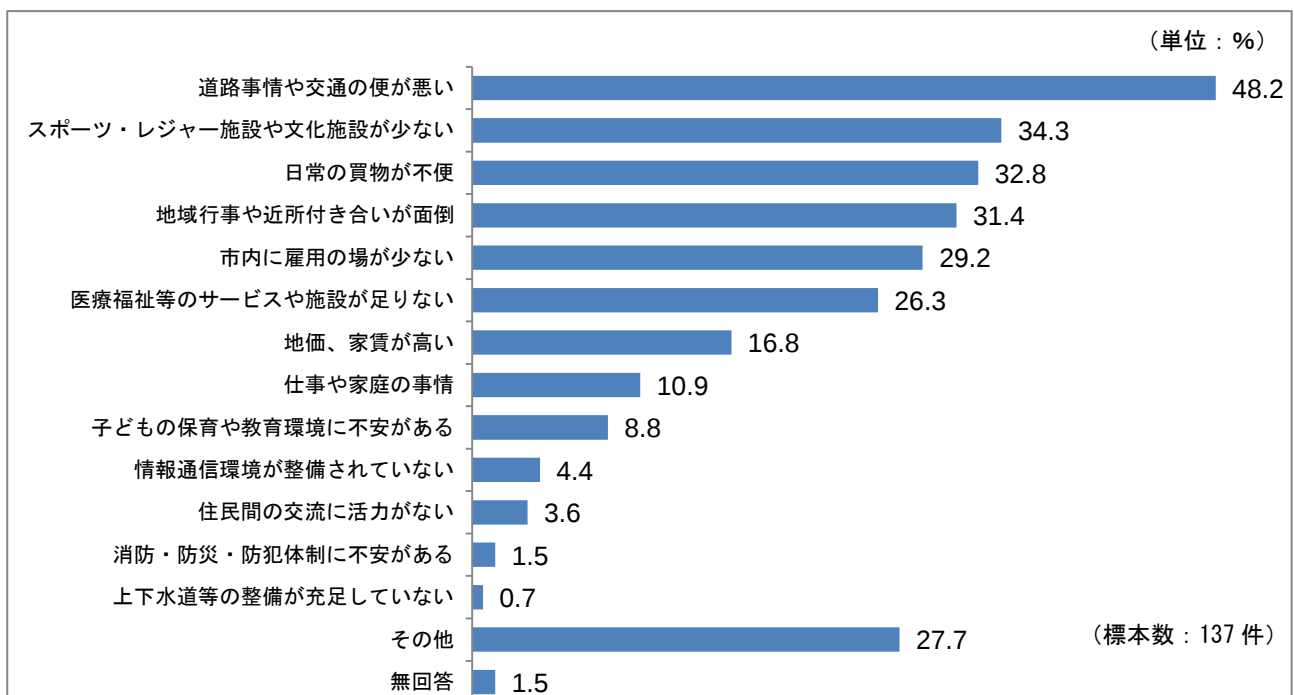
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H26）	
				順位	回答率(%)
1	道路事情や交通の便が悪い	66	48.2	1	41.1
2	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	47	34.3	5	21.9
3	日常の買物が不便	45	32.8	2	37.7
4	地域行事や近所付き合いが面倒	43	31.4	4	21.9
5	市内に雇用の場が少ない	40	29.2	3	33.6
6	医療福祉等のサービスや施設が足りない	36	26.3	6	18.5
7	地価、家賃が高い	23	16.8	8	12.3
8	仕事や家庭の事情	15	10.9	7	17.1
9	子どもの保育や教育環境に不安がある	12	8.8	9	8.9
10	情報通信環境が整備されていない	6	4.4	10	4.1
11	住民間の交流に活力がない	5	3.6	10	4.1
12	消防・防災・防犯体制に不安がある	2	1.5	12	2.7
13	上下水道等の整備が充足していない	1	0.7	13	0.7
	その他	38	27.7		21.2
	無回答	2	1.5		1.4
計		381			

（標本数：137件）

（標本数：146件）

※「その他」の内容

- ・「冬の生活が厳しい（寒さ、除雪の苦労など）」、「老後の生活が不安」など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		13	20	33	24	28	19
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	53.8	45.0	48.5	50.0	46.4	47.4
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	46.2	60.0	33.3	25.0	32.1	15.8
	日常の買物が不便	46.2	35.0	24.2	45.8	21.4	36.8
	地域行事や近所付き合いが面倒	30.8	30.0	33.3	25.0	39.3	26.3
	市内に雇用の場が少ない	38.5	20.0	39.4	37.5	17.9	21.1
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	7.7	20.0	21.2	37.5	32.1	31.6
	地価、家賃が高い	15.4	20.0	18.2	12.5	17.9	15.8
	仕事や家庭の事情	15.4	5.0	12.1	12.5	7.1	15.8
	子どもの保育や教育環境に不安がある	7.7	20.0	12.1	0.0	7.1	5.3
	情報通信環境が整備されていない	15.4	0.0	3.0	4.2	3.6	5.3
	住民間の交流に活力がない	0.0	5.0	3.0	0.0	7.1	5.3
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.3
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	7.7	30.0	24.2	12.5	46.4	36.8
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	5.3

【年齢別】

- ・ 10代・20代及び40代から70代以上は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・ 30代は「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域									
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		95	2	3	5	7	4	3	0	6	11
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	45.3	100.0	0.0	40.0	71.4	100.0	66.7	－	16.7	54.5
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	42.1	0.0	33.3	0.0	14.3	0.0	33.3	－	33.3	9.1
	日常の買物が不便	22.1	50.0	66.7	40.0	57.1	50.0	33.3	－	50.0	81.8
	地域行事や近所付き合いが面倒	30.5	50.0	66.7	60.0	42.9	0.0	33.3	－	33.3	9.1
	市内に雇用の場が少ない	29.5	50.0	0.0	0.0	28.6	75.0	100.0	－	33.3	9.1
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	23.2	0.0	33.3	20.0	28.6	50.0	33.3	－	16.7	54.5
	地価、家賃が高い	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	25.0	0.0	－	0.0	18.2
	仕事や家庭の事情	11.6	0.0	0.0	20.0	0.0	25.0	0.0	－	0.0	18.2
	子どもの保育や教育環境に不安がある	10.5	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	9.1
	情報通信環境が整備されていない	3.2	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	－	33.3	0.0
	住民間の交流に活力がない	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	16.7	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	1.1	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0
	その他	33.7	0.0	0.0	20.0	28.6	50.0	0.0	－	16.7	0.0
	無回答	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	9.1

【居住地域別】

※高山地域を除く居住地域の標本数が少ないため、分析は行わない。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1 年 未 満	1 年 以 上 ～ 5 年 未 満	5 年 以 上 ～ 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上 ～ 2 0 年 未 満	2 0 年 以 上
標本数（件）		5	11	9	14	96
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	80.0	63.6	55.6	42.9	44.8
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	40.0	36.4	66.7	28.6	32.3
	日常の買物が不便	60.0	36.4	44.4	42.9	28.1
	地域行事や近所付き合いが面倒	20.0	18.2	11.1	50.0	33.3
	市内に雇用の場が少ない	0.0	9.1	33.3	35.7	31.3
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	40.0	9.1	22.2	14.3	30.2
	地価、家賃が高い	0.0	18.2	11.1	21.4	17.7
	仕事や家庭の事情	20.0	9.1	11.1	14.3	10.4
	子どもの保育や教育環境に不安がある	20.0	27.3	22.2	7.1	5.2
	情報通信環境が整備されていない	20.0	9.1	0.0	7.1	3.1
	住民間の交流に活力がない	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	0.0	0.0	7.1	1.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
	その他	0.0	45.5	22.2	0.0	31.3
	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0

【定住年数別】

- ・ 5年未満及び20年以上は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・ 5年以上～10年未満は「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が最も高い。
- ・ 10年以上～20年未満は「地域行事や近所付き合いが面倒」の割合が最も高い。

属性別集計（居住形態別）

		居住形態				
		所有含む 持ち家（分譲マンション・家族 住宅）	借家（アパート含む）	間借	社宅・寮	その他
標本数（件）		101	24	1	7	2
高山市に住み続けたくない理由（％）	道路事情や交通の便が悪い	48.5	41.7	0.0	71.4	50.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	37.6	29.2	0.0	28.6	0.0
	日常の買物が不便	26.7	33.3	0.0	100.0	100.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	32.7	33.3	0.0	14.3	50.0
	市内に雇用の場が少ない	29.7	25.0	0.0	14.3	100.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	26.7	29.2	0.0	14.3	50.0
	地価、家賃が高い	12.9	25.0	100.0	28.6	50.0
	仕事や家庭の事情	10.9	16.7	0.0	0.0	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	6.9	16.7	0.0	14.3	0.0
	情報通信環境が整備されていない	2.0	12.5	0.0	14.3	0.0
	住民間の交流に活力がない	4.0	4.2	0.0	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	1.0	4.2	0.0	0.0	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	27.7	29.2	100.0	0.0	50.0
	無回答	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【居住形態別】

- ・持ち家及び借家は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・社宅・寮は「日常の買物が不便」の割合が最も高い。

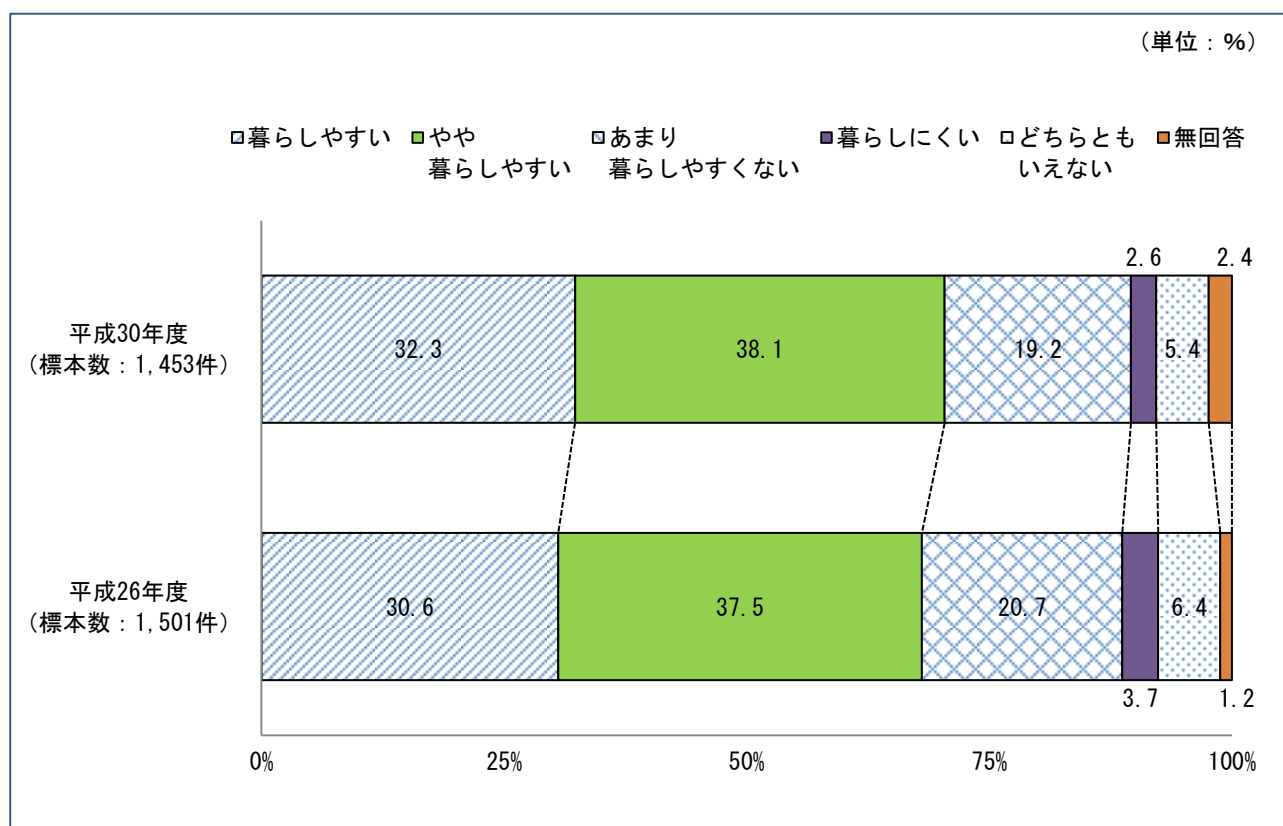
3 高山市の暮らしやすさ

- ・「やや暮らしやすい」の割合が最も高い。
- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」の合計は 70.4% となり、前回（H26）の調査結果（68.1%）より、2.3 ポイント上昇している。

問3 全体的に、高山市の暮らしやすさについてどのようにお考えですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
暮らしやすい	469	32.3
やや暮らしやすい	553	38.1
あまり暮らしやすくない	279	19.2
暮らしにくい	38	2.6
どちらともいえない	79	5.4
無回答	35	2.4
計	1,453	

（標本数：1,453 件）



属性別集計（年齢別、居住地域別、家族構成別）

		標本数(件)	高山市の暮らしやすさ(%)					
			暮らしやすい	やや暮らしやすい	あまり暮らしやすくない	暮らしにくい	どちらともいえない	無回答
年齢	10代・20代	93	20.4	50.5	23.7	3.2	2.2	0.0
	30代	130	26.9	31.5	30.0	6.2	4.6	0.8
	40代	205	24.9	42.0	22.4	3.9	4.9	2.0
	50代	222	23.9	43.7	24.8	1.8	5.4	0.5
	60代	337	30.6	40.4	18.7	3.0	5.3	2.1
	70代以上	447	44.5	31.5	11.4	1.1	6.9	4.5
居住地域	高山地域	997	33.4	39.2	17.9	2.4	4.7	2.4
	丹生川地域	65	49.2	27.7	13.8	0.0	7.7	1.5
	清見地域	25	32.0	52.0	12.0	0.0	4.0	0.0
	荘川地域	19	21.1	31.6	42.1	5.3	0.0	0.0
	一之宮地域	43	23.3	25.6	27.9	11.6	4.7	7.0
	久々野地域	72	22.2	36.1	25.0	1.4	12.5	2.8
	朝日地域	24	12.5	50.0	25.0	4.2	8.3	0.0
	高根地域	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	国府地域	114	39.5	38.6	12.3	1.8	7.0	0.9
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	65	13.8	36.9	38.5	6.2	4.6	0.0
家族構成	単身世帯	156	26.9	37.8	17.3	3.2	10.3	4.5
	夫婦のみ	311	29.6	43.1	16.4	2.9	6.4	1.6
	二世帯世帯	574	31.0	37.6	22.0	3.5	4.2	1.7
	（うち中学生以下の子と同居）	(192)	(31.8)	(35.9)	(23.4)	(4.7)	(3.1)	(1.0)
	三世帯世帯	355	36.9	37.2	18.9	0.8	4.2	2.0
	（うち中学生以下の子と同居）	(192)	(38.0)	(34.4)	(20.3)	(0.0)	(4.7)	(2.6)
	その他	22	27.3	40.9	18.2	4.5	9.1	0.0

【年齢別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、70代以上（76.0%）が最も高く、30代（58.4%）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、清見地域（84.0%）が最も高く、一之宮地域（48.9%）が最も低い。

【家族構成別】

- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた割合は、三世帯世帯（74.1%）が最も高く、単身世帯（64.7%）が最も低い。

3-2 暮らしにくさを感じるところ

- ・上位から「道路事情や交通の便が悪い」、「日常の買物が不便」、「市内に雇用の場が少ない」、「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の順位は、前回（H26）の調査結果と同じである。
- ・前回（H26）の調査結果に比べ「地域行事や近所付き合いが面倒」の順位・割合、「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が上昇している。

問3-2 問3で、「暮らしにくい」または「あまり暮らしやしくない」に○をつけた方に伺います。どんなところに暮らしにくさを感じますか。（3つまで○印）

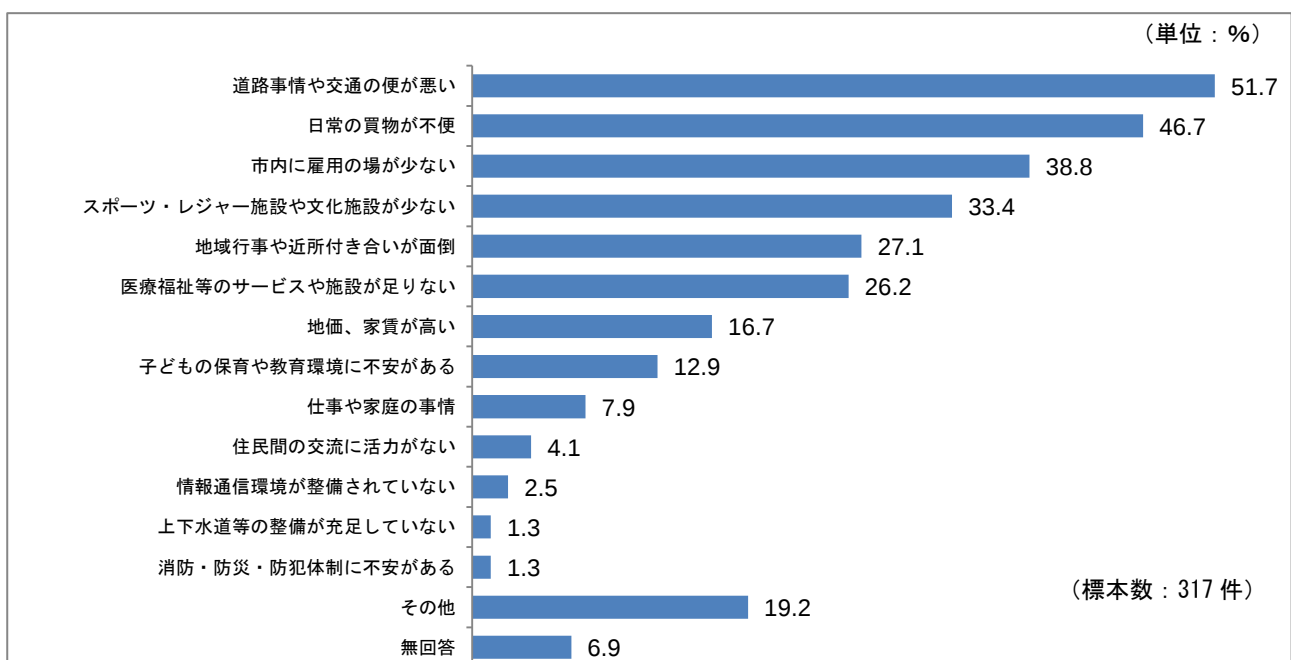
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H26）	
				順位	回答率(%)
1	道路事情や交通の便が悪い	164	51.7	1	45.8
2	日常の買物が不便	148	46.7	2	38.6
3	市内に雇用の場が少ない	123	38.8	3	37.8
4	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	106	33.4	4	23.3
5	地域行事や近所付き合いが面倒	86	27.1	7	17.8
6	医療福祉等のサービスや施設が足りない	83	26.2	5	21.9
7	地価、家賃が高い	53	16.7	6	18.6
8	子どもの保育や教育環境に不安がある	41	12.9	8	7.4
9	仕事や家庭の事情	25	7.9	9	6.8
10	住民間の交流に活力がない	13	4.1	11	4.1
11	情報通信環境が整備されていない	8	2.5	10	5.2
12	上下水道等の整備が充足していない	4	1.3	13	1.9
12	消防・防災・防犯体制に不安がある	4	1.3	12	2.2
	その他	61	19.2		15.1
	無回答	22	6.9		1.1
計		941			

（標本数：317 件）

（標本数：365 件）

※「その他」の内容

- ・「冬の生活が不便」、「賃金水準が低い」、「物価が高い」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢別					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		25	47	54	59	73	56
暮らしにくさを感じるよう(%)	道路事情や交通の便が悪い	56.0	53.2	37.0	49.2	47.9	55.4
	日常の買物が不便	48.0	42.6	24.1	40.7	38.4	67.9
	市内に雇用の場が少ない	32.0	29.8	38.9	50.8	37.0	32.1
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	36.0	42.6	51.9	37.3	23.3	7.1
	地域行事や近所付き合いが面倒	20.0	19.1	35.2	25.4	27.4	28.6
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	12.0	21.3	24.1	20.3	31.5	26.8
	地価、家賃が高い	20.0	17.0	24.1	16.9	12.3	8.9
	子どもの保育や教育環境に不安がある	16.0	14.9	25.9	10.2	11.0	1.8
	仕事や家庭の事情	4.0	4.3	3.7	13.6	12.3	5.4
	住民間の交流に活力がない	4.0	2.1	0.0	1.7	6.8	5.4
	情報通信環境が整備されていない	12.0	0.0	0.0	3.4	2.7	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	0.0	2.1	1.9	1.7	0.0	1.8
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.0	2.1	1.9	0.0	0.0	1.8
	その他	16.0	17.0	22.2	20.3	17.8	10.7
	無回答	0.0	2.1	7.4	1.7	9.6	35.7

【年齢別】

- ・ 10代・20代、30代及び60代は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・ 40代は「スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない」の割合が最も高い。
- ・ 50代は「市内に雇用の場が少ない」の割合が最も高い。
- ・ 70代以上は「日常の買物が不便」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域									
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地
標本数（件）		202	9	3	9	17	19	7	1	16	29
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	44.6	55.6	0.0	55.6	64.7	73.7	28.6	100.0	31.3	65.5
	日常の買物が不便	29.7	66.7	66.7	66.7	58.8	78.9	85.7	100.0	37.5	72.4
	市内に雇用の場が少ない	39.6	66.7	33.3	0.0	29.4	52.6	57.1	0.0	18.8	27.6
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	36.1	22.2	66.7	22.2	29.4	26.3	0.0	0.0	37.5	13.8
	地域行事や近所付き合いが面倒	26.7	11.1	66.7	44.4	47.1	10.5	28.6	0.0	37.5	10.3
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	21.3	22.2	33.3	22.2	23.5	47.4	14.3	100.0	18.8	37.9
	地価、家賃が高い	20.3	0.0	0.0	11.1	11.8	15.8	0.0	0.0	6.3	3.4
	子どもの保育や教育環境に不安がある	11.4	0.0	0.0	44.4	17.6	10.5	28.6	0.0	6.3	17.2
	仕事や家庭の事情	10.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	住民間の交流に活力がない	5.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	情報通信環境が整備されていない	1.0	11.1	0.0	11.1	0.0	5.3	14.3	0.0	6.3	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	0.5	0.0	0.0	11.1	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	20.8	22.2	0.0	11.1	0.0	15.8	14.3	0.0	0.0	20.7
	無回答	11.9	11.1	0.0	0.0	17.6	10.5	0.0	0.0	6.3	0.0

【居住地域別】

※高山地域を除く居住地域の標本数が少ないため、分析は行わない。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯	(うち中学生以下の子と同居)	その他
標本数（件）		32	60	146	(54)	70	(39)	5
暮らしにくさを感じるところ（％）	道路事情や交通の便が悪い	46.9	46.7	50.7	(42.6)	48.6	(51.3)	60.0
	日常の買物が不便	43.8	55.0	37.0	(31.5)	45.7	(43.6)	60.0
	市内に雇用の場が少ない	25.0	25.0	42.5	(29.6)	41.4	(30.8)	60.0
	スポーツ・レジャー施設や文化施設が少ない	28.1	28.3	32.2	(48.1)	32.9	(33.3)	40.0
	地域行事や近所付き合いが面倒	15.6	28.3	32.9	(35.2)	17.1	(15.4)	20.0
	医療福祉等のサービスや施設が足りない	25.0	23.3	23.3	(25.9)	28.6	(28.2)	20.0
	地価、家賃が高い	28.1	10.0	17.1	(13.0)	14.3	(10.3)	0.0
	子どもの保育や教育環境に不安がある	9.4	10.0	13.7	(22.2)	12.9	(20.5)	20.0
	仕事や家庭の事情	12.5	8.3	8.2	(1.9)	4.3	(5.1)	20.0
	住民間の交流に活力がない	0.0	8.3	3.4	(1.9)	1.4	(0.0)	0.0
	情報通信環境が整備されていない	3.1	1.7	2.7	(0.0)	1.4	(0.0)	0.0
	上下水道等の整備が充足していない	3.1	1.7	0.7	(1.9)	1.4	(0.0)	0.0
	消防・防災・防犯体制に不安がある	3.1	0.0	0.7	(0.0)	1.4	(2.6)	0.0
	その他	9.4	23.3	19.2	(24.1)	12.9	(10.3)	20.0
	無回答	21.9	8.3	6.8	(3.7)	10.0	(0.0)	0.0

【家族構成別】

- ・単身世帯、二世代世帯及び三世代世帯は「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・夫婦のみの世帯は「日常の買物が不便」の割合が最も高い。

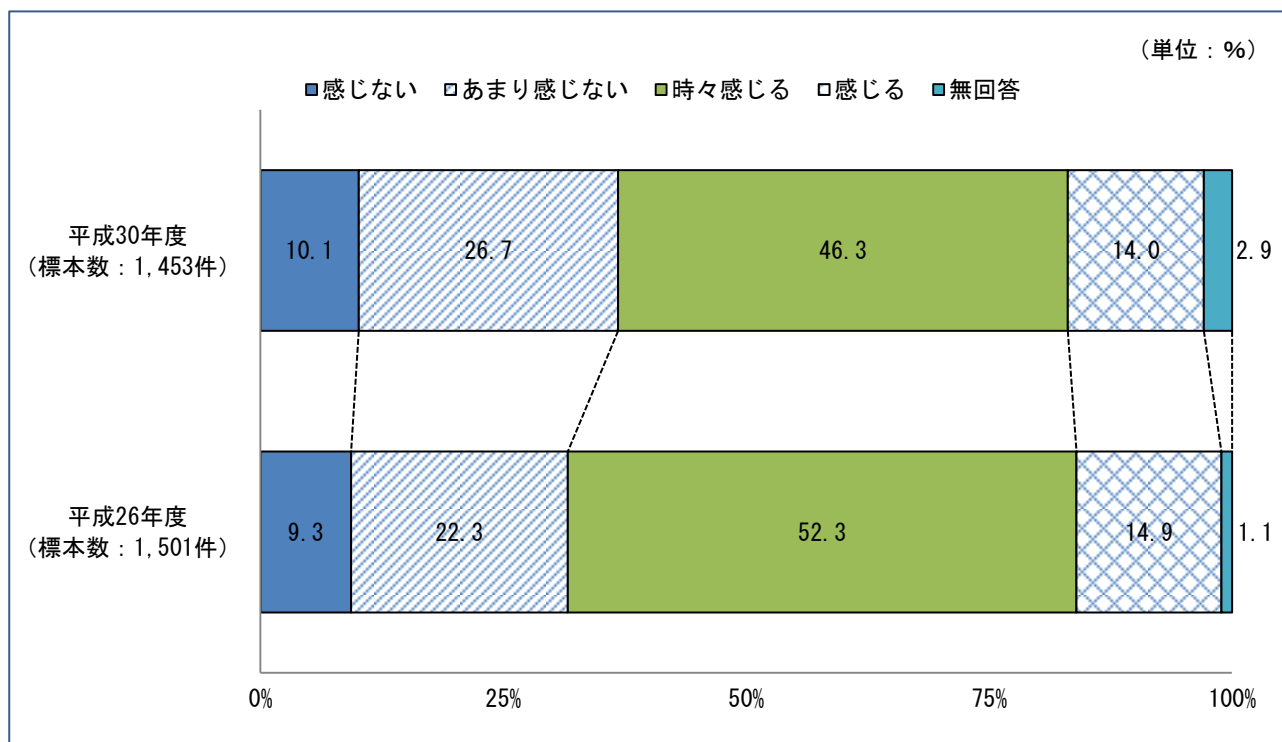
4 日常生活での不安

- ・「時々感じる」の割合が最も高い。
- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせると 60.3%を占め、前回（H26）の調査結果（67.2%）に比べ 6.9 ポイント低下している。

問4 あなたは、日常の暮らしの中で不安を感じることはありますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
感じない	147	10.1
あまり感じない	388	26.7
時々感じる	673	46.3
感じる	203	14.0
無回答	42	2.9
計	1,453	

（標本数：1,453 件）



属性別集計（年齢別、居住地域別、家族構成別）

		標本数(件)	暮らしの中での不安(%)				
			感じない	あまり感じない	時々感じる	感じる	無回答
年齢	10代・20代	93	14.0	44.1	34.4	7.5	0.0
	30代	130	5.4	25.4	50.8	17.7	0.8
	40代	205	4.9	23.4	55.6	13.7	2.4
	50代	222	7.7	31.5	53.2	6.8	0.9
	60代	337	8.9	22.8	48.7	17.5	2.1
	70代以上	447	14.8	25.1	38.9	15.7	5.6
居住地域	高山地域	997	10.5	27.4	45.0	13.8	3.2
	丹生川地域	65	10.8	26.2	49.2	9.2	4.6
	清見地域	25	8.0	36.0	36.0	20.0	0.0
	荘川地域	19	15.8	10.5	42.1	31.6	0.0
	一之宮地域	43	7.0	16.3	58.1	16.3	2.3
	久々野地域	72	9.7	20.8	55.6	9.7	4.2
	朝日地域	24	0.0	8.3	70.8	20.8	0.0
	高根地域	3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0
	国府地域	114	9.6	34.2	46.5	8.8	0.9
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	65	10.8	20.0	49.2	20.0	0.0
家族構成	単身世帯	156	11.5	26.9	41.0	16.7	3.8
	夫婦のみ	311	9.6	25.4	46.0	15.8	3.2
	二世帯世帯	574	7.5	28.4	48.6	13.2	2.3
	(うち中学生以下の子と同居)	(192)	(6.8)	(32.3)	(51.0)	(8.9)	(1.0)
	三世帯世帯	355	13.2	25.6	46.5	12.4	2.3
	(うち中学生以下の子と同居)	(192)	(12.5)	(26.0)	(46.4)	(14.1)	(1.0)
	その他	22	0.0	27.3	54.5	18.2	0.0

【年齢別】

- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、40代（69.3%）が最も高く、10代・20代（41.9%）が最も低い。

【居住地域別】

- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、朝日地域（91.6%）が最も高く、国府地域（55.3%）が最も低い。

【家族構成別】

- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、夫婦のみと二世帯世帯（61.8%）が最も高く、単身世帯（57.7%）が最も低い。

4-2 不安を感じるところ

- ・上位から「経済的な不安」、「介護に対する不安」、「健康上の不安」の順位は、前回（H26）の調査結果と同じである。
- ・前回（H26）の調査結果に比べ「人口減少に対する不安」の順位・割合が上昇している。「雇用の場が少ないことへの不安」の順位・割合が低下している。

問4-2 問4で、「感じる」または「時々感じる」に○をつけた方に伺います。どんなところに不安を感じますか。（3つまで○印）

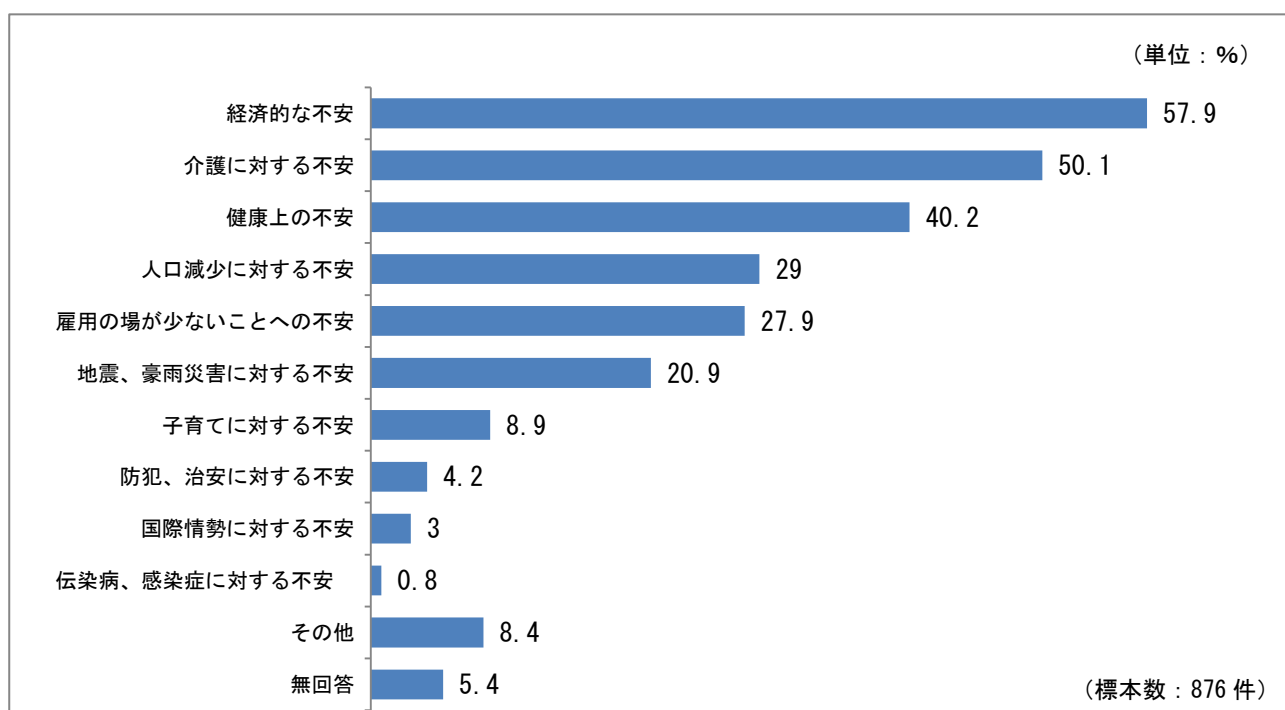
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H26）	
				順位	回答率(%)
1	経済的な不安	507	57.9	1	57.3
2	介護に対する不安	439	50.1	2	50.0
3	健康上の不安	352	40.2	3	37.6
4	人口減少に対する不安	254	29.0	5	25.0
5	雇用の場が少ないことへの不安	244	27.9	4	33.4
6	地震、豪雨災害に対する不安	183	20.9	6	21.9
7	子育てに対する不安	78	8.9	7	8.7
8	防犯、治安に対する不安	37	4.2	8	5.0
9	国際情勢に対する不安	26	3.0	9	3.5
10	伝染病、感染症に対する不安	7	0.8	10	0.6
	その他	74	8.4		4.8
	無回答	47	5.4		0.8
計		2,280			

（標本数：876件）

（標本数：1,009件）

※「その他」の内容

- ・「病院・医師不足」、「除雪」、「自分の老後」、「日常における移動手段」 など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		39	89	142	133	223	244
不安を感じるところ(%)	経済的な不安	74.4	69.7	66.2	60.2	58.3	44.7
	介護に対する不安	12.8	37.1	36.6	50.4	52.9	66.0
	健康上の不安	2.6	12.4	19.7	30.1	53.4	62.3
	人口減少に対する不安	20.5	24.7	26.1	29.3	34.5	27.0
	雇用の場が少ないことへの不安	43.6	27.0	38.7	33.1	29.1	15.2
	地震、豪雨災害に対する不安	33.3	21.3	19.7	24.1	21.5	16.8
	子育てに対する不安	12.8	38.2	16.2	5.3	2.7	0.8
	防犯、治安に対する不安	5.1	9.0	3.5	3.8	2.7	3.7
	国際情勢に対する不安	5.1	2.2	2.8	5.3	2.2	2.5
	伝染病、感染症に対する不安	5.1	1.1	0.7	0.0	0.9	0.0
	その他	10.3	12.4	13.4	9.0	5.4	6.6
	無回答	0.0	1.1	3.5	2.3	3.6	11.5

【年齢別】

- ・ 60代以下は「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・ 70代以上は「介護に対する不安」の割合が最も高い。
- ・ 30代は他の年齢に比べ「子育てに対する不安」の割合が高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域									
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		587	38	14	14	32	47	22	2	63	45
不安を感じるところ(%)	経済的な不安	62.5	44.7	42.9	64.3	75.0	53.2	45.5	0.0	46.0	33.3
	介護に対する不安	51.1	50.0	57.1	85.7	40.6	51.1	40.9	100.0	46.0	35.6
	健康上の不安	40.0	28.9	28.6	42.9	34.4	44.7	45.5	100.0	36.5	53.3
	人口減少に対する不安	22.8	26.3	64.3	57.1	31.3	36.2	63.6	50.0	27.0	64.4
	雇用の場が少ないことへの不安	25.4	26.3	35.7	14.3	46.9	38.3	40.9	0.0	27.0	33.3
	地震、豪雨災害に対する不安	22.8	26.3	0.0	14.3	12.5	17.0	13.6	0.0	25.4	8.9
	子育てに対する不安	8.5	2.6	14.3	14.3	12.5	6.4	13.6	0.0	9.5	13.3
	防犯、治安に対する不安	4.6	5.3	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0
	国際情勢に対する不安	3.4	2.6	7.1	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
	伝染病、感染症に対する不安	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
	その他	8.3	7.9	0.0	0.0	9.4	10.6	9.1	0.0	6.3	15.6
	無回答	5.6	10.5	0.0	0.0	3.1	6.4	0.0	0.0	3.2	2.2

【居住地域別】

- ・高山、一之宮、久々野及び国府地域は「経済的な不安」の割合が最も高い（国府地域は「介護に対する不安」と同率）。
- ・丹生川、荘川及び高根地域は「介護に対する不安」の割合が最も高い（高根地域は「健康上の不安」と同率）。
- ・清見、朝日及び上宝・奥飛騨温泉郷地域は「人口減少に対する不安」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成					
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)	その他	
標本数(件)		90	192	355 (115)	209 (116)	16	
不安を感じるところ(%)	経済的な不安	62.2	52.1	60.6 (65.2)	59.3 (55.2)	37.5	
	介護に対する不安	46.7	62.5	44.2 (35.7)	48.8 (46.6)	56.3	
	健康上の不安	50.0	47.9	34.1 (16.5)	39.7 (40.5)	37.5	
	人口減少に対する不安	16.7	27.6	30.7 (31.3)	31.6 (32.8)	25.0	
	雇用の場が少ないことへの不安	16.7	21.4	32.4 (34.8)	31.1 (30.2)	12.5	
	地震、豪雨災害に対する不安	18.9	20.8	20.8 (22.6)	21.5 (22.4)	31.3	
	子育てに対する不安	2.2	4.2	13.0 (29.6)	9.1 (13.8)	12.5	
	防犯、治安に対する不安	7.8	3.6	4.8 (8.7)	2.4 (1.7)	0.0	
	国際情勢に対する不安	2.2	3.1	3.7 (6.1)	2.4 (3.4)	0.0	
	伝染病、感染症に対する不安	0.0	1.0	0.6 (0.0)	1.0 (1.7)	0.0	
	その他	6.7	9.9	10.1 (14.8)	4.8 (3.4)	6.3	
	無回答	7.8	6.3	3.7 (1.7)	4.8 (0.0)	6.3	

【家族構成別】

- ・単身世帯、二世代世帯及び三世代世帯は「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・夫婦のみの世帯は「介護に対する不安」の割合が最も高い。

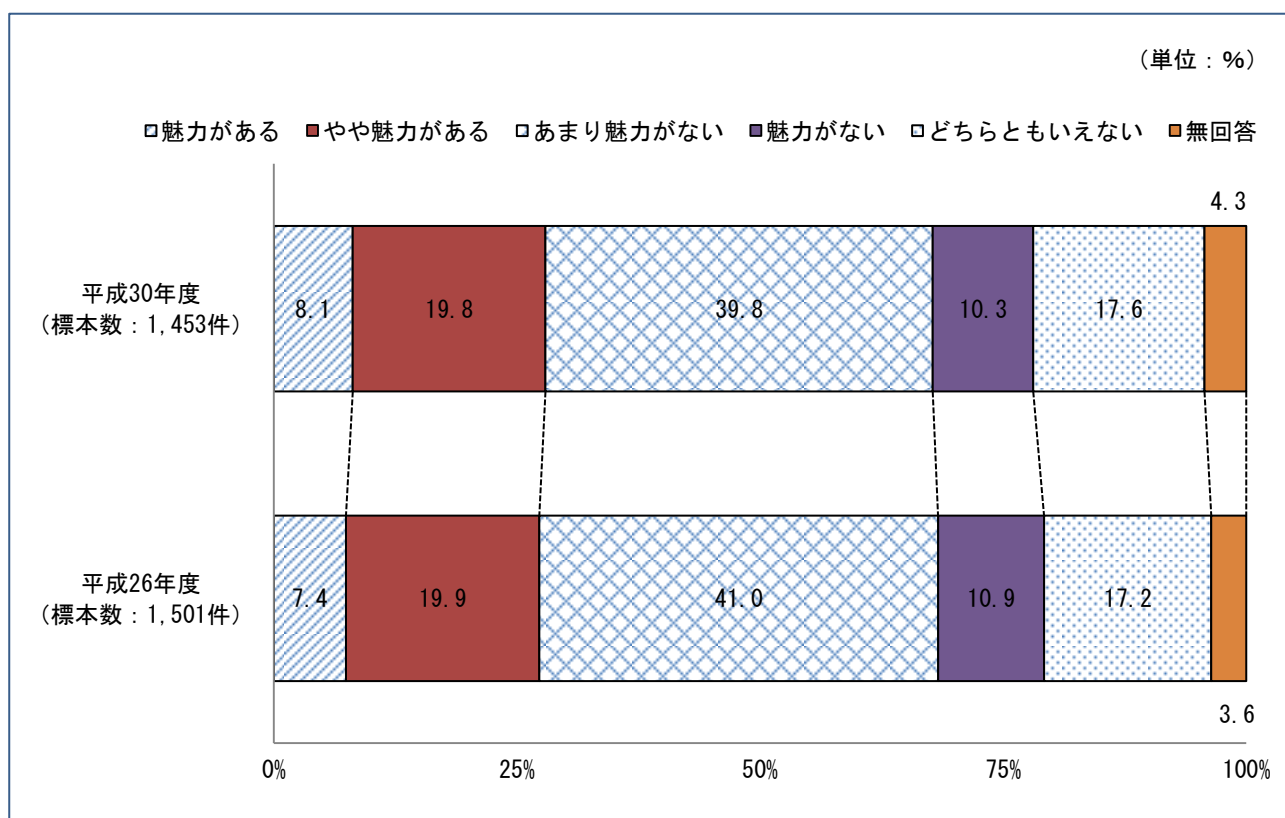
5 働く場としての高山市の魅力

- ・「あまり魅力がない」の割合が最も高い。
- ・「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせると 50.1%を占め、前回（H26）の調査結果（51.9%）に比べ 1.8 ポイント低下している。

問5 あなたは、働く場としての高山市に魅力を感じますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
魅力がある	118	8.1
やや魅力がある	288	19.8
あまり魅力がない	578	39.8
魅力がない	150	10.3
どちらともいえない	256	17.6
無回答	63	4.3
計	1,453	

（標本数：1,453 件）



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数 (件)	高山市の働く場としての魅力（％）					
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	無回答
性別	男	612	9.8	20.3	40.4	12.1	14.9	2.6
	女	773	6.6	19.0	39.8	9.2	20.2	5.2
年齢	１０代・２０代	93	7.5	26.9	41.9	16.1	7.5	0.0
	３０代	130	5.4	17.7	49.2	13.8	13.8	0.0
	４０代	205	6.3	13.7	55.6	14.1	8.8	1.5
	５０代	222	9.0	19.8	44.6	9.5	17.1	0.0
	６０代	337	7.4	20.5	43.6	10.4	16.3	1.8
	７０代以上	447	9.8	20.6	25.1	7.2	26.2	11.2

【性別】

- ・男女ともに「あまり魅力がない」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、１０代・２０代（34.4％）が最も高く、４０代（20.0％）が最も低い。
- ・「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせた割合は、４０代（69.7％）が最も高く、７０代以上（32.3％）が最も低い。

属性別集計（居住地域別、職業別）

		標本数(件)	高山市の働く場としての魅力(%)					
			魅力がある	やや魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	どちらともいえない	無回答
居住地域	高山地域	997	7.7	20.7	40.2	10.1	17.6	3.7
	丹生川地域	65	16.9	24.6	26.2	9.2	20.0	3.1
	清見地域	25	4.0	20.0	52.0	12.0	4.0	8.0
	荘川地域	19	10.5	21.1	47.4	10.5	10.5	0.0
	一之宮地域	43	7.0	16.3	44.2	16.3	11.6	4.7
	久々野地域	72	6.9	11.1	47.2	8.3	20.8	5.6
	朝日地域	24	0.0	12.5	33.3	37.5	16.7	0.0
	高根地域	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	国府地域	114	6.1	20.2	36.0	7.0	23.7	7.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	65	12.3	15.4	41.5	9.2	13.8	7.7
職業	農林畜産業	73	27.4	20.5	28.8	9.6	12.3	1.4
	自営業	164	14.6	28.0	28.0	7.3	18.3	3.7
	会社員・公務員・団体職員	422	5.9	18.0	52.1	13.5	10.2	0.2
	パート・アルバイト・内職	249	4.0	18.5	50.2	10.0	17.3	0.0
	家事従事者	114	6.1	15.8	39.5	6.1	23.7	8.8
	学生	24	16.7	33.3	33.3	12.5	4.2	0.0
	無職	340	6.2	17.6	28.5	10.9	26.2	10.6
	その他	37	8.1	32.4	21.6	2.7	29.7	5.4

【居住地域別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、丹生川地域（41.5%）が最も高く、朝日地域（12.5%）が最も低い。（高根地域はサンプル数が少ないため除いた）

【職業別】

- ・「魅力がある」と「やや魅力がある」を合わせた割合は、学生（50.0%）が最も高く、家事従事者（21.9%）が最も低い。
- ・「魅力がない」と「あまり魅力がない」を合わせた割合は、会社員・公務員・団体職員（65.6%）が最も高く、自営業（35.3%）が最も低い。

5-2 働く場としての魅力がない理由

- ・上位から「給与水準が低い」、「雇用の場が少ない」、「職種が少ない」の順位は、前回（H26）の調査結果と同じである。そのうち「給与水準が低い」の割合が大きく上昇している。「雇用の場が少ない」の割合が大きく低下している。

問5-2 問5で、「魅力がない」または「あまり魅力がない」に○をつけた方に伺います。その理由はなんですか。（2つまで○印）

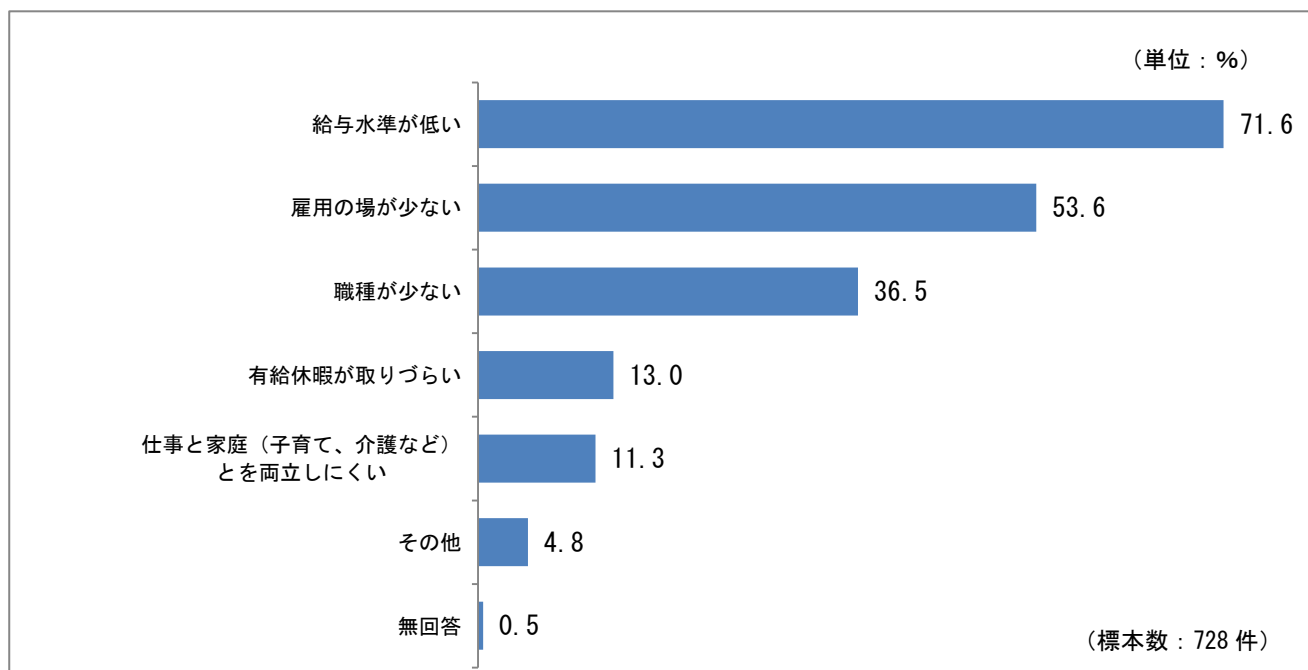
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H26）	
				順位	回答率(%)
1	給与水準が低い	521	71.6	1	62.6
2	雇用の場が少ない	390	53.6	2	60.7
3	職種が少ない	266	36.5	3	36.6
4	有給休暇が取りづらい	95	13.0	5	9.8
5	仕事と家庭（子育て、介護など）とを両立しに その他	82 35	11.3 4.8	4	13.5 2.3
	無回答	4	0.5		0.5
計		1,393			

（標本数：728件）

（標本数：779件）

※「その他」内容

- ・「労働環境が悪い（有給休暇がとれない、パワハラ、ブラック企業等）」、「若者の働く場が少ない」 など



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数 (件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			給与水準が低い	雇用の場が少ない	職種が少ない	有給休暇が取りづらい	仕事と家庭とを両立しにくい	その他	無回答
性別	男	321	69.8	58.6	35.2	13.1	6.9	4.7	0.9
	女	379	73.1	50.1	38.0	13.2	14.8	5.3	0.0
年齢	10代・20代	54	70.4	38.9	37.0	14.8	11.1	7.4	0.0
	30代	82	81.7	40.2	29.3	12.2	18.3	6.1	0.0
	40代	143	70.6	49.7	35.0	21.0	13.3	5.6	0.0
	50代	120	77.5	46.7	35.0	17.5	10.8	4.2	1.7
	60代	182	73.1	61.0	35.7	10.4	10.4	3.3	0.0
	70代以上	144	60.4	66.7	43.8	4.9	6.9	4.9	1.4

【性別】

- ・ 男性、女性ともに「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・ 女性は男性に比べ「仕事と家庭とを両立しにくい」の割合が高い。

【年齢別】

- ・ 60代以下は「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・ 70代以上は「雇用の場が少ない」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別、職業別）

		標本数(件)	働く場としての魅力がない理由(%)						
			給与水準が低い	雇用場が少ない	職種が少ない	有給休暇が取りづらい	仕事と家庭とを両立しにくい	その他	無回答
居住地域	高山地域	502	75.3	49.8	35.7	14.5	10.8	5.6	0.4
	丹生川地域	23	82.6	69.6	21.7	4.3	4.3	4.3	0.0
	清見地域	16	81.3	37.5	43.8	12.5	18.8	0.0	0.0
	荘川地域	11	45.5	81.8	27.3	9.1	18.2	0.0	0.0
	一之宮地域	26	65.4	57.7	53.8	11.5	7.7	0.0	0.0
	久々野地域	40	57.5	60.0	37.5	17.5	15.0	5.0	2.5
	朝日地域	17	70.6	70.6	23.5	5.9	17.6	5.9	0.0
	高根地域	1	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	国府地域	49	67.3	59.2	38.8	4.1	6.1	6.1	0.0
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	33	39.4	69.7	45.5	12.1	18.2	0.0	3.0
職業	農林畜産業	28	71.4	71.4	28.6	17.9	3.6	3.6	0.0
	自営業	58	67.2	53.4	44.8	3.4	13.8	5.2	1.7
	会社員・公務員・団体職員	277	78.7	47.3	31.8	18.8	8.7	5.1	0.7
	パート・アルバイト・内職	150	74.0	47.3	35.3	13.3	14.0	7.3	0.0
	家事従事者	52	67.3	61.5	40.4	11.5	19.2	0.0	0.0
	学生	11	36.4	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	134	61.9	64.9	44.8	6.7	11.2	4.5	0.7
	その他	9	55.6	88.9	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0

【居住地域別】

- ・高山、丹生川、清見、一之宮、朝日及び国府地域は「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・荘川、久々野、朝日（「給与水準が低い」と同率）、高根（「職種が少ない」、「仕事と家庭とを両立しにくい」と同率）及び上宝・奥飛騨温泉郷地域は「雇用場が少ない」の割合が最も高い。

【職業別】

- ・農林畜産業、自営業、会社員・公務員・団体職員、パート・アルバイト・内職及び家事従事者は「給与水準が低い」の割合が最も高い。
- ・農林畜産業（「給与水準が低い」と同率）、学生及び無職は「雇用場が少ない」の割合が最も高い。

2 高山市の市政運営について

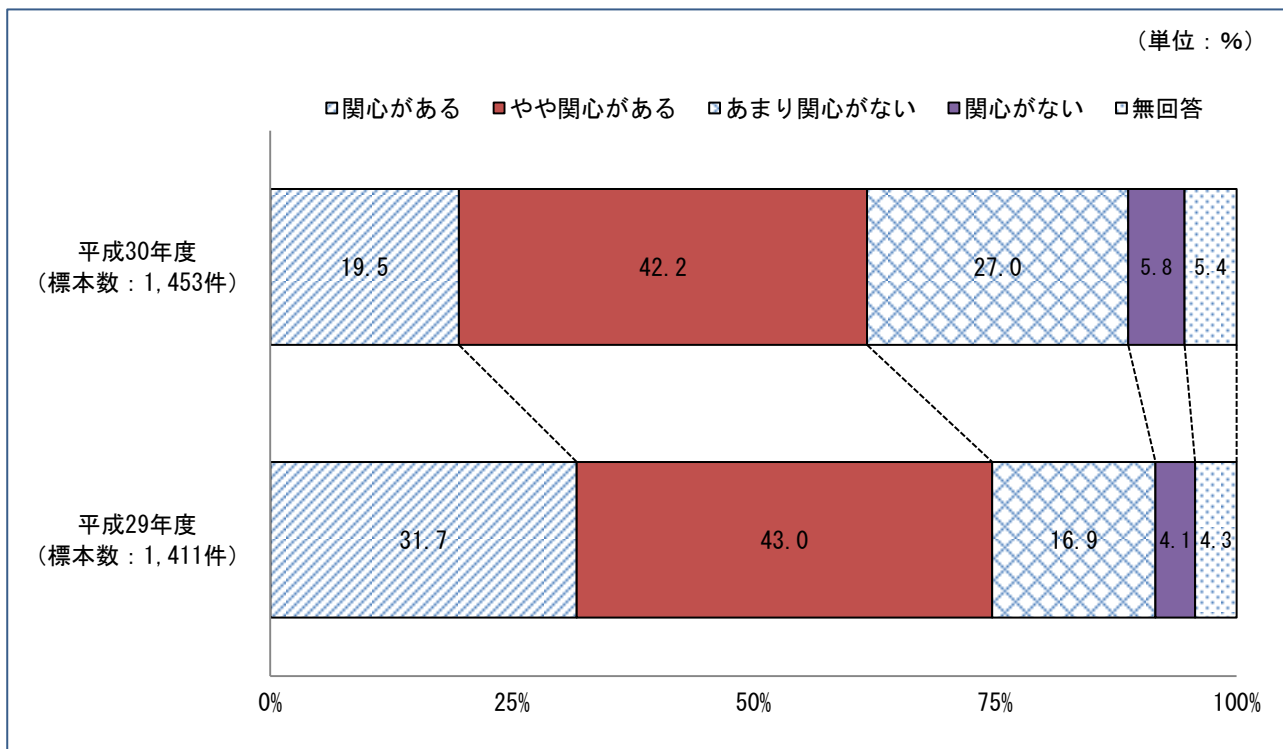
1 市政運営への関心

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせると 61.7%を占めている。現総合計画の当初調査（H26）の 62.6%から昨年までは上昇傾向だったが、今回は前年比 13.0 ポイントの低下となっている。

問6 あなたは、高山市の市政運営に関心をお持ちですか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
関心がある	283	19.5
やや関心がある	613	42.2
あまり関心がない	393	27.0
関心がない	85	5.8
無回答	79	5.4
計	1,453	

（標本数：1,453 件）



属性別集計（性別、年齢別）

		標本数 (件)	市政運営の関心（％）				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
性別	男	612	24.3	41.3	23.4	6.9	4.1
	女	773	14.5	43.5	30.9	5.4	5.7
年齢	10代・20代	93	3.2	32.3	47.3	16.1	1.1
	30代	130	10.8	42.3	36.9	7.7	2.3
	40代	205	18.0	41.0	30.2	6.8	3.9
	50代	222	14.4	44.6	32.4	4.5	4.1
	60代	337	22.3	45.1	22.8	3.9	5.9
	70代以上	447	26.2	41.6	19.2	5.1	7.8

【性別】

- ・男女ともに「やや関心がある」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、年齢が上がるにつれて高くなる。

属性別集計（居住地域別、定住年数別）

		標本数 (件)	市政運営の関心（％）				
			関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
居住地域	高山地域	997	18.7	44.5	26.7	5.7	4.4
	丹生川地域	65	21.5	35.4	32.3	4.6	6.2
	清見地域	25	20.0	44.0	32.0	4.0	0.0
	荘川地域	19	21.1	47.4	15.8	15.8	0.0
	一之宮地域	43	23.3	25.6	32.6	9.3	9.3
	久々野地域	72	23.6	44.4	20.8	4.2	6.9
	朝日地域	24	37.5	29.2	25.0	4.2	4.2
	高根地域	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
	国府地域	114	14.9	35.1	34.2	7.0	8.8
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	65	21.5	41.5	23.1	4.6	9.2
定住年数	1年未満	21	0.0	42.9	57.1	0.0	0.0
	1年以上～5年未満	44	4.5	36.4	43.2	9.1	6.8
	5年以上～10年未満	42	23.8	23.8	40.5	7.1	4.8
	10年以上～20年未満	115	13.9	41.7	32.2	8.7	3.5
	20年以上	1,211	20.7	43.0	25.2	5.6	5.5

【居住地域別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、荘川地域（68.5％）が最も高く、一之宮地域（48.9％）が最も低い。

【定住年数別】

- ・「関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は、20年以上（63.7％）が最も高く、1年以上～5年未満（40.9％）が最も低い。

2 今後の重要課題

- ・「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・次いで、「医療・福祉サービスの確保」の割合が高い。
- ・現総合計画の当初調査（H26）からの変化を見ると、上記2つとも同じ順位であり、その他の項目についても上位は大きな変動がない。

問7 あなたは、今後、高山市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。（3つまで○印）

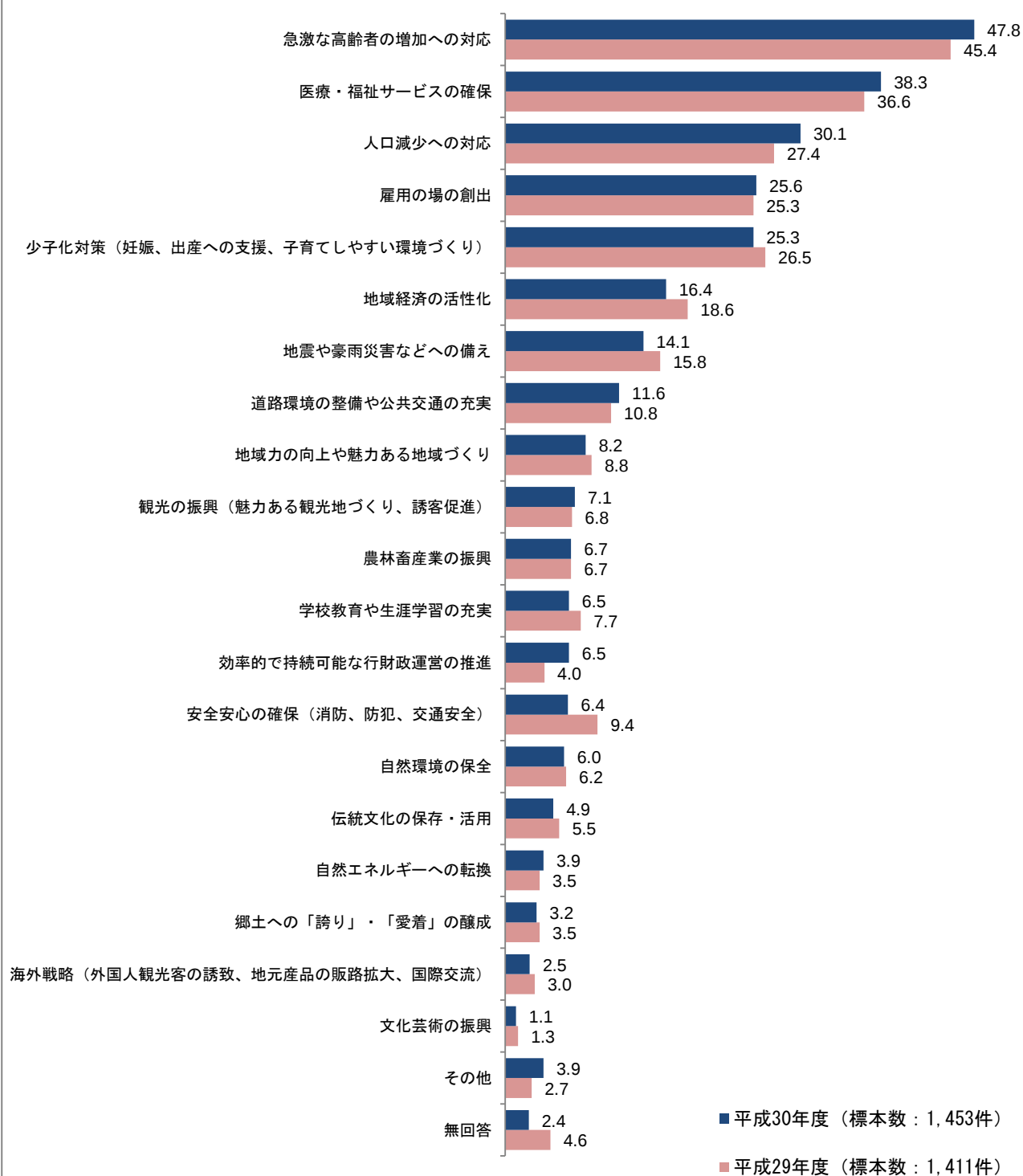
	回答数 (件)	回答率 (%)
急激な高齢者の増加への対応	694	47.8
医療・福祉サービスの確保	556	38.3
人口減少への対応	437	30.1
雇用の場の創出	372	25.6
少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	367	25.3
地域経済の活性化	239	16.4
地震や豪雨災害などへの備え	205	14.1
道路環境の整備や公共交通の充実	168	11.6
地域力の向上や魅力ある地域づくり	119	8.2
観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	103	7.1
農林畜産業の振興	98	6.7
学校教育や生涯学習の充実	94	6.5
効率的で持続可能な行財政運営の推進	94	6.5
安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	93	6.4
自然環境の保全	87	6.0
伝統文化の保存・活用	71	4.9
自然エネルギーへの転換	56	3.9
郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	46	3.2
海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	37	2.5
文化芸術の振興	16	1.1
その他	57	3.9
無回答	35	2.4
計	4,044	

（標本数：1,453件）

※「その他」の内容

- ・市民が楽しめる場所の創出、除雪対策、若者対策（流出抑制、魅力あるまちづくり等）、火葬場の早期建設 など

(単位：%)



属性別集計（性別、年齢別）

		性別		年齢					
		男	女	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数（件）		612	773	93	130	205	222	337	447
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	43.3	51.5	32.3	30.8	43.9	42.3	51.6	57.5
	医療・福祉サービスの確保	35.1	41.1	29.0	29.2	35.1	36.5	39.2	45.4
	人口減少への対応	37.4	23.3	22.6	23.8	24.9	27.0	32.6	35.3
	雇用の場の創出	28.6	23.8	31.2	24.6	33.2	33.3	28.2	15.7
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	25.8	25.0	33.3	40.8	21.0	23.4	23.1	23.3
	地域経済の活性化	19.4	14.5	15.1	18.5	16.6	21.6	18.7	12.1
	地震や豪雨災害などへの備え	10.9	15.9	21.5	9.2	13.2	15.8	12.8	14.5
	道路環境の整備や公共交通の充実	12.7	11.0	14.0	13.1	13.7	13.5	11.6	8.7
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	7.2	8.7	5.4	8.5	11.2	7.2	8.6	7.4
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	7.7	6.9	11.8	9.2	9.3	5.9	6.5	5.1
	農林畜産業の振興	7.7	6.3	4.3	9.2	7.8	7.2	7.4	5.1
	学校教育や生涯学習の充実	6.7	6.6	5.4	19.2	11.2	5.9	3.6	3.4
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	6.9	5.8	4.3	3.1	4.4	7.7	8.3	6.9
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	7.5	5.4	4.3	3.1	5.9	5.0	7.1	8.1
	自然環境の保全	6.0	5.7	5.4	7.7	4.9	6.8	5.3	6.3
	伝統文化の保存・活用	3.4	5.8	8.6	8.5	3.9	1.8	4.2	5.8
	自然エネルギーへの転換	5.7	2.6	3.2	3.1	6.3	5.9	3.6	2.2
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	2.5	3.8	4.3	1.5	2.0	2.3	3.3	4.5
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	2.5	2.8	6.5	6.2	2.4	1.8	1.8	1.8
	文化芸術の振興	1.3	0.8	1.1	1.5	0.5	1.4	1.8	0.4
	その他	3.8	4.0	5.4	6.2	3.4	6.8	3.0	2.7
	無回答	1.5	2.7	2.2	2.3	1.5	0.5	1.5	4.0

【性別】

- ・男女ともに「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・30代以下は「少子化対策」の割合が最も高い。
- ・40代以上は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域									
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数（件）		997	65	25	19	43	72	24	3	114	65
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	48.0	53.8	36.0	52.6	39.5	43.1	45.8	66.7	49.1	44.6
	医療・福祉サービスの確保	40.8	32.3	28.0	47.4	34.9	29.2	29.2	100.0	34.2	32.3
	人口減少への対応	27.5	40.0	36.0	57.9	20.9	43.1	50.0	33.3	27.2	41.5
	雇用の場の創出	25.4	23.1	32.0	26.3	23.3	33.3	37.5	0.0	27.2	16.9
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	25.3	23.1	28.0	26.3	25.6	19.4	29.2	0.0	25.4	30.8
	地域経済の活性化	17.0	9.2	20.0	15.8	20.9	18.1	20.8	0.0	13.2	13.8
	地震や豪雨災害などへの備え	14.9	18.5	16.0	5.3	14.0	5.6	8.3	0.0	19.3	1.5
	道路環境の整備や公共交通の充実	10.7	4.6	8.0	5.3	16.3	16.7	12.5	0.0	7.9	29.2
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	6.6	10.8	20.0	10.5	16.3	18.1	12.5	33.3	7.0	7.7
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	7.3	9.2	4.0	5.3	4.7	4.2	4.2	0.0	5.3	12.3
	農林畜産業の振興	4.3	15.4	20.0	10.5	7.0	18.1	0.0	33.3	14.9	4.6
	学校教育や生涯学習の充実	6.7	3.1	12.0	10.5	9.3	4.2	12.5	0.0	6.1	3.1
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	6.5	4.6	8.0	5.3	11.6	5.6	8.3	0.0	7.0	6.2
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	6.9	7.7	8.0	5.3	0.0	5.6	4.2	33.3	6.1	4.6
	自然環境の保全	6.6	6.2	4.0	0.0	2.3	8.3	0.0	0.0	4.4	4.6
	伝統文化の保存・活用	6.3	1.5	0.0	0.0	2.3	1.4	0.0	0.0	2.6	0.0
	自然エネルギーへの転換	4.2	4.6	0.0	0.0	0.0	2.8	4.2	0.0	3.5	6.2
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	3.5	3.1	4.0	10.5	2.3	1.4	0.0	0.0	3.5	0.0
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	2.7	3.1	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	1.8	4.6
	文化芸術の振興	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	2.6	0.0
	その他	4.3	3.1	0.0	0.0	7.0	1.4	4.2	0.0	2.6	6.2
	無回答	1.7	3.1	0.0	0.0	4.7	2.8	0.0	0.0	4.4	6.2

【居住地域別】

- ・高山、丹生川、清見、一之宮、久々野、国府及び上宝・奥飛騨温泉郷地域は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・高根地域は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。
- ・清見（「急激な高齢者の増加への対応」と同率）、荘川、久々野（「急激な高齢者の増加への対応」と同率）及び朝日地域は「人口減少への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	その他
標本数（件）		156	311	574	(192)	355	(192)	22
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	51.9	54.3	44.4	(38.5)	45.1	(43.2)	54.5
	医療・福祉サービスの確保	37.8	46.3	33.4	(33.9)	38.9	(42.2)	54.5
	人口減少への対応	23.1	30.2	31.0	(28.1)	32.4	(31.3)	31.8
	雇用の場の創出	18.6	21.5	27.7	(26.0)	29.9	(26.6)	31.8
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	17.9	25.7	27.4	(32.3)	24.2	(25.0)	31.8
	地域経済の活性化	14.1	15.1	16.9	(17.2)	18.9	(20.8)	4.5
	地震や豪雨災害などへの備え	12.2	16.4	14.6	(8.9)	12.1	(13.5)	9.1
	道路環境の整備や公共交通の充実	7.1	12.5	13.2	(11.5)	9.6	(8.9)	13.6
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	5.1	7.7	8.7	(8.9)	9.3	(10.9)	4.5
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	9.0	5.5	8.7	(11.5)	5.4	(6.3)	4.5
	農林畜産業の振興	2.6	4.2	6.6	(5.2)	10.7	(10.9)	9.1
	学校教育や生涯学習の充実	3.2	4.5	7.8	(15.1)	7.9	(12.0)	0.0
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	5.8	10.9	5.2	(3.1)	5.6	(3.6)	4.5
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	8.3	9.3	6.1	(7.3)	4.2	(4.7)	0.0
	自然環境の保全	9.6	5.1	6.3	(5.7)	5.4	(5.2)	0.0
	伝統文化の保存・活用	8.3	4.5	4.4	(4.2)	5.1	(4.7)	0.0
	自然エネルギーへの転換	3.8	4.5	4.2	(4.7)	3.1	(3.6)	4.5
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	3.8	3.9	3.1	(3.6)	2.3	(2.1)	4.5
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	4.5	1.9	3.1	(3.6)	1.4	(0.5)	0.0
	文化芸術の振興	2.6	1.3	0.3	(0.0)	1.1	(0.5)	4.5
	その他	3.8	4.2	3.7	(3.1)	3.9	(2.1)	9.1
	無回答	6.4	1.0	1.9	(2.1)	1.4	(2.1)	0.0

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

属性別集計（職業別）

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数（件）		73	164	422	249	114	24	340	37
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	31.5	43.3	39.8	53.8	54.4	29.2	57.1	54.1
	医療・福祉サービスの確保	32.9	31.7	32.0	42.2	39.5	37.5	48.8	35.1
	人口減少への対応	46.6	38.4	30.1	20.1	28.9	29.2	29.7	43.2
	雇用の場の創出	20.5	23.8	34.6	26.9	18.4	33.3	18.5	18.9
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	34.2	25.6	25.8	22.5	29.8	29.2	21.8	32.4
	地域経済の活性化	13.7	22.6	20.4	16.9	13.2	25.0	10.9	13.5
	地震や豪雨災害などへの備え	11.0	9.1	13.7	16.9	14.0	16.7	15.3	5.4
	道路環境の整備や公共交通の充実	8.2	11.0	14.2	12.0	10.5	4.2	9.7	13.5
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	11.0	10.4	9.0	6.0	13.2	4.2	5.3	5.4
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	1.4	8.5	8.1	7.2	6.1	16.7	5.3	13.5
	農林畜産業の振興	45.2	6.1	5.0	5.2	7.9	0.0	2.1	8.1
	学校教育や生涯学習の充実	4.1	6.7	10.4	5.2	7.9	0.0	2.9	5.4
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	2.7	10.4	5.9	4.8	6.1	4.2	6.5	16.2
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	5.5	6.1	5.7	6.0	4.4	4.2	8.8	5.4
	自然環境の保全	8.2	6.1	5.7	5.6	9.6	4.2	5.9	0.0
	伝統文化の保存・活用	1.4	7.9	3.8	5.6	4.4	8.3	5.0	2.7
	自然エネルギーへの転換	8.2	4.9	4.5	4.0	0.0	8.3	2.6	5.4
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	2.7	3.7	3.1	2.4	1.8	4.2	4.1	2.7
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	0.0	4.3	2.4	2.0	4.4	4.2	1.8	2.7
	文化芸術の振興	0.0	4.3	0.7	0.8	0.0	4.2	0.6	0.0
	その他	2.7	4.3	4.7	4.8	3.5	4.2	2.4	2.7
	無回答	1.4	0.6	0.9	2.0	3.5	4.2	4.7	0.0

【職業別】

- ・農林畜産業、学生以外は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・農林畜産業は「人口減少への対応」の割合が最も高い。
- ・学生は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1 年 未 満	1 年 以 上 ～ 5 年 未 満	5 年 以 上 ～ 10 年 未 満	10 年 以 上 ～ 20 年 未 満	20 年 以 上
標本数（件）		21	44	42	115	1211
今後の重要課題（％）	急激な高齢者の増加への対応	19.0	29.5	45.2	35.7	50.1
	医療・福祉サービスの確保	38.1	34.1	28.6	33.0	39.5
	人口減少への対応	0.0	22.7	28.6	23.5	31.8
	雇用の場の創出	14.3	15.9	31.0	30.4	25.7
	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	14.3	34.1	21.4	22.6	25.4
	地域経済の活性化	14.3	9.1	7.1	20.9	16.8
	地震や豪雨災害などへの備え	19.0	15.9	19.0	16.5	13.3
	道路環境の整備や公共交通の充実	23.8	20.5	7.1	16.5	10.7
	地域力の向上や魅力ある地域づくり	23.8	9.1	4.8	8.7	7.8
	観光の振興（魅力ある観光地づくり、誘客促進）	28.6	9.1	19.0	7.0	6.1
	農林畜産業の振興	9.5	0.0	2.4	4.3	7.3
	学校教育や生涯学習の充実	4.8	13.6	19.0	6.1	5.9
	効率的で持続可能な行財政運営の推進	9.5	2.3	4.8	7.0	6.6
	安全安心の確保（消防、防犯、交通安全）	0.0	2.3	4.8	9.6	6.4
	自然環境の保全	0.0	6.8	4.8	7.0	6.1
	伝統文化の保存・活用	4.8	6.8	14.3	6.1	4.5
	自然エネルギーへの転換	4.8	4.5	0.0	7.8	3.6
	郷土への「誇り」・「愛着」の醸成	4.8	2.3	2.4	1.7	3.4
	海外戦略（外国人観光客の誘致、地元産品の販路拡大、国際交流）	19.0	6.8	7.1	4.3	1.7
	文化芸術の振興	0.0	2.3	0.0	1.7	1.0
	その他	9.5	9.1	7.1	4.3	3.6
	無回答	0.0	4.5	0.0	3.5	2.1

【定住年数別】

- ・ 5年未満は「医療・福祉サービスの確保」の割合が最も高い（1年以上～5年未満は「少子化対策」と同率）。
- ・ 5年以上は「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。

3 高山市の取り組みに対する満足度

- ・ 満足度の高い分野は、高い順に「上下水道」分野（89.7%）、「観光」分野（87.2%）、「生活環境」分野（86.4%）となっている。
- ・ 上位3分野について、現総合計画の当初調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
 - 「上下水道」：当初調査の2位以降は1位で順位が高い状態を維持
 - 「観光」：当初調査の6位から順位が上昇
 - 「生活環境」：当初調査の1位から順位が低下
- ・ 満足度の低い分野は、低い順に「労働」分野（20.8%）、「土地利用」分野（25.1%）、「地球環境」分野（29.2%）となっている。
- ・ 下位3分野について、現総合計画の当初調査（H26）からの順位の変化については下記のとおり
 - 「労働」：当初調査から今回までの全調査で最も順位が低い
 - 「土地利用」：当初調査の32位以降は33位で、2番目に順位が低い
 - 「地球環境」：当初調査の29位から順位が低下

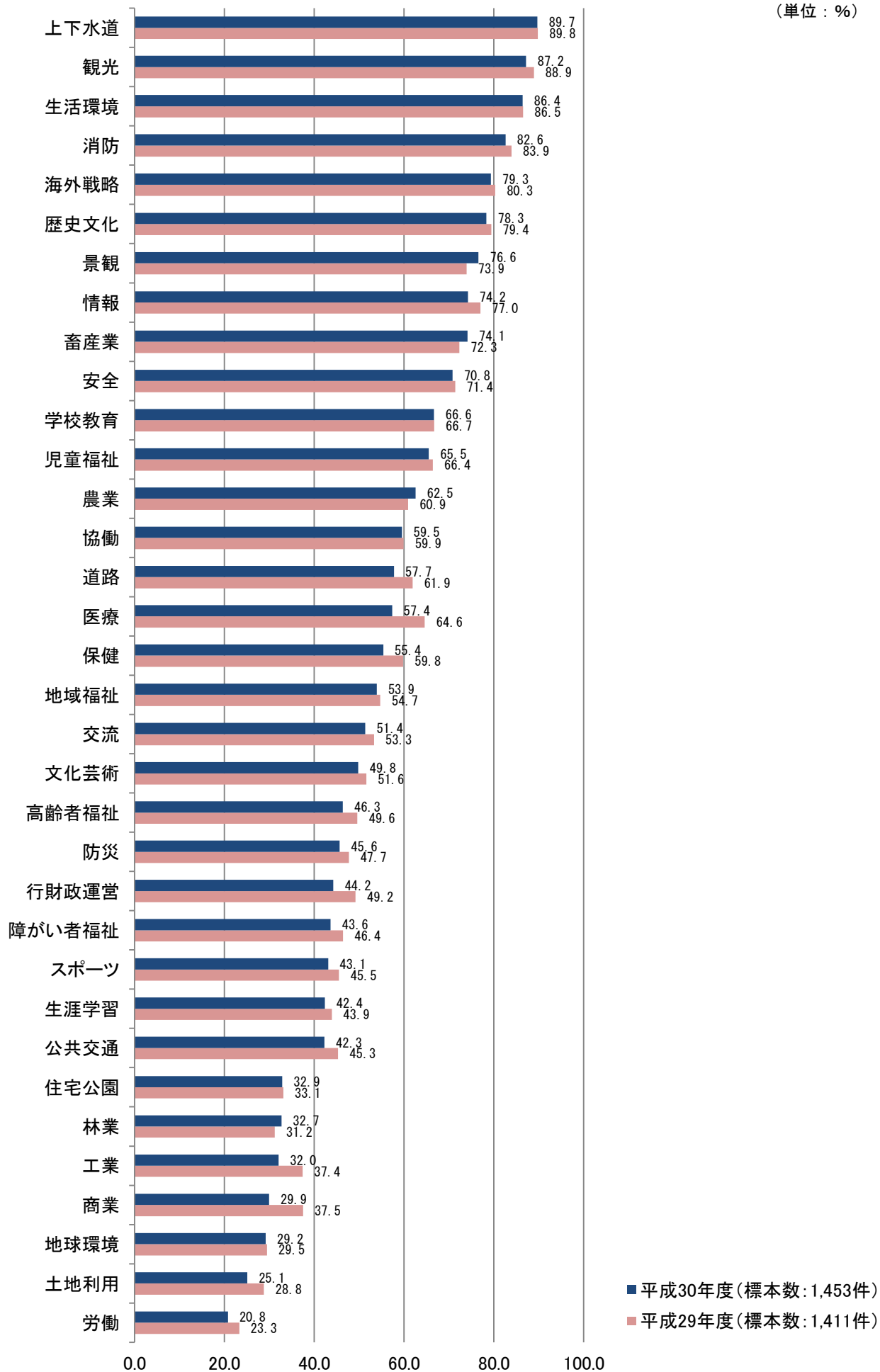
問8 あなたは、現在の高山市の行政サービスやまちづくりに関して、どのように感じていますか。
それぞれの分野の設問ごとにあなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。（それぞれの設問ごとに1つに○印）

（満足度の算出方法）

$$\text{満足度} = \frac{\text{「感じている」、「やや感じている」の合計}}{\text{「感じている」、「やや感じている」、「あまり感じない」、「感じていない」の合計}}$$

順位	満足度 (%)	分野	設問	回答数（件）					前回調査（H29）	
			満足度指標	感じている	やや 感じている	あまり 感じない	感じて いない	無回答	順位	満足度 (%)
1	89.7%	上下水道	あなたは、「安全でおいしい水が提供され、污水处理が適切に行われている」と感じていますか。	586	673	117	28	49	1	89.8
2	87.2%	観光	あなたは、「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じていますか。	586	643	137	44	43	2	88.9
3	86.4%	生活環境	あなたは、「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じていますか。	421	797	156	36	43	3	86.5
4	82.6%	消防	あなたは、「消防・救急救助体制が整っている」と感じていますか。	373	795	215	31	39	4	83.9
5	79.3%	海外戦略	あなたは、「外国人で市内がにぎわい、海外との人や物の交流が進んでいる」と感じていますか。	428	678	219	69	59	5	80.3
6	78.3%	歴史文化	あなたは、「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じていますか。	351	740	249	53	60	6	79.4
7	76.6%	景観	あなたは、「町並み景観や農山村景観など地域の美しい景観が保たれている」と感じていますか。	322	753	264	65	49	8	73.9
8	74.2%	情報	あなたは、「テレビ、ラジオ、インターネットなどを快適に視聴・利用できる環境が整っている」と感じていますか。	382	655	281	79	56	7	77.0
9	74.1%	畜産業	あなたは、「地元の畜産物が広く消費され、畜産業が活性化している」と感じていますか。	274	762	300	62	55	9	72.3
10	70.8%	安全	あなたは、「犯罪や交通事故などが少なく、安全に暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	202	794	368	43	46	10	71.4
11	66.6%	学校教育	あなたは、「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じていますか。	179	736	398	60	80	11	66.7
12	65.5%	児童福祉	あなたは、「子どもが健やかに育つ環境が整っている」と感じていますか。	162	740	416	59	76	12	66.4
13	62.5%	農業	あなたは、「地元の農産物が広く消費され、農業が活性化している」と感じていますか。	160	718	441	85	49	15	60.9
14	59.5%	協働	あなたは、「市民、地域、行政が協働してまちづくりに取り組んでいる」と感じていますか。	179	657	479	89	49	16	59.9
15	57.7%	道路	あなたは、「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じていますか。	139	667	449	141	57	14	61.9
16	57.4%	医療	あなたは、「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じていますか。	206	604	435	167	41	13	64.6
17	55.4%	保健	あなたは、「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じていますか。	149	625	544	80	55	17	59.8
18	53.9%	地域福祉	あなたは、「地域で支え合い、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	118	635	565	79	56	18	54.7
19	51.4%	交流	あなたは、「国内外の都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じていますか。	140	575	553	124	61	19	53.3
20	49.8%	文化芸術	あなたは、「文化芸術を鑑賞したり、活動が支援されて発表したりできる環境が整っている」と感じていますか。	117	571	573	121	71	20	51.6
21	46.3%	高齢者福祉	あなたは、「高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	112	540	627	128	46	21	49.6
22	45.6%	防災	あなたは、「災害から命・財産を守るための準備や体制が整っている」と感じていますか。	103	535	665	95	55	23	47.7
23	44.2%	行財政運営	あなたは、「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じていますか。	97	520	645	133	58	22	49.2
24	43.6%	障がい者福祉	あなたは、「障がい者が必要な支援を受け、自立して暮らせる環境が整っている」と感じていますか。	98	503	646	131	75	24	46.4
25	43.1%	スポーツ	あなたは、「スポーツをしたり、楽しんだりできる環境が整っている」と感じていますか。	106	493	630	161	63	25	45.5
26	42.4%	生涯学習	あなたは、「生涯学習に取り組む機会や学習成果を活かすことができる環境が整っている」と感じていますか。	88	497	704	92	72	27	43.9
27	42.3%	公共交通	あなたは、「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じていますか。	109	480	525	280	59	26	45.3
28	32.9%	住宅公園	あなたは、「身近に憩える公園があり、快適な住宅環境が整っている」と感じていますか。	78	380	659	277	59	30	33.1
29	32.7%	林業	あなたは、「地元の木材が広く利用され、林業・木材産業が活性化している」と感じていますか。	66	391	704	237	55	31	31.2
30	32.0%	工業	あなたは、「個性・魅力あるものづくりが行われ、工業が活性化している」と感じていますか。	64	382	789	157	61	29	37.4
31	29.9%	商業	あなたは、「個性・魅力ある商店経営が行われ、商業が活性化している」と感じていますか。	53	367	776	207	50	28	37.5
32	29.2%	地球環境	あなたは、「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ、地球環境を守る取り組みが進んでいる」と感じていますか。	43	361	796	185	68	32	29.5
33	25.1%	土地利用	あなたは、「保全と開発とのバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている」と感じていますか。	39	306	842	188	78	33	28.8
34	20.8%	労働	あなたは、「若者、女性をはじめ、働く意欲のある人の就労の場が確保されている」と感じていますか。	25	266	821	288	53	34	23.3

(単位：%)



4 協働のまちづくりについて

1 まちづくり協議会の認知度

- ・「名前は知っている」の割合が最も高く、前回（H27）の調査結果に比べ 1.4 ポイント上昇している。
- ・次いで、「よく知っている」の割合が高く、前回（H27）の調査結果に比べ 6.6 ポイント上昇している。

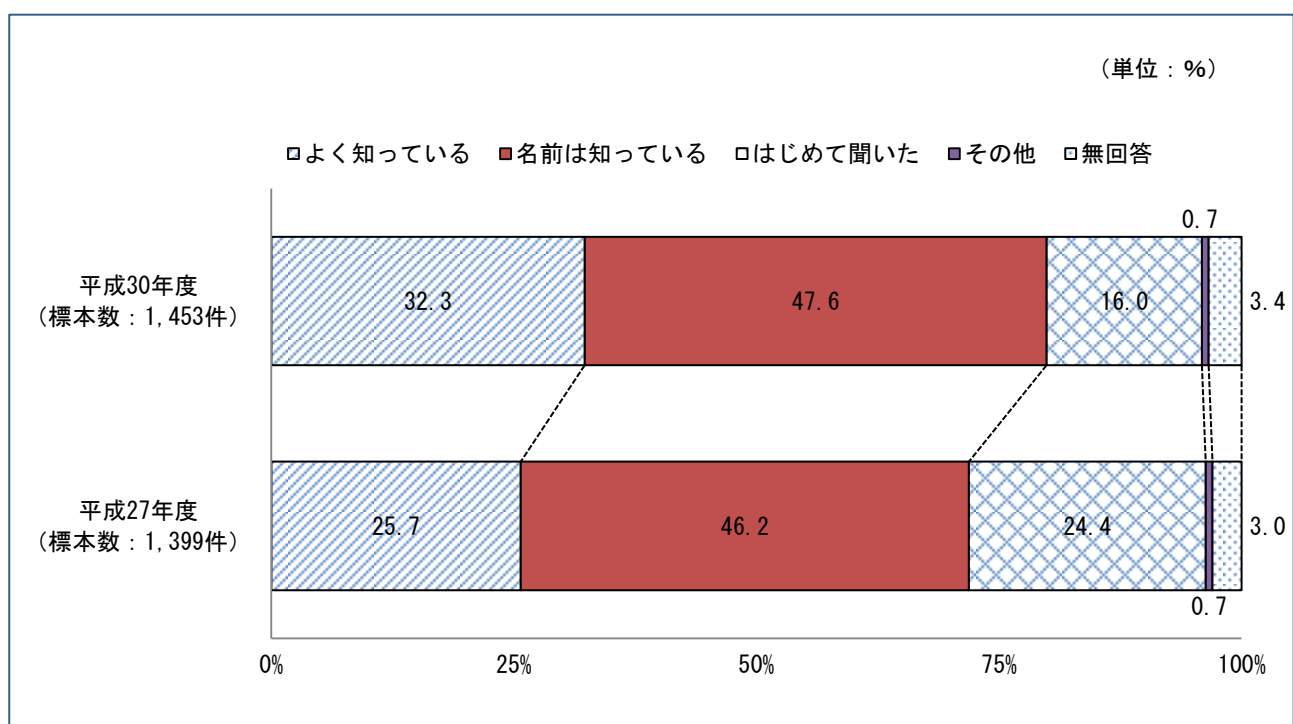
問9 あなたは、お住まいの地域のまちづくり協議会（まち協）について知っていますか。
（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
まちづくり協議会(まち協)をよく知っている	469	32.3
名前は知っているが、何をする組織かわからない	692	47.6
まちづくり協議会(まち協)という名前をはじめて聞いた	233	16.0
その他	10	0.7
無回答	49	3.4
計	1,453	

(標本数：1,453 件)

※「その他」の内容

- ・「なんとなく知っている」など



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数(件)	まちづくり協議会の認知度(%)					
			知っている (まち協)をよく知	まちづくり協議会 かわからない	名前を知っている が、何をする組織	前をはじめて聞いた (まち協)という名	まちづくり協議会	その他
年齢	10代・20代	93	12.9	49.5	37.6	0.0	0.0	
	30代	130	24.6	51.5	23.1	0.0	0.8	
	40代	205	39.0	46.8	12.7	0.5	1.0	
	50代	222	32.4	52.3	12.2	1.4	1.8	
	60代	337	38.6	45.1	14.5	0.6	1.2	
	70代以上	447	30.9	46.5	13.9	0.9	7.8	
居住地域	高山地域	997	28.7	49.5	18.1	0.6	3.1	
	丹生川地域	65	43.1	41.5	10.8	0.0	4.6	
	清見地域	25	44.0	52.0	4.0	0.0	0.0	
	荘川地域	19	68.4	21.1	10.5	0.0	0.0	
	一之宮地域	43	41.9	44.2	11.6	0.0	2.3	
	久々野地域	72	47.2	40.3	5.6	0.0	6.9	
	朝日地域	24	45.8	50.0	4.2	0.0	0.0	
	高根地域	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	
	国府地域	114	34.2	47.4	12.3	2.6	3.5	
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	65	27.7	47.7	18.5	1.5	4.6	

【年齢別】

- ・全ての年齢で「名前は知っているが、何をする組織かわからない」の割合が最も高い。

【居住地域別】

- ・丹生川、荘川、久々野及び高根地域では、「よく知っている」の割合が最も高い。
- ・高山、清見、一之宮、朝日、国府及び上宝・奥飛騨温泉郷地域では、「名前は知っているが、何をする組織かわからない」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数、居住形態別）

		標本数(件)	まちづくり協議会の認知度(%)				
			まちづくり協議会(まち協)をよく知っている	名前を知っているが、何をする組織かわからない	名前を知っているが、初めて聞いた	まちづくり協議会(まち協)という名前をはじめて聞いた	その他
定住年数	1年未満	21	0.0	19.0	66.7	4.8	9.5
	1年以上～5年未満	44	2.3	52.3	40.9	0.0	4.5
	5年以上～10年未満	42	16.7	52.4	23.8	0.0	7.1
	10年以上～20年未満	115	24.3	49.6	24.3	0.0	1.7
	20年以上	1,211	35.3	47.7	13.0	0.7	3.1
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,272	35.0	47.5	13.8	0.7	3.0
	借家(アパート含む)	124	12.1	47.6	35.5	0.8	4.0
	間借	8	0.0	62.5	25.0	0.0	12.5
	社宅・寮	21	14.3	61.9	23.8	0.0	0.0
	その他	9	22.2	33.3	22.2	0.0	22.2

【定住年数別】

- ・ 1年未満は「まちづくり協議会（まち協）という名前をはじめて聞いた」の割合が最も高い。
- ・ 1年以上は「名前を知っているが、何をする組織かわからない」の割合が最も高い。

【居住形態別】

- ・ すべての居住形態において、「名前を知っているが、何をする組織かわからない」の割合が最も高い。

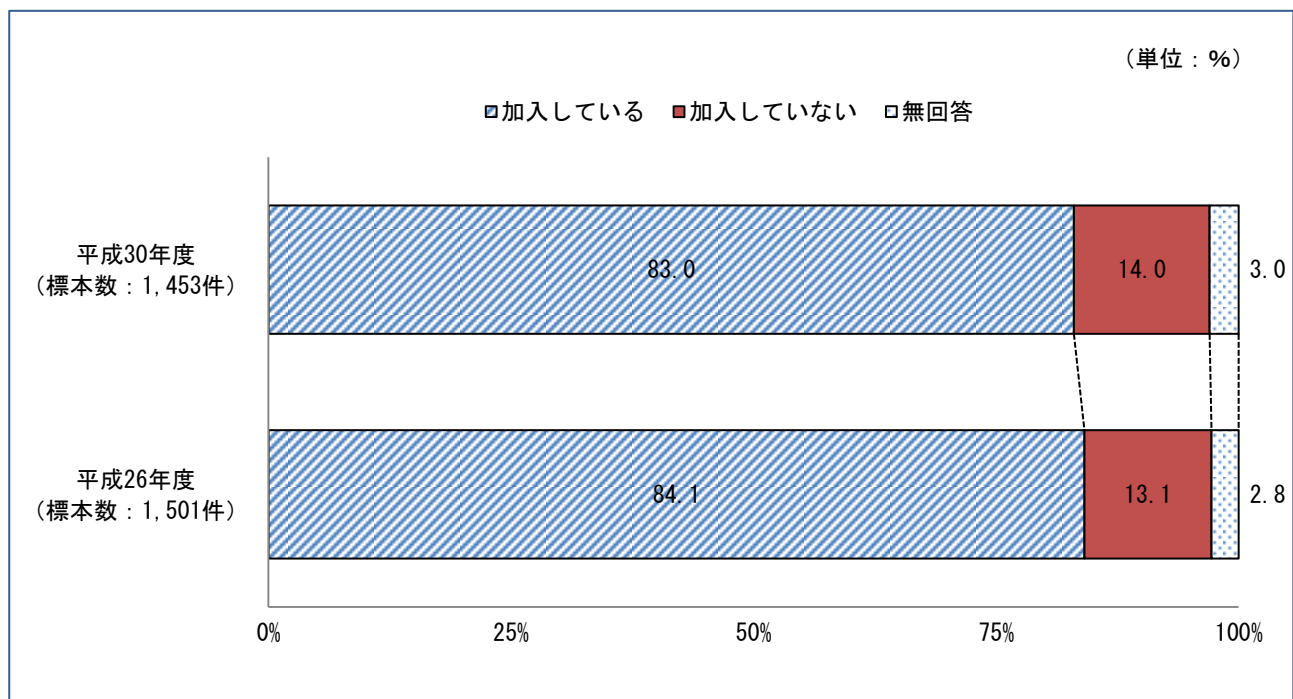
2 町内会への加入状況

- ・「加入している」の割合が高いが、前回（H26）の調査結果（84.1％）に比べ1.1ポイント低下している。

問10 あなたは、町内会（自治会）に加入していますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
加入している	1,206	83.0
加入していない	203	14.0
無回答	44	3.0
計	1,453	

（標本数：1,453件）



属性別集計（年齢別、居住地域別）

		標本数 (件)	町内会への加入状況(%)		
			加入している	加入していない	無回答
年齢	10代・20代	93	51.6	47.3	1.1
	30代	130	73.1	26.9	0.0
	40代	205	82.0	17.6	0.5
	50代	222	89.2	9.5	1.4
	60代	337	92.0	6.5	1.5
	70代以上	447	84.1	9.2	6.7
居住地域	高山地域	997	81.0	16.2	2.7
	丹生川地域	65	89.2	6.2	4.6
	清見地域	25	96.0	4.0	0.0
	荘川地域	19	84.2	15.8	0.0
	一之宮地域	43	72.1	23.3	4.7
	久々野地域	72	90.3	5.6	4.2
	朝日地域	24	95.8	4.2	0.0
	高根地域	3	100.0	0.0	0.0
	国府地域	114	86.0	10.5	3.5
	上宝・奥飛騨温泉郷地域	65	90.8	6.2	3.1

【年齢別】

- ・全ての年齢で「加入している」の割合が最も高い。

【居住地域】

- ・全ての地域で「加入している」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別、定住年数別、居住形態別）

		標本数 (件)	町内会への加入状況(%)		
			加入している	加入していない	無回答
家族構成	単身世帯	156	57.1	38.5	4.5
	夫婦のみ	311	87.1	10.9	1.9
	二世代世帯	574	83.6	14.3	2.1
	(うち中学生以下の子と同居)	(192)	(80.2)	(18.8)	(1.0)
	三世代世帯	355	91.0	6.2	2.8
	(うち中学生以下の子と同居)	(192)	(93.2)	(4.7)	(2.1)
	その他	22	77.3	18.2	4.5
定住年数	1年未満	21	38.1	52.4	9.5
	1年以上～5年未満	44	45.5	50.0	4.5
	5年以上～10年未満	42	57.1	40.5	2.4
	10年以上～20年未満	115	72.2	27.0	0.9
	20年以上	1,211	87.4	9.7	2.9
居住形態	持ち家(分譲マンション・家族所有含む)	1,272	89.4	8.0	2.6
	借家(アパート含む)	124	27.4	69.4	3.2
	間借	8	25.0	62.5	12.5
	社宅・寮	21	61.9	33.3	4.8
	その他	9	66.7	11.1	22.2

【家族構成別】

- ・全ての家族構成で「加入している」の割合が最も高い。

【定住年数別】

- ・5年未満は「加入していない」の割合が最も高く、5年以上は「加入している」の割合が最も高い。

【居住形態別】

- ・持ち家及び社宅・寮は「加入している」の割合が最も高く、借家及び間借は「加入していない」の割合が最も高い。

2-2 町内会に加入しない理由

- ・「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が、前回（H26）の調査結果と同様で最も高い。
- ・前回（H26）の調査結果に比べ「役職などが回ってくるのが負担」の順位・割合が上昇している。

問10-2 問10で、「加入していない」に○をつけた方に伺います。 その理由はなんですか。
（3つまで○印）

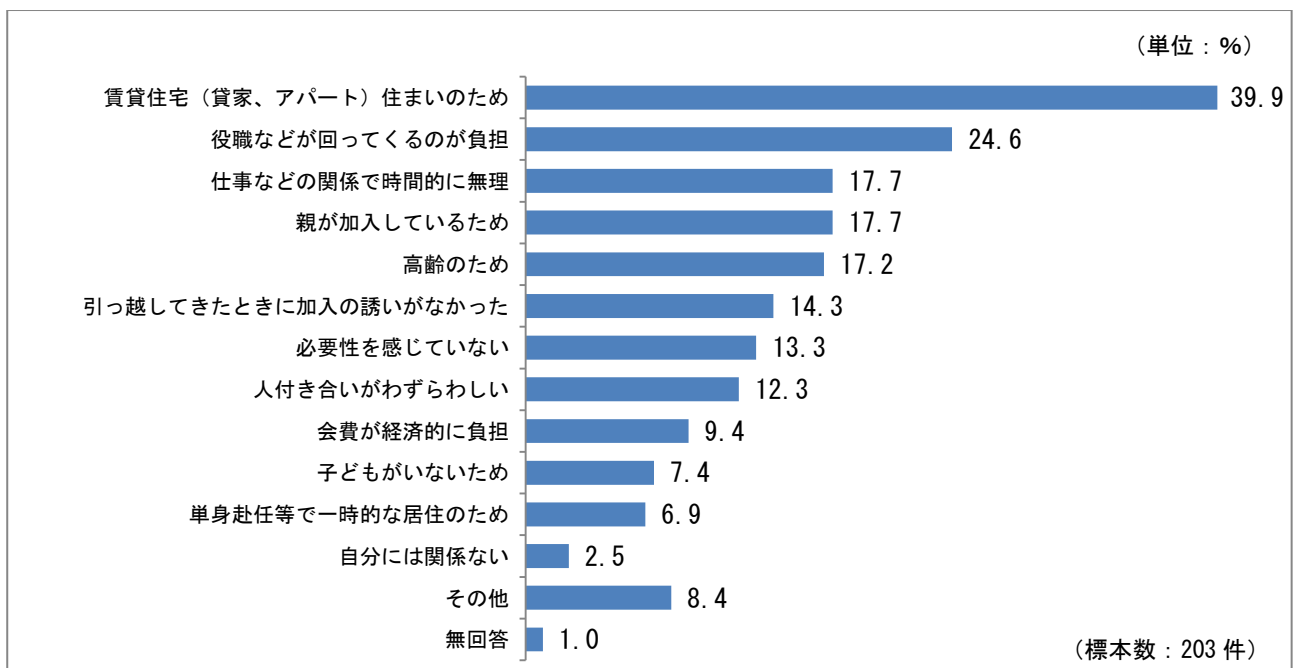
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H26）	
				順位	回答率(%)
1	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	81	39.9	1	41.6
2	役職などが回ってくるのが負担	50	24.6	4	17.8
3	仕事などの関係で時間的に無理	36	17.7	3	18.3
3	親が加入しているため	36	17.7	2	20.8
5	高齢のため	35	17.2	5	17.3
6	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	29	14.3	7	14.2
7	必要性を感じていない	27	13.3	6	15.2
8	人付き合いがわずらわしい	25	12.3	7	14.2
9	会費が経済的に負担	19	9.4	9	11.2
10	子どもがいないため	15	7.4	10	9.1
11	単身赴任等で一時的な居住のため	14	6.9	12	3.6
12	自分には関係ない	5	2.5	11	5.1
	その他	17	8.4		2.5
	無回答	2	1.0		3.6
計		391			

（標本数：203件）

（標本数：197件）

※「その他」の内容

- ・「老人施設に入所している」など



属性別集計（年齢別）

		年齢					
		10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		44	35	36	21	22	41
町内会に加入しない理由(%)	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	38.6	42.9	50.0	57.1	54.5	17.1
	役職などが回ってくるのが負担	13.6	28.6	27.8	19.0	13.6	39.0
	仕事などの関係で時間的に無理	15.9	20.0	19.4	33.3	18.2	7.3
	親が加入しているため	40.9	20.0	27.8	4.8	0.0	0.0
	高齢のため	0.0	0.0	2.8	0.0	9.1	70.7
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	11.4	20.0	13.9	9.5	27.3	9.8
	必要性を感じていない	4.5	5.7	16.7	9.5	27.3	19.5
	人付き合いがわずらわしい	9.1	17.1	16.7	4.8	22.7	4.9
	会費が経済的に負担	4.5	8.6	13.9	4.8	4.5	14.6
	子どもがいないため	6.8	0.0	11.1	9.5	9.1	9.8
	単身赴任等で一時的な居住のため	9.1	2.9	11.1	19.0	4.5	0.0
	自分には関係ない	0.0	5.7	0.0	0.0	4.5	4.9
	その他	9.1	2.9	8.3	4.8	4.5	17.1
	無回答	2.3	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0

【年齢別】

- ・ 10代・20代は「親が加入しているため」の割合が最も高い。
- ・ 30代～60代は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。
- ・ 70代以上は「高齢のため」の割合が最も高い。

属性別集計（家族構成別）

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	三世代世帯	（うち中学生以下の子と同居）	その他
標本数（件）		60	34	82	（36）	22	（9）	4
町内会に加入しない理由（％）	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	53.3	55.9	34.1	（50.0）	4.5	（0.0）	25.0
	役職などが回ってくるのが負担	18.3	23.5	26.8	（30.6）	36.4	（33.3）	25.0
	仕事などの関係で時間的に無理	18.3	20.6	12.2	（16.7）	27.3	（11.1）	25.0
	親が加入しているため	1.7	2.9	26.8	（11.1）	54.5	（66.7）	0.0
	高齢のため	20.0	23.5	9.8	（2.8）	18.2	（22.2）	50.0
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	16.7	14.7	15.9	（25.0）	4.5	（11.1）	0.0
	必要性を感じていない	15.0	17.6	11.0	（5.6）	13.6	（22.2）	0.0
	人付き合いがわずらわしい	13.3	8.8	14.6	（16.7）	4.5	（0.0）	25.0
	会費が経済的に負担	8.3	8.8	11.0	（11.1）	9.1	（11.1）	0.0
	子どもがいないため	8.3	14.7	3.7	（0.0）	9.1	（0.0）	0.0
	単身赴任等で一時的な居住のため	20.0	2.9	1.2	（2.8）	0.0	（0.0）	0.0
	自分には関係ない	0.0	2.9	3.7	（0.0）	4.5	（11.1）	0.0
	その他	6.7	5.9	7.3	（11.1）	13.6	（11.1）	50.0
	無回答	1.7	2.9	0.0	（0.0）	0.0	（0.0）	0.0

【家族構成別】

- ・単身世帯、夫婦のみ及び二世代世帯は「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。
- ・三世代世帯は「親が加入しているため」の割合が最も高い。

属性別集計（定住年数別）

		定住年数				
		1 年 未 満	1 年 以 上 ～ 5 年 未 満	5 年 以 上 ～ 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上 ～ 2 0 年 未 満	2 0 年 以 上
標本数(件)		11	22	17	31	118
町 内 会 に 加 入 し な い 理 由 (%)	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	72.7	54.5	47.1	41.9	33.1
	役職などが回ってくるのが負担	9.1	9.1	29.4	16.1	30.5
	仕事などの関係で時間的に無理	36.4	13.6	5.9	6.5	19.5
	親が加入しているため	0.0	0.0	5.9	29.0	22.0
	高齢のため	0.0	9.1	5.9	12.9	22.0
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	18.2	18.2	41.2	6.5	11.9
	必要性を感じていない	9.1	0.0	11.8	9.7	17.8
	人付き合いがわずらわしい	0.0	18.2	11.8	16.1	11.9
	会費が経済的に負担	0.0	4.5	5.9	9.7	11.0
	子どもがいないため	0.0	13.6	17.6	0.0	5.9
	単身赴任等で一時的な居住のため	27.3	18.2	17.6	3.2	2.5
	自分には関係ない	0.0	4.5	0.0	0.0	3.4
	その他	0.0	13.6	5.9	12.9	6.8
	無回答	0.0	0.0	5.9	3.2	0.0

【定住年数別】

- ・全ての定住年数で「賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため」の割合が最も高い。

属性別集計(居住形態別)

		居住形態				
		持ち家（分譲マンション・家族所有含む）	借家（アパート含む）	間借	社宅・寮	その他
標本数（件）		102	86	5	7	1
町内会に加入しない理由（％）	賃貸住宅（貸家、アパート）住まいのため	5.9	81.4	0.0	71.4	0.0
	役職などが回ってくるのが負担	38.2	11.6	20.0	0.0	0.0
	仕事などの関係で時間的に無理	19.6	16.3	20.0	0.0	0.0
	親が加入しているため	31.4	3.5	20.0	0.0	0.0
	高齢のため	27.5	4.7	20.0	0.0	0.0
	引っ越してきたときに加入の誘いがなかった	5.9	20.9	20.0	57.1	0.0
	必要性を感じていない	16.7	11.6	0.0	0.0	0.0
	人付き合いがわずらわしい	16.7	8.1	20.0	0.0	0.0
	会費が経済的に負担	13.7	5.8	0.0	0.0	0.0
	子どもがいないため	7.8	8.1	0.0	0.0	0.0
	単身赴任等で一時的な居住のため	2.9	11.6	0.0	14.3	0.0
	自分には関係ない	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	11.8	1.2	40.0	14.3	100.0
無回答	1.0	1.2	0.0	0.0	0.0	

【居住形態別】

- ・持ち家は「役職などが回ってくるのが負担」の割合が最も高い。
- ・借家及び社宅・寮は「賃貸住宅(貸家、アパート)住まいのため」の割合が最も高い。

3 まちづくり活動に参加しやすいするための条件

- ・ 前回（H26）の調査結果に比べ「友人など身近な人と一緒に参加できる」の順位・割合が低下している。「活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている」の順位・割合が上昇している。

問 1 1 あなたは、地域活動や市民活動など、まちづくりの活動に参加する場合、どのような条件があれば参加しやすいですか。（3つまで○印）

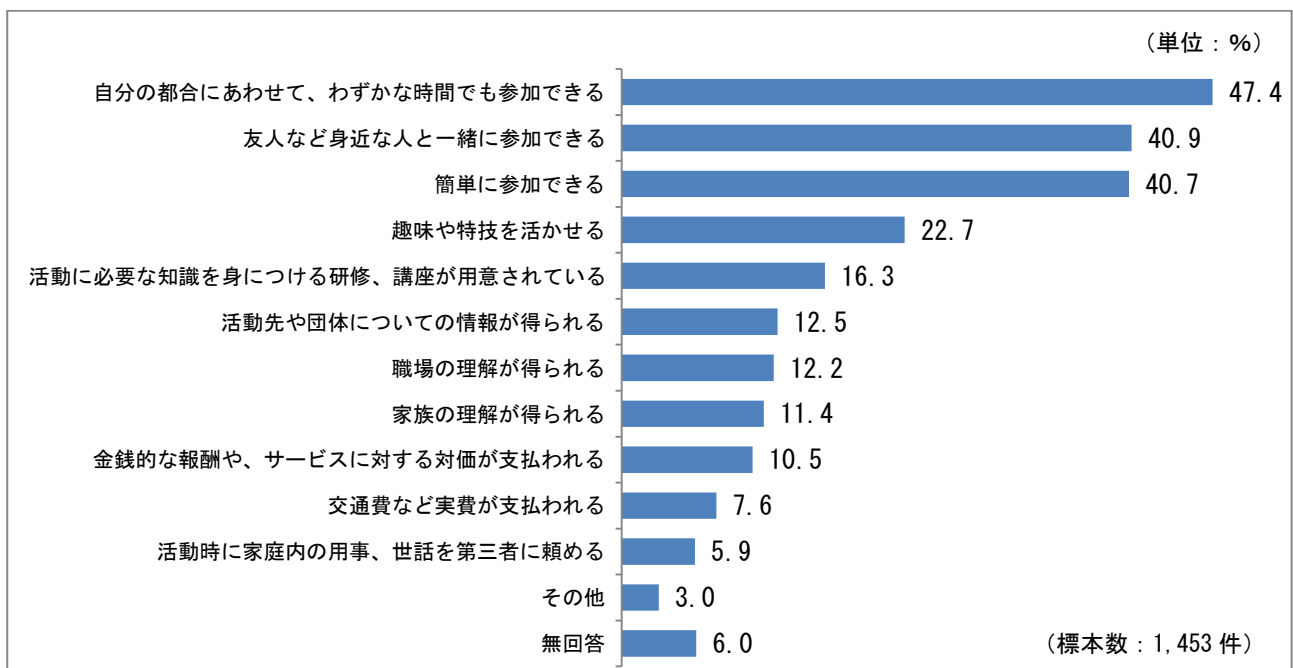
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H26）	
				順位	回答率(%)
1	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	689	47.4	2	48.5
2	友人など身近な人と一緒に参加できる	595	40.9	1	49.3
3	簡単に参加できる	592	40.7	3	42.5
4	趣味や特技を活かせる	330	22.7	4	21.1
5	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	237	16.3	8	11.2
6	活動先や団体についての情報が得られる	181	12.5	5	14.3
7	職場の理解が得られる	177	12.2	7	12.3
8	家族の理解が得られる	165	11.4	6	13.2
9	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	153	10.5	9	7.9
10	交通費など実費が支払われる	111	7.6	10	6.9
11	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	86	5.9	11	5.8
	その他	43	3.0		1.7
	無回答	87	6.0		6.9
計		3,446			

（標本数：1,453 件）

（標本数：1,501 件）

※「その他」の内容

- ・ 「高齢、障がい、病気でなければ」、「活動場所が家から近い」 など



属性別集計(性別、年齢別)

		性別		年齢					
		男	女	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		612	773	93	130	205	222	337	447
地域活動に参加しやすくなるための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	46.4	48.5	46.2	44.6	54.1	53.2	53.7	38.9
	友人など身近な人と一緒に参加できる	34.2	45.8	43.0	30.0	33.2	27.5	39.5	54.8
	簡単に参加できる	40.8	41.4	47.3	43.1	43.4	41.4	42.4	36.2
	趣味や特技を活かせる	26.1	19.7	22.6	17.7	18.0	19.4	26.1	25.5
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	16.0	16.8	10.8	16.2	13.7	18.5	21.1	14.1
	活動先や団体についての情報が得られる	12.9	11.9	7.5	6.9	11.7	11.3	18.7	11.6
	職場の理解が得られる	16.0	9.4	17.2	30.0	21.0	18.0	6.5	3.6
	家族の理解が得られる	11.1	11.3	6.5	11.5	13.7	8.6	9.8	14.3
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	12.9	9.2	20.4	24.6	16.1	10.4	6.8	4.9
	交通費など実費が支払われる	8.3	7.4	15.1	11.5	8.3	8.6	8.9	3.6
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	4.4	7.4	4.3	14.6	11.7	5.0	3.3	3.6
	その他	2.9	2.8	1.1	1.5	3.4	2.3	1.2	4.9
	無回答	5.7	5.4	2.2	3.1	3.9	3.6	4.2	10.3

【性別】

- ・男女ともに「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・10代・20代は「簡単に参加できる」の割合が最も高い。
- ・30代～60代は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。
- ・70代以上は「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域									
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		997	65	25	19	43	72	24	3	114	65
地域活動に参加しやすくなるための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	48.4	44.6	44.0	36.8	41.9	47.2	70.8	66.7	36.8	52.3
	友人など身近な人と一緒に参加できる	39.4	58.5	32.0	47.4	37.2	34.7	29.2	33.3	51.8	43.1
	簡単に参加できる	42.0	38.5	36.0	47.4	32.6	36.1	16.7	33.3	44.7	36.9
	趣味や特技を活かせる	22.2	27.7	16.0	26.3	18.6	23.6	29.2	33.3	28.1	21.5
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	16.5	12.3	12.0	5.3	20.9	19.4	25.0	0.0	16.7	10.8
	活動先や団体についての情報が得られる	13.9	6.2	16.0	5.3	7.0	9.7	12.5	33.3	6.1	15.4
	職場の理解が得られる	12.3	9.2	20.0	26.3	16.3	9.7	16.7	0.0	10.5	10.8
	家族の理解が得られる	10.3	21.5	20.0	10.5	7.0	19.4	8.3	0.0	14.9	4.6
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	11.8	6.2	20.0	15.8	14.0	5.6	4.2	0.0	4.4	9.2
	交通費など実費が支払われる	8.0	4.6	8.0	10.5	7.0	2.8	16.7	0.0	6.1	9.2
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	6.3	1.5	8.0	10.5	2.3	5.6	0.0	0.0	6.1	7.7
	その他	2.8	1.5	0.0	0.0	2.3	5.6	0.0	0.0	2.6	6.2
	無回答	5.2	6.2	4.0	0.0	14.0	8.3	0.0	33.3	6.1	9.2

【居住地域別】

- ・高山、清見、一之宮、久々野、朝日、高根及び上宝・奥飛騨温泉郷地域は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。
- ・丹生川、荘川及び国府地域は「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い（荘川地域は「簡単に参加できる」と同率）。

属性別集計(家族構成別)

		家族構成						
		単身世帯	夫婦のみ	二世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)	三世代世帯 (うち中学生以下の子と同居)	その他		
標本数(件)		156	311	574 (192)	355 (192)	22		
地域活動に参加しやすくするための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	48.1	46.6	50.7 (49.0)	43.7 (43.2)	40.9		
	友人など身近な人と一緒に参加できる	42.9	39.5	38.5 (37.0)	44.8 (49.0)	45.5		
	簡単に参加できる	39.1	39.9	42.7 (45.3)	39.4 (40.6)	40.9		
	趣味や特技を活かせる	19.2	27.7	21.6 (20.3)	22.3 (24.0)	13.6		
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	15.4	18.3	16.2 (15.1)	14.9 (16.7)	13.6		
	活動先や団体についての情報が得られる	10.9	17.4	12.2 (8.9)	10.4 (12.0)	4.5		
	職場の理解が得られる	9.6	7.1	15.7 (21.9)	13.5 (15.6)	9.1		
	家族の理解が得られる	1.3	11.6	11.3 (15.6)	16.1 (18.2)	9.1		
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	9.6	9.3	12.5 (17.2)	9.9 (10.4)	4.5		
	交通費など実費が支払われる	5.8	5.8	9.1 (10.9)	9.0 (6.8)	0.0		
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	4.5	2.9	8.0 (15.1)	5.6 (6.8)	4.5		
	その他	5.1	4.2	1.6 (2.1)	2.8 (3.1)	4.5		
	無回答	9.0	4.8	4.2 (2.1)	5.9 (3.6)	13.6		

【家族構成別】

- ・単身世帯、夫婦のみ及び二世代世帯は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。
- ・三世代世帯は「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い。

属性別集計(職業別)

		職業							
		農林畜産業	自営業	会社員・公務員・団体職員	パート・アルバイト・内職	家事従事者	学生	無職	その他
標本数(件)		73	164	422	249	114	24	340	37
地域活動に参加しやすいするための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	45.2	44.5	52.8	54.6	50.0	33.3	39.4	37.8
	友人など身近な人と一緒に参加できる	45.2	36.0	29.9	43.8	47.4	54.2	50.3	45.9
	簡単に参加できる	34.2	37.8	43.4	41.8	41.2	54.2	38.8	43.2
	趣味や特技を活かせる	20.5	26.8	20.6	20.9	19.3	20.8	25.9	35.1
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	19.2	17.7	15.9	17.7	17.5	12.5	13.5	18.9
	活動先や団体についての情報が得られる	9.6	18.3	10.7	9.2	21.1	12.5	12.1	16.2
	職場の理解が得られる	6.8	8.5	24.9	11.6	5.3	8.3	3.8	5.4
	家族の理解が得られる	30.1	13.4	8.5	9.6	14.9	0.0	11.5	8.1
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	9.6	11.0	16.6	10.0	4.4	20.8	5.0	5.4
	交通費など実費が支払われる	4.1	6.7	9.0	10.4	6.1	8.3	5.3	10.8
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	2.7	7.9	6.9	8.4	4.4	4.2	3.8	2.7
	その他	4.1	1.2	2.4	1.6	5.3	0.0	4.1	2.7
	無回答	6.8	9.8	2.6	2.4	5.3	4.2	10.0	2.7

【職業別】

- ・農林畜産業、自営業、会社員・公務員・団体職員、パート・アルバイト・内職及び家事従事者は「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。
- ・農林畜産業（「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」と同率）、学生及び無職は「友人など身近な人と一緒に参加できる」の割合が最も高い（学生は「簡単に参加できる」と同率）。

属性別集計(定住年数別)

		定住年数				
		1 年 未 満	1 年 以 上 ～ 5 年 未 満	5 年 以 上 ～ 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上 ～ 2 0 年 未 満	2 0 年 以 上
標本数(件)		21	44	42	115	1211
地域活動に参加しやすくなるための条件(%)	自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる	57.1	43.2	69.0	55.7	46.2
	友人など身近な人と一緒に参加できる	19.0	27.3	23.8	37.4	42.9
	簡単に参加できる	38.1	38.6	47.6	42.6	40.7
	趣味や特技を活かせる	19.0	11.4	14.3	18.3	23.9
	活動に必要な知識を身につける研修、講座が用意されている	9.5	20.5	21.4	15.7	16.0
	活動先や団体についての情報が得られる	9.5	4.5	9.5	16.5	12.6
	職場の理解が得られる	9.5	20.5	21.4	12.2	11.7
	家族の理解が得られる	9.5	4.5	7.1	8.7	12.1
	金銭的な報酬や、サービスに対する対価が支払われる	19.0	20.5	23.8	16.5	9.1
	交通費など実費が支払われる	14.3	6.8	7.1	11.3	7.3
	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	4.8	11.4	11.9	7.0	5.5
	その他	0.0	0.0	7.1	2.6	2.9
	無回答	9.5	15.9	2.4	0.9	5.8

【定住年数別】

- ・全ての定住年数で「自分の都合にあわせて、わずかな時間でも参加できる」の割合が最も高い。

4 重点的に協働で取り組むべき分野

- ・上位から「福祉・健康・医療」、「教育」、「環境」の順位は、前回（H26）の調査結果と同じである。そのうち「福祉・健康・医療」の割合が大きく低下している。
- ・前回（H26）の調査結果に比べ「文化」、「地域交流」の順位・割合が上昇している。「地域経済」、「エネルギー」の順位・割合が低下している。

問12 あなたは、どのような分野を重点的にまちづくり協議会や市民活動団体、行政が協働で取り組むべきだとお考えですか。（3つまで○印）

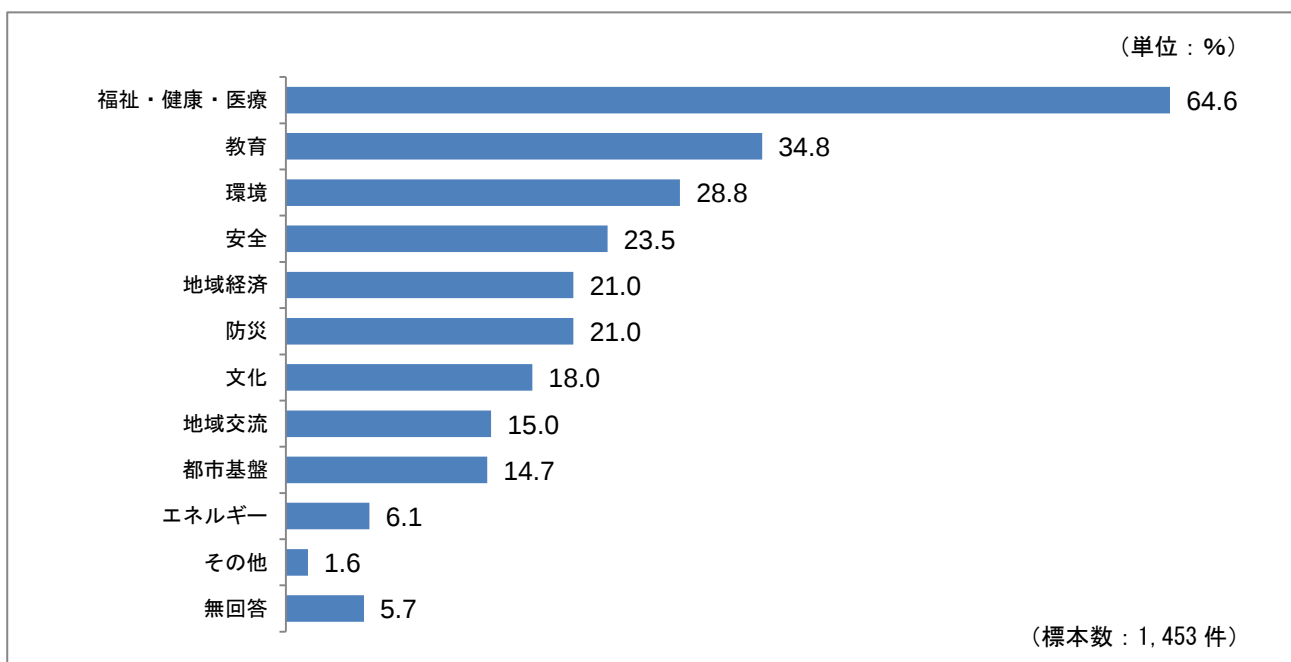
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H26）	
				順位	回答率(%)
1	福祉・健康・医療（介護、子育て、健康づくりなど）	939	64.6	1	71.2
2	教育（学校教育、生涯学習、スポーツ、青少年の健全育成など）	505	34.8	2	33.4
3	環境（道路・河川の美化、自然環境の保全、ごみの資源化など）	418	28.8	3	30.2
4	安全（防犯、交通安全など）	342	23.5	5	20.7
5	地域経済（商店街の活性化、特産品の開発など）	305	21.0	4	26.6
5	防災（災害予防、被災者支援など）	305	21.0	6	20.5
7	文化（文化芸術、伝統・祭りの保存など）	261	18.0	9	13.5
8	地域交流（地域活動、ボランティア、NPO活動など）	218	15.0	10	10.2
9	都市基盤（道路・河川・公園の整備など）	214	14.7	8	13.8
10	エネルギー（省エネ、再生可能エネルギーへの転換など）	89	6.1	7	14.1
	その他	23	1.6		0.6
	無回答	83	5.7		5.7
計		3,702			

（標本数：1,453件）

（標本数：1,501件）

※「その他」内容

- ・「雇用の場の創出」 など



属性別集計(性別、年齢別)

		性別		年齢					
		男	女	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		612	773	93	130	205	222	337	447
重点的に協働で取り組むべき分野(%)	福祉・健康・医療	60.5	67.8	68.8	60.8	59.5	66.2	62.0	68.7
	教育	34.5	35.4	35.5	50.0	45.9	31.5	33.8	27.3
	環境	33.5	24.6	20.4	25.4	24.9	30.2	28.5	33.1
	安全	24.7	22.6	25.8	19.2	21.0	22.5	24.9	26.0
	地域経済	20.9	21.6	29.0	30.8	28.8	18.0	19.0	16.6
	防災	21.2	20.7	19.4	18.5	23.4	24.8	21.4	19.2
	文化	17.8	18.8	26.9	17.7	22.4	14.0	18.7	15.7
	地域交流	12.9	16.3	8.6	16.2	11.2	15.3	18.1	15.7
	都市基盤	17.3	12.7	11.8	20.8	15.1	14.4	13.9	14.1
	エネルギー	8.2	4.8	6.5	4.6	7.8	8.1	7.1	3.8
	その他	2.5	1.0	3.2	1.5	2.0	0.9	2.1	1.1
	無回答	4.7	5.6	1.1	1.5	2.4	4.1	4.5	10.1

【性別】

- ・男女とも「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・全ての年齢で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域									
		高山地域	丹生川地域	清見地域	莊川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛驒温泉郷地域
標本数(件)		997	65	25	19	43	72	24	3	114	65
重点的に協働で取り組むべき分野（％）	福祉・健康・医療	64.9	63.1	80.0	68.4	72.1	61.1	58.3	66.7	64.0	58.5
	教育	35.3	29.2	40.0	42.1	41.9	30.6	33.3	0.0	32.5	33.8
	環境	27.8	41.5	12.0	52.6	16.3	26.4	33.3	66.7	30.7	36.9
	安全	26.0	20.0	20.0	21.1	14.0	22.2	20.8	33.3	17.5	13.8
	地域経済	19.5	29.2	24.0	21.1	27.9	30.6	33.3	0.0	14.0	23.1
	防災	23.3	21.5	12.0	10.5	18.6	18.1	16.7	0.0	17.5	9.2
	文化	18.7	16.9	16.0	26.3	11.6	16.7	25.0	0.0	14.9	15.4
	地域交流	14.4	10.8	4.0	15.8	20.9	20.8	33.3	33.3	14.0	15.4
	都市基盤	14.6	12.3	16.0	15.8	9.3	11.1	8.3	0.0	16.7	23.1
	エネルギー	6.5	1.5	8.0	0.0	4.7	4.2	4.2	0.0	8.8	7.7
	その他	1.8	1.5	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	1.8	1.5
	無回答	4.8	9.2	8.0	0.0	11.6	6.9	4.2	33.3	4.4	9.2

【居住地域別】

- ・全ての地域で「福祉・健康・医療」の割合が最も高い（高根地域は「環境」と同率）。

5 協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの

- ・前回（H27）の調査結果に比べ「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」の順位・割合が上昇している。「若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ」の順位・割合が低下している。

問13 あなたは、まちづくり協議会や市民活動団体、行政が協働でまちづくりをすすめていくうえで、主に何が必要であると考えますか。（3つまで○印）

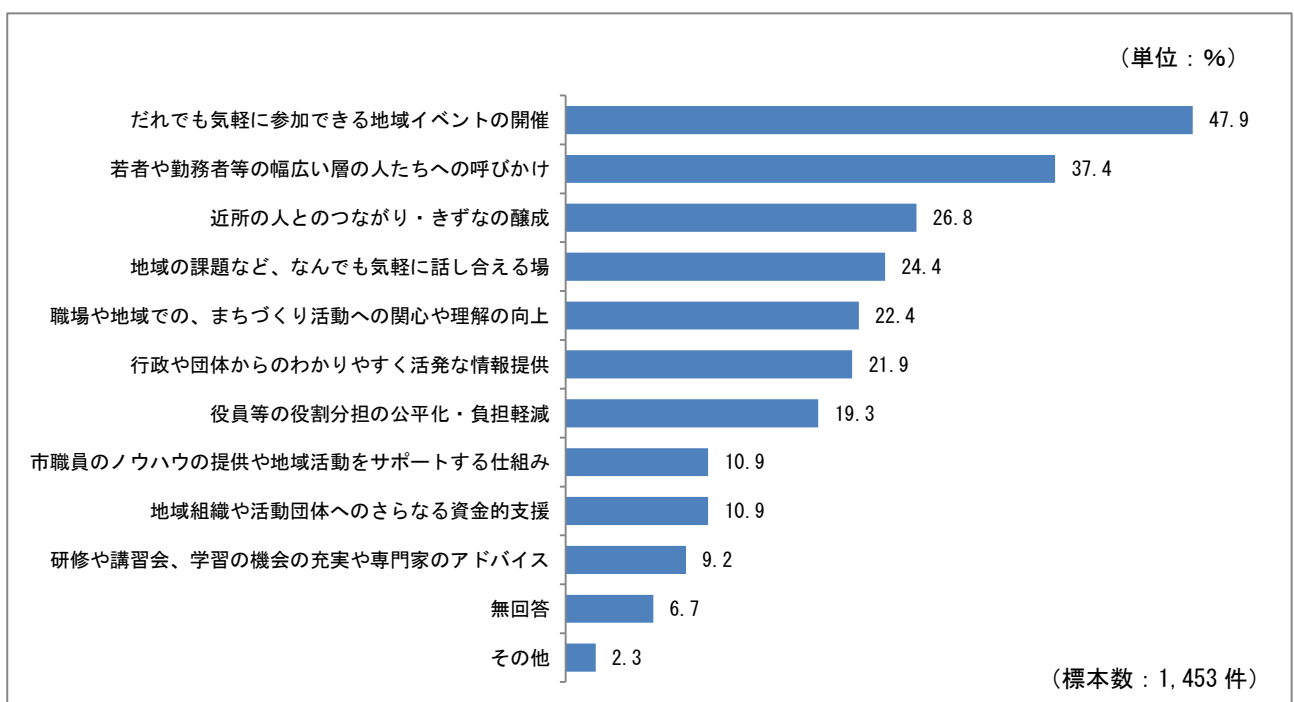
順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H27）	
				順位	回答率(%)
1	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	696	47.9	2	41.2
2	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	544	37.4	1	42.7
3	近所の人とのつながり・きずなの醸成	389	26.8	3	29.2
4	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	355	24.4	4	26.2
5	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	326	22.4	5	22.1
6	行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供	318	21.9	6	22.0
7	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	281	19.3	7	19.6
8	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	159	10.9	10	9.5
9	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	158	10.9	8	11.6
10	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	134	9.2	9	10.2
	その他	97	6.7		2.7
	無回答	33	2.3		8.2
計		3,490			

（標本数：1,453 件）

（標本数：1,399 件）

※「その他」の内容

- ・「活動内容の精査」、「住民の意識改革」 など



属性別集計(性別、年齢別)

		性別		年齢					
		男	女	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
標本数(件)		612	773	93	130	205	222	337	447
協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの(%)	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	44.3	51.1	53.8	48.5	46.8	44.1	47.2	49.7
	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	39.4	36.5	57.0	42.3	31.7	33.3	38.6	36.0
	近所の人とのつながり・きずなの醸成	25.7	26.3	23.7	20.0	21.5	17.1	26.4	36.9
	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	26.3	22.9	18.3	15.4	24.4	22.5	25.8	28.6
	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	24.0	21.7	31.2	37.7	27.8	19.8	24.3	13.6
	行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供	20.1	23.2	17.2	20.0	18.0	26.6	24.3	20.6
	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	21.4	18.1	11.8	29.2	28.8	23.4	15.7	14.8
	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	12.3	9.7	7.5	9.2	13.2	11.7	11.3	10.7
	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	14.9	7.9	8.6	11.5	11.7	10.8	14.8	7.8
	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	8.3	10.1	5.4	3.8	11.2	10.4	11.3	8.7
	その他	3.1	1.8	1.1	0.8	3.9	2.3	3.6	1.3
	無回答	5.1	7.4	3.2	3.8	3.9	5.0	4.5	11.2

【性別】

- ・男女ともに「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」の割合が最も高い。

【年齢別】

- ・10代・20代は「若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ」の割合が最も高い。
- ・30代以上は「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」の割合が最も高い。

属性別集計（居住地域別）

		居住地域									
		高山地域	丹生川地域	清見地域	荘川地域	一之宮地域	久々野地域	朝日地域	高根地域	国府地域	上宝・奥飛騨温泉郷地域
標本数(件)		997	65	25	19	43	72	24	3	114	65
協働でまちづくりをすすめていくうえで必要なもの(%)	だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催	50.8	43.1	36.0	42.1	32.6	37.5	25.0	33.3	47.4	44.6
	若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ	38.2	40.0	36.0	47.4	32.6	36.1	62.5	33.3	32.5	27.7
	近所の人とのつながり・きずなの醸成	28.0	23.1	20.0	26.3	11.6	20.8	25.0	0.0	28.9	27.7
	地域の課題など、なんでも気軽に話し合える場	23.4	30.8	32.0	15.8	16.3	29.2	20.8	33.3	26.3	32.3
	職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上	22.9	18.5	40.0	26.3	25.6	23.6	16.7	33.3	21.9	12.3
	行政や団体からのわかりやすく活発な情報提供	20.8	21.5	32.0	15.8	27.9	30.6	25.0	0.0	21.1	20.0
	役員等の役割分担の公平化・負担軽減	19.1	16.9	16.0	31.6	25.6	20.8	12.5	0.0	17.5	21.5
	市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み	10.6	13.8	12.0	15.8	9.3	9.7	20.8	66.7	11.4	10.8
	地域組織や活動団体へのさらなる資金的支援	9.9	15.4	8.0	42.1	16.3	13.9	25.0	0.0	2.6	16.9
	研修や講習会、学習の機会の充実や専門家のアドバイス	9.7	3.1	8.0	5.3	4.7	11.1	8.3	0.0	9.6	12.3
	その他	2.2	0.0	4.0	0.0	2.3	1.4	4.2	0.0	4.4	3.1
	無回答	5.9	7.7	4.0	5.3	20.9	6.9	4.2	33.3	4.4	10.8

【居住地域別】

- ・高山、丹生川、一之宮、久々野、国府及び上宝・奥飛騨温泉郷地域は「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」の割合が最も高い。
- ・荘川、一之宮（「だれでも気軽に参加できる地域イベントの開催」と同率）及び朝日地域は「若者や勤務者等の幅広い層の人たちへの呼びかけ」の割合が最も高い。
- ・清見地域は「職場や地域での、まちづくり活動への関心や理解の向上」の割合が最も高い。
- ・高根地域は「市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組み」の割合が最も高い。

4 高山駅西側のまちづくりについて

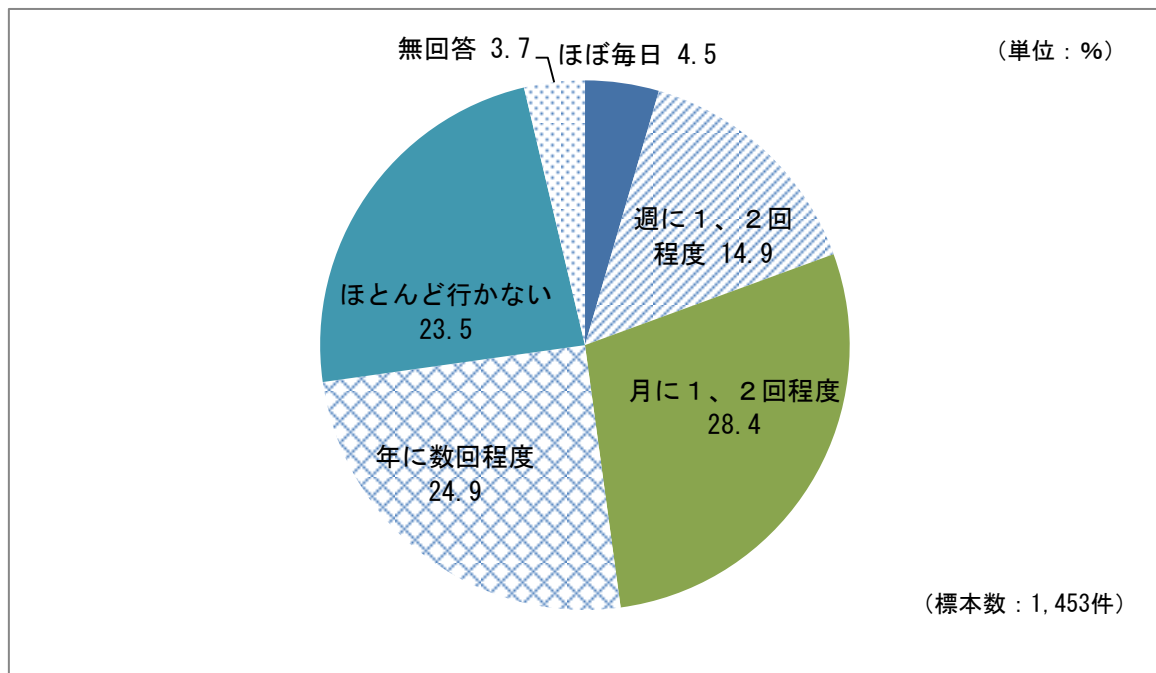
1 駅西地区に訪れる頻度

- ・「月に1、2回程度」の割合が最も高い。
- ・次いで、「年に数回程度」、「ほとんど行かない」の割合が高い。

問14 あなたは、駅西地区にどのくらいの頻度で訪れますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
ほぼ毎日	66	4.5
週に1、2回程度	217	14.9
月に1、2回程度	413	28.4
年に数回程度	362	24.9
ほとんど行かない	341	23.5
無回答	54	3.7
計	1,453	

(標本数：1,453件)



2 駅西地区に訪れる目的

- ・「買い物、食事、遊び」の割合が最も高い。
- ・次いで、「文化会館の利用」、「駅の利用」の割合が高い。

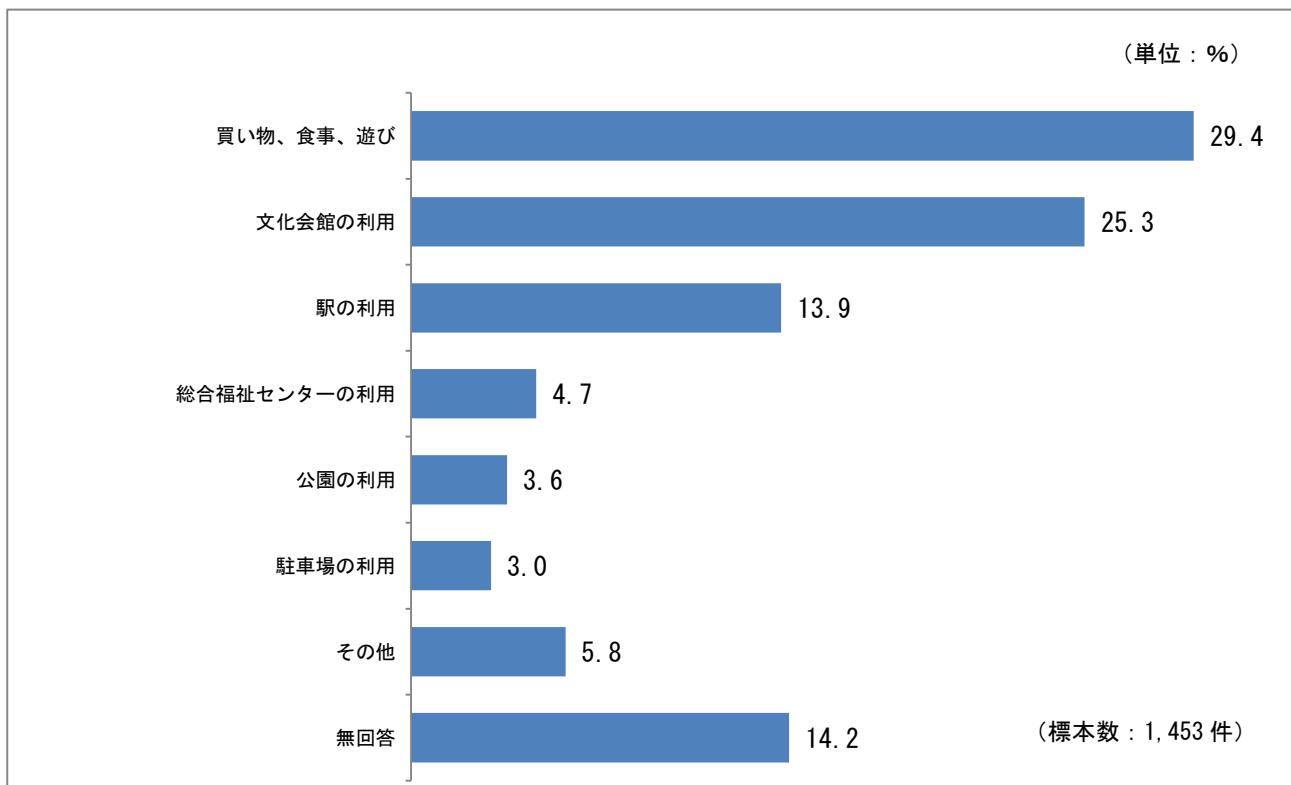
問15 駅西地区には主にどのような目的で訪れますか。（1つに○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
買い物、食事、遊び	427	29.4
文化会館の利用	368	25.3
駅の利用	202	13.9
総合福祉センターの利用	68	4.7
公園の利用	53	3.6
駐車場の利用	44	3.0
その他	85	5.8
無回答	206	14.2
計	1,453	

(標本数：1,453 件)

※「その他」の内容

- ・「仕事」、「散歩」、「ジョギング」、「通過するだけ」 など



3 駅西地区の将来的なイメージ

- ・「買い物や食事などが楽しめる地区」の割合が最も高い。
- ・次いで、「訪れる人々が憩い、やすらぐことができる地区」の割合が高い。

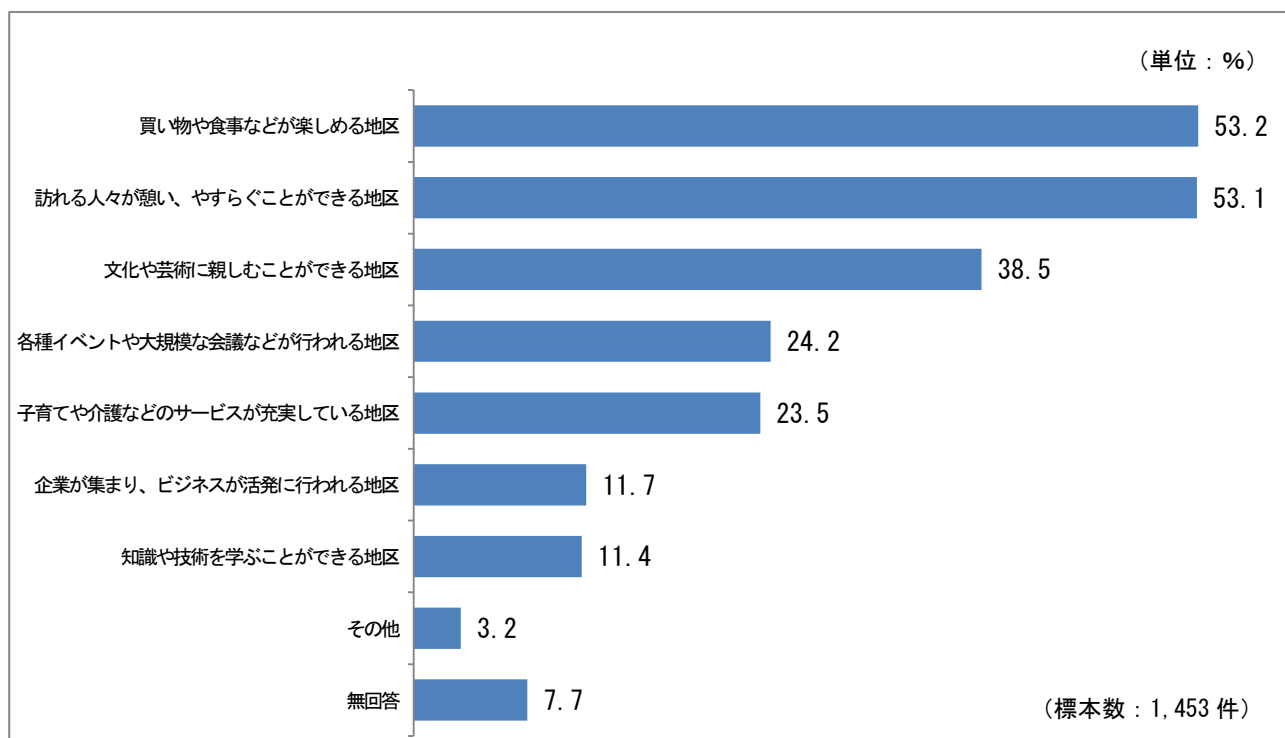
問16 駅西地区は、将来的にどのようなイメージの地区になったら良いと思われますか。（3つまで○印）

	回答数 (件)	回答率 (%)
買い物や食事などが楽しめる地区	773	53.2
訪れる人々が憩い、やすらぐことができる地区	772	53.1
文化や芸術に親しむことができる地区	560	38.5
各種イベントや大規模な会議などが行われる地区	352	24.2
子育てや介護などのサービスが充実している地区	341	23.5
企業が集まり、ビジネスが活発に行われる地区	170	11.7
知識や技術を学ぶことができる地区	165	11.4
その他	46	3.2
無回答	112	7.7
計	3,291	

(標本数：1,453 件)

※「その他」の内容

- ・「公園」、「イメージできない」、「特になし」 など



4 駅西地区に期待する機能（施設）

- ・ 期待度の高い機能は、高い順に「公園や広場」（78.7%）「娯楽機能（映画館、劇場など）」（76.8%）、「商業機能（商品販売店、飲食店など）」（74.7%）となっている。
- ・ 反対に、期待度の低い機能は、低い順に「居住機能（マンションなど）」（13.1%）、「宿泊機能（ホテルなど）」（22.8%）、「業務機能（オフィス、作業所など）」（25.1%）となっている。

問17 駅西地区にどのような機能（施設）を期待しますか。下記のすべての項目について、それぞれあてはまるものを選んでください。（項目ごとに1つ〇印）

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	期待度（%）	順位
公園や広場	441	547	197	71	78.7	1
娯楽機能（映画館、劇場など）	596	381	189	106	76.8	2
商業機能（商品販売店、飲食店など）	433	477	215	94	74.7	3
駐車場や駐輪場	381	511	226	108	72.8	4
子育て支援機能（保育所、児童センターなど）	255	541	341	106	64.0	5
文化・芸術機能（美術館、博物館など）	288	503	334	119	63.6	6
医療・福祉機能（診療所、介護サービス施設など）	281	443	394	137	57.7	7
市民活動機能（市民サークル、NPO の活動の場など）	177	508	415	136	55.4	8
教育・学習機能（専門学校、図書館など）	229	453	407	143	55.4	9
コンベンション機能（会議場、展示場など）	158	512	415	153	54.1	10
スポーツ機能（トレーニングジムなど）	194	389	459	191	47.3	11
業務機能（オフィス、作業所など）	66	242	620	301	25.1	12
宿泊機能（ホテルなど）	75	206	455	495	22.8	13
居住機能（マンションなど）	35	127	521	555	13.1	14

（期待度の算出方法）

$$\text{期待度} = \frac{\text{設問に対し、「期待する」「やや期待する」の合計}}{\text{設問に対し、「期待する」「やや期待する」「あまり期待しない」「期待しない」の合計}}$$

5 将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など

問18 未来の高山市がこうあって欲しいと思う姿がありましたら、ご記入ください。

観光
・観光客の広域への分散。
・「観光専用都市」からの卒業。
・今以上に伝統文化を生かして、日本の高山市だといわれるように、今以上に観光客が大勢訪れる町づくりをお願いしたい。
・観光施設、名所として旧市街以外をもっとPRを。2～3日滞在して観光するコースをネットで広められたら(国宝安国寺経堂、四十八滝等)。
・これだけ観光客がおいでになって街中のにぎわう町はあまりないと思う。
・町並みが整えられ、日下部邸・吉島邸の通りから屋台会館までとてもステキな通りなのに、人の流れが少なくもったいなく感じております。もっと観光客の人に通ってもらえるよう、工夫していただくと良いと思います。
・以前のように静かな落ち着いた観光地。
・観光地としてだけではなく、住民が住んでいて便利だと感じられるような市になってほしい。
・穏やかに暮らせる町であってほしいです。現在は観光に力を入れすぎているのでは、と感じているからです。もちろん観光産業は大切なことと思いますが、地域の他の分野の力を引き出してほしく、堅実な市政を希望しています。
・観光客と共生できる町。
・観光客に頼りすぎているのでは？ホテル等が續々新築されていますが、この状態がいつまで続くのか心配です。
・「高山市」とは？高山市以外の人に尋ねると恐らくは観光地の名前が上がるのではないかと思います。合併から高山市民になり、現在旧高山市内に住んでいる自分としては、もっともっと良い所がありますよと伝えたい。高山市の良い所は町もあり、秘境もある。しかもそれぞれに魅力がある。まずは、現高山市民が地元の良さに気付いてください。
・民泊など規制して事故、事件がおきないように！
・下三之町の発展(食文化のまちづくり)。
・冬場の観光客勧誘で、雪国の利点・活用方法を考えてほしい。スノーモービルでのツアーや雪上車によるアドベンチャーツアーなど。雪国をアピールした観光。
・年間400万人余の国内外観光客を受け入れている高山。大変頼もしく思われますが、一方、年々人口が減っている現状を見ますと、観光が高山の経済を支えている事業となっていないのではないかと。工場誘致の期待が無い中、観光事業で雇用の増進を図り、人口減への対応が出来ないのか！
・観光客ばかりのサービスは充実しているが、市民へのサービスは少ない。もっと、市民へ気を配ってもらいたい。市民優先でないと、どんどん市民からの不満が積もります。観光客は交通のルールも守らず市民は迷惑しています。
・多くの観光客は新しいものではなく古いたたずまいを求めて来高される。新しい施設を作るのではなく、古いもの(飛騨の里、朝市)の充実が先決だと思います。

・市内を歩いていると、この頃ビジネスホテルや安く泊まれる所が多くなっています。地元のホテルや旅館が心配です。今は外国人が多いのですが、ブームがいつまで続くかな・・・と思っています。
・今よりさらに観光客が増え、高山市全体が賑わっていると嬉しい。
・高山市民のためというより、観光客のための高山な感じがイヤ。観光客がうらやむような市民のためのまちであってほしい。移住者が増えるような高山市であるべき。
・現在、外国人観光客の勧誘・宿泊等に力を入れていますが、地元住民の暮らしの快適性を損なわないような方法でお願いしたい。
・観光ばかり。
・高山は、小京都と言われているが、将来も観光客がたくさん来てもらえるようであってほしいと思います。もう一度来たいと思えるように！！
・観光客のマナーの悪さが目立ちますのでマナーの徹底を行う。
・観光施設に訪れるお客様に対して、駐車料金が高すぎるといつも思っています。入場料金に加えて、駐車料金が高いと大変です。もっと安く抑えられないでしょうか。高山に新しい施設ができるのは良いと思いますが、高山の観光の原点は飛驒の里と思っています。あの雰囲気大切に、高山のアピールに使うとよいと思っています。
・新しい観光スポットがあっても良いと思います。
・観光業が盛り上がってきているので、10年後、20年後に「昔、はやっていたんだけどね」と言われることがないようにしてほしい。交通の便が悪い所があるので、もう少し改善されるとさらに観光客が増えると思います。観光地としての発展とそれを理解し協力していける市民として成長していけたらと思います。
・観光客だけでなく、地元の人たちも楽しめる市になってほしい。
・心のこもったおもてなしのできる市。
・苔川の上手の桜並木を復活してほしいです。結構外国からの観光客はサイクリングで行っています。
・観光客(外国人含む)が増えています。楽しい旅をしていただく一環として、現行の毎週火曜日の店舗の一斉休業を無くすこと、観光案内を充実すること、公共のゴミ箱(歩道)設置を拡充することの三点を要望します。
・先日城山公園へ散歩に行ってみました。いい場所で良い眺めです。観光的に考えると良いと思いました。
・観光で栄えてほしい。
・観光客の更なる対策も必要ですが、外国人観光客が多くなっているため、本来の高山のイメージが薄くなっていく心配から、何か対策を考える必要があると思う。市外からの企業誘致対策について、意欲的に計画を進めていく必要があるのではないのでしょうか。観光客に更に高山を身近に感じてもらうため、富山からの新幹線導入が必要ではないのでしょうか。
・観光の次の産業の育成。
・駅周辺にはホテルがたくさん建ち並び、田んぼ・畑がどんどん無くなっている印象があります(住んで3年ですが...)。観光客を呼び込むことの大切さは分かりますが、せっかくの高山の町が...道路が狭いののに大型バスが沢山通り、悪い印象しかありません。
・観光を重視するのも大切な事だけれど、もっと住んでいる私達の生活が豊かになるような高山市であってほしい。
・観光ばかりに力を入れている。高校生の息子がいるが、地元においてほしくても就職先があまりない

ため県外へ出てしまう。次の世代も高山で家庭が持てるような住みやすいまちづくりをしてほしい。ホテルも次々作っているが、そんなにいるのか？高山がのぼせて高山ではなくなってきた感じがしてならない。地元民のことを一番に考えてくれる高山市であってほしい。今は観光第一のよう。
・観光(高山祭等)が充実し、住民も不便さを感じない生活を送れる(冬期の雪道の除雪等)。いろいろな面で観光客だけでなく市民にも配慮していただきたい。
・自然を大切にする一方で、多くの観光客に来ていただけるようなリゾート施設の開発。
・日本一魅力のある市であってほしいです。日本一面積が広い市。魅力も日本一あるのではと思います。高山の古い町並や高山祭など、歴史や伝統文化が観光の中心という感じですが、それと同じ、もしくはそれ以上に日本一面積が広いという事を観光の柱にしてみてもと思います。北アルプスや乗鞍、白山などの日本を代表する山々があり、庄川や神通川の源流があり、各地域で祭があるなど高山市全域が魅力ある観光地になってほしい。
・朝市が有名だが、外国のマーケットと比べると商品が豊富ではない。地元の人も買いたがるような魅力的な市場になったらいい。散歩しながら買い物もできる。

商業
・総合アミューズメント施設ができる(ゲームセンター、ボーリング場等のある施設)。
・「JRA高山競馬場」ができる。
・娯楽の施設があれば、若者の利用者が増加すると思う。
・飲食店が増えてほしい。
・ショッピングセンター(ショッピングモール・アウトレットモールなど)のあるまち。
・日常生活で当たり前電子マネーが流通する等、各種最新技術がまちづくりに活かされる、あるいは生活面に溶け込んでいる環境があれば素敵だと思います。
・ショッピングセンターなど、大きな施設を作ってほしい。
・観光だけでなく、商業都市としても外国から注目される唯一無二の魅力を持った高山市。
・地元の方が営む店舗が多いと、高山らしさが残っていくと思う。高山にいて、高山でない気がすることがある。
・市外へ足を向けなくても、買い物ができるショッピングモールなど、大型店があれば、近隣の市や観光客も呼び寄せられて良いのでは。
・車の利用ができない場合買い物がしにくくなるので、近くにスーパー等ができると良い。
・大型ショッピングモールがほしい(映画館)。
・観光に力を入れていて、とてもよいと思いますが、高山市に住んでいる人が行きたいと思うショッピングセンター等がほとんどないように感じます。若い世代が、名古屋や富山に行かなくても楽しめる場所があれば、とてもよいと思います。そして、親子・家族でもお出かけしたくなるようなところがあるとうれしいです。駅近くは観光客が集まるので、少し離れたところに高山市民のための施設を作ってください。
・安川通りの商店とか古い町並の営業時間が短く、高山は暗いまちです。
・高山は観光するにはとてもいい環境だと思いますが、高山に住んでいる若者世代にとっては、一日過ごせる場所が少なく、どうしても県外や市外に遠出することとなります。商業施設があれば子育て世代にも息抜きになるし、県外に遠出することなく一日過ごせると思います。観光も新しい施設も両方あるとうれしいです。
・高山は大勢観光客が来ますが、夕方店を閉めるのが早いと思います。夕方、少し店を見たいと

思ってもどこへも行けないように感じます。
・他の場所にあるような商業施設が充実すると思う(夜、出かけられるところが少ないので)。
・最近県外の外食チェーン店が増えてきているので、これ以上増えると高山市らしさがなくなると思うので、もう増えてほしくないです。地元のお店の方を考えるとお金が他市、県外へ流れてしまうことも心配しています。
・映画館や劇場、ショッピングモールが来てほしいです。
・今よりもテナント豊富なショッピングセンターができてほしい。
・若い人達はショッピングなどは富山・岐阜方面に行くようです。
・名古屋から引っ越してきました。住み始めて観光コースはお土産屋さんやオシャレカフェ等にぎやかなのに、生活にかかわる商店街の店舗が廃れていたりシャッター通りになりつつあるのではと心配になってしまいます。市民が全て観光に携わっている訳ではないため、観光に特化せず、住んでる人、特に若い子、若い世代が楽しめるまちづくりをして欲しいです。
・若い人たちが離れていかないよう大型スーパーや遊べる施設の誘致をして、地元が楽しいと思える町にしたい。
・若者が増えてほしい(大企業があれば人が集まる?)。映画館など娯楽施設が増えるといい。
・買い物など不便なため、もっと店などが増えてほしい(子どもの意見)。
・私が小学生の頃、昭和町に住んでいました。本町などへよく行っていましたが、その頃はもう少し活気があった様に思います。今は閉まっている店も多く、高齢化社会の影響もあるとは思いますが、もう少し、若者が行きたいと思える場所になってほしいです。

工業
・地場産業の活発な町。
・土産物を見る限り、高山の文化が入っているものが少なく、名前を変えて同じものを売っています。高山らしさが失われていると思います。
・観光ばかりではなく、産業でも高山ならではのものがあればと思います。

労働
・確かな雇用があり、収入も高くなってほしい。子どもが安心して高山で生活できるようになれば、代々続けて生活できるようになると思います。今の状態では、高山に帰って来られず、私達夫婦も老後、子ども達の所に移住するという考えになってしまいます。
・道路網の整備が出来て、中小企業等事業所を誘致。高山に適した業種、建設業、IT、精密機械など働く場を増して、若者の増加を図ることにより人口増加を促し、町の活性化を図る。
・高山は山の中にありながらも、ある程度の文化地区でもあり、又、自然も多く、田舎すぎない町という印象で私は大好きです。今、外国人観光客が増えていますが、そのブームが終わった後、廃れた町とならないよう、観光ばかりではなく、雇用態勢が整って、安心して暮らせるよう、市民一人ひとり意識を持って作りあげてほしい。
・私の子どもも仕事(勉強したことを生かせる)が無いので帰郷していません。このため、将来学校を出て働く所、若者の勤め先があればいいと思います。確かに歴史のある町ですから観光もいいですが、第一は職場の確保だと思います。

・企業誘致、賃金の向上、職業訓練の充実など雇用環境の改善。
・企業や産業の誘致、活性化により、高山で働ける、若者が高山から離れない市であってほしい。
・若者が大学進学などをきっかけに移住してしまう。観光、農業などが中心で就職できる業種も少ないように思う。大学の高山キャンパスがあるとか都会の(IT系等)企業の高山支店があるなど、自然豊かな環境であることを生かした、若者が集まる場所になってほしい(大学や企業を誘致してほしい)。農大があり、卒業生が離農された土地で新たに就農できるならば、農業の多さを生かせると思う(農地が耕作放棄されたり、宅地化することを抑えることができる)。
・優秀な人材が高山に帰ってこられるような場所(雇用、子育て等)であってほしいです。
・今後、商業化等を進め、若者の就職先が多くなれば良いと思う。
・現在は観光客も多くにぎわいつつありますが、土産物店は若い人よりやや高齢の人が多く働いている。若い人も働きたいと思う観光産業の改革が必要であると思う。
・子ども達が他県に行かなくても、安心して働ける職場が増えるといい。
・人口が減らなければよいと思う。就職先が活性化していたら、他県にいる子ども達が戻ってきてくれるのではないかな？
・子どもが大学などへ行っても、帰ってこられる市になってほしい。
・子ども達が高山に帰ってきて働きたい、と思えるような高山になってほしいと思います。働く場所がある事、子育てしやすい事、親が介護となった時でも安心して行政サポートを受けながらいい方向に向かえる事が大切だと思います。
・高山市の中でも支所地域は、過疎化が深刻になり、だんだん住人が減少している。若者が地域に残らないのは問題であるため、若者が仕事をする事ができる雇用の場が多くなるとよい。
・一次産業に携わる人達が安心して、いきいきと仕事ができる高山市(特に林業の活性化のためには、行政の力が必要と思います)。
・子どもが2人いますが、大学を出て働く企業がないので、2人共都会に出ています。働きやすい環境を整えてほしいです。
・観光に頼らない雇用創出、企業誘致。
・若い女性が安定的な収入をもらえるようにしてほしい。
・若い人が大学へ行っても、高山に戻って働ける就労の場を増やしてほしい。
・給料を理由に都市部へ就職しなくても良い環境。
・高山には大学・専門学校がないため、子どもたちが進学のため出ていくのは仕方がない。その後Uターン、Iターンで戻ってくる受け皿があってほしい。雇用盛んで職種が豊富であってほしい。
・今の子どもたちが、将来「高山で働きたい！」と思えるような就労の場をたくさん確保していただきたいです。
・若者が働けるところであってほしい。
・観光産業ばかり頼らず、企業誘致を促進し、若者の職場確保を考えてほしい。
・今の現状では、大学に行った子どもが帰ってくる職場が無い。高山は大好きで住みやすく、子育てにも適したところだと思っています。この先、若者が帰ってこられるような高山市になってほしい。
・高山には大学が無いので進学に費用がかかり、また就職先も少ないので若い人が戻ってきやすい環境とは言えないと感じます。より広く教育、雇用の機会が与えられるような町になってほしいと思います。
・市街地で良いので大きな企業、会社等の参入が必要と思う。市民雇用を増やし、活性化を図っ

てほしい。
・人口を 15 万都市にするよう、企業を誘致してほしい。人が増えれば物が動きます。
・進学で市外に行った若者が、戻って就職、活躍できる環境。
・子育てや介護がしやすい環境にしてほしい(手当の改善、仕事との両立がしやすいよう休暇や時短がとりやすように等)。病児保育やデイサービス・ショートステイなど、今後ニーズは増えていくと考えられるため充実してほしい。そのような施設で働く人も働きやすいようになると良い(保育士や介護士は、仕事量や内容の割に、安月給とよく聞く)。
・市外・県外から転入した人、一度退職した人の再就職など、雇用先の増加。
・雇用の充実。
・若者が地元で働ける場があり、魅力あるまちになればよいと思います。
・給料をあげていただきたい。特に、男性の職場。作業員に対する労働条件がひどすぎる。
・企業誘致。雇用作り(特に若い方が戻ることを)。
・若い人が高山に戻ってきたくなるような企業があればいいと思う。高山市全体の給与が少ないため、もっと高くなるといいと思う。田舎でいい所はたくさんあるが、不便なところが多い。お金もその分かかるため、生活が苦しい人も多いはず。空気がきれいで水がおいしい、食べ物もおいしい、観光地でいい部分もあるが、人間は生きていけないといけないので、やはり金銭面でいい部分は増やしてほしい。
・若い人が働ける場所があるといいですね。
・少子化の上に、子どもは他県に行ってしまう。大きな会社ができるとありがたいが、どちらにしても、年金が当てにならなくなっても安心して暮らせる町にしてほしい。
・若い人が働く場所がある。
・若い人たちが就職できる場がたくさんあればよいと思う。子ども・孫が生活できるから。
・暮らしやすい町(職が豊かになるといい)。
・雇用を増やしてほしい。
・若者の働く場所・職場を増やしていただきたい。
・就職口(高卒・大卒だけでなく、子育てから少し手が離れた者)が少なく、若者が地元を離れざるを得ない理由の一つでもある。若者だけでなく、30代・40代・50代・60代が生きていく、生活していく上で公務員等や育児休暇のある職は、休暇中も給与が支払われるため、次の心配(再就職)も生活費にも困ることはないが、一般社員にはそれらが無い。こういったアンケート結果もどれだけ目を通して見られるのか、また、まとめるのも市職員の方々だと思うが、どれほど切実に思っ て感心してくれるのか、しっかり受け止めてほしい。定年後も退職金は当たり前ではない。このようなアンケートをする側には理解してもらえないのでは。意味がないのでは。年金もなくなる老後の心配・不安は半端ではない！！
・高齢化が進み、働き手が少なくなるので、移住して働きやすいような優遇があってもいいと思う。働き手がホテルなどの観光業にとられ、地元の昔ながらの職場が人手不足になっては困る。
・若者が定着できるまちづくり。雇用先・賃金の見直し。
・子どもが安心して過ごせ、故郷に誇りを持ち、成長できるといいと思います。高山が好きで育っても、魅力的な職場が少ないため、学校を卒業した子は、帰ってこられないという現実もあるので、高山市の観光地という部分等を生かして、がんばって勉強した子どもたちが、夢を持って帰ってこられるといいと思います。
・人口増加 20 万人以上。それに向けての企業増加が雇用の増加につながり経済が上昇する。

・働く場所・職種の少なさから若者は外へ出てしまいます。大きな会社の誘致を積極的にしていた だき、若者が家に残りたいと思える高山市にしていだきたいと思います。
・高山市の企業に勤めては、2人、3人、4人とは子どもができない安い賃金です。1人大学へ入 学させて親の生活は限度です。又、子育て中の母親は、企業からほぼ退職を強要されます。公務 員と民間企業ではそれほどの差があります。そこをもっと指導していただきたい。
・子育て、介護しながら働ける環境。
・大学に進学すると都会で就職する人が多く、なかなか郷里には帰ってこない。また核家族化で 老人ばかりの家も多い。高齢者ばかりが多くなり人口減少が心配される。工場誘致、農業大学校 など考えてほしい。
・若者が活気あふれる生活ができるように、働く場所が増えることを期待します。
・企業誘致する。安い家を提供して(賃貸でも)若者が(他県からでも)結婚して子どもを得てにぎ やかな町になってほしい。
・観光に頼るだけではなく、企業を誘致して経済発展している市。
・地元で育ち、都市部で学んだ若者が自分の力を生かして、働こう生活しようと思えるような雇用 や企業の間があり、豊かに生活していけるような魅力ある場所になってほしいと思います。
・生活していく上で心配のない賃金が得られるようになって、若い人たちが前向きに生きていける ような市になってほしい。
・地元で就職出来る環境があれば良いと思います。
・私達の子どもが将来安心して生活できるようになってほしい(お金・働きやすさ・遊び)。
・観光以外の産業も充実し、若者もいきいきと働ける場がほしい(大学を出ても高山には仕事がない ので帰ってきません)。
・高校卒業後、大学卒業後など高山に就職したいという企業があったり、就職に対して魅力がある こと。
・飛騨地域全体に就きたい仕事が増えてほしいです。若者も高齢者も安心して仕事を生きがいに 生活できると良いと思います。
・若者がやりがいのある職場づくり。
・長寿時代になり、年金も頂けるかどうか不透明な世の中になってきています。これから先、年を 重ねるにしたがって、定年後の再就職も考えなくてはならず、65～70才まで、またそれ以降も働 かないと生活できなくなります。そのため高年齢の方への安定した職場を紹介してもらえる市を望 みます。
・都会に出ている優秀な人材(若者)が、帰って来なくなるようなまちにして欲しい。企業業績の面 から考えると難しいと思いますが、賃金水準がもっとあがれば良いと思います。Uターンした中途 採用者がやる気を損なう事のない活気あるまちづくりをしてほしい。
・子どもの就職先の充実。
・企業誘致などを行い、若い人が働ける場を作してほしい。
・観光に力が入った分、地域産業の活性化、給料の安定化。
・若者が地元で就職したくなる魅力ある高山になってほしい。
・高山市には働く場が少ないので若者は段々都会に出てしまうのでは？大学まで進むとほとんど 地元に戻らないのでは。自動車道などが出来て便利になるので働く場所の誘致など(工場等)に 力を入れてはどうかと思います。
・賃金が安いのに物価が高い。Uターンでの就職先がないので若者に限らず働ける場所、それに

あった賃金の会社があるといいと思う。
・子ども達が大学に進学して高山を出てその後高山へ戻りたくても戻れません。働こうと思えば、どこでもあると言われるかも知れませんが、やはり魅力的に薄いです。家業がある人、資格が生かせる職種の人はいターンできますが難しいです。若い人がもう一度高山へ戻って定着してくればまちの活気も上がります。
・今の高山市は観光に力を入れているが、外国人観光客が来なくなる事も考えて、若い人が高山に居つくように大きな会社の誘致に力を入れて、若い人材を育てれば良いと思います。
・高齢者が増加の一途をたどる中、元気な方が多い。働き手不足という話をよく聞きますが、高山市に老若男女を問わず、農業を始め色々な分野で自分の好きな事を学べる場所を作り、あらゆるノウハウを学んで、好きな分野でいきいき働き続けられる社会環境があれば、健康で経済的にも豊かな社会になると思います。
・若い人達が都会に行ってしまうよう、またいターンしても高山の地域で働けるよう取組んでいかないと、若い働き手が育たない。企業にとっては、慣れた年齢の多い人の方がいいかもしれないが、ある程度収入が見込める(年金など)人は、退職してもらわないと次の人材は増えていかない。
・子どもたちが進学で高山を離れてもまた高山に帰ってきたい、高山で働きたいと思えるような町であってほしいと思います。
・若い人達が働きやすい環境になってほしい。(職種、経済的に。都会に行かなくてもいいように。)生活水準を上げてほしい。給与で1人暮らしができない。
・高山の土地を活かした産業。若者が働ける場所を作ってほしい。
・子ども達が大人になって「高山市」に就職し、両親と同居を希望するような「生活環境」であったならば素晴らしいと思う。
・観光客誘致には力を入れていただいておりますが、受け入れ側としては他県と比べ給料が安く、土日・休日はほとんど休めません。子育ての若い人達が働きやすくなるには、保育(曜日・時間帯)や給料面に働きかけていただきたいと思います。企業誘致も働く場の拡大になり、人口増や活性化になると思います。
・給与ベースが低いなか残業が減って困るため、給与水準をあげて、子ども達が帰って来やすくなってほしいです。
・企業を誘致して、もっと若い人が働ける場を作ってもらいたい。大学を卒業するとほとんどの子どもは地元へ帰ってこない。それで高齢者ばかり増え、空き家ばかり。
・若い人が働ける町であってほしいです。自分の子どもも、高山にはあまり仕事が無いと言い岐阜市で生活しています。給料も少ないし、自分にあう仕事が少ないと言います。難しいですが。
・若い人が働ける仕事がたくさんある町。
・県外の大学に進学した若者が高山に戻って就職できるように、大企業の誘致をしてほしい。もしくは県外の若者が進学するような特色のある大学がほしい。
・賃金の安さもあって子ども達に将来は高山に戻ってきてとは言えない。
・若い人が高山に住んで子育てが出来るためには、働けることが大切だと思います。毎年のように高校を卒業したら皆ほとんど帰らない、帰ってこられない、帰ってきたいけど仕事がないの繰り返しでどんどん人口が少なくなるので、外国人の観光もいいけれど働くことができるようになってほしいです。

- ・大学を卒業した人が納得して働ける企業の誘致や賃金のアップ。
- ・働ける場、家族の介護が必要になっても働きながら介護できるような環境作りを希望します。
- ・若者が都会で進学しても戻ってこられるような職場。
- ・最低賃金をもっと上げてもらえるといいと思います。

農業

- ・高齢化と少子化が進み、農村部では荒れていく畑や田が増加しています。稲作りがもっと魅力ある仕事になって畑仕事も楽しいと思えるようにならないと里山風景が無くなり、荒れ放題になると思います。米は作っても利益が出るどころか、赤字になるとはどういうことなのか行政として考えてほしいです。
- ・土地改良した田や畑が荒れていくのを見るのがつらい。
- ・農地法の見直し、人口が増えない。
- ・観光だけでなく、一次産業に付加価値(個人的には無農薬などの健康的なもの)をつけ、発信できる町が理想です。特に水資源が豊かであると実感するので、きれいな水、きれいな土、飛騨のきれいな心で作られた米、野菜などは高山の宝になり得ると思います。又、一次産業で豊かな生活が成り立つモデルを作り、若い力を高山に戻すきっかけとなれば、なお良いと思います。
- ・観光だけに頼らず、農業、林業も大切に守って下さい。
- ・農業の推進。

林業

- ・山が荒れないように、山の手入れを指導してほしい。
- ・飛騨の山や川には、自然の美しさがあると思います。しかし、今の山は樹木の手入れがされておらず、倒木があちこちにあり、人が通れる道もふさがれています。昔は「杉を植えると早く育ち金になる」と言われていましたが、今は「日本の木は金にならない、伐採に費用がかかり過ぎる」等と言ってほったらかしです。昔高山は、木材の町として林業はとても発展していました。懐かしいです。あの頃は、山から流れる水もきれいでした。山が整えば川も整い、やがて海も整うと私は思います。50年後、100年後の将来を考えると自然破壊が心配でなりません。将来の人々のために、山林の持ち主が山の手入れをし易くなるよう、今考えてもらいたいです。
- ・高山市の面積90%を占める山林の今後の育成と活用の政策を推進する。
- ・豊富な森林資源を活用できる画期的な施策があると良いですね。飛騨山脈、中部山岳国立公園の観光資源を活用したまちであってほしいです。

海外戦略

- ・外国人誘致で経済が良好のように思われますが、実状は全くです。生活習慣等に違いもあり、あまりお金を消費しないのが外国人です。しかもこの状態がこの先何年も続くとは全く考えられません。それより日本人観光客の誘致に力を入れた方が良いと思います。市長も海外営業と言い海外へ行き過ぎと思います。もっと地元企業を優遇し、従業員の収入向上が望ましいと思います。
- ・安易に海外からの観光客を見込まない。
- ・現在、海外からの観光客が多いですが、このような事がいつまで続くか分かりません。高山は観光客のための設備等が多い気がします。市民の毎日の生活の事も、もう少し考えたらどうでしょう

か？いわゆる観光かぶれしている気がします。朝市を見ても観光客は芋や大根は買っていないません。店を出す人も少しずつ減っていきます。高齢化もあります。
・決して国際化に否定的ではないが、高山市の国際(海外)に向けるエネルギーは大きいと感じる。悪い・良いという意見ではないが、例えば観光客に対するサービスがここ数年でものすごく増えたように思う。これからの時代、海外にもっと目を向けていく必要性を感じる。そのために若い学生などが、金銭的な悩みがなく、もっと海外へ学びに行くことができたり、それを生かせるよう支援することも大切と感じる(観光への整備も大切ですが)。
・外国からの観光客の増加、そして将来は定住する人が増えていくかもしれません。治安対策もしっかりと準備してほしい。
・せっかく世界各国からみえるので、市民と交流でき、自然と会話ができるような市になっていると思う。
・外国人観光客も何度も来たくるようにしてほしい。
・外国人観光客が多く、観光施設等での外国語が必要になっているため、気軽に外国語の勉強ができる環境があれば良いと思う。
・年々観光客が増えている感じがして良い事ですが、外国人(特に中国人)のマナーの悪さが目立ちます。高山は古い町並など本当に良い所ばかりだと思いますが、その良い所がマナーの悪さなどによって汚れない様にしていきたいです。
・駅にいと外国の方が多くて地元の者が遠慮がちな気がします。大勢の外国の旅行者が満足して高山に来てよかったと思ってもらえるような、おもてなしや取り組みが出来たら良いと思います。

地球環境
・飛騨は大自然に恵まれています。環境と文化を大切にしていきたいです。
・自然の豊かさがある。
・自然を大切にす町を希望します。今の子どもたちが帰郷してきてくれるようなまちづくり。
・自然豊かな高山ですので、自然をうまく活用して、エネルギーも自分たちで供給できていけたら、また、モデル都市になるようになったらいいと思います。
・高山の美しい自然・おいしいお水と空気を守っていただきたい。経済活動や金銭のために、山・川・大地を汚すようなことはしてほしくない。時を経ても、美しい日本の(日本人の)心を持った高山人(たかやまびと)の里であってほしい。
・市中心部の都市開発の推進も必要であるが、里山保全・耕作放棄農地の有効利用等による自然環境が整備された、都会人から見て住んでみたいと思わせるような地方都市になってほしい。
・自然との共存。これまでの歴史を明らかにし、誰にでも理解できるようにしていきたい。自然エネルギーの活用。
・美しい森、おいしい水など、自然が守られ、大きな公園で皆が憩える。
・山やきれいな水、自然を大切に守っていききたい。自分の育った町が大好きでずっと暮らしていきたいと思える町にしたい。
・山の木を切り開き、土地の開発が進んでいますが、これ以上自然をなくさないでほしい。自然豊かな高山であってほしい。
・自然環境にやさしく、調和の取れた町づくり。
・自然環境の維持。
・高山は温泉があるため、地熱発電など自然エネルギーを活用してもらえるといいです。

・自然がいっぱいで清潔な町並み。
・高山市は日本の中で一番広い市で約 92%が山(森林)です。近年は、熊をはじめ動物の出没が多くなってきています。この対策として、人の住む家屋、学校等の周辺の里山の整備が大切であると思います。

生活環境
・火葬場を早期に新設していただきたいです。
・火葬場を早めに作ってください。今の場所は悲しすぎます。人生の最後がああ火葬場ではつらくないですか？どこに建てても反対される問題であるため、前に進めてください。
・火葬場の整備。
・ゴミ処理施設を高度化し、焼却炉を新しくする。
・観光客が増える一方、町周辺のゴミが目につくようになってきているため、衛生環境の整備の強化をお願いします。
・今のようにゴミの少ない清潔な町であってほしい。

景観
・新しい高山駅は残念ながら匠を活かせていない建築物で、他の駅舎のように画一的で高山らしくなく感じます。今後は、木の国の高山らしい建築物を見に世界から観光に来ていただけるような建築を意識した公共建物を望みます。
・町並みも、誇れるような姿になってほしいです。
・各工務店がバラバラに好き勝手にしている感じがする。高山市が一緒になって、景観の維持や町中への誘致をしてほしい。
・伝統ある建物や風景を大事にしてほしい。
・全国チェーン店がいくつもできていますが、あまりカラフルな色彩の看板や建物は建てない方がいいと思います。町の景観が損なわれ、高山らしさが失われます。色や建物の大きさなどの制限をもっとした方がいいと思います。
・ホテルやビルなどの高い建物で、自然豊かな高山の良さ・文化・伝統が町に似合わないものになっていることを悲しく思っています。高い建物で山々が見渡すことができず、息苦しい町になっていると思います。今の自然、そこに繰り広げられる祭りや温かさがあるからこそ、多くの人が高山に観光に来てくれるのだと思うため、建物の高さ制限をしっかりとしてもらいたいです。それによって、子どもの健やかな成長、伝統文化の伝承にもつながっていきます。心豊かな子が高山の未来を引き継いでほしい。景観で子どもの心も変わっていきます。
・個人的には、新しい建物はいらないと思っている。古き良き、昔ながらの高山を大切にしてください。
・緑は残し、子ども達が大人になる頃にも、景観のあまり変わらない高山の町並みを残してほしいです。
・伝統を守り、変わらない風景を受け継いでいきたい。
・もっと古き良き高山市の景観に戻してほしい気がします。ホテルの乱立や観光地化し過ぎたところが残念だと思います。高山駅を降りたら古民家がならんでいるくらいの町であってほしい。きっとそんなイメージを持って観光客の方々は訪れていると思います。
・景観を高山らしい色に統一する。

・歴史がある町なので町並み等守ってほしい。

学校教育

・学校教育の設備が、都市と比べ不足している状況です。最新デジタル機器や新しいトイレ、空調設備や暖房機器など、不便な状況なので、もっとお金をかけてほしいです。

・観光に尽力してみえるのは評価していますが、地元の事を教え、郷土にもっと愛着がもてる教育をお願いします。高山を離れる若者が将来は帰って来たいと考えられる気持ちを持つ人作り、教育にシフトしてほしいです。

・若者が流出しない、ICT教育で都会でなくても働ける力を身につける。

・小学校及び中学校の学区の見直しをしてほしい。区によっては子どもが学びにくい、少なすぎる。

・学区を見直してほしい(なぜ冬頭が北小？)。

・子どもの可能性を育む。親の経済力に左右されずに、すべての子どもが自ら希望する教育を受けられる環境を保障する高山市の姿。

・地域の将来を担う人材育成こそが最も重要であると思います。高山に愛着と誇りを強く感じられるよう、郷土教育を重点とした教育活動を各小中学校で展開することが肝要です。市としても、そうした活動を力強く支えられるよう、教育費を今まで以上に増額することを期待します。

・郷土の歴史や文化を大切にしながら、人間性あふれる豊かなまちづくりができればよいと思います。そのために皆に開かれた大学が欲しいです。学べばもっと視野や行動力などが広がり、まちづくりの原動力になっていくと考えます。子どもから大人まで誰もが学び考え行動できる人材を育てていくようお願いします。

・子ども達の将来のための学校があり、個性を生かし希望を持って学ぶことができる(専門学校)。

・高校の授業料無料化。

・質の高い、子どもの教育体制が整ってほしい。

・教育水準が高く、優しく穏やかな人々の町。

・子ども達への教育。現場にいる先生方(小・中・高校、保育士含めて)は日々大変だと思うが、先生方への研修が必要だと思う。子ども達がこうなりたいという憧れる姿であってほしい。

生涯学習

・大学ができて学生が多く暮らす。

・大学が2、3校でき、市外からも若い学生が入ってくる文化を作る(医学部や女子校、スポーツ学校など)。

・飛騨・世界生活文化センターは、車の運転ができない高齢者は暇があっても行けません。若い人たちは多忙のため、休日でもほとんど行きません。駅西の市民文化会館であれば、徒歩で高齢でも夜でも気軽に行くことができます。できることなら、色々な行事をもっと身近な駅西で行ってほしいと思います。

・大学・専門学校などの設立。

・大学の誘致。

・高山に大学を作ってほしい。子ども達が大学進学で他県に行ってしまうため。

・高山に大学ができればいい。

・近くに図書館があればうれしいです。40 分かけないと行けません。
・大学の誘致をお願いします。
・大学の設置又は誘致。
・習い事(大人も習える)の場所がもっと欲しい。
・若者が名古屋や富山へ大学進学等で流失しないように、地元の大学を設立してほしい。自動車の整備などの特殊学科ではなく、国文科、英文科等の社会に出てから幅広く活用できそうな学科の設立を希望。
・市民憲章が実現された町。
・若者が高山から出て行ってしまうイメージが大変強いです。特に適齢期の女性の割合が少なく、将来結婚できるか不安です。また、若者が楽しめるような店がまったくありません。対策としては、大学や専門学校を作り、若者を呼び込むことが必要だと思います。
・四年制大学ができて、他県、他地区から若者が流入すること。そうしないと娯楽施設が成り立たない。大学全入時代で、人口流出の理由はあっても、流入の理由は高山にはない。
・大学があれば若い人が増える。よそへ行かない。

スポーツ
・高校球児を甲子園に行きやすくするサポートがある。
・雪がたくさんあり寒いので、スキージャンプ、スケート場などに力を入れてはどうでしょう。
・プールでの水中ウォーキングが 500 円位で入れるように。又、水泳ができれば。私はプールで膝が治ってとてもうれしく思っています。
・室内でも気軽に運動ができる施設がある町。
・スポーツ施設の充実。
・老若男女が集って、スポーツができる場やクラブ運営などがあると良い。医療とも連携して住民が健康で生活できる町づくりをめざしてほしい。
・高齢者が多くなるので健康老人でいられるように、市の施設などを格安で使用できたらと思います。青少年会館を使って楽しくヨガをしていたのに、使用する部屋に制限ができて、使用日数が減りがっかりです。中山町の体育館は使用料が高くて使えないです。

文化芸術
・映画館がほしいです。
・ご当地アイドル文化を作る。
・映画館のある町。
・映画館を特に。
・京都の次に着物好きな人を増やし、町の中は京都以上に着物を着た女性に歩いてほしいと思っています。昔より着物が宝で生きてきた私たちは、あんきに着物を着て歩ける高山市を希望します。
・映画館も検討しているなら作るべきです。
・やはり映画館はほしいです。しかし、入らないからなくなったのだから仕方ないのですが。高山に映画館がないことは何となく恥ずかしい。
・映画館を作ってもらいたい。
・映画館等高齢者が楽しめる娯楽がない。市民文化会館でやっても、整理券が手に入らないこと

が多い。好きな時に見られるといいのと思う。
・宗教とか公立にこだわらず、私設の美術館等をもっと応援して、高山のアピールの一つとするのも良い方法と思います。
・田舎で緑が多く、ゆったり豊かな気持ちで過ごせる都市であるようにみえますが、文化的な公共の施設に十分な手が尽くせていない。移住したい都市No.1になるように仕事以外で楽しめる場所をもっと作ってほしい。施設はあってもその役割が果たしているかどうか分からない所も多くあるように思える。
・演劇に触れられる機会が少ないため、もっと活性化してほしいです。
・映画館があり、遠くまで出かけなくても良い所。
・自然豊かなままで、映画館などもっと学生が楽しめる場所ができればいい。

歴史文化
・歴史、文化の継承。
・陣屋・古い町並・東山の寺々などの観光名所は、昔の人々が造ってくれた木造建築である。現代でも未来の高山に残せるような木造建築を造り、将来に残せばいいのではないか。
・陣屋の前の山岡鉄舟像にもっと感謝の心を持ち、高山の町をつなげていってもらいたいです！六代で転封となった金森家ゆかりの方々もあの世で見つめておられることでしょう。やはり駅西より駅東に心を砕いてください！お願いします！
・高山祭の存続。
・高山祭を土日開催に変更(仕事を休んで参加するが、氏子に負担がかかりすぎ)。
・ほかに無い特色がしっかり残ってほしい(産業・伝統)。
・城山の整備(歴史の流れ)。
・城山に城を作ってほしい。中橋から城が見えると素晴らしいと思います。観光客ももっと増えると思います。
・古い昔から続く伝統や文化を守っていくだけではなく、より新しいことへの挑戦をしていかなければならないと思う。
・古い伝統・文化などはそのまま守り、一方で新しいことも取り入れながら、子どもからお年寄りまで安全に楽しく過ごせるまち。
・ほかの都市と違い、高山の大きな価値・財産である伝統文化は、変わらず大切に守り続けてほしい。変化は、そのうえで成り立たせてほしい。
・祭屋台を守ってもらいたいと思います。後継者を育ててもらいたいと思います。
・歴史に誇りがもてる町。
・自然豊かであり、高山祭など無形文化財が継続されている事。
・伝統・文化を大切にする町。
・春や秋の高山祭や古い町並は高山市の重要な財産であり、守り続けていかなければならないと思います。そのためには、お祭りの地区の人達だけでは高齢化しているなか難しいと思います。高山市の祭りとして地区を越えた協力が必要であり、固定概念も変えていく事も必要になってくるのではと思います。裏方は変えつつも伝統的なお祭りや町並はこのまま変わらないで、海外の方はもちろん、日本人達にも「また来たい」と思ってもらえるような姿であってほしいと思います。
・外国人の方々を受け入れつつ、古い町並など歴史的な建物、文化はそのまま残っている姿。
・近代的な物も大事だと思いますが、昔ながらの古い物も大事に守ってほしい。

・市では春と秋の祭を大々的に宣伝しているが、屋台のある町中は高齢者が多く、これから今までのような祭が維持していけるのか心配。
・すばらしい伝統文化のある高山の老後の暮らし、子育て等環境を守るモデル都市になりたいです。また、人情深い人柄の日本人らしさを忘れず、礼儀、義理、人情の息づくあたたかみのある高山市になっていきたいです。
・歴史に学び、金森長近に関連した社会資源(三仏寺城、鍋山城、松倉城、高山城)などを巡るコースの案内と地域住民の関心とつながりを大事にしてほしい。
・歴史、文化など古いものと新しいものが上手に共存できる所であってほしい。

地域福祉
・屋根など雪のかたづけを助けてほしい。
・今後、人口増加が期待できない状況の中で、孤独で誰にも知られずに亡くなる方もいると思います。そのような事がないように、地域の連帯、互助の精神を育む行政を徹底してもらいたい。
・福祉を充実してほしいです。子育てや介護など、弱い立場の人たちに優しいまちであってほしいです。特に介護に関することで苦労したという声を聞くことがあります。そういった事を相談できる場所をもっと市も案内してもらえるといいと思います(知らなくてどうしたらいいか分からなくなる前に。地域包括支援センターなど)。
・伝統を守りつなぎ、新しいものも取り入れ、老若男女皆が助け合い暮らしていける高山市。
・嘘のない社会。皆で助け合う社会。地道にコツコツ生活している人が報われる社会。具体的に言えば江戸時代の江戸庶民の生活。
・赤ちゃんからお年寄りまで、安心して暮らしていける町。
・子どもからお年寄り、皆が安心して暮らせる町がよいです。皆が集まれるスペースを設置、情報提供などできるとよいと思います。
・今と同じ様に皆があたたかく、町を歩けば小学生がお年寄りにあいさつをしているような、自然な姿が今後も続いてほしいです。
・若者・老いた人が結び合えるようなまちづくり。
・話し合える相手がいる。こんにちは運動。
・福祉・医療等の充実。子育てや親の介護に不安があるため、立場の弱い者、生活に困っている人に対して優しいまちになってほしい。
・元気な老人達をもっと近所の子ども達に声をかけ、見守ってあげられるような組織があれば良いと思います。特に通学や外で遊んでいる子ども達に！！
・安心安全で生活支援の充実した市。
・今以上に住みやすい美しい町であるように、子ども達が安心して暮らせる、お年寄りにもやさしい町であってほしい。
・若い世帯が増えてほしい。外からの住人が増えても受け入れられる町、今までのようにあいさつのできる(大人も子どもも)お互いが思いやりのある人達が居続けてほしい。
・町内会に入ってみえない方など近所でもあいさつしない方がみえるため、気軽にあいさつできるようになってほしいです。

児童福祉
・子を持つ母親として、どこに勤めたらいいのか。子どもが熱を出したときでも、休みにくい状態に

あり、病児保育にも頼れない部分があります。
・母子家庭ですが、手当がでるのが高校卒業までですので、必然的に子どもは高校卒業したら就職せざるを得ません。卒業しても進学した場合は手当をいただけたら大変助かります。医療費も無料でしたらなお助かります。
・子どもが育てやすい、預けやすい町。
・子どもが増え、若い世代が暮らしやすい町になるといいです。
・子育て環境の充実。
・今の子どもたちが安心して暮らせるまちであってほしい。
・子どもを育てやすい環境・支援や施設、病院を整えてほしい。
・子育て支援は大切ですが、保育士が働きやすい町にしてほしいです。3人目のお子さんは保育料無料は保護者は助かりますが、保育士が足りないとギリギリの状態、子どもにとって良い環境だと思えません。親が良ければそれで良いのかと思ってしまいます。
・児童館も各地域に必要です。
・少子化対策を第一に考えることで、明るい未来の高山になると思います。
・安心して出産、子育てのできる町にしてほしいと思います。
・子どもを産み育て易い町づくり。
・共働きの世帯が多いため、日・祝日などに子どもが預けられる施設を充実してほしい。
・子どもがたくさんいる元気な町。
・福祉、子育てに手厚い。参加しやすく強制すぎない地域コミュニティ。
・子どもを保育園に通わせている立場として、保育園の先生への環境作りもぜひ話していただきたいです。待機児童がいないことは良いことですが、子どもの割合と先生の仕事の量が大変なのだろうと感じることが多々あります。一人ひとりを大切に頂き、高齢者と子どもがのびのびと自然に囲まれ生活出来るまちづくりをお願いします。
・安心、安全に子育てができる。
・働きながら子育てを行う家庭が増えてきているため、保育料の無償化や施設の充実を図ってほしい。土地が開発されて、新築の家やアパートに住む核家族が増加していると思うが、ローンや家賃を払いながら保育料も払うのは家族にとって負担になっていると思う。
・金銭的にも防犯面からも安心して子育てができる町にしてください。
・子どもが少ない理由をしっかりと把握し、対策してほしい。子が地元に残る高山になってほしい。

高齢者福祉
・年金生活者でも利用できる割安の介護付老人ホームが、選択できるほど多くあればいいと思います。不便な場所ではなく、市の中心地等で、徒歩でも車イスでも行ける所にスーパーやコンビニ、公園など。
・高齢化がみえている今、高齢者に対するサービスの向上(例えば免許返納に対するサービスをもっと実用的なものにしてほしいです。郊外に住む人と町に住む人が同じ条件では、買い物に対する不便さが異なると思います。)が図られないと、自分が将来高山で老後が過ごせるか不安になります。
・介護施設が満員で、何年も待つという話を聞きます。入所が必要な家庭で、簡単な手続きで、すぐに入れるなど、安心して老後が過ごせ、家族も安心して預けられるような市であってほしいです。

・介護施設を作ってほしい。
・年老いて車に乗れなくなっても、買い物等気軽に連れていってもらえる制度を作ってもらいたい。
・介護施設・老人ホーム等を作ってほしい。
・高山も都会的な考えの若者が増え、親と同居するという考えが薄れてきていると思います。独居、老夫婦の世帯が多くなっています。介護保険があるのに、金銭面で十分にサービスが受けられない人がいるのではないかと感じるため、安心して受けられる制度を望みます。
・年をとっても不安なく安心して暮らせる高山市であってほしいと思います。
・高齢になっても地域の支援があり、住み慣れた自宅で住み続けることができる。
・お年寄りも大切ですが、子どもたちにお金を使ってほしいです。お年寄りは自分で解決できるように責任を持たれるといいと思います。
・高齢者の介護の問題などを相談できるようにしてほしい。また、安く施設に入れるように、低所得者には補助を考えてほしい。
・お年寄りの自転車が危なく感じることが多い。3輪自転車の普及を促進してはどうか？チャイルドシート付き自転車も3輪のほうが安全。冬凍った道を自転車で走ることを注意喚起するキャンペーンをしてほしい(とても危険に思う事が多々あります)。
・高齢者が何とか住みやすい高山市であってほしいと思います。少ない年金でも簡単に入居できる施設があればいいと思います。みんなで誘い合っておしゃべりしたり、健康体操ができる場所がほしいです。
・老人の足が楽に使える高山であってほしい。外出することが自分で楽にできたら何とかなることが多い。タクシーは、高くて気軽に使えず、バスは、待ち時間が多いため、何とかしてほしい。普段から車に慣れている地域のため、気軽に車(タクシー)を使えたらありがたい。それが無理なら、冬でも、無人でも動く自動車を整備してほしい。
・老人の自転車運転がない高山市、そのためにバス・タクシー・電車の無償化。
・介護施設が少ない。岐阜市や各務原市は充実している。信頼できる病院が近くにあってほしい。各務原市は、病院が経営している施設があり、近くに住んでいて安心でき、高齢でも安心して住めるため、高山市もそうなってほしい。
・除雪など高齢者支援を増やす必要がある。
・高齢者が住みやすいまちにしてほしい。
・年を重ねた高齢者が安心して暮らせるまち。
・福祉・介護施設の充実。
・少子高齢化が進む中、老若男女が穏やかに暮らせる市であってほしいです。仕事をしていて、老老介護が多いと思います。独居の方も多いと思います。個々の生活があり、プライバシーを守ること必要だと思いますが、要介護状態になる前から、市民がもっと現実的に自分の老後について考え、支え合える風土を築いていけたらと思います。
・高齢者が楽しんで学び、遊び、くつろげる場がある。
・高齢者が安心して暮らせる優しい町であってほしいと願います。
・高齢者の方への見守りがあり、安心して暮らせる地域であってほしい(買い物に行けなくなった時のお手伝いをしてもらえ、体調が悪くなった時に人に伝えられるなど)。
・高齢になりましたので、体調や病院、交通の便、介護、年金など色々な面で不安です。
・若い人がたくさんいて老人を支えてくれる安心できる未来があればと思います。安全でゆつたりと心のなごむ場所がほしいです。まちなみバス、のらマイカーが75才以上は無料になりません

か？自由に動きたいと思いますが、免許がなくなると必要なものが買えないし不安ばかりです。
・高齢者にとってより良い生活が出来るよう期待しています。
・高齢者を思う心を持ってほしい。高齢者の施設が多くなったが、高額で入ることができないため、もう少し安くなったらと思います。高齢者の負担が多くなるばかりです。
・老後の心配が少なく済むよう対策が有るとありがたい。
・高齢者には、健康寿命が伸びるように予防医療にもっと取り組んでほしい。医者は「歩け、歩け」と言われるが、歩かない筋トレをもっと一般家庭に普及させるべき。65才よりもっと早期から行うべき。介護を充実させるより、介護の必要でない政策に目を向けるべき。
・病院の機能変化に伴い、家庭における介護が増加、施設に入りたくても入れない。又、金銭的余裕のない方が大多数。比較的若い人がパートで働けるぐらいで、地域活性化の面でも悪循環と思います。自分も働けなくなったら、安心して介護が受けられる環境づくりをしてほしいと思います。誰でも年はとっていきます。未来への安心とは、老後安心して暮らせることだと思います。
・高齢化にむけて駅西地区に市営ジムを造っていただき、健康で長生きするための市民の憩いの場としてほしい。愛知県の日進市ではすでに取り組まれていて、市民誰でも使えるというシニア向けのジムがあるため、高山にもそのような施設がほしい。
・高齢者の住みやすい町。長男始め子どもにおまかせします。
・若者が高山を離れる人が多く、一人暮らしが多くなっているため、高齢者にやさしいまちにしてほしいと思います。
・少子高齢化の進む中で、高山市に若者がたくさん残り、にぎわう姿は期待できないなか、年老いても安心して住める高山市を極めてはどうでしょう。定年退職した人が戻ってきたいと思うような街です。公民館を利用したスポーツイベント、町中に歩いていける老人カフェや銭湯、散歩道、休憩所の整備など、お金をかけなくても安らげたり楽しめる一息つける町であってほしいです。
・年をとっても安心して暮らせる町。
・高齢者が安心して暮らせる街。
・高齢者が集まって住むことができる所を、支所地域だけではなく旧高山市内にも作ってほしいと思います。世代間交流と共に日本一広い高山市だから出来ること、人口減少に何とかストップをかけたい。永住したくなるような仕掛けや価値観、仕組みを共に考えていきたい。
・高齢者も安心して住める(交通の便、介護の充実)。

障がい者福祉
・知的、身体的障がいのある人が、もっと住みやすい高山市になってほしいです。今もお世話になっていますが。
・障がい者に優しいまち！！障がい者および介護する方への支援の拡大！！
・障がい者が働けるところをもっと増やしてほしい。
・障がい者の通える施設がもう少しほしい。A型事業所が少なすぎます。
・市の職員を増やし、行政サービスを増やしてほしい。障がい児に対する支援施設及び指導員の充実を図ってほしい。
・障がい者が安心して暮らせる場の提供を希望します。
・介護保険は充実しているのに、障がい児や障がい者に対する対策がとても少ない。障がい児、障がい者に対する、ショートステイやデイサービス、日中一時等の受け入れ場所、施設等を考えてほしい。もっと障がい者の現状をしっかりと把握してほしいです。

保健
・不健康な人が少なく、幸福感を持って暮らせる町。
医療
・医療の発展に期待します。子宮に病気があっても、高山で出産できるような産婦人科を求めます。
・これ以上、救急医療が縮小されないこと。
・医療の充実を願っています。病気をして手術となると、岐阜、名古屋、金沢、東京と病院を探す事になります。高山で治療出来る事を願います。
・日赤病院・久美愛病院で断られると、岐阜・名古屋の病院へ行かなければならない。大きな珍しい病状は必ず高山では無理といわれる(例えば岐阜行バスの乗客はほとんどが病院へ行く)。医療を病院任せにしないで行政で動いてほしい。また、通院の医療費控除は自家用車は対象外だが、仕方なく市外へ行くのにバス、電車も2時間に1本しかないのに補助がないのは厳しい。
・病院(小児科)にもかかれない。医者不足を何とかするべきです。
・幅広い世代の医療の保障。
・医療の充実。
・夜間や重い症状等も対応できる医療の充実を。特に小児の医療が少なすぎて困る。又、妊娠中の医療機関の充実を願う。
・高山市にも、不妊治療できる産婦人科を作ってほしい。
・安心して入院できる病院(医師)がない。他県へ行かないと手術ができないなど不安である。あの病院があるから高山は安心だと言われるようになってほしい。
・安心して出産できる病院がある。
・若者が増える。適切な医療が受けられる。
・医療機関の充実。
・市内に日赤病院と久美愛病院がありますが、診療科がだんだん減り、安心して病気にもなれません。いろいろと難しい事があると思いますが、二つを一つにして市民病院とするなど、安心して子どもを産み、安心して最期をむかえられる高山市になってほしいです。
・大きな病院が町の中心にあることは良いことだと思いますが、正直、古すぎて(建物、システム)病気になった時、とても不安でした。もっと開かれた医療のためにも市民に便利な立地、周辺の道路開発、コンビニの充実など必要な場所に必要な施設の整備に向けて、まちづくりをしていただきたいと切に願います。
・現在は観光のみに力を入れているように感じますが、それによって何が得られるのでしょうか？市民によっては、生きていくうえでもっと重要な医療の充実(医師不足)、安心してすごせる場を求めています。
・病院など、専門的な医療機関の充実。難度の高い手術や検査など安心して診てもらえるところ。
・医療機関がもっと充実してくれるとうれしいです。
土地利用
・町並みの統制。乱立するホテル、ビルを規制する。
・手頃な駐車場の設置。

・高山は、古い町並付近は賑わっていますが、駅前には特に何もなくて寂しいと感じます。以前、県外の友人が遊びに来た時も駅前で過ごすにもカフェやお店が少なく、もったいなく思いました。日常生活でも、買い物する時にお店が限られているため、もっとお店を増やしていただけるとありがたいです。
・駅西地区の事は、30 年位前から思っていました。実現するとは思いませんでしたので、ありがとうございます。
・映画館のない町などに帰ってくるものかと若い人が言っていました。住人の楽しみのない町ですね。駅西には高山市民が楽しめる施設を作ってください。
・伝統・文化エリア、商業エリア等でメリハリをつけて、両立した活性化があると良いと思う。
・未来的なまちづくりではなく、伝統や自然を生かした、高山にしかないまちづくりをしてほしいと思います。

道路
・道路整備が進み冬も安心。
・冬の雪の除雪。運転、歩きやすい道路にしてほしい。
・雪道が恐怖感なく通れる高山市。
・融雪装置を完備した道路。
・高齢者の多い近年ですが、排雪場所（消融雪側溝の整備等）をもう少し市内にしてほしい。高山に住み続けるにあたり、「雪またじ」が一番の苦となっています。雪に悩まされる日が多い高山にとって除雪費用はかなりの額となっていると思います。（自分たちで「またじ」をしなければなりませんが、）市民の家の前及び周りには、排雪する場所がありません！この先どうやって雪の日々を過ごせば良いのか、年を重ねるにつれ不安も重なります。
・丹生川町町方の旧国道から桐山へ向かうところで、800mほど道路が狭くなっていてすれ違いができません。何とかありませんか。
・町中の側溝に水を流れるようにしては？防災等、色々なメリットがあります。
・観光客を意識した道路ばかりできている。地元の人が、ずっと住みたいと思える地域にした方がよい。
・峠などが中部縦貫自動車道のように運転しやすくなる（神岡、上宝方面等）。
・冬になり雪が降ると、高山市のイベントに対して、道が悪くてついついあきらめてしまいます。町中の道路残念です！
・交通ばかりにお金をかけ、直近の生活者にはあまり見返りが無い。不便である。
・平湯一松本間の高速道路整備を早く進めてほしい。とにかく陸の孤島すぎて交通の便が悪すぎる。
・道路環境の整備、充実。
・旧高山市内だけで税金を使わないで下さい。住んでいる住民が、十三墓峠で苦労していることを知ってほしいです。市長さんにもぜひ冬の道路や通勤を体験してほしいと思います。上宝から丹生川へのトンネルをずっと希望しています。上宝には土地がたくさんあり、住宅も立ち、人口も増え、市内も上宝もいい事ばかりになると思います。短時間での行き来がいい結果になると思います。
・あまり高速道路を作らなくてもいいと思う。
・観光客が多いのは市政にとっては良いことなのかもしれないが、観光客のマナー（通行）が悪

く、安全な運転ができない(かじ橋、陣屋前等)。歩車分離道路の構築など、歩行者(観光客)とドライバーが各々安心して通行できるまちづくりが望まれる。
・高規格交通網の整備。特に富山方面、長野方面への高速道路の早期整備。
・特に駅周辺や古い町並ばかりではなく、その他の地区も歩道等をよくしてもらいたい。
・どこに行くにも 1 時間 30 分はかかるため、大きな道路がたくさんできてほしい。
・自転車専用道を数多く整備されるよう願います。
・高山松本間、高山富山間、高山中津川間の自動車道の整備。
・旧市内だけではなく、旧町村地域も短時間で旧市内へ行けるように整備されれば、若者は定住すると思います。子どもたちのにぎやかな声があちこちで響く高山市であってほしい。
・日本海から太平洋へつながる道があり、企業が活発に動き、人々が安心して生活できるまち。
・田舎では数百メートルでも車を使う。本当は徒歩・自転車で良いのだが、まずは旧市内でも歩道などの更なる拡充整備に積極的かつ重点的な投資を！
・中橋周辺の観光客が多く、通行に不便な面が多々あります。何かいい対策はないでしょうか。
・道路ができて便利になりましたが、その影で大変な思いをしている方がたくさんみえる事を忘れないでほしいと思います。先代から受け継いだ土地をやむなく売った人、景色が破壊された、墓へ行くのが遠くなったなど色々な話を聞きます。
・山王橋と石浦橋との間隔が長く、不便を感じる人が多い。将来に向けて橋の新設があれば素晴らしいと思う。
・遠方からいらっしゃるお客様が「また来よう」と思ってください高山市になると良いと思う。アクセスしづらい。「遠いし、やめよう」となる観光地ではもったいない。良い文化、良い環境は整っているのに、地元の人に話を聞けば「高山は何もない所だ」「どこへ行くのにも 2 時間かかる」と口をそろえたように言われる。どこか出かけなければいけない高山市ではなく「高山に居れば何でもそろふ」となった方が良いと思う。物流面においても道路の整備は重要だと感じる。
・住むにはいいところだと思いますが、遊びに行くにはまだまだ不便と思うので、もっと交通が充実したらいいと思います(名古屋でも日帰りは大変)。
・旧高山市内に近くなるように上宝からのトンネル開通を願う。
・長野への高速道路の早期開通。

公共交通
・JR 線が 1 時間に 6 本以上出る。「高山市営地下鉄」は難しいので、代わりに濃飛バスの本数を京都並みに増やす。陸の孤島からの卒業。
・「高山新幹線」ができる。
・新幹線が通る町。主要都市にアクセスしやすい町。
・高齢になると久美愛病院に行くのにタクシー代が高くて困る。のらマイカーでは病院の時間が合わなくて困る。病院の帰りものらマイカーに乗るのに 2 時間以上待つ駅まで行くが、駅からタクシーで家に帰るよりも料金が 3 分の 1 で済むのでそうしている。長野県は駅から病院往復のバスが 1 時間おきに出ているうらやましい。濃飛バスセンターから久美愛病院へ 1 時間おきに往復してもらおうと助かる。
・高齢者の割合が高いのに、交通機関が整っていないため自家用車がなかなか手放せない。事故防止のためにも、バスの本数を増やすか、タクシー(高齢者用の)乗車への大幅な助成などに力を入れてほしい。

・公園や図書館が増えたり、公共交通も充実していると、車だけではなくバスなどを利用したくなる。子どもにも公共交通はいい体験になる。
・現在、車移動でないと全てが厳しいため、交通の便が良くなること(バスの本数増加、電車で移動できる範囲の拡大)。
・奥飛騨から高山までの市民のバス代を安くしてほしい。
・将来は高山市内の駅にバスで行ったり来たりできるようにしてほしい。自動車に乗れない者はそうしていただければありがたいことだと思っています。
・高山富山間のアクセスを良くし、高山東京間をもっと行きやすくしてほしい。
・バスの利用も多くなるため、バスの便を増加すると良いと思います。
・年寄りの交通の便が悪い。
・今は車がありますが、岩滝方面からのバスが少なく、車をやめたら歩くのは無理。タクシー料金を年金 7 万円でどうすればと不安。
・需要は少ないかもしれませんが、新幹線が通って東京・名古屋にすぐ出られるようになったら良い！
・公共バスの時間の見直しや停車場への屋根の設置(雨や雪よけのため)。
・道路・交通面のインフラ整備。JR の複線化。
・核家族化も進み、残された親は皆、老後を心配します。特に支所地域は道路事情も悪く、バスも数えるほど。病院や買い物など「足」の心配は尽きないと思います。高齢になって車だけが頼りでも、免許を返納しては、生活に支障が出ると思います。
・今はなんとか車に乗れますが、年とともに困難になっていきます。近くに JA があり、買物はほとんどそこで済ましています。JA がなくなったら大変です。病院に行くにも 4 月からバスの回数が減っています。誰も乗っていないのらマイカーのバスをよく見るのですが、乗客の希望に応じて病院まで乗れるバスがあるといいです。
・高山市の中でも奥の方に住んでいます。今は免許がありますが、10 年後、20 年後の事を考えると、バスが 1 時間に 1 本でいいのでまわってくれるようになればと思います。
・もう少し岐阜・名古屋方面への JR の特急の本数を増やしてもらえるとありがたいです。
・公共交通機関(新しい)の設置。
・高齢者の免許証の返納を推進するのであれば、バスの本数を増やすべきだと思います。本数や路線が少なく不便だから、返納できないのではないですか？
・定期バス、観光バスなどにサルボボと書かないで下さい。名前を変えて下さい(サル人形、おサルちゃん、レッドちゃん)。
・免許を高齢者から取り上げてしまうと何にもならない環境に住んでいる。地域の方は生活できないから、90 代でも運転せざるを得ない。バスの運行を増やしたり、タクシーを無料にするなど対策を考えてほしい。病院にも買い物にも行けない現状を何とかしないと、高齢者の運転が絶対に減るわけがない。
・交通の便が悪く、いろいろな事に対して都合が悪い。
・高齢化社会のため、バス等の本数や順路(乗換え、アクセス等の充実等)の見直しなど車が無くても不便を感じない生活を送れるようにしていただきたい。病院、お風呂(スーパー銭湯)、買い物(スーパー、ショッピングセンター)に行けるバスの本数をもっと増やしてほしい。
・観光分野を重視しすぎ。市民の利便を重視すべき。車が無くても生活に不便が無く生活できるよう努力するべき！！

住宅公園
・高山市には親子が安心して遊べるような、ある程度大規模な公園(美濃加茂市の前平公園のような)がない。ぜひ、作っていただきたい。
・山国なのに都会と比べ公園(大規模、小規模)が少ないと思います。並木通りは樹木が育って来た感じがします。駅東方面は観光エリアとして発展していても、駅西方面は静かで緑と水、風などを肌で感じられるようなエリアになってほしいと願っています。
・南北は宮川が流れ、グリーンベルトがありますが、東西をつなぐ散歩道が全くありません。スカイパークから城山公園まで緑の遊歩道を毎年少しずつ作り、高山盆地内を徒歩などで回遊できるようにするとよいと考えます。100年をはかかるかもしれませんが、持続可能な国際観光都市とするために、駅西地区は全て緑の公園とし、東西をつなぐとよいと思います。
・子どもたちがのびのびと遊べる公園とか、お年寄りが自由に出入りできる憩いの場所が欲しいです。
・自然(周りに山があるのに町中に公園がない)、緑がない。
・市街地に子どもが安心して遊べる公園をたくさん作ってほしい。今は、ポップ公園や市民広場など限られている。子どももお年寄りも安心して安全に暮らせる空間は、高山には少ない(城山までは遠いし、坂道を歩いていくのは、老人、子どもには厳しい)。
・観光ばかりに力を入れるのではなく、市民がもう少しゆっくり過ごせる公園などにも取り組んでほしいです。緑が多い高山ですが、他県に行くと市民が集まれる公園が大きくステキなので。
・子どもや年配者たち、市民皆が一日ゆっくり楽しめる大きな公園があるといいと思います。市は観光ばかり力を入れているように見えますが、もっと一般市民のことも考えてほしい。観光客、高山市民のためにも。
・大きな遊具やアスレチックなど、子どもが楽しめる場所がないので、屋外・屋内ともに充実した施設があればいい(一日中楽しめるくらいの)。
・市内中心地にもう少し水と緑がほしい。芝生の公園など。
・一日中子どもを連れていける公園が出来れば良いと思います。
・都会にあるような気軽に遊べる公園ができるいいと思います。高山の公園は木かげも少なく、遊具も少ないので、山を利用して作る公園などあったら楽しいと思います。
・子どもたちの遊び場(公園)は、特に面白いものがなく、富山、岐阜へ行った方が喜びます。大自然の高山地域を生かして、レジャー施設とかではなく、身体をたくさん動かせる遊具、公園、花、緑づくりをしていただき、高齢者の方にも安心して過ごせるバリアフリーのまちづくりをしていただきたいと願います。誰のためのまちづくりなのかと疑問に思います。自然が町中からなくなる印象です。
・市街地の再開発をしてほしい。飛騨市と比べて市内に公園が少ないので考えてほしい。
・駅西に緑化を!!! 森の都にワイドビューやバスで来た乗客に遠くの山の緑だけでは残念です。市街地は暑いため、緑が増えれば涼しげになります。空き家対策の一環として、市街地の緑化、公園の整備が進めば良いと思います。植木の維持にお金がかかっては元も子もないため、ショッピングモールの生垣のようないろいろな植生の木や多年草で、自然な印象とし、人の手はあまり入れなくても良い緑化にすればいいと思います。公園も遊具は不要。木とベンチだけでよいです。
・町中に自然を感じる公園が少ない。街路樹を植えてほしい。

・子ども達が遊べる公園等が近くにあまり無く、家の前の道路等で遊んでいても怒られます。時代的な問題もあると思いますが、ゲームばかりして遊んでいる子がとても多いため、もっと体を使って遊べる子ども達になってほしいので、もう少し子ども達がのびのび遊べる公園がほしいです。
・子どもから若い方、高齢者も出かけて行って楽しく学び、遊んだりできる場所があると良いと思う。また、幼児から小学校位の子どもを対象とした伸び伸びと遊べる広場公園(アスレチック等)があるといい。
・子どもは宝であり、将来を担っていく子どもたちを健全に育むことができる環境が必要と感じます。親子で楽しく過ごす時間が持てるような環境を作って若い人たちを呼び込み、高山に住んでいただけるようにしたらよいと思います。豊かな自然の中にありながらデイキャンプのできるような公園、場所は無く、自然とふれあえるキャンプ場、観光ミニ牧場、ジャンボすべり台など他地域の取り組みも参考に、自然を取り入れた豊かな子育ての場にしていただけるとありがたいと思います。岐阜の長良公園のような遊具や親子でくつろげる環境が高山に欲しいです。公園に日かげがなく、夏は暑くて遊ばせられないのも悩みです。

上下水道
・上水道が現在アトピーの人にとって良くない。安心・安全な水に。

防災
・防災の確保。
・大きな災害に遭遇しても、地域の方々や行政機関の働き掛けで災害から身を守り(高山市民全員の安全確保)、次世代の育成(復興を推進)に貢献する高山市民でありたいです。
・どんな災害にも強い高山市であってほしい。
・山・川等の災害のないように。
・地震や活火山に対する対策が整い、陸の孤島とならないようなまちづくり。

安全
・これからの高山市、未来の高山市が今よりもっと安心で安全な場所であり続けてほしいです。
・海外の観光客を温かく受け入れる中、防犯等の安全対策がしっかりなされ、治安が守られ安全に過ごすことができるまち。
・安全で子どもがのびのび暮らせる高山市。
・安全で安心して暮らせる高山市が良い。
・外国人観光客が増えており、今の所は特に問題ないかもしれないが、治安やマナー対策など、今後必要では。観光客も市民もお互い気持ちよく過ごせる町になると良い。
・犯罪の少ない環境にしてほしい。
・子どもから高齢者まで、安全で暮らしやすいまちであってほしいです。
・防犯カメラの設置。事故等危険箇所の改善。
・安心・安全な市。
・安心して暮らせる。
・住みやすい高山(人口増加、空き家のない、治安のいい町)。
・子どもも若い人も高齢者も皆安心して暮らせる高山市であってほしいです。

・未来の高山市、安心、安全を願っています。どうか高山市が安心安全であるようにお願いします。
・安心して生活できること。
・とにかく我が子が安心・安全に過ごせるように。
・老人、子どもに安心・安全な町であってほしいと願っています。
・安心して暮らせるまち。
・観光地として健全な町であり続けてほしいです。外部から危険なものが持ち込まれたりする事がないよう、子ども達や老人がずっと安心して暮らしていける町であってほしいです。
・市民が安全に暮らせる町づくりをしてほしい。

消防
・消防団の人員維持に向けた行動。予算を増額し、出動手当の増額により、少人数での活動維持。古臭くなく、若者が興味を持つような装備向上。車両を強化し、少人数での活動の負担軽減。今でも活動は辛く、操法もなくていいのではとの意見も上がっている。今後必ず加入希望者は減っていくため、今のうちに手を打っておかないと手遅れとなる。
・消防団の操法大会が無くなるとありがたい。

協働
・町内会の体制について、見直す時がきていると思います。ドーナツ化が進み、中心部の人口は減ってきており、少ない世帯から役員を選ぶことはとても大変です。中心部は昔はたくさん人が住んでいたと思いますが、今は違います。中心部は合併を、人口が増えている町内会は分離分割をするべきだと思います。
・まち協の活性化。皆が温かく支え合いのできる町になってほしい。
・女性がもっと活動できる。若者が参加しやすい。
・26 地区ある中、月に 1 度集会を実施されている地区があり、「報・連・相」ということで、集会により報告ばかりでなく連絡・相談など地区の皆さんの声が多く聞こえるそうです。各地区によっては集会した方がいい事項でもパソコン文書で済ませていると思います。将来に向けて集会を出来るだけ多くなるように市から文書で通知してほしいと思います。
・15 年に出来た「まち協」について、市長が言われる「町づくりの専門家となる住民を養成する事が大事」と税金を投入していますが、役員の中には家庭をほったらかしにして「役員のため仕方なく出席している」という方が多いように見受けられます。これでは皆を集めただけの税金の無駄遣いのように思えます。もっと若い人達(例えば中学生・高校生等)も交えて観光協会等に頑張っていたきたいと思います。
・高齢化問題は止められません。少子化問題は対策によっては子どもを増やし市民を増やせる可能性があります。地域活動、市民活動、まちづくり協議会等で少子化問題を取り上げ、ゆくゆくは特別対策係も増強してもらいたい。観光に目を向けることも大事ですが、やはり 20 年 30 年先を見すえた人口増加策を期待します。
・町内会への 100% 加入。
・町中では独居老人が増え空き家が増えていますが、町中は町内会の役が煩わしくて住みたくないという若い方が多いです。高齢の方も役をやらなければならない等、時代が大きく変化しているなか、町内会のあり方や本当に必要なのか？市が見直してほしいと思います。

・夏祭りの予算を増やしてください(国府地域のサマージョイフェスタ)。
・私の若い頃は青年団があり、20 才を過ぎると地元で暮らす者は強制的に入会し、町の行事、スポーツ、遊びにとあらゆる事に男女が共に交流し楽しみました。中には生涯を共にする人もいました。同様の地域活動が現在も行われれば、少子化対策になるのではと思いました。

交流
・よそからの移住者が増えるようなまち。住みたいと思えるまち。
・若い人たちも高山に魅力を感じ、地元以外の人たちも移り住んでくれるといいと思います。
・自然豊かで平和な暮らしのできる高山！今後、海外の方も多く定住すると思いますが、仲良くやっていけるような環境であってほしい。
・高山市に住みたくなる理由をもっと考えるべき、国内外からも転入したいと思える魅力の発信。
・いつまでものんびりとした平和な高山市であってほしい。

行財政運営
・各々の暮らしや経済状況に応じた負担の軽減。
・他市町村と比べて充実した施設があり満足しているので、このままでいい。ビッグアリーナ、図書館など。
・公金で行政施策を進められるのは、大変な重荷だと思いますが、高山市は優れた方が多いと聞きますので、自信を持って推進していただきたいです。
・もう少し「素直な都市づくり」のできる市長であり、スピード感のある職員がほしい。
・公共施設(例えば、飛驒の里、鍾乳洞)の入場料について、高山市民は身分証明書があれば入場料免除になりますが、同窓会で集まった他県在住者は有料となり、年金生活の自分たちは少しでも安くならないかという話がありました。私たちもほかの所へ行ったときは同様となるため、検討をお願いします。
・財政の安定した市。
・市役所の職員の方は、忙しくても適切な態度や言葉遣いをお願いします。悲しい思いをしたことは忘れられるものではありません。
・私の子どもの頃よりも人口が減っているのに、地域が広がってしまい車で移動しないと何も出来なくなってしまうています。もう少しコンパクトにまとめれば良いと思っています。
・高山市民が公平なサービスを受けられる。財政負担の軽減。
・地域連携(本庁と支所)を今以上に検討するといい。
・老若男女が共生できるような全市一体の社会を形成できるよう、中長期的な町づくりを期待しています。格差が生じやすい、連帯感の強弱があるなど、男女別、年齢別、地域等セク特的な行政に失望してます。人口減少克服の基本方針を市発展のために目標化する(高卒者は大学進学し、大学を中心とした地域で就職後、都会で結婚し、高山へ帰って来ず、人口減少)。このパターンを放置していれば人口の減少傾向は続いていきます(根本的な改革、大胆な決断)。

空家等対策
・高山市だけではなく、どの自治体でも人口減少に伴う空き家などが問題となってきた。高山市への移住(外国人労働者も含め)を積極的に促したり、空き家の再利用を図ったり、市として取り組んでいただきたい。

・空き家がなくなり、移住する人が多いといい。
・廃屋や空き家が多くあり、これから全国的な問題となります。市として責任を持って考えてください。
・空き家が増えていると感じており、長期的な空き家の場合、建物劣化等の恐れもあるため、取り壊しに対する補助を考えてもらいたい。
・空き家の有効利用、低価格で提供し、人口増加につなげる。
・空き家が増えているなか新しいマンションがいくつも建ちつつあり、矛盾している。いずれ人口減少により中心部へのコンパクトシティが理想になると思う。

地域格差
・合併以来旧高山市内はある程度発展して良くなっていますが、他町村は置き去りの感じがしてなりません。私は国府町在住ですが、合併に期待しすぎた感があり白川村は賢い選択をしたと思います。各地域で公平に事業やイベントをしてほしいと思います。
・高山市といっても、一山越えた久々野は全く人口が違い、何もない所です。姿はありません。変わることはないです。
・中心地だけでなく農村や山村に暮らす人が年を重ねて生活できるように、すみずみまで目の届いた高山市になってほしいです。
・旧高山市は色々な面で充実していますが、合併後の旧町村は過疎となり、色々な施設が撤去され、暮らしにくくなっています。せめて一店舗でもいいから、コンビニを誘致してほしいです。
・地域の問題が一つ一つきちんと取り上げられ、大きい高山市のどこへ行ってもすばらしいと言われる町であってほしい。
・名前だけの高山市であってはほしくない。市街地とその周辺が集まってできた新高山市。むずかしいだろうが、均衡のとれたまちづくりに期待する。
・旧高山市内でも中心には児童センター等があるが、少し外れていると(遠い地域だと)何もない。市民が平等にサービスを受けられるよう、公民館での活動を増やすなど、行政でもっと考えてほしい。
・旧高山市内だけではなく、支所地域にもっと活力があるとよいです。
・支所地域は人口減となっているが、少なくとも安心安全に生活できる環境が確保出来るとよい。
・高山市は広域のため、みな同じようには町づくりができないとは思いますが、この先いつまでも住みやすい町であってほしいです。
・日本一広い高山市。旧高山市と編入した周辺 9 町村とはすべてに格差が大きい。同じ高山市でも、周辺 9 町村の活性化対策が遅れている。旧高山市街地のみが栄えて見える。過疎地域にもっと目を向けるべきと思う。
・旧高山市内は人口も多いため、整備が整っているように思えます。旧町村では年に何回も広範囲を奉仕作業して頑張っていますが、若者も少なく限りが有るため応援してほしいと思います。
・旧高山市、合併後人が減少している地区との差が大きくなっています。観光は旧市内だけではなく体験型民泊、トレッキングなど、自然を活かしたコースも取り入れてほしいです。花の里、ほたるの里、山歩きコース、幼児から高齢者まで楽に歩ける散歩コースなど、地域資源である木を利用した木道で山めぐりができるといいと思います。
・真に平和で豊かな高山市。市内の特定地域だけが活性化するのではなく、過疎が進む地(限界

集落)においても共感でき、安らぎと潤いある高山市。
・合併して高山市に合わせることはよいと思いますが、旧町村は人口も少なく、不都合と思うこともあります。どれだけ意見が出ているのか分かりませんが、地元の意見がたくさん出るよう考えてもらえるといいです。
・編入合併をした9町村の町内会の要望事項、特に道路網の拡充等の公共事業に力を入れて町内要望に応えていただきたい。事あるごとに観光産業を強調されますが、町内要望にも耳を傾けていただくよう強く要望します。
・中心部(旧高山市内)ばかりに人が集中せず、農村部にも移住者を迎え入れる事ができる体制づくり。
・観光だけではなく、居住者が暮らしやすい政策。自分で動けるが、支所地域にお住まいの方々へ移動行政サービスや移動図書館などがあってもよいと思う。
・合併しても旧高山市が優先されているとまだ感じる(水道代、電話番号、イベント開催のPR)。地域に医療機関がない(上宝・奥飛騨温泉郷地域)。せめて日赤病院や久美愛病院の救急車のために、道路・トンネルなどを整備してほしい。地域の商店がもっと活かされればよい。
・旧町村部でも老人など車に乗れない者でも今住んでいる場で生活が続けていけるよう、中心部の活性化ばかりを重視するのではなく、教育、医療、買い物など、困ることがないように考えてほしい。それらがなくなると若者が子育てできなくなり中心部へ引っ越してしまう。
・広い高山市をちゃんと見ていてほしい。

若者
・若者が安心して高山で生活できるようにしてほしい。
・若い人が多い町。
・町中にもっと若い人が住んでほしい。周辺の地域がどこにでもあるような風景になってきている。若い人が周辺地域の土地を買って家を建てている。
・若者が引っ張っていく高山市ができるといいと思う。いろいろなところに目を向けて、活躍できると今とはまた違ったまちづくりができると思う。
・大学などに進学、都会に就職した若者たちが「高山に帰ってきたい」と思える様な魅力がほしい。その魅力とは何か、みんなで考えていくことが大切。
・若者が集まるようなまちづくり。
・若者が高山に魅力を感じる未来を。
・高山に若い人達が暮らせ、子どもも増加し、魅力ある高山市になってほしいです。
・若い人たちが「ここに住みたい」と思い、受け継がれてきた有形・無形の高山らしさに誇りを持ち、次の世代へバトンタッチしてほしい。雇用、子育てなど若い人が魅力を感じるまちづくりを進め、活性化を目指してほしい。
・若者が戻ってきたいと思える市。
・若い人達が安定して一定水準の賃金が得られる環境を整えてほしい。それからの結婚、少子化対策。家賃、土地が高いため、安くしてほしい。税制度(高額で貸してる人への)見直し。若者あつての未来です！！
・今より人口が増え、活気のある高山市(特に若い世代)。
・若い人たちがもっと高山市にいたいと思えるようになればと思います。映画館もなくなり、これといった遊ぶところも商業施設もないため、他県へ出かけることがほとんど。短大はあるが、それ以

外に特化した学校もなし。他県へ行かなくても高山で充分と思えるようになるといいと思います。 観光地としての魅力を失うことがないようにしていくことも大切だと思います。
・若者や若い子育て世代が増え、若い力がみなぎる高山にしてほしい。
・若者が元氣なまち。

その他
・次世代の子ども達が大人になっても住み良い高山であってほしいです。
・子ども、青年、成年、老人のどの年代の人も住み、そのどの年代の人も、「生きててよかった」「毎日楽しい」と思える高山市。
・住みやすいことと、レジャー施設、観光できるところを充実してほしい。
・子どもや老人が気軽に集える場所や地域であってほしい。
・夫婦が共働きしなくてもいいような、経済力のある市になってほしい。
・高卒後の若者が就職、進学でほとんど市外に出てしまう。雇用先の少なさ、給与水準の低さ等も大きな要因だが、そもそも若者や家族連れが余暇を過ごす場が圧倒的に少なく、休みを過ごすために、北陸、岐阜、名古屋に行かなくてはならないのは辛い。飲み屋、パチンコ店だけではあまりにも淋しく、映画館すらない。総合アミューズメント施設の誘致はできないのか。金沢市では、市の花の緑の課が管理する、きれいなバラ園、芝生広場では、一日過ごせる施設として家族・若者カップルでにぎわっていた。雇用の場がなかなか増えないのは仕方ないが、せめて充実した余暇が過ごせるようにできないのだろうか。
・昔の静かな高山を望みます。
・公平と節度を保つ。
・住みやすさランキングで全国No. 1になれるように取り組んでいきたい。自分ができることがあれば。
・日本の中心。
・自然豊かな環境が整い、自身が働いて得たお金で安定して生活ができる。
・若い人たちは都会で仕事に就くことが多いが、ここに住んでも豊かと思えるといいなあと思います。
・交通環境を整えつつも、自然環境や文化を保全。
・岐阜市方面はいまひとつ活気がないので、県の中心的役割になってほしい。
・田や畑などがアパートや家が変わっていくのはとても寂しい。自然な風景があってこそその高山であると思う。
・煩わしいことには参加しなくても良い住環境。
・人口減少しない魅力的な市。
・他の土地から移り住む。新たな産業・職場をつくる。伝統産業を発展させる。
・若い人たちが進学した後、地元に戻らないのはなぜか？もう少し魅力ある町にしてほしい。
・年代を考えてアンケートをされたらよいと思います。考え方、接し方など年代に幅があるため、精度の高いアンケート集計にならないと思いました(若い方と年配の方とは一緒にならない)。
・田舎に住むのは大変で、長男はもっと大変。空気はいいが、働きにくい、遊べない(地域の行事が多すぎる。特に消防や祭)。可哀想に思います。
・現在の高山市の魅力は、外国人が多く訪れる観光。飛騨牛や美味しい野菜が育つ農業。芸術、文化が薫る町並みであろう。将来に向けてもこれを継続していくことが大事である。

・市民が住んで、いやにならず、希望を持てる市。
・大きなレジャーランド等、人の集まる場所がほしい。
・80代以上の方は、現在よりもっと活気ある市を見たい。
・古い町並に地元の方が住み、祭りに協力しない人が住まない、外部企業の思いに振り回されない高山。将来も観光で食べていくなら、今、何を大切にしなければならないのか。地域住民では無理な所があるため、もっと高山市が主体となり、指導できる体制を。これ以上高山の良さが壊れないことを祈る。
・今の観光ビジネスに頼らなくても、地産地消、自然の恵みを活かした安定したまちづくりができる市であってほしい。
・子どもから年寄りまで、楽しんで住みやすい高山市になってほしい。
・美しい自然、伝統文化を守れる都市。
・飛騨市は若者もいろいろな事で市を盛り上げようとしています。もう少し勉強されるべきです。高山の若者は高山に失望しています。
・地方都市の活性化。
・観光客のリピーター化(魅力)、人情(親切、こまやかなおもてなし)、地域(飛騨の味を大切にする)。
・自然環境を活かした「教育の場」「ビジネスの場」等、観光以外の分野においても個性があり、人を引きつける魅力のある市であってほしい。
・冬期の雪に対する対策がもっと良くなるとありがたいです。
・古くて良い物は守っていかなければならないし、自然を自然のまま守り、子どもたちを大事に皆で育て、見守り、明るく、人を大事にする町、市であってほしいと思います。
・旧町村へのイベント施設の整備(特に若い方の楽しめる施設)。
・医療にも恵まれ、高山市民が活力にみなぎって暮らしている姿があればと思います。たとえば、大自然に恵まれている高山だからこそ、大きな公園があり、休日になると地域の皆がそこへ集まり、お弁当を広げて遊んだり、おじいちゃんおばあちゃん達も旅行者の方も寛ぎ、そこへ行けば皆元気と分かる、そんな高山市であってほしいと思います。「市民が不安」と思う事がない高山市であってほしいと思います。
・どんな悩みを抱えた人でも、皆公平に平等に暮らせる市になってほしい。
・葬儀等の慣習を簡単にしてほしい。都会では直葬が増えてきているため、もう少し高山もそれに近づいてほしい。1人が亡くなるとお通夜、葬儀、35日、49日、一周忌があり、出費が多い。生活に余裕がないため、お金を捻出するのに困っています。
・高山出身者が帰ってこられるような魅力あるまちづくり。
・人口減少で暮らしがどうなっていくのか不安がある。少ない人口でもうまく回していける仕組みが必要。やはり旧高山市に人を集めるべきかもしれない。
・地域が衰退する自治体は発展することはないと思います。まして、高山のような広い地域を持つ自治体は、地域の活性化が不可欠であります。それぞれの地域に見合った自然条件、その他の特性があるはずです。例えば、奥飛騨温泉郷のような温泉熱を利用したエネルギーの開発、朝日町の鈴蘭高原など観光を兼ねた高冷地野菜など、現状は経営力・技術力等で不足しているように思います。また、観光高山は、市街地の観光だけではなく、旧町村を含めた高山市全体の観光の推進が必要だと思います。
・高山市民に愛される町。高山に来た人が大いに歓迎され、また来たいと思ってもらえる町。

・大切な自然環境や文化財はいつまでも残っていてほしいです。
・本来の高山のいいところを残してほしい。誰にも住みやすい町であってほしい。
・老人や子育て家庭が生活しやすいように。
・市民が高山に暮らしてよかったと思えるまちづくり。
・今は観光で潤っており、力を入れています、いつまで続くかは分かりません。また、高校を出ても大学などで他県へ行き、大きい企業や魅力がないと帰って来られず、高齢者ばかり残ってしまう、優秀な人材が少なくなってしまうのではと心配しています。
・生まれ育った高山が今日のように発展したことは、本当にうれしく思います。子どもの頃のような高山がずっと続くことを願っていますが、今の高山も大好きです。都会に住んでいる友人達は皆、「良い所に住んでいる」と言ってくれます。自慢の高山です。
・自然・商業・福祉の充実した高山を願っています。
・文化や自然等高山市民であることを誇りに思える(現在、実際に思っています)まちであってほしい。高山市民ではない友達が遊びに来た時に、連れて見てもらえる場所があって、おいしい食べ物があるまちであってほしいと思います。
・障がいのある人・高齢の人など、弱い立場の方でも充実した日常が送れることを願っています。
・暮らしやすい高山市。
・現状通りでよいと思います。
・災害に強い大病院が活動し、大学まで人が集まるまち。
・いつまでもすてきな町であってほしい。
・美しい高山市をくずさないように守っていきたいと思っています。
・これから少子高齢化や人口減少が進むと思うが、それでも活気あふれる町であってほしい。
・若者、子育て家族、老人など誰もが、経済的にも、医療など生活面でも安心して暮らせる町。
・年令別人口分布で10年先・20年先・30年先の状況はどうなるだろう。20年先には市民50,000人程なのか？いずれにしても老人が多く、かつ働く世代が減少し、税金も多く年金も減るのも想定内ではあるが、それぞれの地域が住み易く元気な町であってほしい。何か特徴的な取組みを期待したい(省エネの町、健康推進に取り組む町、便利な町など)。
・未来も今のようにあってほしいと願っています。
・子ども、お年寄が住みやすい所であってほしいです。
・現状を維持しつつ時代に合った住みやすい高山であってほしいと願っています。
・全ての面での現状維持のため、各々が自覚を持続ける事。
・就職を機に高山に越してきて5年目になりますが、正直不便さを感じる場面が多々あります。物価や賃貸物件の高さ、商業(娯楽)施設の少なさ等、若い世代は特に感じる場面が多いのではないのでしょうか。反対に古い町並の雰囲気や高山(古川)祭の美しさ、人々の気さくさ等、これからもこのままであってほしいと思うことがあるのも事実です。こういったトラディショナルな面を守りつつ、観光客だけでなく市民(特に若者)が住んで楽しいと思える施設や環境の拡充を望みます。
・農業と観光を2本柱としたまちづくり。
・子ども、青年、老人が不安なく、高山の四季を楽しめる生活ができること。
・活気ある町づくり。
・高山はきれいな町だといわれます。素敵な町であり、高山祭など有名で素晴らしいと思います。集客につながると思います。高校生が英語で外国の方と話をするニュースは素晴らしいと思いました。

・昔は婦人会等があり、また朝、学校へ行く子ども達を見て幸せを感じていました。子ども達の元気に遊ぶ声が聞きたいです。
・子どもと老人、自然がいっぱいの町に。
・空気・水・食のおいしさを持続してほしい。
・障がいを持っている人や高齢者に優しい町。
・誰もが住みやすいと思える場所になること。
・物価が高いのでもう少し安くするような努力をしてほしい。
・住みたい町No.1 のような誰もが憧れる町、市にしてほしい。(住む環境はもちろん仕事なども)
・自然、文化等大切にしたい町は守り続けてほしいです。
・昔の高山の姿を残しつつ地域の活性化をする。
・落ち着いて活気ある町。
・皆平等で楽しく過ごせたらいいと思う。
・高山の冬は長いです。住みやすいまちづくりとして、迅速な除雪、レジャー施設の充実、暖房費の補助をしてほしい。
・親は子に「高山に戻って住んで欲しい」、子は親に「高山に戻って住みたい」と心から言える市。
・生涯を力強く生きられる町であってほしい。高山で生まれ、育ち、学び、働き、結婚し、生活し、死んでいく。そんな人間の根源を追及し、それぞれの考え方で行き着いた力強い生き方を尊重し、許容し合う。その中で助け合うことができたなら、良い社会ができ、良い環境になるのではないかな。そんな未来になるといい。
・住んでいる人が楽しくて離れたくない町。
・極度の高齢化に耐え、バランスが取れた人口配分の落ち着きを取り戻し、華美ではない生活がおくれる町となってほしい。家族の同居が嫌われ核家族が進み、高齢者のみの家が多くなり、やがて空き家となる。別居した者は戻らず、親達の世話は地域や行政が行うべきと当然のように言い、町内役員など親と同居している若年世代の負担が増加しているのが現状。そういった姿が続かないことを願う。
・さびれた町にしたいくない。「この町にいと落ち着く」「時間がゆっくり流れていくような感じがする」「ホッとする」など、町全体が豊かになる事。物の豊かさだけでなく、心の豊かさのある町。
・明るく安全で礼儀正しく、高山市らしい人情味あふれるまちであってほしい。
・経済の発展、活性化でいきいきとした生活がおくれる町。
・農業、林業が発展し、地域内で消費する循環型社会が進むと良い。
・市の面積が広く人口が少ないので難しいと思うが、自然の豊かさや歴史あるまちづくりなどを生かしつつ、地元の住民が不便を感じないような市であってほしいです。観光事業も重要なことだと思いますが、住民の人口が増えるような、魅力のある高山市のPRや企業誘致などの取り組みをもっと行って地元住民がよそに買い物や娯楽に出かけなくてもいいようなまちになってほしいです。
・自然との共生。若い人も住みたくなる環境づくり(働き場所、生きがい、楽しみ、子育て、出産医療機関、教育)。
・いろいろな施策やまちづくりに一生懸命取り組んでいただき感謝しています。平和で住みやすい安心して暮らせる高山市であるように望みます。
・今のまま美しい高山であってほしいと思います。
・このようなアンケートが必要なのかと思います。

問19 未来の高山市のため、皆さんや地域でできると思われる取り組みがありましたら、ご記入ください。

観光
・旧大八賀村役場を拠点として、地域住民の協力(ボランティア)を得て、国内外からの観光客に対してありのままの生活の様子や風景、四季を感じてもらう事。レンタルサイクル(エコ)を通じて、風を肌で感じてもらう。市内中心部の観光資源と連動し、周辺部の地域の特色や生活、文化もアクティブに体験してもらいたい。
・どの地域も観光地であるという意識を持つべきだと思います。地元の人からすると、たいしたことのない事も他所の人からすると魅力的な場合が多いです。
・観光分野に捉われるだけではなく、市民の生活に目を向けるべき！

商業
・地元の店を利用する(大型チェーンが増え、景観、まちなみが乱れている)。
・四国の徳島の上勝町では、お年寄りが葉っぱ(つま)を出荷して多額の収入を得ており、葉っぱを取ったり作ったり、毎日価格を知るためにパソコンに向き合ったりし、とても生き生きとしているドキュメンタリー番組を何度か見たことがあります。JA 職員が始めたそうですが、本当に理想です。あのように活性化された町になるいいと思います(一部の人かもしれませんが)。

労働
・町内会の意味と意義があいまいな時代で、見守りサービスが仕事になるのであれば、若い子連れの方でも参加できるようになるのではないかと思います。
・外国人の雇用促進。
・与えられた事、仕事を一生懸命、誠心誠意務める。

農業
・余った土地を畑にして、自給自足ができる将来になると良い。
・土地で採れたものを積極的に消費すること。知人友人に知らせること。義理の両親は高山へ来ると、野菜が美味しいと言って必ず段ボールひと箱買って帰ります(せせらぎや棚野菜から)。
・農業後継者の育成。

林業
・里山の保全。
・高山市のほとんどは山林なので、その山林から産出される木材を皆で積極的に使い、少しでも木材の値段が上がるような取り組みをしてもらいたい。ヒノキの 16 cm × 3m の丸太が 1 本 1,000 円から 1,200 円にしかならないのは、安すぎると思います。

海外戦略
・外国人観光客が多いため、簡単な英会話ができればいい。
・英会話。
・外国人に声をかけられましたが、答えることができませんでした。何か良い方法はありません

か？
・外国人の来高が日増しに多くなっているように感じます。地域で簡単な外国語講座などを行い、少しでも話し合えるといいと思います。
・自分は学生ですが、高山に就職出来て暮らせるようになれば、いろいろな国から観光に来た外国人の方たちと交流できる事があれば参加したいです。
・外国人観光客が増加しているので簡単な英会話が出来るといいとつくづく思っています。すぐに使える英会話講座などがあると便利と思います。簡潔な単語で道案内が出来るとスマートです。

地球環境
・自然の豊かさを守る。水の美しさ、動物との共存。
・自然エネルギーへの転換。
・省エネや健康増進のため、自転車や徒歩の推奨。
・自主的にゴミを拾う(日常的に気づいたら拾うようにしています)。資源を大切に(電力や水、すべての資源に意識を向ける。このため、これ以上のホテル建設には反対)。
・我が家を新築した際、CO2 排出を極力少なくするよう配慮するとともに。また、車も EV 化することを見越し、充電できるような設備も備えました。住民一人ひとりが取り組めることは多岐にわたりますが、市としてのコンセプトを広く市民に周知し、それに見合う補助金等を充実することで、行政の意図を反映した市民の取り組みが広がると思います。
・きれいな川、景色のよい山々があり、大切にしたいが、自主的な環境整備にもいずれば限界があるため、支援も検討する段階と思う。サイクリングロードの整備も良いと思う(久々野橋場～段～あらざ湖～モンデウススキー場間)。
・自然の保護、または美化(ゴミ拾い等)。
・大自然を敬い、その恵みに対する感謝の心を忘れず、地域の人たちと手を携えて環境を守る。

生活環境
・環境美化。クリーン作戦や資源ゴミの分別など、今取り組んでいることは続けていきたいです。
・有志による環境美化活動。
・市内の裏通りや、あまり人の通らないところにゴミが多いと感じます。年に一度でも各町内ごとに一斉掃除できたらよいと思います。
・ゴミの減量(もちろん、企業も)。
・ゴミ拾いや個人で気を付ける。
・町内での溝さらいやゴミ拾いを行っています。今できることを継続していく。
・偉そうに言えること等ありませんが、やはりゴミが落ちていない町は、気持ちがいいです。十分ゴミの少ない(落ちていない)町ではありますが、もっときれいでもいいと思います。ゴミを減らしたり、拾うなどの取り組みがあったらいいと思います(今でもありますが)。
・環境美化のための清掃活動。植樹活動。ゴミ等廃棄物の削減。リユース・リサイクル運動の推進。
・美化をすること。ゴミがあれば拾う、家の前に花を置くなど身近なことを全員がすれば、街の印象は変わってくるのではないかと思います。
・もう少しゴミの分別をしっかりとる。
・雑草が生い茂っている場所があるので、ごみ拾いや草むしりなど地域で行うのはどうか。

・会社で有志が集まり地域のために何かしようという事で、日時を設定し、弥生橋から八幡神社等周辺のゴミ拾いを行ったが、キレイで充実感はなかった。同じ日の午前中に他の団体も清掃活動を行っていたと商店の方が教えて下さったが、同じような活動が度々行われるため、そのような清掃活動等のリストを市が取りまとめ公表されていれば、計画しやすくやりがいもあるのでは？
・できるだけゴミを出さないようにしたいと思いますが、特に食品等のムダなパッケージが多く、行政から簡略化するような働きかけができないでしょうか？
・ゴミの分別をしっかりとルールを守る。
・ゴミの落ちていない、キレイな町に！ゴミ拾い、自主的活動が良い。一人ひとりができるところから始める。

景観
・町並みに関しては、自宅の庭を整えるなど、自分自身で行っています。
・町の美化。
・自然や景観を守ること。これらの魅力を発信できる活動をする。

学校教育
・郷土教育や、ふるさとを大切に誇りを持たせることは大切。まちづくり協議会との様々な分野のコラボレーション。
・小・中・高のスクールサポーターの増加。
・学校の部活動と大人の組織との交流。縦の交流をもつ機会があると良い。

生涯学習
・職場の仲間や知人が集まり、イベントなど人が交流できる場を作るといいと思う。集まりやすい、活動しやすいメンバーで企画したり始めた方が進めやすいと思う。
・文化会館、図書館などのサービスの充実により、多く利用し、文化活動を活発にしていきたい。
・地域ごとに幼児から高齢者が一緒になってゲームや遊んだりできる場所があれば良いと思う。その際、子育てを終えた主婦層がボランティアとして裏方仕事を手伝う。

文化芸術
・趣味に長けた方が多いですが、宝のもちぐされ状態のため、趣味特技を生かした人材バンクの充実があるといいです。

歴史文化
・私はありがたい事に高山祭の屋台組に所属し、近所同士の交流が盛んなコミュニティの中で生活させていただいています。この祭の繋がりにより、私のようなコミュニケーションが苦手な者でも、地域の繋がりで育てられ、学ばせてもらい、成長することができたと思います。祭が、人の結びつきや成長、学びなどを想定して始められたかは分かりませんが、伝統という重みも相まって、未来の高山にも繋がる素晴らしい活動になっていると思います。

地域福祉
・現在ボランティアを行っていますが、人数が足りません。個人の口コミだけではなかなか集まり

ませんので、もっと広報等で広めて下さい。
・高齢化するため、近隣等により安否確認する仕組みがあればよいと思います。
・地域の連帯、互助の精神を育む事を地域住民に教育してもらいたい(まちづくり協議会、福祉関係の方々)。
・児童登校・下校の見守り。
・私のようにマンションに一人暮らしの人も、気軽に参加できる地域行事やボランティア活動などが数多くあると良い。やはり高山など飛騨地域は、新参者は受け付けにくく、知っている人同士が集まってしまうように思う。
・地域住民が互いを尊重し、共生社会をつくること。明るい笑顔とあいさつ。子ども、高齢者を見守ること。
・嘘を言わない。皆で助け合う。ボランティアや町内会への積極参加。弱者に対する親切心。
・ご近所やまちづくり協議会が仲良くすることが大切だと思う。
・家族、近所が仲良く助け合って生活をしていく。
・地域でできることは、下校時の子どもへの見守り。見守り隊におまかせではなく、見守りユニフォームを着ていなくても、声掛けや注意を促すことを取り組んでほしいし、そうありがたいです。
・私の住んでいる町(班)では、ある認知症の独り暮らしの方を、これまでも班の中で支えてきましたが、最近では認知症が進行しているせいか、班の方々だけでは、支えきれなくなりつつあり、介護保険関係者(数名)や地域の住民(数名)が集まり、今後どのような接し方が適切なのか、どのような支援が必要なのか話し合う予定です。どなたでも住み慣れた土地で陽気に安心して暮らせるよう、話し合っていこうとしています。今後も、このような話し合いが多くもたれ、交通の便が悪く買い物にも不便な土地でも、この土地に暮らしてきた人々が安心して暮らしていけるよう、皆で考えていきたいです。
・濃すぎる近所付き合いは嫌ですが、それなりの近所付き合いはいつになっても大事だと思います。近所の人の顔と名前くらいは知っておけるといいのではないかと思います。
・高齢の方が増えてきているため、近隣の人との交流を深めておき、何かあった時に助け合えるような理想的な地域連携の姿が、実現できたらと思います。
・「結」の文化の向上。
・周りでは、一人暮らしの人が増えており、町内で一人ひとりを把握して、声掛けや見守りをしています。行事も多く、役員の方は大変ですが、交流の場があったほうが良いと思っています。
・杉山修さんの歌にもあるような、「ただいま」と言えば、「おかえり」と言ってもらえるような、人と人とのつながりを大切にしていきたい。近所のおじちゃん、おばちゃん、じいちゃん、ばあちゃん達が、子どもたちに気軽に声をかけていくことが大切。
・ご近所の声かけ運動。
・ラジオ体操などを朝から(あまり早くない時間)地域の集まりやすい所で行って、全員がそれに参加する習慣があるといい。自然に安否確認できる仕組みがほしい。
・外に出るとき、途中で休むことができる気軽に座れる椅子を増やしてほしい。トイレもあるとありがたい。
・近所の人とあいさつ。会話のできる生活。
・一番強く思う事は、積雪時の暮らし方。屋根の雪下ろし・暖房等。助け合い(ボランティア活動)がしやすい地域を作っていただきたい。
・一人暮らしの方への訪問。

・社会奉仕活動。
・今はアパートなども増え、近所付き合いも希薄になっているので、地域活動等に出席するのに大きな壁がなくなると思います。
・あいさつ運動・花いっぱい運動の取り組み。
・高齢者世帯のみに限らず、冬の屋根の雪下ろしボランティア等の取り組みを期待したい。または、各家庭で業者に依頼した時の助成金等を考えてほしい。
・女性も働くようになったことなどにより、女性部に奉仕作業などを依頼しても断られる。人間関係も都会並みに希薄化している。市役所でも行事を計画してもらえるが、参加する人は決まっている。
・個人の責任において行動し、人に迷惑がかからないようにすること。独居老人宅がだんだん多くなっていますが、声をかけて話したり楽しむことが大切です。私は、野菜が沢山あるため、一人で暮らしている人に差し上げたり、料理してあげるようにしています。ふれ合う事により元気でみえるの確認できます。
・地域住民 5～6 世帯（高齢者ばかり）の小さな集落ですが、区長さんはじめ皆様が連携よく取り組み、安心して暮らしています。
・地域皆で守る高山市であればいいと思います。
・あいさつと笑顔の町づくり（おはよう、こんにちは、こんばんは等）。
・向かい三軒両隣、仲よく。
・地域のことは地域で行うという意識を持つことが大切。地域に誇りを持つことができるよう大人が子どもに伝えること。
・高山市の高齢化率は 30%以上になっていますが、その中でも元気な方はたくさんいらっしゃいます。市内には多くのボランティア活動団体があるため、もっと広く周知していただき、元気な高齢者に団体で活動（無理のないよう）していただければ活力になり、医療費の削減や人件費の削減に少しでも繋がればと思います。

児童福祉
・子ども達が安全に安心にいられる場所を空き家などを利用して、町内にいくつもつくれたら良いと思う（学校、家庭の他に）。
・テレビなどで「子ども食堂」がよく報道されていますが、高山でもそのような現状があるならば、空き店舗やお寺などを利用して、退職されて時間のある方に協力してもらってできるのではと思います。
・少子高齢化を迎え、特に子どもの減少が問題で、里親事業を利用した地域の活性化を望む。

高齢者福祉
・老人の免許の返納、説得。
・老人が集って会話しながら安全にリハビリや運動ができる場所を各町内に1つ作ると思う。町内会でもサポートを行い、1人でも2人でも見守りできる方を置き、家族も安心していられるような場所作り。
・高齢者の活用を考える（地域や町内など）。

保健

・ラジオ体操。
・企業 & 町内会対抗による健康対決。
土地利用
・高山駅西口にレストランなど、もう少し人の集まる施設を作ってはどうか。
道路
・簡単な道路の補修は、地域に任せればよいと思う。
・積雪の時期、道路に家の雪を出してみえる人を見かけるが、自転車、バイク等には非常に危険なため、各町内会に伝達してしないようにしてもらいたい。
・簡単な補修については、そういう技術を持った方が先導し、重機等の貸借が楽にできて、地域皆で協力して補修するなど、もっと簡単な体制で行いたい。その都度行政に報告したり、写真を撮ったり、提出するのは動きづらい。
防災
・防災マップの精査。水の流れ、地盤の堅さなどを踏まえて、地元で意見交換して避難場所を決めた方がいいと思う。公民館等が無い時は、小規模な集合場所や自宅待機も視野に入れること。
・災害対策、地域のつながり、食糧確保(最低 2 週間)、高齢者への呼びかけ。
・防災に対する取り組み。
安全
・子どもが安心・安全に過ごせるまちづくり。こども 110 番や地域見守り隊のさらなる充実を図る。
・地域の安全をただ願っています。
・地域全体で子ども等の安全を守れるように皆で見守る。通学路への防犯カメラ、夜暗い道への電灯の設置を希望する(高校も含む)。
・子ども達を守りたい(登下校の見守りなど)。
協働
・地域の方、ご近所の方々ともっと話す機会が増える事、町内の行事の活性化が必要であり、取り組みやすいと思います。近い所からの顔の見える関係づくりを行う事で、人と人とのつながりが密になると思います。
・これ以上、仕事の支障となる行事・集まりを考えない。新たな取組みをしたいなら、一度町内会の内容をリセットすべき。参加しない年寄りの変化についてこられないか、口出しして変化を許さない。市側から一番シンプルな年間行事を示し、従わせてほしい。
・地域でできることは、町内で話し合い、地域を良くしていくにはどうしたらいいか皆で考え、高山市に提出すること。
・もっとまちづくり協議会「まち協」に深く取り組むべきだと思います。せっかくできたまちづくりの仕組みのため、「まち協」を活用して民間の力を発揮してもらいたいが、現実には「まち協」をどうやって運営するかだけにとどまっています。地区により温度差があり過ぎます。「まち協」にもっと高山の社会・経済問題を理解してもらうことが必要だと思います。その意味では、連合町内会もばらばらで力がない？

・高山市には、町内会・長寿会などの組織がありますが、ほとんどマンネリ化して惰性の活動となっており、改革も行われず、少子化の影響により、さらに活力を失っています。時代に合った組織に改革する動機づけや指導が必要と思います。価値観や利害を共有した組織は、活性化する可能性があるため、自主管理組織の創設・育成が良いと思います。例えば、高齢者によるグラウンドゴルフの会・ひざ腰体操の会といった自主管理組織があり、活発に活動しています。
・町内会活動。地域の絆を育む活動だと思います。
・町内活動の活性化。近所に知らない人がいないまちにしたい。
・若い世代が気に入った者同士でしか団体行動をしなくなっている傾向があるが、まちづくり協議会などをもっと活性化するため、全ての世代をうまく動かせる方法を教えてほしい。市として他都市から学ぶなど、多くのアイデアを示してもらえば、町として、地域として、行動しやすくなると思う。年齢差に関係なく、参加したいと思っている人はたくさんいる。
・町内会の活性化。
・できるだけ大勢の人に町内会に加入してもらえるように、地域・市役所からも声かけをしてほしい。高齢化により川掃除なども大変になってきており、危険な所もあるため、若い人が率先して動いてくれると良い。観光客も多いため、美化に力を入れてもらいたい。年をとって町内会を抜けてしまう人もいるが、できる限り残ってもらい、若い方の見守り、指導などをしていただくとありがたい。
・旧町村ではまだまだ強く残っている地区の行事への協力、参加といったことが、旧高山市の市街地では希薄になっています。町内会費、神社費などの徴収が集金から振込になることで情報交換ができなくなっていました。また休暇の免罪符であった「組内での葬式」を葬儀屋が代替したことにより、地域のつながりを弱めてしまいました。「遠くの親戚より隣近所」とか「向こう三軒両隣り」といったことが忘れられ、「隣は何をする人ぞ」が増えていく中で、地域のつながり強化、まちづくりの取り組みを唱えたところで、実現性は乏しいのではないかと思います。
・いろいろな都合で町内会に入られない方がみえると思いますが、基本、入会していただくようにすべきだと思います。近所なのに顔も知らない、あいさつもしないなど大人がそうだったら子どもに恥ずかしいし、寂しいと思います。一人暮らしなど役が出来ない場合でも、そこは話し合い等で解決できるのではないかと思います。災害等があっても助け合いができない(不明になっても分からない)と思います。
・日々の暮らしで大変ですが、地域の活動にできるだけ参加するなど、自分なりにできる事を考え、協力していきたいと思います。
・独居老人にも町内のいろいろな役が順番にあたります。それを生きがいの様子がみえる人もみえますが、負担に思う人も多数みえます。昔に比べたら減ったのかもしれませんが、本当に必要な役なのか、地域で検討し、見直してはどうでしょう。
・地域の人と関わりをもって協力し合う。
・近所間での交流等。
・近所や隣家との助け合い。住民各々の関係が希薄にならない方策の検討。
・地域の人達のつながりが薄れないようにしたいと思います。
・窮屈ではない和のある近所付き合い、グローバルな発展を目指すにはどうしたら良いでしょうか。取り組みは分かりませんが、一人ひとりの心構えからのように思います。
・住みやすい町づくりを進めるために、町内など小さい単位でのつながりを大切にする。地域に関連した祭などを支援し、地域単位で町を元気づけること。

・町内の行事など、子どもも大人も積極的に参加して、地域のまちづくりに協力することが高山市のまちづくりにつながっていくと思います。
・まちづくり協議会などは一部の人が一生涯懸命になっているだけで、実際面倒だと思っている人、何の恩恵も受けていない人、関心が無い人が多いと思います。税金や町内会費(まち協も含む)が平等で、公平に恩恵を受ける事ができるよう考えてほしいと思います(イベントや補助金にお金を使う事も良いが、全員が参加できる訳では無いため)。
・まちづくり協議会は、活動が盛んになってきているため一層盛り上げていくと良いと思う。
・地域のイベントに気軽に参加できれば、その地域の人と仲良くなれて、子ども達の事も知ってもらえるようになると思うため、地域のイベントや保育園から高校までの学校行事にも積極的に参加していきたい。
・地域が広く、各自治会の取り組みに多くの課題があります。各自治会のあり方は尊重しつつ、事業等はブロック化して実施するよう努力しています。みこしをかつぐ人が少なく独立化が進んでいます(高齢化率58%)。各戸の周辺の安全安心活動に注力(玄関から玄関まで)。ミニサロン活動など(1か月に1度も顔を合わない自治会が増えています)。

交流
・「よそ者」という言葉がなくなるといいと思います。他地域から一人でも参加しやすい開かれた交流の場として、移住者を歓迎してくれる町づくり。受け入れる場所を作るだけではなく、意識も変えていかなければならないと思います。
・よその人にも寛容な態度で。

行財政運営
・市民で負担・努力することで、経費削減できる部分をカットし、その分を強化・促進する事業費用に充てる。
・外国人が多すぎて、昔の高山市の良さが無くなっています。ただ人が多いだけ。市役所にはもっと地元の職員を配置していただき、職員同士が話しやすいようにすれば種々なアイデアが生まれるかもしれません。ただの人員削減ではないと思います。良き指導者として、支所の職員に地元の良い所を見つけて指導してもらいたいと思います。市民だけでは限界があります。
・「こうあってほしい」「こうしてほしい」という思いを表面化し、高山市へ具体的な案を示したり、思いを伝えること(行動を起こす)。
・意見交流や市への意見提出。
・もっと幅広く意見を収集し、公開できる仕組みがあると、周りの人がどのような考えを持っているのかが分かり、自分も意見を発信しようと思える(場合によっては匿名でもできるように)。
・市民と意見交換をする機会を増やしてほしい。税金の使い道をもっと市民と共に考える。市民の思っている事をもっと知ってほしい。必要なもの、必要ではないものの判断を市民にもさせてほしい。市がやることは安易な考えが目立ち、理解できない事が多い。

地域格差
・旧高山市、旧町村の住民がもっと交流できる場を増やしてほしい。いまだに新旧高山市が合併していない所がある。地域の住民がもっと協力・参加できる場を考えてほしい。
・広域となった高山市。市役所本庁だけでは全域が見えず、支所も人材不足と職員の能力低下

(地域のために全力を注ぐ人材の不足)により、地域住民の思いが把握できていません。小さい行政機関ではないが、地域ごとにもっと自由に意見や構想を出し、具現化していける組織があればよいと思います。決して支所機能の向上と言うつもりはないです(職員にその気がなければ無用の事です)。市街地と各地域でバランスのとれた発展ができる、そんな高山市になってほしいと思います。市長も海外視察に多く出張されるが、観光 PR だけではなく、今の高山市に参考となる地域にも目を向けて、少しでも勉強して来てほしいものです。市税で出張されているのですから！

若者

・若者との関わりを多く持つ。

その他

・美しい自然環境の中で生活させていただいている私達。年老いていく日々ですが、健康で明るく楽しく安心して暮らせるためにも、互いに助け合い、お互いにあまり迷惑をかけないように頑張っていけたらと願っています。

・高山の魅力を伝える。生活のなかで良いと思えることを外に発信していきたいです。

・それぞれの地域に住んでいなくても、地元の祭りの時期には行って参加する。自分の得意な分野を生かし子どもに伝える(スポーツ・芸術・文化など)。近年の親は忙しすぎるのか、積極的な人が少ないと感じる。まとめると、高山市民としての誇りとプライドはあるのかということ。少なくとも私にはある。

・一人ひとりの意識の向上。呼びかけ、フランクな集まり、若者の力。

・相談しやすい環境を作っていくこと。

・高山市の良い部分を SNS で発信する。発信すれば特典があると皆積極的に投稿すると思う。一人ですより高山市の人達皆が投稿すれば、すごいパワーになると思う。

・イベント等あると交流できると思います。

・除雪への取り組みが必要である。

・飛騨市が良い、下呂市が良いということではないが、飛騨市の高校等の教科書の購入補助やゴミの分別など、常にアンテナを張り、流れを作れば、住民は自然に動くと思う。無料化は誰でもありがたいが、ゴミをどうして分別しなければならないのか等、日常生活の中で子どもから老人まで身をもって知ること大切なことと思う。

・人々が集え、あいさつが気持ちよく、会話が弾むきれいなまちを維持する。

・コミュニケーション。

・子どもと老人と一緒に楽しめる企画。

・環境、自然、伝統、町並みなど今までどおり守るべきものは守り、伝承されていけるよう個々、地域が協力していったほしい。

・都市部の若年層にはまだまだ高山の名は知られていないと思います(どこ？というレベル)。SNS、ゆるキャラの活用など話題作りも必要なのではないかと思います。草の根 PR 的に各住民が、高山を愛し魅力を発信し続けられるようになったら素晴らしいと思います。各自が自分の仕事に誇りを持って取り組んでいくことが、結果として高山市のためになると思います。

・古い町並だけではなく、高山市の町中全体が魅力的になれば、住む私達もまた市街地に戻ってこられるのではないかと(ドーナツ化現象になっているため)。それぞれの地域が、自分達の宝物は何かと考え、それを生かして大切にすることを協力して進めていくことが求められる。

問20 その他、ご意見、ご提案などがありましたら、ご自由にご記入ください。

観光
・観光客誘致活動で、海外の方をはじめいろいろな方に来ていただいているが、リピーターの獲得までには至っていないように感じている。また、期待外れといった声もあるようだ。顧客単価の増加、リピーター確保のためには、長期滞在型宿泊施設の拡充、富裕層のリピーター確保のための企業誘致(高級ホテル誘致等)、10年~20年単位の計画を立て実行していく必要があると思う。アクティビティも同様。
・観光に関する施設(ホテルと駐車場のバランスが悪い)を考えてほしいです。
・高山市の世界的魅力(ブランド価値)は、文化、歴史、自然等です。江戸時代からの古い町並等は発信されていますが、飛騨山脈はヨーロッパアルプスやカナディアンロッキーに勝る価値ある遺産であるにもかかわらず、地元の方の認知が薄く発信も弱いと思います。今後100年以上先を見据えて持続可能な国際観光都市として生き延び繁栄していくためには、乗鞍岳・御嶽山・穂高岳・槍ヶ岳・笠ヶ岳をはじめ、岐阜県側からの飛騨山脈の魅力を広く発信し、世界から観光客を呼び込む必要があると考えます。世界遺産として発信する方法もありますが、地道に地域の方が愛し発信する遺産とするのもよいと思います。「人」「文化」はこれまでも発信されているため、今後は高山の「自然」の魅力、財産をブランドとすることに力を入れるとよいと考えます。
・国府は町中に桜の木があり、いっせいに咲く春はとてもきれいで、町そのものが観光スポットです。安国寺から四十八滝など春のツアーを企画したら人が大勢来てもらえそうです。観光客もですが、住んでいる私たちが住みやすく安心して年をとれる町を望んでいます。
・観光産業に力を入れていくなら、伝統を守り、本物志向でいかなないと将来はないと思う。高山祭の屋台のきらびやかな装飾の技術を町のいたるところで使ってほしい。特に宮川に架かる橋は観光スポットと胸を張れるようなものにしてほしい。JR高山駅は近代的な駅舎に変わってしまい、どこにでもあるようなものになってしまった。高山らしさを大切に、市政運営していただきたい。
・古い町並と各地域をセットにした年間を通した観光客誘致。例えば冬は各スキー場で短時間スキーを楽しみ、美味しい昼食を提供するような施設(又は既存の施設で飛騨の豪華な食事を準備する)をつくり、中国や東南アジアの観光客を呼び込む。春から夏はサクラ・新緑祭り。夏から秋は山トレッキング・紅葉めぐり、そば打ち、わらびもちなど。
・外国人観光客をととても多く見かけるようになりました。マナー等で悪く言われることもあります。町が活発な印象になり、良いことだと思っています。また県外の人にも「高山」というとすぐ分かってくれるため、知名度の高さを実感します。市が観光に力を入れてアピールしてくれているのが良く分かります。ありがとうございます。
・高山祭も年々観光客が減っている。もっと誘致に力を入れてほしい。
・観光誘客に力を入れるのであれば、上之町の老田跡の駐車場は、市がイベントや駐車スペースとして利用すべきだったと思う。観光コースが、牛串の店ばかりというのはどうかと思うため、日本遺産の名にふさわしい店のあり方を考えてほしい。
・高山観光にもっと来ていただけるように国内の方に向けた戦略を。良い旅館がなく、外国人が好む民泊、ビジネスホテルばかりが増えるように思う。交通ルールを守らない、勝手に戸を開けて見るとか、質の悪い外国人が増えることは望ましくなく、自分たちではどうしようもない。日本人の観光客がホテル等でゆっくりできない。ルールを守らない、うるさいと、来るのを止める方もいる。静かでゆっくり出来る町は、もう無理なのかもしれない。

・海外との交流も大切な事です、まずは、リピーターとして何度も来たいと思ってもらえるように、国内に力を入れて来てもらえるようにすればいいと思います。
・観光は大切ですが、市民の生活が置き去りにならないようにしてください。ますます観光客が増える中、やんだいて(飛騨弁)いるだけではなく、朝市や飛騨の里の整備、街中に市民も観光客も憩える公園の整備などではどうでしょうか。
・新しい高山駅ができましたが、殺風景なので駅前にもう少し季節感のある花を配置してはどうか。桜、紅葉、いちょう、つつじなど、駅を降りた観光客に季節感あるおもてなしで喜んでいただけたらと思います。
・道や場所等を聞かれたときは、市民の1人として丁寧に教えてあげています。近い所はその場所まで案内します。観光に来られた方が良い印象のまま帰られるように。私たちが旅行に行ったとき色々と感じることがあり、また行きたいと思っていただけるように。
・外国人を呼ぶのはいいのですが、昔ながらの日本のリピーターも大事にしていきたい。古い町並の中でのゴミ問題がひどく、そこら中にポイ捨てされている。ゴミ箱を置かない方針はわかるが、町が汚く、町の人がボランティアで清掃している。市で何とかするべきで、町中が禁煙なら、毎日見張りをしてください。
・海外からの観光客呼び込みに大変力を入れているのは分かりますが、受け入れる器が小さいため、何十年とは続かないと思います。古い町並の拡大など見所をもっと増やさなければ、観光業の衰退は見えてます。商店街の活性化。地域一体となって語学力の向上。
・観光地高山はいい事です、信号を守らないなど観光客のマナーが悪く、交通事故が心配です。
・高山は観光地だが、バスが何台も来て、団体に食事できるところが少ないと思います。今後観光地として進めるのであれば、そういうところも考えるべき。
・今高山は、テレビなどの影響もあり、国内外からの観光客が年々増加傾向にあります。また、高山市としても、観光客を呼び込むためにいろいろな取り組みを行っていることも知っています。しかし、それに伴って、観光客のマナー(ごみのポイ捨て、交通ルール)、駐車場の確保など、高山市民が不快に感じる事、観光客が不便に思う事が多すぎると思います。特に、中橋付近・えび坂下・陣屋付近の歩行者が危なく、車で走る側からは、とても迷惑です(信号無視、歩行者天国並みに広がって歩く)。どうにか対策してほしいです。
・いい町だと思うが、お土産店ばかりの印象。
・現在進行中の飛騨の里・民俗村周辺地域の再整備計画を予算がないなどの理由で途中で頓挫させることなく、高いレベルで実施していかれることを望みます。
・今の古い町並は、商業主義が横行してしまっているように思います。地元のものとしては、友人等を連れて行きたいとは思いません。
・飛騨の里は、地元の者は無料と聞いていましたが、絵を描くために訪れたところ、観光目的以外では無料ではないと言われ、料金を払いました。地元の者が、ただ観光(見学)だけで訪れることはあまりないと思うため、活用の仕方に疑問を覚えました。
・昨年12月に高山市に移住して日も浅く、市政、産業、教育、文化等はまだ理解不足です。観光都市として、古い町並、高山祭、北アルプス、白川郷、奥飛騨温泉郷の起点として充分とは思えません。上一、二、三之町辺りの賑わいだけで観光都市としての規模が小さいです(確かに祭屋台は素晴らしく日本三大美祭です)。もっと文化意識の高い施設が必要です(例として飛騨高山美術館の展示作品、特にガレ・サンルイは世界的にも格調高く素晴らしい美術作品です)。観光

客にわざわざ高山に何度も来ていただくためには、地元の人達の接客、環境(自然環境は最高)を品良くしましょう。土産品店のさるぼぼ、飛騨牛をラーメン等に入れて高く売ろうとするような考えは一考下さい。
・2 年程前、テレビ番組の路線バスの旅にあこがれ新宿から富士山周辺をバスで旅しました。富士山も世界遺産になり高山と同じように外国人で大変混雑していました。河口湖駅はバックに富士山とすばらしいロケーションでした。案内の男性1人と女性1人が改札口から出てくる旅行者を振り分けてみえ、混雑がなく人の流れがスムーズでした。インフォメーションの机で待つのではなくいい方法だと思いました。山梨交通のバスの運転手(40 才位の男性)は、外国人対応が完璧で、英語で注意したり案内したり手際よく対応されていました。高山駅前も大変混雑しているため、あのようにすれば良いと思いました。
・飛騨牛やラーメンなど、グルメで観光をうたっているが、東側だけでなく、もっと西側もアピールすべきと思う。JR を利用した観光客は東側がメインだと思うが、近年は道路事情も良くなりマイカーでの観光客が増えたと思うので西側も十分アピールできると思う。西側は上岡本周辺だけでも、ポッカボーナ、とりいち、シェゴロー、おかずまるやま、楽園、宮川中華、パヌーヴ、豊昇等地元民がうなる味の店が多数あり、十分にアピールできると思う。
・観光客増加により中橋や古い町並近辺の道路状況が悪化した。陣屋前付近での観光タクシー、観光バスの乗降が通勤時にかなりストレスになる。
・住みやすく美しい町に誇りを持っていますが、観光面に力を注ぎ過ぎているように感じます。朝市で働く女性も英語を使わず、無理のないありのままの姿で接して欲しいです。時々観光客と間違われますが、素のままの市民を何より大事にしてこそ観光だと思います。
・観光客が一部に集中している(古い町並)。他への観光客の流れを感じない。
・今は観光が好調かもしれませんが、人は一度であきる人もいる。さびれた時の事も考えていたほうがいい。
・「最近の朝市は良くない」と観光客の方も言っています。出店してみえる方も毎日テントを張ったり片づけたりは手間がかかるため、簡単にできたり常設のようにしてあげたらと思います。地元の人「あじか」などに行っていますが、電車やバスでみえた観光客の方はそういう場所には行けず、本来、朝市がそういった場所であるべきなので残念です。何とか昔の朝市のように、たくさんの種類のものが安く買える場所へと戻してほしいです。
・高山はきれいな町、おいしいお酒、食べ物など魅力がいっぱいです。住んでみてよく分かります。岐阜方面の方が、高山へ行ったことがないと言われ驚きました。もっと PR すべきと思いました。
・高山祭という伝統的な観光資源があって良いと思います。外国人の観光客は多いですが、日本人の観光客は少なく感じます。日本人観光客を増やすためには、日にち重視ではなく土日で固定の方が来やすいと思います。
・景観や治安も大事なことはと思いますが、観光地のわりにはお店が早く閉まってしまうため、経済的にもったいないと思います。火曜日定休の店が多いことを知らない人も少なくないため、観光マップや HP に載っていると親切だと思います(火曜日に古い町並に行った時、観光客が話していたのを耳にしました)。
・商店街や観光コース以外が寂れて見えます。観光客向けの取組みも大切かもしれませんが、住んでいる人たちが置き去りにされない、住人が活気づくまちづくりが必要では。
・昨今、大勢の方々が観光商売で来高されています。これからの 100 年の高山らしさとは何かを

もっと考え、自らプロデュースしていく機会を作るなど、ソフト面への投資を検討する必要があると思います。大切なものがすり減っているような気がします。
・市街地の案内看板を多くしてほしい(観光用)。他の観光地と比べると町がきれいなのは市の方が努力されているからだと思います。
・年を重ねてきた事もありますが、祭りなども見に行かないし、土日は裏道を通って移動したり、観光産業で成り立っている高山なので仕方ありませんが、自分の町というより、間借りをしているように暮らしています。今高山で活気があるのは、県外にお金が出て行く所が多く、結局地元に戻元されていないです。映画館、買い物など、遠くまで車を走らせて行っています。
・駅周辺が高山らしくないので、駅前にミニチュアの宮川と中橋を作ってください。橋を渡る時、高山の言葉で「よう来とくれんさったな～ゆっくりして行ってくれんさい」と音が出ると楽しいです(お客様に聞いた意見です)。
・近年観光客が増加して、中橋では写真撮影等のため、歩行者天国のような状態となり、大型バスの通行の際には危険が伴っている。中橋上での撮影を自粛させるため、中橋近くに撮影スポットを設置する等検討していただきたい。
・高山祭の時のゴミの多さが気になる(ゴミ捨てのマナーなど)。
・外国人観光客の誘致に成功しつつあるのは良いと思いますが、その反面、日本人が好む高山の良さが薄れ、日本人のリピーターが減るのではと危惧しています。私の友人や知人も外国客が多くてと言われ、訪れてくれそうもないのが現状です。
・高山に住んでいてとても満足しています。高山に国内外からの観光客が増え、一市民として誇りに思います。昔からの良い文化、施設、風景等他県には無い高山を求めて観光客が来て下さいます。
・「高山市は観光都市」の発想について、その効果は多大なものであることは確かであるが、一時棚上げとする。観光客誘致は他力本願であり、将来に渡って観光客入込みは保障できない。もっと高山市の底力のある政策が必要。「来て下さい」と待っているだけでは心細い。また、市民に直接的なありがたみが感じられず、むしろ交通マナーの悪さ、ゴミのポイ捨て等が目につく。
・外国人や国内の観光客を中心に自転車の町高山市をPRしてほしい(日本一信号機の少ない市など)。 ①サイクルバス。高山駅を中心に、広い高山市に向けてバスの一部を改良し、自転車や荷物をそのまま載せることができるバス。各支所それぞれの魅力を発信するサイクルマップの作成。支所まではバスで移動し、そこから自転車を使って巡る旅、もちろん高山市民もあらためて自分達の住んでいる高山市の見所、良さを再発見できる。 ②サイクルトレイン。上記①と同じ内容ですが、限定的に時間や地域を決め、車を使わない事に価値観を見いだせる仕組み。※千葉県では実際にサイクルトレインが運行している。 ③6/10 ウルトラマラソンがあります、「ウルトラサイクルマラソン」も面白いと思います。市民マラソンレベルの気軽なコースから、本格的なコース設定まで(ママチャリや電動アシストOKなど)。オフロードコース(山やスキー場)も活用し、夏場に自転車で走れるようPRすべき。夏のスキー場も活用し、ガイドする人が飛騨の山々の魅力を案内してコースを回るなど。 ④国際サイクルロードレースの誘致(ハンマーシリーズレース)。ハンマーヒルクライム、ハンマースプリント、ハンマーチェイス、三日間の日程、日本一走りやすい道をPRし(信号機が少ない)、乗鞍スカイラインや他の山岳コースをヨーロッパ以上にPR。 ⑤ベロタクシー(自転車タクシー)。岐阜県も走れるよう規制緩和(自転車は国境をも超える！本当に実現してほしいです)。
・イータウンは観光客をターゲットにするのであれば、駅や観光スポット、旅行雑誌等でもっとアピ

ール(広告、チラシ、割引クーポン等配布)してもよいと思います。観光スポットから集客を促す看板の設置、地元の人も行けるよう駐車場(無料)完備、テナントのクオリティーを上げるなど。飛騨高山まちの博物館は全く無料ということに驚きました。小額(100 円程度)でも有料にしてもいいと思います。
・中学を卒業と同時に飛騨を離れ、名古屋市や横浜などで生活し、30 歳手前で飛騨に戻ってきました。他所に行って初めて飛騨の良さを知り、自慢できる故郷だと思いました。ただ残念な事に飛騨高山と言うと古い町並や高山祭などのイメージで、他の素晴らしい観光資源があまり知られていません。例えば北アルプスや乗鞍岳などは長野県松本市の山だと思っている人が多いです。高山市から見る北アルプスや乗鞍岳は松本市以上だと私は思っています。日本一面積が広い市で、日本で3 番目に高い山があり、温泉もたくさんあります。ぜひとも魅力度1 位の市町村を目指し、高山市民も幸せになれるような町にしたいです。若い世代が地元を誇りを持ち、地元の山をガイドする。そのような人達が増えてほしいので、小学生や中学生にも北アルプスや乗鞍岳に登ってほしいです。
・高山市を誰でも紹介できるようなシステムがあればいいと思います。街を少し離れると何もありませんし、道案内や街のおすすめをよく聞かれますが、説明がうまくできないこともあります。街歩きマップ以外にも何か紹介できるおすすめサイトやアプリ、街からはずれた所からでも説明しやすいマップをコンビニやショップ、ホテルや旅館に置いてもらえたら、もっと観光客に高山のいいところを教えてあげられるのではと思います。

商業
・古い町並、市街地も地域外の資本が入り、他と似たような街並みになりつつある。地域財産の存続、税収の伸びなど今後の不安はあるが、なんとかがんばってほしいと思う。
・1 つのショッピングモールで全部の用事が済む施設があると、子ども連れも高齢者ももっと楽しめるのではないかと？遊ぶところがパチンコ店しかないのが残念である。
・高山にはないハンバーガーショップやコンビニを最優先に誘致して下さい。
・徐々に高齢者が増え、若い人が減っています。現役を退いたシルバー世代が起業して利益を生む何かがあればと思います。地元を活かした特産物、栽培、販売、加工品、いいアイデアはないか。
・電子マネーをよく利用しています。楽に早く会計ができ、財布を持ち歩かなくてすみ、荷物も少なく便利なので、市内のどこでも電子マネーが使えるといいと思います。
・ふるさと納税や観光客誘致。外へ外へ目が向いている気がする。地元に住みこれからもここで暮らしていく人々へ向けた目線が大切なはず。古い町並や駅周辺に観光客がいても、本町(イータウン)は人が全然いない。人の流れを作る努力をすべき。
・朝日町以外にも、夜に出歩ける所があるといい。
・飲食店が古い町並に集中しすぎているため、駐車場もなく不便。もっと飲食店を広く点在させてほしい。
・夢とく商品券をまた行って下さい。
・年々銭湯がなくなっています。銭湯好きな人々に銭湯を復活してもらいたいです。市にも補助などの支援をお願いしたいです。
・国分寺通りは特に淋しい。シャッターが閉まっていて観光客はがっかりするのではないかと。視点を変え積極的に改造(モデルケース的に)し、ちょっと寄ってみたい便利な店、興味を引く店、サテ

ライトオフィスなど開設できないか。駅西は再開発に重点的に投資しているが、設備建物だけ立派にしてもどうかと思う。国分寺通りをもっと元気な通りにしてほしい。
・田舎ほど、ちょっとした買物も出来ないが、コンビニがあると大変助かる。利便性もあり、今後更に必要不可欠な存在となると思う。市としても個人任せではなく支援も必要ではないか。
・リバーサイドの空き家・空き店舗を利用して「屋台村」を作って下さい。空き店舗となりもう何年も(5、6年)利用されていません(ラーメン屋、すし屋、一杯飲み屋、百円均一、おでん屋)。
・娯楽施設を増やしてほしい(若年層離れの防止のためにも)。映画館やショッピングモール、外食チェーン店が無くて、県外や市外に出なければならないのが不便です。
・高齢になるにつれ、日常生活の移動範囲も限られてくると、駅西方面の広い駐車場、会館、駅構内等への移動が大変になると思います。昔各地にあった商店はコンビニに替わって大変助かっています。大型店舗などは、欲しい商品を探すのが大変です。次々と高山に進出してくる大型店舗は、私達高齢者にとっては買い物がしづらい。移動範囲が広すぎて大変です。
・本町や国分寺通りの商店街に用事があっても、駐車料金のことを思うとあきらめることが多い。気軽に停められて時間を気にせず買い物がしたい。
・何かの事業を起こす時、一部特定の人意見だけではなく地元の専門家のアドバイス、意見をしっかり聞いてほしい。素人や利害のある人では本当のところ、真実が解らないと思う。市民の税金(高額を納めています)を見当違いのところに無駄遣いしないでほしい。地元で一生懸命仕事をしているところにもっと手当てやサポートをしてほしいと思う。東京やその他の都会から連れてきた本物でない一時的なイベントに税金を使うのはもったいないと思う。一部の人間の自己満足と他県の人間にお金が出るだけ。
・地域経済がもっと活性化して欲しいと思う。

工業
・国府町は小さいため、高山に工場を建てる活気が出るのでは。

労働
・働く人の賃金水準が上がるよう、企業等へ高山市から働きかける努力が必要と思う。企業等だけが儲ける施策でなく、働く市民が働きがいを実感できる賃金が必要と思う。非常に難しいとは思いますが！！
・65～75才の世代が、まちづくりに精力的に貢献できる社会システム、高山方式とでも表現できるような運営方式が確立できればベストと考えます。年金収入だけでは日常生活ができないことから、雇用市場の高齢化は必至となっています。今後は65才以上の元気な者は、退職後も働くことを余儀なくされます。町の活性化に、こうした労働力を一部活用できないか検討してほしい。高齢者の経験値やテクニク、幅広い見識など極めて価値ある労働力が自然消滅することなく活かされることは、行政にとってもメリットは大きいと考えます。例えば、岩滝地区にクマガイソウ(ラン科)の群生地がありますが、自然のままに保護するのではなく、人の手を加えて野生地を広げる(保護、拡大)。さらには、「アツモリソウ」なども植栽して「ランの群生地」を創り、自然保護と合わせて育成活動などに高齢者の人材を活用して、新たな観光地をつくり上げていく試みなど。岩滝地区のクマガイソウの群生地を現状のまま守るだけでなく、保護、育成活動を目指すことで、土地利用産業に連動した、高山ならではの自然環境活動ができます。クマガイソウ、アツモリソウが樹林帯一面に広がる自然は、群生地を利用した第一次産業であり、二次産業(苗の販売)、三次

産業（観光客の誘致）など六次産業化にも連動するものです。ランを観るなら高山、ランの販売なら高山など新たな観光地創造で、自然に直結した大きなブランドになると考えます。併せて、65 才以上の高齢者のまちづくり活動としての実績をもたらすことになり、地方都市のまちづくりと自然環境保護活動の先進地としても脚光をあびるものと思います。
・全般的に高山市は素晴らしい町だと思います！！中部縦貫道、R41 バイパス等が整備され、どこに行くにも時間が短縮され物流も活発化する現状の中で、観光客も市政のおかげで多数お見えになりました。今後は高冷地を活かした企業の誘致を、ぜひとも強力にお願いしたいです。
・高山市地元企業の給与、休暇、福利厚生等は、他地域、特に名古屋市から帰ってきた自分にとって、低賃金、休みなし、保険なしなど働けど貧しい暮らしを強いられるような、個人・家族経営の会社、中小企業が多すぎる。高山人は、節約して生きていかざるを得ない。労働基準法を明らかに逸脱しているのに、見逃されている会社も多い。町ぐるみだと思う。
・若者が少ないです。良い職場の誘致を。
・高山には大学がないので、高校を出たらよそに下宿などして大学に行かなければならない。親の負担は大きく、私立大学では４年間で一千万円以上かかると言われる。そこまでの大事な高山の子達が、大学を卒業して高山に帰って来て活躍してくれればいいが、帰って来る子は少ないとも聞く。これは、高山から都会への人材とお金の流出だと思う。実にもったいないことです。子達の夢や希望もあると思いますが、大学で学んだことを高山に持ち帰り、高山が発展できるようにしてもらいたいと思います。
・飛騨に生まれ育った若人よ。都会の大学へ行っても、卒業したら帰ってきてこの土地を上へと育てほしい！魅力のある高山市に！！！！！！
・やはり、若い人が住みやすい子育て、介護も皆で協力してほしい。保育士や介護士の給料を高くしてほしい。
・市の世帯別や職業別の収入を明らかにした上で対策を実施してほしい。格差が拡大している気がする。スーパーには老人ばかりで、高いものを平気で買い、困っている感じはしない。若い人は少なく、安いものを探して買っている印象を受ける。給料が安くて高山を離れる若い人が実に多い。このままでは、将来もらえる年金が少ない、家賃が高くて貯金ができない、遊ぶところがない、建物の中が寒い、外から来た人に冷たいなどの理由で、せっかく高山の企業に就職しても地元に戻ってしまう人が多い。
・若者がたくさん就職できるように、職場の確保に力を入れてほしい。企業を誘致してほしい。
・介護・保育の従事者の給料をもっと上げてほしい（市から助成してほしい）。
・全国的な課題に人口減少がありますが、これを食い止めるのは容易ではない。他県（市）への流出を抑える対策が必要であり、特に若者世代への対応が重要。高山市での「すみやすさ」の発信が鍵であり、雇用面の充実により当地での生活が成立する環境を求めます。
・高齢者が増えているため、施設は必要と思いますが、介護士など働く人が足りていない状況で増えていくのはどうなのか考えてほしい。質の高い仕事は今の状態では無理である。
・宿泊施設が建設されますが、高山市民に恩恵はあるのでしょうか。若者が地元就職でき、人口が増えることを望みます。
・現在、0 歳児を含む 3 人の子どもを育てていて、仕事にはまだ復帰していません。前職がパートだったこともあり、次に働くのであれば、正社員と思っています。しかし、私には手に職がなく、特に資格やパソコン業務ができるわけではありません。働く母にとって（私のような無資格、未経験の人）、正社員になれる環境はほぼないのではないかと不安でたまりません。子どもが大きくなっ

て、自分から手が離れ、働けるような家庭環境になったら、高山から出てもっと職種が多様で選ぶことのできるところに行ってもいいのではと考えています。パートや正社員募集などたくさん広告がありますが、企業としては経験者をほしいのだろうと思い、面接前からあきらめてしまいます。どうか、子育て世帯の母親が、正社員として働ける、働きやすい職業を増やしていただければと思っています。
・自分は大学生です。卒業したらもちろん高山に帰りたいですが、働く場所、環境に良いと思う所が少ないです。だからといって自分にはどうすることもできません。若者が関心を持てる町になるといいです。
・賃金の低さ。賃金が低いと、せっかく市が力を入れている子育て支援策の効果が十分に発揮されない。親の収入が少ないと、子どもの教育に十分に充てられない。子どもたちの間でも格差が生まれ、人口の減少に歯止めがかからない。将来戻ってきて高山で働こうと思わない。老後の資金も貯められない不安といった悪循環がある。
・若者が高山へ帰ってこられるような環境づくり。若者が働ける環境づくり(若者が大学等で勉強したことが生かせる企業を誘致してもらいたい)。Uターンできるような魅力ある高山づくり。
・いい産業・働く場所がないため、若者は都会に流出します。高山に限らず、日本全国どこでもあることですが、魅力ある大きな企業が多数来てほしいと思います。
・自営業を営んでいますが、年々お客様が減り、廃業等で収入が減っているので、ダブルワークをしようと思っても、雇用主に断られています。働き方改革で地方都市でもダブルワークできるようにしたり、シルバーに近い私ですが、高齢者の働き口が多くなるような条例を作ってください。
・今の高山市は、親が大切に子どもを育て、教育にお金をかけても、思うような就職先がなく、県外にとどまるのが現状です。若い者が故郷へ帰れるような、帰りたいと思うような環境をぜひ作っていただきたいです。
・雇用が増大する産業の導入。
・高山市で企画されたり取り組んでみえることはいろいろあると思いますが、市民が理解して参加・活用しているかどうかは分かりません。もっと広く情報を知ることができると良いと思いますが、個人の考え方もあるため、なかなか難しいと思います。大学進学などで高山を離れた若者が帰って来なくなるような、就職先がもっとあると良いと思います。
・若い方が少なく、どこも求人してもなかなか集まらない現状です。年齢だけで決めず、今までの経歴で判断し、働けるシニアは使ってほしいと思います(働く意欲があり間に合いそうであれば)。
・2020 年が過ぎると観光客(特に外国人)の数が減少するのではないかと思います。現在新しいホテルが増えています、将来も成り立っていくのかと心配しています。現時点でもホテルの従業員が不足している上に高齢化がすすみ、あと5年も経つとどうなるのかと不安です。若い人達が都会に流失せず、例え都会に行っても戻って来られるような魅力あるまちづくりのために、IT関係等の企業や工場の誘致は考えられないでしょうか?精密機械などは、水のきれいな所程良いと聞いています。また、介護を必要とする人の数がしばらくは増えていくはずですが、介護職員の数が不足しています。
・現在ハローワークが不便な場所にあるため、新警察署が出来たら旧警察署にハローワークを移設してはどうでしょうか。バスでも来られるため高齢者の方で免許返納しても来やすく、駐車場もあり、自転車でも行きやすくなります。
・若者の市外への流出を防ぐための働く場の確保。
・私は大阪から観光の仕事に就くため高山に参りました。単身のため旅館に住み込み5ヶ月、退

職してからは旧市内のホテルで働いてアパートを借りています。いつも安全な町で車は歩行者優先(当たり前ですが)、何か買ったり、仕事で当たり前にするにも「ありがとう」と高山の方々は丁寧に言って下さいます。小学生からあいさつされる気持ち良さは心が洗われます。自然はすぐそこにあるし、四季が感じられ、すばらしい所です。私は 40 歳すぎて高山に来たため、住宅補助が受けられませんでした。また 5 年間の住所登録も未定です(親に何かあったら帰らねばならないため)。しかし、長期でいるかは未定ながらも一定期間過ごしている私に何か特典が受けられればいいと思いました。人がいないという問題もありますが、それ以上に宿泊業はブラックだと言われることがあるそうです。給与が他県より低いのだから、せめて有給を取りやすく、残業込みはやめるなど各会社の労働条件の改善を求めます。他県からせつかく働きにきても短期で帰ってしまいます。
・観光ばかりではなく、企業を誘致して働く場を多くしてほしい。
・若者が憧れるような企業の誘致。住みやすい住宅の設置。
・観光で成り立っている市とはいえ、若い人が少ない上、働く場所が旅館かホテルしかないのは本当にかわいそうです。道路を整備して移動しやすくするか、企業を誘致して働く職種を増やし、流出を止めることが必要と思います。その場合、旅館やホテルの人材確保が難しくなる。働き手が少ないのに旅館、ホテル、コンビニが多すぎます。
・地元の中堅、一部の企業において、労働基準に違反しているサービス残業や賃金未払いがまかり通っていると聞いています。若者が知らないまま働いている可能性もあるため、市から企業に改善を求めてほしいです。
・現在は、観光客に依存している面が多いように感じられる。将来を考えて、もっと働く場所に重点を置くべきではないか。
・新規の工場誘致等は地理的、人材的に可能性はかなり低い。現在の大手企業のつなぎ留めに尽力してほしい。
・仕事の内容等選ばなければ、たくさんあると思います。若い人・退職者(60 歳以上)に向けた取り組みをスピード感を持って行くと良いと思います(仕事の内容や職場の方針、社会的な意義を伝える努力をする)。
・地元に帰ってきたいが、雇用の場が少なく帰ってきても仕事がないなどの友達がたくさんいます。若者に対する雇用の場を増やしてほしい。

農業
・農道を空港や市民が利用できる場、レジャーランドにするなど考えてほしい。
・現在、猪・鹿・熊等の被害があり、安心して農業ができない。フェンス等に多額のお金を使ったが、フェンスの内側にもいて、なかなか駆除できていない。猟犬等で追い払う方法をとってほしい(1 度追い払うとしばらくは来ないので、実行してほしい。特にフェンス内側にいるイノシシについて!!)。
・おいしい野菜・果物をたくさん作ろうと思っても、獣害がひどく、思うようにできないのが現状です。柵の設置の補助等、いろいろされているとは思っていますが、追いつきません。
・今朝、棚野菜の販売でブロッコリーを買い求め、自宅でゆでて食べたとき、とてもおいしく力が湧く感じがしました。高山で採れた野菜を朝市などで調理し試食頂くことで、高山の良さの発信になると思います。販売店を駅西に作り、自宅に持ち帰ることも、直送もできるようにしていただきたい。心ある生産者や家庭菜園をしている方に安価あるいは無料で土地を貸して広げていく。農業

大学を誘致するのも良い方法と思います。アレルギーの子どもが増えているため、小・中・高の学校給食の対応をお願いしたいです。
・畑も老人が耕作しているだけで次世代の人はやる気がない。畑は休耕シートを張るばかりで、土地は次第に荒れていくため、何かいい方法はないだろうか。小規模の水力発電で水耕栽培の野菜工場やいちご農園等が出来ないだろうか。
・周りに農業で頑張ってみえる方が多いです。他所から農業生活にあこがれ新規就農されても数年で離農する人も多いようです。市でも話し相手になったり、横のつながりを作るなどしているのでしょうか？（親の跡を継ぐ人は別）
・飛騨エアパークの有効活用。
・農地の地目変更の簡素化。
・農業を営んでいますが、行政の有形無形の援助がなければここまでやってこられたかどうか分かりません。日々の業務に深く感謝しています。自分としては農業を通じて高山の魅力を伝え、高山に定住する人が少しでも増えるように頑張っていきます。

林業
・山桜に囲まれた山都のイメージで、飛騨地方の山桜をメインに、山つつじなどの苗を育成し順次植林しながら保全していく。山の地主の協力のもと、長期にわたりゆっくりと取組まれてはいかがでしょうか。
・森林資源の有効活用。
・実現は簡単ではないと思いますが、高山市の木材を使って高山城を建ててはどうでしょう。資金、防災の面からも難しいかもしれませんが、飛騨の木材を使う事業があればと思います。

海外戦略
・外国人用の外国語の地図などを街中に設置した方が良い。又、ホームページなども、外国人の興味が湧くような工夫を加えた方が良い。
・外国人観光客が多いことはいいのですが、マナーの悪さについて考えてください。日本人の観光客が多くなることを考えてください。
・外国の方もこれからますます増加すると思われるため、外国語が学びやすい施設やシステム（低料金で学べるとか、大学費用の補助）などができ、学んだ子どもたちが地元に戻ってきて就職できるようになると町も活性化したいと思います。
・外国人観光客も多くなってきましたが、もっと日本人を大切にしていきたい。外国の人たちはテロや大地震などが起こると来なくなります。
・最近スーパー等でアジア系の人たちをよく見かける。マナーが悪いわけではないが、高山市にも外国人移住者が増えているのかと思い、やや不安に思う（将来外国人ばかりになるのではなど）。観光客なら一時的な滞在のため良いが、外国人移住者が増えすぎると色々問題が出るおそれがある。
・外国人観光客への高山市のアピールは進んでいると思いますが、外国人のマナーがとても悪いことが気になります。高山市民が迷惑に思わないようにするためにはどうすべきかも、海外へ発信していただけるとありがたいです。
・市長の海外出張が多いのでは？
・赤信号でも平気で渡るなど外国人のマナーの悪さが目につきます。交通誘導員の方ももっとしっ

かりと注意していただきたい。車に乗っていて危ない時がありますのでお願いします。私以外にも様々な所で話題になっています！
・海外のお客様に対するおもてなしとして、高山祭の様子、からくりなどの映像を大画面で常時見られるような場所があると良いのでは？例えばまちなかの空き店舗に白い壁を設置してプロジェクターを使った「まちなかシアター」のような場所があったら喜んでもらえると思います。又、体験型の施設も良いと思います。からくり人形の難しい技術の体験やさるぼぼ作りの体験など。
・今や外国人で市内のにぎわいが凄い。ホテル、タクシーの 6 割は外国人が利用していると思います。今後、外国人の旅行客が減少したら観光関係の会社の打撃が大きいと思います。
・市長の海外出張が多すぎないか？市民の多くは何の目的で行っているのかよく知らない人が多いと思う。「広報たかやま」で知らせたらいいと思う。
・ホテルばかりが建っていますが観光客は増加していくのか？高山の町並みは外国人ばかりで、駅前にいるところは高山？と思うくらいです。外国人のマナーが悪いので、教えてあげてほしいです。
・町に出かけると外国人を大変多く見かけます。高山にこんなに多くの人が親しんでくれていると思うとうれしいです。外国人に喜んでもらえる食事などができるところが増えるといいです。
・ソフト面で外国人観光客の受け入れ態勢が追いついていない。レストランで外国人だと断られる、英語を話せる人が少ない等。

地球環境
・地熱発電事業に反対する。
・奥飛騨は不便な所はありますが、都会のように便利になることは希望していません。いざと言うとき、医療施設は近くにあったらと思いますが、自然はそのままであってほしいと思います。良い所に嫁いだと思っています。人も自然も大好きです。
・人口減少が進むのに貴重な自然を壊して宅地を増やしても、購入できる人も少なければ、空き家も増えるばかり。なんのために、貴重な自然を壊すのか？高山市独自に自然エネルギーを利用した施設を整備して(温水プール施設など)、財源の確保に尽力したほうが良いのではないかな。
・ゴミを 24 時間捨てられるようにしてほしい(雪が解けた頃に出せるよう)。
・山に囲まれた高山市だが、町中の緑は少ないように思う。できることから緑を増やしてはどうか！
・水をきれいに保つため、何らかの取り組みをすべき。ここ 2～3 年の間に荒城川の水質が落ちているように思います。自分が子どものころは、川で水遊びをしましたが、現在自分の子どもに川遊びをさせることには抵抗を感じます。藻がたくさん生えるようになり、ドブのように感じますが、原因は何でしょうか。どうか美しい環境を少しでも維持できるよう原因調査と対策をお願いします。子どもたちが遊べる自然環境が縮小してきているように感じます。新しい公園や遊具、テーマパークのような遊べる場所が増えるより、昔からある自然環境の中での遊びを大切にしてほしいと切に思います。
・長野県の飯田市のような地域循環型社会に向けた取り組みが大切と感じます。原発には頼らず、水力など(小川)を使い自分たちで電気を作るなどの活動を、市でも推進して下さるとありがたいです(生ゴミの堆肥化の推進、間伐材チップによる発電、乳牛の排泄物によるバイオマス発電等)。

生活環境
・観光客にまた来たいと思ってもらえるように、ごみのない町にしていきたいと思っています。先日陣屋前にて行われたイベントで、参加者が陣屋の横の植木の中にくるま座になって座り、皆でたばこを吸う姿を見られた観光客から注意を受けており、恥ずかしいと思いました。見回りをお願いします。
・火葬場はいつできるのか？のろのろしていると、老人が大勢みえるため大変なことになる。
・火葬場の位置は、どこを提案したとしても反発があり大変だろうと思いますが、とても大切な施設ということは誰もが認識しています。新設もですが、既存の施設を新しくする考え方とからめてできないかや、世界生活文化センターを活用できないかなどと思います。吊る、泊る、いやし、音楽の場所。火葬場という言葉の代替えとなる語句(ネーミング)も考えてはどうかと思います。
・火葬場とごみ処理施設の早期決着を希望します。誰もが世話になる施設であるのに関心が低い。市役所の方々の誠意を感じるができないが、それは報告がないからだと思います。老朽化した施設を何とか使っている状態のため、早く新しい施設にしてほしい。
・高山市へ転居してきたばかりです。我が家のゴミ収集カレンダーによると、種類別の収集日ばかりで、随分と遠くまで出しに行かなければなりません。プラスチックゴミはすぐにたまってしましますが、遠いので出しに行く気になれません。可燃ごみ収集の場所にその他のゴミも出せるようにしてほしい。近くに出す場所があれば、もっと分別も進むのではないのでしょうか？現在は可燃ごみの中にその他のゴミも入れて出している方がいるようですが、とにかくゴミ出しが1番不便でなりません。なんとかしてください。
・新火葬場の建設について、あまりにもスピード感がないのはなぜか。
・ゴミシールの配付枚数を増やしてほしい。
・新火葬場を早く作ってください。親族が亡くなり、火葬場を行き来しましたが、観光客の歩く姿を見て辛くなりました。狭い道路も怖く感じました。
・可燃物・不燃物等の集積所の増設を強く希望します。集積所が遠く、一人暮らしの老人が、荷物を持ち歩いていくことが、とても厳しい現実があるからです。
・火葬場で難航している場所について、他の都市部では駅の近くや民家がある地区などいろいろな場所に建設されています。高山では余裕がありすぎて混乱していますが、便利な場所に高性能な機器を導入すれば外部への影響も少ないし、一見して火葬場と分からなくできる方法もあります。高齢者人口が次第に増えるため、早い対応で建設を進めてほしい。
・新火葬場建設の遅れは、市議会でも市民の声を聞かず、勝手に決めたのが原因です！これからほっと市民の声を聞くようにしてもらいたいです。
・火葬場の選考基準などを見ますと飛騨・世界生活文化センターが最適だと思います。以前市役所で他所の葬儀場ビデオが流れていましたが、どこも明るく素敵な所でした。たまに芸術的なイベントもするというので、選考基準の全てにあてはまると考えます。政治的な事などはよく分かりませんが、飛騨・世界生活文化センターが一番良いと思います。
・高山市のごみ分別、出し方は、取り組みやすく素晴らしいと思います。
・高山市のゴミ収集を統一してほしい。国府町のゴミ収集の見直し。昔のままです！
・火葬場及びゴミ処理場の移転先を最優先で決めるべき。遅すぎます。
・古い町並周辺にて、観光客を中心に歩きたばこをしている人をよく見ます。禁煙地域という認識のない方がほとんどのため、禁煙マークなどをもっと分かりやすく表示するべきだと思います。
・缶を出す日ではない日に缶を出す、夜ゴミ袋を出してネットをかけない、他人のゴミ袋の中に自

分の持ってきたゴミを加える、早朝車でゴミ集積場に来て大量にゴミ袋を出すなど、あまりにも不愉快なルール違反が目につきます。
・新火葬場は旧高山市以外の土地に造ってもらいたい。
・生活していればかならずゴミが出ます。ゴミ処理施設は、住宅の近くから外して郊外に大きな施設を作してほしいです。火葬場は、今ある所に作れば良いと思います。
・火葬場整備はいつ着手するのか。委員会を設置して検討してみえますか。市長自ら行動して努力しなければいつまでも決まらないと市民一同思っています。
・早く高山市の火葬場を作してほしい。市長には風見鶏になってほしくありません！
・ゴミシールの廃止（高山市推奨のゴミ袋を購入しているのに更にシール。他県から転勤などで来て在住している方は有料で負担大）。他地方ではあまり例を見ないし、珍しいと言われます。ゴミ袋も半透明で充分中身が判別でき、全くの透明はゴミ袋にふさわしくありません。
・ゴミシールの配付枚数は、減らしてもよい。

景観
・景観は保たれているが、事故の多い場所（街中、図書館附近）は、もう少し景観よりも安全を重視してほしい。
・旧高山市内のまちづくりも大切ですが、支所地域での環境整備にも力を入れて欲しいです。奥飛騨新穂高地区は目の前に広がる飛騨山脈（北アルプス）が雄大でとても景観が素晴らしいですが、電線が邪魔をしている所もたくさんあります。電線の地中化ができれば素晴らしいと思います。
・奥飛騨温泉郷の地域の景観のため、沿道等の定期的な草刈り等により環境整備してもらおう事を希望。

学校教育
・教育が進歩的とは言えないのは寂しい事です。子ども達のために何をなすべきかをしっかり考え、実施しなくてはなりません。どんなに今は観光客が多くても、若者に夢を持たせられない地域は必ず、将来が不安になります。教育の再考をお願いします。
・22 年前、結婚して高山に住みはじめました。1 番に考えたことは、子どもが生まれた時の学校（高校以上）の心配です。選択肢があまりにも少なく、学校が少ないため親元を離れる時期が早いことが親としてとても心配です。私は愛知出身のため大学、就職も家からでした。
・高山・飛騨地域では、毎年高校生が卒業すると、約 8 割の学生が他県、他地域に将出ていく。国家という視点から見れば、特に問題ではないが、高山・飛騨地域という視点から見ると、0 歳～18 歳までの子育て資金、18 歳～22 歳までの教育資金の流出となる。仮に 1,000 人とすれば、1,000 人×子育て資金、教育資金（1,000～2,000 万円）。子どもに投資されたものが毎年流出しており、リターンもない。しかも 10 年～20 年、100 年と続いていく。高山・飛騨地域は教育環境を整えるのには良い所だと思う。専門学校、大学、研究機関等々を充実させ、学園都市的な方向を考えてみてはどうかと思う。頭脳や人材の流入、地域の活性化が期待できる。神岡のカミオカンデ、高山木工訓練校等々は、大切な麴の 1 粒である。観光はブームが終われば去る。企業（ホテル建設ラッシュ）は、利益が出なければ撤退する。50 年、100 年先を考えて頂きたいと思う。
・未来の大人（小学生・中学生）の教育のレベルアップ。外国語を教えらる人の活躍。
・学校教育をはじめとして、自然を守り、自然への感謝を醸成する教育をしていただきたいです。

若い方たちが、車からゴミ等を平気で道路に捨てています。時にはレジ袋ごと放る方もいるようです。小さいころからの家庭・学校でのしつけ・教育が必要と思われます。人として美しい人格形成の機会を作っていただきたいと思っています。
・海外からの観光客が多いことを活かして子どもの英語教育に力を入れたり、高山ならではの取り組みがあると思う。
・医大志望者、医大入学者への奨学金。
・高山市内の案内や説明はできる程度の知識や語学力を子どもの時から学ぶ事により、高山に対する誇りや愛着を感じ、自分達で地域を守るという意識が生まれると思います。
・子どもが安心して健やかに成長できるように、義務教育と高校教育の完全な無料化を。大学進学者については、無償化に近い援助を（高山市民のみの条件付き）。
・人としての教育、高山市らしい人づくり。
・小中学校で飛騨の自然環境の豊かさをしっかりと教育する。自分の場合は、大人になってから気づくことが多かった。
・子どもへの教育(高山のすばらしさ、自然、文化、人、体験、交流イベント)。
・小中学校にもお昼寝タイムを導入してほしい。10 分でも 15 分でも脳を休ませると学業にもプラスに働くと思う。

生涯学習
・大学の誘致。
・高山にふさわしい大学があつたらいいと思います。
・「高山で就職するなら大学へ行かせる費用は無駄」という母親の声をよく聞く。「田舎ほど学問・文化レベルが低い」と言われるが、高山はそうなってほしくない。中卒、高卒、大卒、院卒で差別があつてはならないが、たとえ賃金に繋がらなくても教養を深めることは人生を深めることと気づける機会、場所が増えてほしい。
・みんなに開かれた大学。
・原山で野外ライブなどのイベント。
・私は都会での生活に憧れ名古屋に7年住みましたが、縁あって高山に帰って来ました。食べ物はおいしくて、安全で、自然豊かで、皆人柄も良い高山はやはり住み心地がいいと高山を離れたからこそ実感しました。最近の子ども達はコンビニやファミレス、チェーン店の食べ物を口にする事が多い様に感じるため、親として子ども達の健康が心配です。これ以上、上記の様なお店は増えてほしくないですし、高山の伝統的な味を守るため、もう少し気軽に参加できる料理教室があるとうれしいです(子どもを預けられるとなお参加しやすい)。
・「ちょけらまいか」が単なる仮装行列のように感じます。高山には舞踏家として現役で活躍されている方もみえるのだから、八尾の「風の盆」のように代々受け継がれるような踊りを創作すれば素敵だと思います。
・高山を出なくても高校卒業後の進学を選択ができたらいいなと思います。

スポーツ
・高齢化社会を迎え、どこをみても年寄りですが、お年寄りが昔と違って元気な方ばかり。私もその 1 人ですが、グラウンドゴルフをして楽しんでます。高山クラブで競技しているのですが、大会の時は多くの参加者でにぎわっています。聞くところによると、電話申込みですぐに定員になっ

てしまうそうです。8コースあるのですが、1コース7人として56人。8人ならば64人がプレーできる上限です。もう一面隣の田を借りてコースを作っていただければ、より多くの人たちで楽しくできるのではと、私は思っています。萩原には二面ありますので、5月の例会では120名の方が来てプレーしました。丹生川のひろ野公園も良いのですが、街中にあったほうが、自転車でも行けまし、良いと思います。ぜひ、前向きに考えてください。よろしくお願いします。
・冬が長い地域の特徴を生かした雪遊び、スキー、スノーボードなど冬ならではのレジャーの活性化を図る。雪遊びやスキー・スノーボードの楽しさを多くの市民が味わい、もっと子どもの頃から冬を待ちわびるようになればいい！（昔は、高山でも町内で雪像づくりコンテストがありました。）
・ビッグアリーナには、レストラン・食堂等が近くにありません。立派な建物で全国から競技大会に参加されるのに、食事をするところがないのは不便で、珍しいのではないのでしょうか。参加者の声が聞こえてきます。
・新サッカー場の建設。必要な時に必要なものがない。田舎都市に満足している。観光ばかりに目が行っている。
・屋内体育施設の建設。高山は雪の時期が長い割に、室内のスポーツ施設の数が少ない。例えば、室内テニス場など。雪の時期は、外でスキーとスノーボードだけをしてくれと言わんばかり。
・以前の村役場・市役所職員・学校職員・県職員など一般会社員以外だった方々は、退職後もビッグアリーナ・市施設等で再就職している。そういった方々が勤務しているのに、ビッグアリーナの車いすは、税金で購入したと思われるが、日光に当たり、褪せて使うのに不安があるような状態であったり、血圧計を借用すれば、電源が入らず、腐って使用不可であった！こんな管理不行き届きの状態で、ウルトラマラソン・市民マラソン・松本市との交流等、よく高山市の会場として運営できるとあきれました。体育館・フロアだけでなく、すべてに高山市を誇りと心から言える状況にしてほしい！！
・体力づくりの場所としてビッグアリーナがあるが、なかなか遠くて行けない。プールでトレーニングをしたいが、大人はひだホテルのみで、固定の利用者がみえるため、後から入った者は、なかなか泳げない状況となっている。温水市民プールを作っていただきたい。
・スポーツ施設の充実。野球場・陸上競技場の設備など。
・高山には年中楽しめる健康スポーツランド（元クアアルプのような）が少ないと思いますので今後のためにも、ぜひ整備を考えていただきたいと思っています。
・ウルトラマラソンを毎年道路で応援しています。全国から参加いただき、今年は一番参加者が多いそうです。高山のアピールにつながると良いです。
・私がマラソン最盛期のころ、高山市には市民マラソンと乗鞍スカイマラソンぐらいしかなかった。各大会に他県まで行ってた。高齢になった今は指をくわえて見てるだけのため、市はもっと早くからマラソンに取り組んでほしかった。プール等の問題も出遅れているのでは！
・高山は冬の期間が長いため、寒さを利用したスケートリンクなどがあれば、子ども達もスケートを楽しむなど冬季スポーツに親しむと思います。
・冬が長い高山での生活は大変苦しいところがあります。冬期でもできる健康維持のための運動、スポーツ施設の拡充を。
・高山市は冬に雪が降るため、ウインタースポーツの普及に力を入れてほしい。現在、小学校で行われているスキーの会の回数を増やしたり、中学校でも行うようにしてほしい。道具などで親に負担がかかるなら、レンタル費用を補助してはどうか？高山市内のスキー場はリフト代を無料にできないか？高山スキー場の甲山ゲレンデは飛騨地方には珍しいゲレンデで子どもたちも楽しん

でいるため、リフトを直して滑れるようにしてほしい。
・スキー場の夏場利用を促進するべき。MTB、BMX など自動車競技で活用している所は、他所ですでにある。冬場についても外国人等の長期滞在リゾートとして再開発をしてはどうか。
・小学生の子どもがサッカーをしています。試合も多くなり、いろいろな会場へ行っていますが、高山だけ芝のコートがないです。子どもはキーパーをしています、転んで怪我をするのが怖くてボールが取れない、飛び込めないこともあり、飛騨市をうらやましく思います。芝(人工芝で良い)のコートを一か所でも作っていただけたらと思います。
・子ども達のサッカー人口が多いのにも関わらず、高山市にはサッカーができる環境(古川のような人工芝グラウンド)が無いので、これからサッカーをする子ども達のためにもぜひ作ってほしいです。人工芝グラウンドで練習・試合ができる古川の子ども達がいつもうらやましいです。高山の子ども達がかawaiiそうです。ぜひお願いします。

文化芸術
・高山にいても夢を叶える事ができる環境作りをお願いします。やはり現状では、東京、名古屋にどうしても依存してしまいます。はっきり言ってここは田舎です。
・映画館を作ってほしいと思います。旭座は少し遅れて上映していたため、人が少なかったのかもしれません。
・せっかく残っている伝統芸能を守れるよう、もっと若い人が興味を持てるようなイベントや活動、体験会などがあるといい。
・映画館がなくなり、少しさみしいです。
・映画を見るために岐阜や富山に行くのは異常です。よろしくお願いします。
・ホールは少しあれば良いです。文化芸術の振興には、練習場や稽古場の充実が最も大切だと思います。大きなイベント会場より、安くて使いやすい練習の場を重視してください。
・映画を見るために富山や名古屋まで行かねばならない。何とか映画館の整備を考えていただけないか？スポーツや映画などの娯楽施設・体力強化の場所がなく、不便です。
・東京都と同じくらいの面積なのに映画館がない。市で経営する映画施設があればと思います。
・若者の定住のために、教育(高卒以上の学びの場がほとんどない)を整えようと思うと莫大なお金がかかる。映画館などの娯楽施設を整えることにより、高山市内の経済の活性化につながらないだろうか。雨の日に子連れで楽しめる空間の確保を。
・映画館がなくなったことで、楽しみ・娯楽がないというレッテルが貼られてしまったと感じます。娘たちも「映画館もない高山に何の魅力もない」と帰ってきません。若者が魅力を感じてくれるまちづくりができると良いと思います。
・もう随分前になりますが、三福寺町、現在の「さとう三福寺店」に旭座(元は古川)という映画館がありました。10年前 60 才であった私は、毎月2回土曜日に映画を観に旭座へ行きました。皆さんが感じるのと同様、映画を観たあとの爽快感は何にも増して幸福感へとつながっていました。いくら民間同士の経済問題とはいえ、なぜ市(行政)は簡単に旭座の廃業を見過ごしたのでしょうか。文化会館小ホールで行われている映画鑑賞会は貧弱なものです。映画文化の維持のために尽力していただきたい。これからも各世代やライフステージに応じた目線で将来の高山を築いてほしいと思います。
・映画館を誘致して下さい。市に一館もないのは大変淋しいです。
・「君の名は。」、「氷菓」と高山が舞台のアニメや映画が製作されていても、市民がそれを見る事

ができないとは！実写にしてもすばらしいロケーションがあるのに、なぜ映画館がないのか。駅西にはぜひ、映画館を作ってほしいです。映画は3カ月、半年待ってレンタル店で借りる、若い子の遊び場はスーパーと聞き、大きなお世話ながらそれでいいのかと寂しくなりました。文化都市を名乗るならば、小さい時から芸術全般に親しむことが大切だと思います。映画だけではなくドラマ・アニメ等のロケーションを提供し、高山の風景、歴史、文化を共に発信する。その作品を上映する。市運営のフィルムコミッションとすれば、市民も楽しみ聖地が増えて観光にも結びつく。駅西地域は複合施設として、舞台で芝居や音楽会、コンサートをしたり、若い子達がバンドの練習をしたり、将来出店を考える人にチャレンジショップを提供し高山から若者が流出するのを止めたり、逆に他地域から誘致するなど発展の拠点となる地域にしていきたいです。くれぐれも大企業や大手に丸投げした開発をせず、市主導による整備を進めて下さい。
・娯楽施設が少ない(観光ではなく、地元住民のための)。
・映画館がない町ということがとても悲しく淋しいです。文化会館などで上映されてもやはり違うと思います。映画館が欲しいです。
・映画館や動物とふれあえる場所が欲しいです。ぜひよろしくお願いします。
・若者が遊べる施設が欲しい。現状、お酒を飲む、パチンコ等のギャンブルくらいが高山市民の主な休日の過ごし方だと思う。特に独身の方々。
・市民文化会館で行われたあるコンサートで、歌手が、市民文化会館のことを立派な公民館と言われたのには大変驚きました。どうすることもできませんが、もう少し考えるべきだと思います。

歴史文化
・祭りなどへの参加について、高齢化が進む中で十分な対応が出来ず、経済的な負担も重いという方が多い。今後さらに高齢化が進むことから、地域行事への参加について、軽減措置を考えていきたい。一方的な負担では無く(参加を強制するのでは無く)、参加した方には税の負担軽減や行政サービスを普通より安価もしくは無料で受けられるようにするなど、地域活動への参加に対しての優遇措置を！！
・飛騨は、歴史的にもとても素晴らしい所と思っています。それを多くの人を知り、愛国心(郷土愛)を養えるようになれば、規則で縛らなくても、より素晴らしい町になると思います。飛騨の歴史や偉人について広報などに掲載し、多くの人に伝えてほしいと思います。
・市記念行事の屋台曳き揃えなど、屋台のある町内の人への負担を考えてほしい。守っていかねばならない先人の財産を利用するだけ利用し、食いつぶすだけにはならないようにしてほしい。
・幼い子ども達が大人になった時、高山が近代的にならず、小京都のような風情がありますように。
・車田について一言あります。飛騨の里にも車田が作られています、本当の車田は、松之木自動車学校の向かいにあります。悲しいことに稲刈りは機械等で行われたあとがくっきり残っており、はさ干しもされていません。せっかく国道沿いに看板が立ててあるのに残念で仕方ありません。いろいろな事情があるようですが、市で協力したり、保存することはできないのでしょうか？
・東地区(空町)に住んでいます。寺院に囲まれ、昔ながらのたたずまいを残した最高の生活ができています。良い所です。
・高山の祭りは素晴らしいと思います。屋台などテレビで見たのですが、後を継いでいくのが大変だと思います。私の町内でも高齢化になり、祭りの行列に出るのも大変です。高山市としていろいろ考えてほしいです。

・高山の祭りや町内の祭りについて、高齢化が進んできており、子どもは外へ出る家が多く、帰ってこない。深刻な問題だ。
・高山祭は神事なのか、観光イベントなのか。高山祭と言うと市全体の祭りと受け取れるため、高山の山王祭・八幡祭と呼んではどうか。
・飛騨には、多くの鉱山があったとのことですが、ほぼ知りません。場所や歴史等知りたいです。
・飛騨の匠として当時の中央権力と結びついていた時代から戦国時代になるまでの間、飛騨の人々はどのような生活を送っていたのかが知りたい。
・昔の街道・活用等を知りたい。
・少子高齢化に伴い、毎年の祭行事が難しくなり、対策が必要と思います。住民以外の参加を進め、市も参画して、保存できたらよいと思う。
・地場産業として、30～40年前と比べて技術が落ち、飛騨春慶、一位一刀彫、洪草焼、家具等は低下が甚だしく、岐阜県にも陶器、刀剣、和紙、彫刻、漆塗、織物等たくさんありますが、全て一流とは言えず、京都・金沢との技術力の差があります。地元の子供達による後継者の育成が必要です（他県からの人は技術を身につけると高山を出てしまうため）。古くは奈良平安時代の都造りのために、木工芸に巧な人々が奈良・京都に出向き、飛騨の匠と言われました。奈良県の法隆寺金堂にある釈迦三尊像（国宝）は、飛騨の天生に生まれた止利仏師の制作です。その飛騨の匠の技術を伝承したのが、現在の一位一刀彫です。国から伝統的工芸品として指定を受けましたが、伝統工芸品ではなく、「的」が入っていることは軽んじられていると感じます。市の力添えがなくては地場産業の振興は難しいため、行政の皆様期待您的。
・屋台がある町内は本当に大変です。昔の事を知っている人が少なくなり、施設に入ったりデイサービスに知っている人がみえます。今からの若い人達は大変だと思います。
・町中の高齢化が進み、高山祭の担い手の若者がおらず、祭行列に参列する高齢者世帯の負担も増えているため、市としても色々な形でサポートしてほしいと思います。
・春祭の屋台組の高齢化が気になります。町内の若い人が少なく、祭準備（屋台やわい）等の伝統を伝えて行けるか心配している。
・将来の高山祭の継続が心配です。町内で屋台を守っていますが、少子化となり、空き家などが増えてくると各町内だけで存続させるのには限界があると思います。動く陽明門と言われる、きらびやかな屋台が動かぬ日があるのでは、行列もおはやしも継承者がなくなってしまうのではと不安に感じています。今現在も屋台を持つ町内会の方々は、資金面でも人員面でも大変な思いをされていると聞いています。市民で守っていくことを考える必要のある時代に来ていると思います。
・文化財の保護に力を入れる。特に古い町並地域は、特区レベルで当時の町並に戻す。現代の生活を感じる現在の古い町並は、もはや観光客が観光していない。

地域福祉
・年を取った時に雪下ろしや雪またじに難儀しないよう融雪設備などの対策を考えていますが、地域の支援体制が整えられるといいと思います。
・高山は暮らしやすいのですが、冬またじが心配です。
・結婚する人が少ないことも人口減少の原因と考えます。高山市として出会いの場を頻繁に提供し、多くの出会いがあるよう盛り上げていただきたいと思います。
・高齢者や障がい者、子どもにやさしいまちづくりを目指してほしい。ハード面の強化ではなく、支援の輪が広がるような施策を実施していただきたい。高山市の規模で、人々の絆もあるならでき

と思われる。祭りや古い町並の観光だけではなく、全国から視察団が来るような誰にでもやさしい町になってほしい。行政の方々には、明日は我が事として考えてほしいと思う。
・息子が40代ですが、女性との出会いがなくて困っています。近所にも同じ年頃の男性が4人みえて、良い人達ですが、なかなか出会えないようです。少子化、高齢化が進む今、何とか人口を増やすことも、行政で取り組んでいただけると、変わってくるのではないのでしょうか。パーティー形式などではなく、もっと自然体の方法が何かあるといいと思います。
・生涯未婚の人が多く、人口減少がますます進む一因となっています。少子化対策と併せて行政の立場からの結婚対策も強化してほしい。
・自身が親になり、年も重ね、高山市は子育てにも高齢者にも住みやすいまちづくりに取り組んでみえると思います。しかし、40代・50代は仕事が多忙で、経済的な不安はぬぐえない中、町内会などの役が負担になってきていることは事実だと思います。実際、何かあったときは、近所で助け合えることは理想なのですが、自分の子どもの頃と比べると隣近所との結びつきは弱くなっていると思います。昔と比べて、経済水準が変わっているのが原因なのかもしれません。
・民生委員の負担が大きい。独居老人が亡くなっており、たまたま安否確認に訪問した民生委員が発見し、警察への通報から対応、亡くなった方の銀行手続等ほかにする人がないからと当然のように行うことになったが、民生委員の行うレベルなのではないでしょうか。そういった事柄を担う役を設けてほしい。
・町内の軒数も徐々に減ってきています。宮川掃除の草刈りも若い人がして下さり良かったです。主人も45年草刈りをしてくれましたが、今は病気でできなくなりました。
・私の地域は市役所より北です。腰掛けがありませんので、北の地区にも(ショッピングセンターの辺り)老人のための腰掛けを設置してほしいです。
・高山は若い人が出逢う場が少ないのに、高山市の協賛した婚活パーティーは、お笑い芸人を招いた単なるイベントにすぎなかったそうです。市は独身者の情報などが分かるため、若い子が自然に参加したくなるような形式で、もう少し年齢を絞った内容としていただけたらと思います。
・買い物弱者への対応。
・町内会に入らないなど、地区のつながりが薄くなりつつあるように思う。
・家計を圧迫する暖房費用に対する助成。
・将来を支える子ども達、今まで頑張ってきた高齢者が安心して生活できる対策を立てる。
・街コンをもっと開催して欲しい。

児童福祉
・子育てするには、高山市は環境が良いと思います。
・風疹・はしか(妊娠前・後)予防接種の無償化。出産後の費用、入院費用の無償化。児童手当の金額アップ、2人目・3人目でもう少し増やすべき。保育料を減らすべき。保育園に入れて児童手当をもらうなら、児童手当から保育料を引いてもらう方がいい。子育てしている人からアンケートをとった方がよい。
・自分自身は利用したことはありませんが、子育て中の方から、「かんかこかん」のような子どもを預けたりできる場所がもっとあるといいと聞きました。観光客のお子様連れの方も、少し休んだり、おむつ交換できたらいいですし、お年寄りや子どもも誰でも立ち寄れるスポットがいろいろなところにあったらステキです。人件費もかかるとは思いますが、そのような場所がもっと増えればいいと思います。

・高山の子育て支援が十分すぎるほど充実しているのは、大切な事ではあるが、親の対応が甘え過ぎて身勝手に悪用(言葉は良くないが)していると思える所があるとよく耳にします。子育て世代の親の態度は変わらないかもしれないため、もっと地に足の着いた生活となるよう教育制度の中で考えた方がよいと思います。補助があるから他でぜいたくをするのではなく、子どもと社会に貢献できる方向に制度を見直していくことはできないでしょうか。
・障がいのある子どもが楽しめて遊べる場所が近くにあるとうれしく思います。
・私達が子育てしていた時は、親子で参加する行事が色々ありました。親子マラソン(ウォーキング)、運動会など。
・観光都市と言われていますが、子ども連れの方が楽しめる場所がないと思います。富山の太閤山ランドの「こどもの城」みたいに、退職された先生方に参加してもらい、美術や化学の実験など楽しく遊びながら学べるような場所を町中に作ってもらえたら、地元の子どもたち共にいいと思います。
・子育て支援にぜひもっと取り組んでいただきたい！3人目50万円、4人目100万円の祝い金、高校の無償化、動物園の誘致、地域交流のできる施設・スキー場等のバスの送迎。
・真の子育て支援を考えてもらいたい！補助金のばらまき、就労支援を見直してほしい。友人が1才の息子から逃げるために保育園に入れ、働き始めた。別にお金に困っていない。未来の高山を支える子ども達が「育児支援」の名のもとにばらまかれた補助金のために、早期入園、長時間保育などで家族とのコミュニケーションが減る環境で育っている。一体誰のための支援なのか？子どもがより良く育まれるための「子育て支援」では？全ての母親へ平等な支援をしてほしい！高山市は早く入園させた方が補助金も出て、親も働けて、もうかる。働いてない親は、育児イベントに平日参加できる。歯のイベントなどは、検診の時に組み込んだ方がよいのでは？親全員が知るべき知識を定員を設けるイベントで話すことはおかしい。ママの子育てアドバイスという市のイベントに参加したが、とても良い話だった。特に「抱きしめるだけで愛情ホルモンオキシトシンが出て、子どもも親も安らぐ」「オキシトシン不足は多動などにつながり、乳幼児期の母子の愛着形成は発達障がいを防ぎ、非行防止にもつながる」という話はショックを受けた。なぜ三ヶ月検診でこの話を聞けなかったのか？とても大切な知識なのになぜイベントでしか聞けないのか？全ての親が知るべき話で、息子を愛せない友人に聞いてほしいと思った。子育て支援センターの立地を改め、未満児に特化した独立した施設整備を考えてほしい。保育園の一番奥では、インフルエンザの時期など行きたくないし、せまくて、分かりにくい。市の保健師にもっと専門的な知識、療育の知識を身に付けさせてほしい。保健師さんにもよるが、親の不安をあおるような人がいる。私も、二ヶ月検診の訪問の時、気が重くなった。1才半検診では友人がとても悩んでしまった。自らの育児体験ではなく、客観的データに基づいて話をしてほしい。最後に、子どもへの価値のある支援＝投資が未来の高山を創るため、どんな育児・環境で育った子が、より良い高山を創るか考えてお金を使って下さい！
・保育士や幼稚園教諭の給料を上げて下さい。
・子どもが地元に残るように、地域で子育てできる環境を作してほしい。
・自分も自分の周りも2人目・3人目の子どもをほしいと思っても、仕事があるとなかなか難しい。預け先がなく、土日祝の仕事ができなかったり、学童に入れない(パートでは時間的に預かってもらえない)などとあると、2人目・3人目は難しいため、それらの対策をしてほしい。

・それいゆ事件に代表される介護者に対する施設職員の態度は、犯人扱いされた職員だけではなく、面倒な介護者に対し、ひどい扱いをする職員が実在して、自分の親は預けられない気がする。これからは超高齢化社会なのだから、行政で管理、指導を徹底してもらいたい。
・それぞれの日常生活が暮らしやすくなるように願います。当方は高齢のために老後の介護に不安がありますが、若い方々の協力が望ましいです。
・今は高齢者施設でお世話になって４年になりますが、日々の支払いが大変で年金生活ではギリギリです。できる事なら、せめて３分の２ぐらいに負担を下げてもらえるとありがたいと思います。
・介護施設を利用したくても、高額のため利用できない人もいる。個人経営で高いのは分かるが、私利私欲に走らず、市が経費を負担するなどして、もっと利用しやすい施設にしてもらいたい。
・元気な高齢者が多いため、その方達の力も借り、未来や子ども達へ良い事は残していけるようなまちづくりもいいのではと思います。
・介護に対する補助を手厚くしてほしい。
・老後は、老人施設に入ればいい、などとはもう言えない。年金生活で入れる施設などないほど年金も少ない中、病院へ行くにもお金、交通機関を利用するにもお金がかかるため、それら費用に対する助成はできないだろうか！
・今後、超高齢化が進み、高山市の介護の問題はどうなのでしょう？介護を支える人（若者）をもっと高山市内で増やす（例えば、教育の場。介護士資格はなくても、全く知識がないより、あった方が身内に要介護者が出た場合に安心）ことはできますか？結局、人は１人では生きていけません。気持ちよく支えあっていける風土づくりをしていただきたいです。
・久々野町に住んでいますが、車の運転ができなくなれば、近くに店もなく心配です。
・高齢者対策について。
・誰もが安心して暮らせる高齢者施設。
・年金暮らしで暇なのですが、何か時間をつぶせる場所やサークルなどがほしい。
・国の考えなのか、年金が少しずつ減ってきています。現在は家族の世話にはなっていませんのでありがたいですが、介護保険料を少しでも減らして下されば幸いと思っています。勝手なお願いですが、少しでも考えていただければ嬉しいと思います。
・75才の私は105才の母と2人で国府町にて暮らしています。母は要介護5の認定を受けています。週3回の訪問看護、週2回の訪問入浴、週1回の口腔ケアを受けています。又、2週に1回の主治医の訪問診療、診療所の医師は在宅療養支援診療所として4人の医師で連携しておられるほか、主治医不在の時は他の連携医療機関の医師がかけつけてきて下さいます。高山市の充実している福祉のおかげで、在宅で安心して介護させていただいています。ありがとうございます。
・愛知県から当地に移住して20年余りになります。地域の皆様には大変よくいただき満足な老後の生活を送っています。車に乗れなくなることが将来一番の不安です（買い物等不便ですから住み慣れたこの地を去らねばなりません。）。
・高齢化に向けて対策を。働く人がおらず給食業界は困っています。一人住まいの高齢者への宅配給食サービスが充実するといいと思います。
・過疎地で暮らしている老人への生活サポート。
・市営の介護施設を兼ねた集合住宅があればいいなと思います。1階には買物や食事が楽しめる店・医院・学童保育所・理美容院など、2、3階が住宅などになったら最高です。駅西地区の活

用としてどうでしょうか？希望をもって暮らせるのではないかと思います。
・私は現在 80 才ですが、平成 13 年から給食ボランティアの活動をしています。山王福祉センターの調理室にあるガスオーブンは、昭和 60 年に設置されてから 30 年近くたっていて、調理にあたる会員も高齢化が進んでいるため、使用する調理器具を一度点検整備していただくとありがたいと思っています。市も財政的に大変だと思いますが、早急にお願いします。
・高齢者でも手軽に楽しめる施設を増やしてほしいと思います。
・高齢のため出かける事がない。福祉の教室はお世話になっている。他の町の住民の方々とはほとんど交流がない。出かけるには交通の便に苦労することがあるが(時間等)、高齢のため余り考えたことがない。市政では色々と検討して下さっていることご苦労様です。
・前期高齢者ですが、民生委員の方はここ数年自宅を見に来られた事はありません(年寄り二人暮らし。高山地域)。より良い町になりますよう少しでも改善される事を願っています。
・高齢者になり、いつまでもこの地域には居住できないため、旧市内の長男の住居にいずれは引っ越しするつもりです。そのようになった時、この周辺の山林、水田、土地等をどのようにするか、長男家族と相談しなければならないし、旧市内での私達の生活も子ども達におまかせのつもりです。年金を多くしていただければ嬉しいです。
・年金天引きにより介護保険の特別徴収という名目で、年間 8 万何千円も取られるため貯金もできない。
・老後について、絶対安心とは考えにくい。高山市の実情を知れば知るほど不安になる。市・福祉の仕組み、手続きをもう少し分かりやすくしてほしい。仕組みをどのように伝え、分かりやすくするかが問われる。

障がい者福祉
・福祉医療について一言。障がい者認定を受けてみえる方ですが、医療を受けて良くなっているにもかかわらず、何年も障がい者として生活を送られてみえます。良くなれば認定を取り消すのが当たり前と思いますが、一度認定を受ければ、生涯障がい者として扱われるのはおかしい、税金の無駄遣いだと思います。こういうことは役所は甘いのでは。少ない年金で病院通いをして大変な方が多いのに、役所の仕事はどうなっているのか、理解できません。町の病院では簡単に認定されるようですが、良くなられた方は、病院には行かなくなり、取り消しもなく、そのまま障がい者として通っています。このような方が多く見えるようですが、これはおかしいと思います。
・お年寄りや小さい子ども達が集まれる場所がありますが、障がいのある方達も集まれる場所があるといいと思います。
・障がい者の子どもが楽しめる遊べる場所が、近くにあるとうれしく思います。
・私のまわりには、子どもに障がい、病気のある親がいます。高山の病院では知識、リハビリがしっかりした所無く、県外の病院に何時間もかけて通わなければならないという姿を見えています。障がいや病気の子どもの持つ親には、高山はとても不便で不安だと思っているのを感じます。健常者のためのまちづくりも良いと思いますが、障がい、病気を持つ親や子どもに対して、病院でのリハビリ、ケアがしっかりできる事に目を向けてほしいと思います。健常者、観光客が求める事も大切ですが、高山にも障がい、病気を持って不満や不安、不便で困っている人はたくさんみえるため、当事者の方々に話を聞いてください。よろしくお願いします。

保健

・高齢者が増加しているため、健康づくりとしての散歩コース、自転車コース等の整備をしてほしい。
・周辺の高齢のご婦人達は集まっているいろいろな情報交換していますが、誤ったことでもすぐに取り入れており、危険な食生活をしているようです。正しい指導が必要と思います。

医療
・更年期になり産婦人科を探したらわずか3件。その二つの医院が総合病院で初診料が高額。もう一つの医院は対応が悪い。
・小児科の少なさ、医療レベルの低さを感じる。
・高山市へ転居してきて、5年くらい経とうとしています。一番不安に思った事が医療です。もし、家族が倒れた時、どこの病院へ行けばいいのか。久美愛病院には小児科常勤医師が少ない。日赤病院には最新医療設備もなく、若い研修医ばかりで、名医と呼ばれる医師もいない。開業医の先生も高齢になってきて、開業される医院は決まっていて、科も少ない。
・高山市に不妊治療ができる病院、小児科を作ってほしい。
・久美愛病院と日赤病院、各々大切なのは分かるが、現在、日赤病院に循環器内科がなく、医者がいなかったため、ICUでも退院を指示されたり、眼科も手術できなくなる？久美愛病院にも専門の医者がいなかったため、個人病院の医者呼んで処置してもらう、これはどうでしょうか。スタッフの揃った市民病院を作ってもらった方が安心なのでは。紹介状がないと¥5,000が別に発生する！救急時どこへ行けばいいのか！心筋梗塞になったら死しかない！と住民は不安でいることが、聞こえてませんか！！
・医療関係は、土日祝日が休診とはいかがなものか。病気に休みはない。休日診療所に行っても専門医でないため役に立たない。
・病院が少ない(特に耳鼻科、皮膚科など)。
・福祉関係の仕事をしています。高齢者の薬についていつも考えさせられます。服用もしない薬を処方されて溜めては処分する始末(特に鎮痛剤、眠剤、湿布等)。これでは医療費が減ることはないでしょう。医薬分業はメリットがあるのでしょうか？過剰投薬は本当に抑えられているのでしょうか？安価な後発医薬品への切り替えを拒む医師がいる中、調剤バブルに陥っているのではないのでしょうか？

土地利用
・本町地域の大規模開発。
・高山駅が出来る前に市民への意見聴取をしてほしかった。たくさんのお金を使って作っても、やはり一番よく分かっているのは市民(地元人)だと思います。そうすればもう少し高山らしい駅が出来たと思います。私達も税金を払っていますので、とても残念に思います。都会の設計者には、市民の気持ちが分かりません。
・古い町並や本町活性化のために、西小学校を廃校としたうえで、立体駐車場にし、観光客を迎え入れられるようにする。西小学校の狭い校区と人数であれば、他校へ分散することもできると思われる(三枝の校区は見直すべきと考える)。さらに、本町商店街を専門店街となるよう市がバックアップして、綺麗で統一感のある通りとする。宮川の東西で、古さと新しさを強調する事ができるようにしていく。
・駅西地区の開発は様々な意見があると思いますが、高山の玄関口として、商業機能ではなく高

山らしさを大切にできる空間であって欲しいと願います。オフィス街ではあって欲しくないと思います。
・高山駅が新しくなる前、市と高校生との対談の時、高校生が電車で帰るまでの時間、駅で勉強できる所を作ってほしいと言っていました。本当にそれは大切な事だと思いました。電車数が少ない中、電車を待つ時間を有効に使える場所がない。特に受験の季節にこの寒い中、電車を待つ所、電車を待つ時間。少しでも勉強をしたいのに、その様な場所がない。安心して電車を待てる、安心して勉強ができる場所があるべきと思います。
・駅西開発に力を入れてみえますが、将来的に駅東はどうなりますか？商店街も本町の一部、安川の一部だけがにぎやかなのに対して、空町などは淋しいものです。力の入れ方がおかしいと思います。もっと全体的に目を向けてください。
・高山駅が新しくきれいになったのはいいのですが、「ベンチ」や「木陰」がもっとあればいいと思います(病院で聞いた話)。
・外国人の土地家屋の取得について、対策はなされているのか？市内ではすでに外国人(中国)が取得しているのではないかと不安に思われている人もいます。
・高山駅西口のトイレについて、中はとてもきれいで気持ちいいのですが、外見が何となく暗い感じで倉庫のような印象を受けます。もし中で事故・事件でもあったらと通るたびに思います。
・高山の入り口を明るくしてほしい(駅の建物)。
・高山駅の白山口のロータリーが狭い。信号までの距離がないため混雑しており、迎えの車でほかの車が動けなくなっています。
・高山駅があまりにも味気ないつくりだと思いました。
・JR 高山駅を通ってみたが、駅舎正面の壁が工場の建物のように見えた。
・高山駅の2階は、改札を通ればトイレがありますが、改札の外にはトイレがなく、1階まで降りなければならないため不便です。駅、バスのトイレブースがせまいため、大きい荷物と一緒に入ることができません。
・駅西地区に国の合同庁舎は必要でしょうか。予定地のところが使えないことから福祉センターの行事、活動が縮小や中止となっています。国の合同庁舎は警察の跡地を活用するなどして官庁をまとめたほうが、行政の効率化が図られると思います。建物を建てることで後で取り返しがつかなくなります。土地の利用は慎重に検討していただきたいと思います。
・高山駅について、いろいろな意見を耳にします。駅の中はとっても素晴らしく評判も良いのですが、外観を見たときはとても期待はずれでがっかりしました。木の国高山は小京都と言われているのに、駅の外観に木造等を少しは取り入れても良いのにとと思います。特に右側エレベータの壁に違和感があります。今からでも手直することはやはり無理ですか。高山市でも多くの税金を使ったのですから、もう少し市民の意見を取り入れても良かったのではないのでしょうか。高山のイメージが薄くなった気がしました。
・高山駅の西口を実現出来たことは喜ばしいことですが、今までの高山駅の外観、飛驒の高山のイメージが薄くなったような気がします。将来的に高山市のイメージダウンになると思います。
・JR 高山駅の駅舎の壁面の駅名表示は何とかならないか。小さくて目立たないし、夜は照明もされないため真っ暗。外国人に対しても不親切。
・駅と濃飛バスセンターの間に駐輪場を作ろうとしているが、歩行者との事故が多発することが目に見えているため、事故が起こる前に何とかすべき。観光客と学生との動線を同じにすることは大変危険だし、考えれば誰でも危険と分かること。改善策を考えるべき。

・駅西地区のまちづくりをしてもあまり意味がないと思う。ポップ公園もキレイな公園だし、高山駅もいい駅になった。駅西地区にこれ以上お金をかけても仕方ないのではないかな？
・駅西については、ショッピング街や映画館ができるのかと期待していましたが、今のところ公共サービスの建物などしか予定がないようで残念です。観光でいらっしゃったお客さんも、駅西に降りたら、何もなくて驚いてしまうのではないかと心配です。広くて無料の駐車場が確保できれば、徒歩圏内の商店街は確実に売上を伸ばすことができる力を秘めていると思います。地下駐車場や立体駐車場なども検討していただきたいです。
・駅西開発について。駅に直結した映画館や劇場、若者に人気のあるお店などが入るシネマビル（高層ビルではない）ならば、支所地域の人達もJRを使って通うことができるのではないかな。駅自体が閉鎖的な建物になり、地元の人々にあまりオープンでないため、もっと出入りがあった方がいい。子どもが遊べる公園や、バラやハーブなどの庭を楽しめる大人も集えることができる公園も併設してほしい。昔は町中からでも乗鞍や北アルプスの山々が眺められたが、駅前などに高いビルが建って見えなくなったのは残念です。すばらしい山々に囲まれているのも高山の魅力と思うため、駅西に高層ホテルが建つと聞いてとてもがっかりしました。

道路
・土日でも仕事をし通勤してみえる方もあります。道路環境が悪いため、冬場の早朝に道路の除雪を行ってほしいと思います。どうしても日曜の十三墓峠などは、遅いと思います。市内も大事ですが、山や道路環境が悪い地域にも関心を持っていただけたらと思います。
・冬の道路の除雪について、国府方面はとてもきれいに作業されているにもかかわらず、旧高山市内は観光バスの利用も多いのに輪だちなどが目立ち、除雪の仕方が悪いと思います。事故の原因にもなるのではと心配になります。業者選定を考えるなどして欲しいです。なぜ毎年変わらないのか、変えられないのか分かりません。
・グリーンホテルから元のサークルKの信号にかけて、雨が降ると車道から歩道に水しぶきがかかり、服が汚れてしまうため、直してほしいです。
・冬場の凍結がひどいところは、道路融雪を整備してほしい。新張の日影地域など毎年事故が起きているため、何とかできないかな？
・古い町並等の市街地は、雪またじの排水溝等の整備がしっかりされているのに、少し外れると整備されていない。観光地ばかりではなく、市内全域の雪対策をしっかり行ってほしい。
・トンネルに感謝です。
・除雪の問題は解決されていないと思います。冬の生活が楽にならないと移住者も増えないと思います。
・子どもが小学生の頃、旧41号線の道路を使っていたが、歩道がとても狭いため危険と思った。大人でも怖い。以前に市議会議員の方をお願いしたが、県が関わってくるため難しいと言われ、いまだに狭い歩道のまま。
・駅が綺麗になったのはいいが、一本しかない路線の駅にそこまでお金をかける意味がわからない。さらに何か整備するのは無駄だと思う。もっと道路を直したり、交通の便をよくする方がいいと思う。冬の除雪作業をしっかりしてほしい。雪国なのにどうして予算が足りないのか。あの道では事故を起こして下さいと言っていると同じでは？
・老人会で道路にコスモスを植えています。花は好きですが、道路で植えるのは危険なため、やめてほしいです。年寄りが多くなり、若い人の参加が少なく、草取りも大変です。

・工業高校の近くの信号について、バイパス側の青色の長いのはわかりますし、そして時間帯で調節してあるとは思いますが、あまりにも反対側が短すぎます。もう少し長くしてもらいたいです。
・観光には大変力を入れているようですが、高山は雪国です。冬の除雪対策にも力を入れてほしいです。高齢者が半数を占める町内もあり、年々除雪には苦勞しています。もう少しきめ細やかな除雪対策をお願いいたします。
・我が家の前は交通量が多く、トラックもよく通る。少し坂道でスピードが出て危ないし、カーブもある。カーブミラーは離れた場所にあり子どもは見ない。横断する旗もなく、とても危ない。毎朝道路前まで行き、車が来ないか見なければならぬが、帰りは子どものみとなり危ない。なぜU字溝は直したのに、横断歩道はつけないのか。せめて旗があってほしい。交通事故があつてからでは遅いです(山口町舞橋前)。
・除雪はもっと近代的にできないか。例えば商店街等では、地下下水道を2m位の直径で作り、山の水を流して、その下水道に雪を入れ、宮川の方に流すこと。長い目で見てやってみてはどうか？除雪は土木事業者に丸投げではなく、老人の独り住まい等は市役所の職員で対応してあげてください。
・商店街の活性化のためにも駐車場を整備してほしい。
・除雪をもう少し徹底してほしいです。
・丹生川のダムのそばにトンネルができた時、「ほとんどだれも通らないトンネルがここにできるのなら、上宝にも生活道路としてほしい」とつくづく思いました。市長さんに一度見ていただきたいです。
・上宝の十三墓峠は、今まで数えきれないほど道路工事をしていますが、同じお金をかけるなら、もっと早くトンネルを作ってほしいと強く思います。上宝から丹生川へのトンネルを希望します。旧市内だけではなく、上宝の方へも目を向けてほしいです。
・1か月前から上宝・奥飛騨温泉郷地域に住んでいます。同じ高山市とはいえ、高山地域まで買い物に出るのに遠く、道も悪いです。中部縦貫自動車道(丹生川IC～平湯間)を早く！と願っていますが、生きているうちには完成しないのでしょうか。
・雪が多い割に除雪が下手。
・国府・見座線について、道路が広くなり、良いことだと思いますが、数か所急なカーブの所が狭く、毎年数回自動車が落ちているところがあります。なぜ直していただけないのかと思います。早く広い道路になればと願うばかりです。
・国分寺通りの道路整備(特に歩道)。
・自動車道の整備をお願いします。
・江名子・片野・森下から工業高校への道路が狭く、信号の青が短く、車が前に進まない。都市計画はどのようになっているのか考えてもらいたい。江名子町のコンビニの前、T字の道路も前に進まない。
・丹生川が良いと思えるのは、冬場の除雪です。積雪の多いときには、車で高山の街中にはとても行けません。昔より少しは良くなったと思うのですが、段差がひどくて舌をかみそうになったり、ハンドルを取られるため何か解決策はないのでしょうか。スパイクタイヤからスタッドレスに変わったこともあるのか、いつ滑っていくか気が抜けないのは運転していてつらいです。年齢が上がって、冬場の買い物に出かけたくないと思うようになりました。
・何をするのも不便。病院に連れて行っても、往復時間がかかるので不便。
・冬期の降雪時期、早朝5時00分頃から通勤通学路でなくても除雪してみえますが、当地区は

道も狭く自動車のすれ違いができないため、降雪 10 センチ以上あっても通勤時は出勤の無い時が多いです。午前中または夕方に除雪するよう統一していただけたらありがたいと思います。
・宮小学校のプール北側に約 700 メートルの用水があります。上流はコンクリート又は網がしてありますが、プール側だけ約 30～40 メートルにふたがありません。道も狭く年に 2～3 回脱輪するため、その間通行不能となり不便を感じます。一日も早くふたの設置を検討していただきたいと思います。
・公園整備に費用を使うより、普段一番利用する道路を重点的に改善し、特に歩道を重視した改善を更に進めて欲しい。車の通行のためより歩く道を。バリアフリー化によって、気分がよくなり、景観も向上するとなお良いと思う。
・観光のことばかりがもてはやされていて、市民が置き去りになっている気がします。観光も大切ですが、もっと身近な事にも目を向けてほしい。とくに冬季の除雪はもっと丁寧にしてほしい。
・住宅地には私道が比較的多く、管理も行き届きません。特に通学時等の交通指導は困難を極めています。道路の拡幅等も含めて、私道を極力公道にする道路網の整備を切望します。
・迅速な除雪体制の整備。
・以前あったように、駅周辺に市民価格の駐車場整備を希望します。公共交通機関(バス)やタクシーが少なく、1 人 1 台自家用車を所有する現状においては、低料金で利用できる市民のための駐車場があることは、大きな不都合の改善と思います。不都合とは、駅への家族の送迎の際に気兼ねなく待つ場所がない、バスのチケットを購入するだけでも駐車スペースがない、旅行の際に駅まで家族に送迎を頼まないといけない、飲み会の際も家族の送迎が必要など。30 分以内は無料！1 時間以内 50 円、JR や濃飛バス(のらマイカー含む)を利用した旅行の場合は 1 日 100 円。また飲食 OK の広いフリースペースで、多くの人がテーブルやイスを利用できる所があるとよい。送迎の家族待ちの子どもや親の待ち合わせ場所となるほか、バス等の待ち時間を有効に過ごせる。低料金の駐車場とフリースペースの設置でのらマイカーの利用増にもなるのでは？
・雪道の除雪(わだちや凸凹が凍る前に)。
・冬の道路の除雪ですが、家の出入口に道路から寄せられた固くて重い雪塊が残され、女世帯には片づけるのがとても大変です。仕方がないこととは思いますが、歩道の雪除けも頑張っているのに落胆します。
・JR 高山駅前通り(日石ガソリンスタンドからファミリーマートまで)に横断歩道がありすぎるため、少なくしてほしい。
・雪対策について、今年は積雪が少なくあまり感じなかったが、歩道除雪が非常に大切だと思う。特にここ数年、駅周辺へ通じる道路で外国人がキャリアバックを悪戦苦闘して引いている姿をよく見かける。
・道路の凍結と除雪をなんとかして欲しいです。古川のように融雪に水を出すと高山の方が気温が低いいため難しいかもしれませんが、長い目でみてロードヒーティング化するなど何か考えて欲しいです。朝の凍結はもちろんですが、夕方 3 時をすぎるとまた凍結し始め、1 日の大半は凍っています。今はまだなんとかなっていますが、60 代くらいになり運転の判断力も落ち、自信がなくなってきたら、高山を出ようと考えています。高齢になったらこの町には住めません。
・冬季に思う事です。除雪されるのは良いことですが、その後の処理をもう少し考慮してほしいと思います。車道を除雪され固く高くなった雪が歩道に積もっています。横断歩道も同様になっており、山を乗り越えて車道を渡り、また山を越えて歩道に行くことになります。高齢者はちょっとした転倒でも、骨折は免れません。

・町の中の信号に右折専用もあれば渋滞が緩和されると思う。
・高山駅から柳橋までの駅前中央通りに道路融雪の設置を希望。石敷きのため重機による除雪は難しいが、主要観光道路のために、冬期の外国人観光客の往来も多い。転倒による事故防止はもちろん、高山市のイメージアップにもぜひ一考を。
・出張のため駅や濃飛バスセンターを時々利用するが、市営駐車場は一日預けると利用料金が高くなるため使わない。名鉄協商駐車場のよう最大料金制の駐車場ができるととても便利に思う。市営駐車場も見直してはどうか？
・今年の冬は雪が少なかったお陰もありますが、除雪の基準が変わったために初期除雪が非常に早急で道幅も広く、しっかりきれいに除雪していただき本当に助かりました。これからもずっとこのようにしていただけたら生活しやすく非常にうれしいです。よろしくお願いします。
・交差点の信号待ちのため自転車で止まっていた時に、車同士の事故の後に残っているガラスの破片が掃除されずに残っているのを数回見たことがあります。自転車や車のタイヤによくないし、環境にもよくないと思います。今後は事故後のガラスの破片などは、きれいに掃除してほしいと思います。
・除雪をもっと早く行う。

公共交通
・車がなくては暮らしていけないにも関わらず、通学、通院するのにもバスや乗物が少ない。
・高齢になると運転免許証を返納しなければならない状況になりつつありますが、のらマイカー等公共交通機関が今ひとつ充実していない気がします。
・年金生活にしては、一般所得のため各種の税金等の納付額も高額。医療費等の助成金が少なく、生活も大変です。公共の乗物を使って、自家用車に使う金額が少なくなれば良いと思います。
・支所地域の高校生の登校バスなど、もう少し考えて欲しい。
・高齢の障がい者です。何をするにも交通(足)がない。
・学生時代は高山に住み、都会で仕事をし、結婚を機に高山に戻ってきましたが、不便に感じる人が多いです。娯楽施設が少なく、仕事や地域の付き合いで飲みに行く機会が多いのに、移動手段はほぼ車。お金のかかることが多く感じます。
・車がないと不便な町。バスはたくさん走っているが、乗りたい時間帯にバスは来ない。毎年健康診断で大腸検査を久美愛病院まで持っていかなければならないが、車のない人はバスで行かなければならず不便のため、以前のように市役所にしてほしい。
・まちなみバスは本当に町中だけしか通らないため、もう少し範囲を広げてほしい。三福寺のスーパーで買い物をするため外線部を1日のうち午前と午後の2回でもまわってほしい。
・松之木町に住んでいるが、文化会館や総合福祉センターで催しがあっても行けない。
・首都圏や名古屋市等へ所用で出かける場合、時間がかかりすぎる。また最寄空港までが遠すぎて利用しにくく、不便である。観光で訪れてくださる方は時間は気にならないかもしれないが、用事がある東京、名古屋へ行く住民側からすると時間がかかりすぎて大変である。将来、もっと短時間で移動できる手段ができたらいと思う。
・私たちは新宮町に住んでいます。1番の心配は交通の便です。高齢の弟は足が悪く目も病を持ち、どうにか家の中で自分の事ができるだけです。免許証の返納をしたいのですが、バスの便が少ないので心配です。せめて、1時間おきにあれば助かります。
・まちなかに、まちなみバスが運行されるようになって便利になった。

・のらマイカーを走らせるのはいいのですが、周回するのではなく、例えば南北方面(石浦2丁目～国道41号～旧国道41号～下切町)や、東西方面(新宮町～国道168号～高山駅～松之木町)に走らせてほしい。時間も1時間間隔に。
・まちなみバスなど、もう少し利用しやすく、交通の便がもっと良くなるようにしてほしい。
・市内の交通の便をもっと良くする方法を！のらマイカーは本数が少ないし、濃飛バスは料金が高い。たとえば桐生町から高山駅付近へ行く場合、足が無い！病院へ行きたい人も同じ。のらマイカーも、停留所が遠く、本数が少なく、遠回りする。何とかならないですか？
・のらマイカーで助かっています。予約等しないでも週に1回くらい決まった日時に走らせてほしい。
・バス代が高すぎる。高校生定期代。毎月の病院通い(タクシー代も)等、旧市内と支所地域との差が大きすぎる。
・高齢化に比例して、運転免許返納者も増やしましょう。公共交通体系をぜひとも見直してほしい。市職員の方々にも遠い先の話ではないのです。
・公共交通機関(特にバス)、土日祝は運休が多すぎる。久々野は非常に不便。土日働いている人もいることをお忘れなく。
・奥飛騨地区に住んでいますが、病院や買い物のため旧高山市まで行かないと用を足せません。冬の道では1時間以上かかり、老後の生活は無理があると感じています。車の運転ができなくなった後は、バスに安く乗れるようにしてほしいと思います。
・のらマイカーの停留所をぜひ増設していただきたいと切に願います。自宅から停留所までの距離が遠く、年と共に足腰が弱くなり、長い距離の歩行が困難になってくる不安からです。
・高山にきて1年弱の者です。こちらに来て、交通の便の悪さが気になりました。バスの本数が少なすぎて不便です。
・日々暮らすのは良い所ですが、老人にとって交通が不便で、これから運転できなくなった時がとても不安です。
・国府で乗車パスを時々利用していますが、週に一度でもよいので出発先を変えてほしい。
・信州方面に向かう鉄道があるといいと思っています。

住宅公園
・遊具の充実した公園があればいいと思う。
・空き地の活用で、高齢者住宅や施設を増やしてほしいです。
・日本一広い市なのに、広い公園、多目的アミューズメントがないため、松本市にあるような公園を作してほしい。
・高山市は子どもが遊べる公園はあっても、遊具が少ないと思います。滑り台・鉄棒・ブランコ以外にもっと楽しんで遊べる遊具の設置を希望します。
・公園は、道路に接しているところが多く危ないため、安全対策をしてほしいです。小学生くらいの子でもでも楽しく遊べる公園があるといいと思います。城山公園の駐車場もすぐ満車になり、路上駐車していて危ないです。
・公園が少ない。
・公園に立入禁止の黄色いテープがしてありますが、いつ直していただけるのでしょうか。何か月も放置され、子ども達がかわいそうです。
・娯楽施設や親子で遊べる大きな公園があるといい。

・もう少し公園の遊具などを増やしてもらえるとうれしい。緑地公園など、子どもと遊べる場所(遊具等)があるとうれしい。富山の公園まで遊びに行く人が多いため、高山も皆が行きたいと思える公園を作ってもらえるといいと思います。一か所では人が集まり過ぎて遊べないため、数か所に作り、休日は市民が市外へ遊びに行かなくてもいいようになるとありがたいです。
・公園の遊具を増やしていただけるとうれしいです。ほかの地域では、最新の遊具がたくさんあるのに、高山市は全然ないのが悲しいです。外国の方も公園で遊んでいるので、どうぞよろしくお願いいたします。
・みんながくつろげるようなアイデアあふれる広い公園。
・駅西の工場跡地を買い取り、市民が利用できる公園にしてほしい。
・地域住民が憩える遊具や健康増進のための設備が充実している大きな公園を作してほしい。森を利用したアスレチックやジップラインなど。
・駅西の道路などは整備されていますが、以前より高山には年齢を問わず憩える公園などがなぜ作られないか疑問に思っています。駅西地区にはできないのでしょうか？(コンクリートではなく、土で作られたもの。)
・お年寄りから赤ちゃんまでが集まれる場所があるといいです。その場所ではスポーツできる年齢の方々は楽しくスポーツする(のんびり楽しめるもの)。
・公園で遊ぶのに高山市街地へ出て遊ぶ。近くの公園にはブランコ、鉄棒、すべり台と少しだけ。人口が少ないため規模が小さくなりますが、休日に何をする？と思ったとき、近くには何も無い。子ども向けのイベントでもあれば行ったりもしますが。
・市の中心部に近い公用地に市営住宅の建設を希望。現在は赤保木や山口など、遠隔地と言ってもいいような場所に立地しているが、高齢の入居者にとっては大変な事だと思う。今後、警察署や税務署等の移転があり、国、県等の所管の問題や民間アパート、マンション等との競合もあるため簡単ではないが、検討を望む。他市(確か和歌山市)に例があり、ドーナツ化防止のための商店街の活性化を目的としたものだった。
・子どもとよく散歩に行っていた所がアスファルトで固まり、芝生はなくなっていました。確かに駐車スペースは必要ですが、もっと考えたら別の方法もあったのかもしれないと思いました。自然の風景も芝生の公園も高山なら色々な所にあってもよさそうなのにありません。
・もう亡くなりましたが、父母の介護をしていた時、公園は遠いため、歩いて行ける近所にベンチに座って憩える場所がほしい。小さくて良いので、緑や水があって静かで落ち着ける気持ちのよい空間が町に点在していると良いと思っていました。

上下水道
・江名子川の一部地域から下流が排水により汚れている。排水の出所を調べて流れ込まないようにしてほしい。
・下水道の整備がされず、側溝に汚水が流れるところがたくさんあります。各家庭の事情もあろうかと思いますが、地域の環境のためには何とか早く整備してもらえるといいと思います。

情報
・インターネット環境が悪いです。NTT はいまだに ADSL のみで、光は全く通じる予定はないそうです(ADSL も終了予定とのこと)。ケーブル TV・ケーブルインターネットは、初期費用が高額です。丹生川で TV が全チャンネル映らないのはこの辺(町方)だけかもしれませんが、外付けアン

テナだけで映らないのは、今時あまりないのではないのでしょうか。映画館もなくなってしまいましたし、携帯のつながりも悪い地域です。悪いところばかり書きましたが、自然環境的には住みやすい、食べ物もおいしい良い所だとは思いますが、もう少し住みやすくなれば、もっといいのにと思う次第です。
・「広報たかやま」は頼めば送ってくれるということで頼みましたが、1年と続かずに来なくなりました。
・山王トンネルをよく通りますが、トンネル内はラジオが入らなくなるため、入るようにしていただけるとありがたいです。
・NHK 受信料を支払っているのに、電波の影響で全く映らないため、どうにかしてほしいと常々思っている。NHK は映らないから加入したくないと話をしたが、皆が支払っているものだと強制的に加入させられた。受信料は支払っているし、子どもにも教育テレビを見せてあげたいと思うため、どうにかしてほしい。
・高山市のラジオで、朝早くからおくやみを読み上げるのは非常に抵抗があるという声を多く聞きます。新聞、市民時報の情報だけでも十分分かるため必要ないと思います。
・ほかの支所地域でのイベントを知らずにもったいないと思う事があった。集客のためにももっとPRしてはどうか。Hit'sFM のランチタイムなどおおむね給食の時間(12:20～13:00)に企業や小中学校でも利用できるような、「市の時間」を設定するのはどうか。市のイベント紹介や、学校コンクールの発表や市や警察、病院からのお知らせなど。

防災
・台風等による洪水時の避難場所について、山王地区は山王小学校が避難場所となっていますが、山王小は道路より下にあり、大雨の時など水浸しになっています。平成 26 年 8 月の大雨の時、宮川が氾濫しそうになり、町内の人々が避難するよう回ってみえたのですが、いったいどこへ行けばいいのかわかりませんでした。その方も具体的な事は言われず、各自で判断するという事か？
・防災対策の強化！今のまま南海トラフ地震がきたら困ると思います。もう少し意識を高められるよう、リードすべきです。
・平成 29 年 6 月に長倉地区の神社の裏山が集中豪雨により土砂崩れし、神社の中に土砂が流れ込みました。住民が数日出役して土砂を取り除き、崩壊した裏山は平成 30 年 5 月現在、シートをかぶせたままとなっており、雨の降る度に不安の日を過ごしています。各所に復旧のお願いをしてある事と思いますが、高山市においても至急調査をしていただき、一日も早く住民が安心できるよう、お願いしたいと思います。
・防災行政無線が、一之宮支所より小学校側の山側では聞き取りにくいので、はっきりと聞き取れるように調整をお願いします。
・私は年金生活のため、無駄なお金は使用したくありません。インターネットやスマホ・携帯電話等持っていません。いつも私は健康のために朝早く近くの神社、お寺、お墓等散歩(お参り)しています。いつもお会いするマラソン、散歩等をしてみえる方に近くにクマが出たことを後日、お聞きしました(私は情報を知らずにおりました)。昨年まではクマの目撃情報等を防災ラジオで知らせていただき注意出来ましたが、今の私には何も情報が入ってきません。高齢者の中には私のような生活をしている者が何人もいます。どうぞ昨年までと同様防災ラジオで情報を教えて下さい。よろしくお願い致します。

・地下シェルターを作ってほしい(これからの気候の変化に対し、安心して暮らしたいため)。
・広報たかやまの声が非常に聞きづらい。防災ラジオは全家庭へ無料配付されたい。
・地域によっては防災無線のサイレン音だけしか聞き取れず、何のことが全くわからなく不安なことがある。地域内を調査して見直しを図って欲しい。
・昔と変わってきている水路が多くあります。道路を整備するのもいいですが、水害が起こらない高山市にしてほしいです。5年前から市の方へ申請していますが、予算が足りないと言われ、なかなか整備してもらえません。市の人や土木委員が毎年見に来てはくれますが進みません。

安全
・若者が安心して一人暮らしのできる安全な町づくり。
・カーブミラーが凍みて見えない所がたくさんあり、非常に危険なため、全て点検してほしい。ただでさえ雪道で危ないのに、何度もぶつかりそうになった。ミラーでしか見えないところが多く危険です。
・市内に夜間、外出すると、なんて暗い町だといつも思っています。夕方から夜にかけて多くの方がジョギングしてみえますが、すれ違って暗くてお互いの顔も見えないところばかりです。これでは何か事故・事件があっても不思議ではありません。もう少し明るい町にできないでしょうか。未来の市民のためにもどうかお願いします。
・犯罪や事故のないまちづくり。危険箇所のマップを作成し、情報提供。
・最近、夜に外出した際、地区内の街灯の電気が切れていた。徒歩、自転車では地区内の集会に外出する時、大変危険を伴いますので、面倒ですが、月に1度夕暮時にチェックしてほしいと思います。
・散策コースが非常にさみしく、数十メートル無人の道があります。色々な事件の温床にならず安全に歩けるように検討してください。
・市内で飛驒ナンバーの車の路上駐車が多く、交通に不便で危ないです。近くに駐停車禁止標識があるにもかかわらず、車が停まっているのをよく見かけます。特に本町通り周辺、八軒町、神田町などが多いです。交差点から5m以内にもかかわらず一般車が駐停車していることもあり、地元の車のマナーが悪いのではないのでしょうか？観光地として、まず地元の方々のマナーを向上させる努力をしてほしいです。
・今の高山市がかなり気に入っているのであまり都会化する事は望んでいません。今後心配なのは防犯、防災です。他地域の方々が大量に入ってくるのはうれしいですが。
・課題はあるでしょうが、高山市全地域の市民が、安全安心で暮らしやすいと感じる市になるように努力を重ねていただきたい。
・通学路について、ニュースで子どもが学校の帰り等、危険にさらされる案件がよく報道されています。昼間の明るい時間帯でも事件は起きていますが、暗くなる時間帯に帰る子どもを見かけます。街中は危険性は少ないかもしれませんが、人通りが少なく街灯のない所など安全とは言えない道があります。色々な事故を心配して子どもの帰る時間に迎えに行く親もみえます。今一度、通学路や街灯のチェックをしていただきたいと思います。
・国分寺通りの駐車違反について、国際都市の高山市として何とかしていただきたい。人数を増やした取り締まりの強化などにより安全な観光地にしてほしい。
・駅前周辺に信号のない交差点が多すぎるため、信号機を増やすなど利便性を考えていただきたい。

・歩車分離式信号は廃止すべき(設置場所が限られているためドライバーが混乱、観光客は赤信号を無視して渡るため余計危険。実施するとしても通学路のみに)。
・最近では年齢に関わりなく、犯罪が増えており、日本人らしさや人らしさが失われつつあるように思います。本当の意味での教育が行われないと、この高山市も国も滅んでしまうような危機的状況にある現状です。何とかしなくてはならないと思い、自身を省み、人格者たらんと努めています。未来の高山市が思いやりのある地域社会であってほしいと願います。
・小学校の登下校が子どもだけのため交通事故や誘拐などが心配。シルバーや市でパート職員などを雇って見守りできないか。ボランティアでもよい。

消防
・居住地に AED がなく不安。何百mに1基、支所地域には3基以上など、市街地とは異なった基準で配置してほしい。
・火の用心や防火活動、点検、委員会などの必要性を検証し、時代に合った取り組みの見直しを！！
・地域の防災、自治のために消防団に所属しているが、毎年開催される操法大会が非常に負担。上位チームともなると2月頃からずっと練習があり、家庭や仕事への影響がかなり大きい。子育てについてもっと積極的に参加したくてもこの期間中はほぼ妻によるワンオペ育児となり、介護も同様。期間中だけの我慢というレベルではない。小さい子の成長は1ヶ月もあれば目まぐるしく、その成長を見逃す事もあり、非常に辛く、悲しい。団の活動としては、とても有意義で、存在自体は必要と考えるが、スポーツと化し、行為を細かく要求される操法は火災現場ではほぼ役に立たない。私はこの大会がある限り、自身の子どもには高山に戻らなくても良いと伝えるつもりで、私の周りでも同様の声が上がっている。国の上役に言っても一蹴されておしまいである。市として、毎年開催される操法大会、県大会への参加を見直してほしい。どんな有意義な市政がなされても、大会(練習)の負担を考えるといずれ出て行こうかと頭がよぎる。これは私だけではないと思う。一度全団員へ無記名かつ市へ直接郵送する方法で聞いていただきたい。このままでは若年人口は減る一方と考える。育児、介護にも多大な影を落としている事実を知っていただきたい。
・過疎地域の消防団員減少に対する対策。

協働
・新聞購読を取りやめたところ、月2回折り込みにあった広報紙が届かなくなった。広報紙は新聞に折り込むのではなく、「さるぼぼ」「ブレス」等、宅配フリーペーパーに月一回折り込んではどうか。
・支所地域の町内会は、若者の人数が減少の一途をたどっており、町内会の行事や祭を維持していくのも大変になっています。特に町内会長をはじめとする役員は、70才近くまで働かなければならない人が多く、今後のことを含め困っています。町内会の再編や、神社の合祀も考えなければいけないと思います。
・若い人たちがお金をおとせる場所を作ってほしいです。意識的に調べれば行政や市民団体での取り組みが分かりますが、普段の生活での情報源が少ない気がします。イベントやスポットへ出かける機会が増えるような方法を考えてほしいです。
・高山市内の町内会の年度を統一するように指導してほしい(一部町内会に1月区切りのところがある)。

・町内会の付き合いだけで忙しいのに、まちづくり協議会まで負担をさせないでほしい。町内会、まち協、消防とどれだけ押し付けるのか！！
・地域の役があたると負担が多すぎる。
・まちづくり協議会がまだまだ以前の社教と考えている人が多いと思います。元校長、元教育者等に役職をまかせていては、旧態依然の運営で、そこから一歩踏み出すのは難しいと思います。様々な人選により、多くのアイデアと提案を出してもらうことで、より良い運営と取り組みができるはずではないかと思います。
・町内会活動についてある程度は必要と思うが、一昔前のような濃い付き合いや出役が多いと、核家族かつ共働き世帯が増えているなか負担が重く、面倒な部分もあると思う。地域性もあると思うが、本当に必要な事だけにして簡素化して欲しい。
・合併前の旧町村は高齢化が進み、各町内会で一番元気に活動している団体は長寿会ではこのような地域では、将来に期待が持てないのは当然！少ない若者と多数の老人が、ともに地域のために汗をかく、そんな地域にしていけるよう、私も頑張りたいと思っています。
・まちづくり協議会に対する市職員のノウハウの提供や地域活動をサポートする仕組みは、全く機能していない。まちづくり協議会は何のために必要なのか？少しの予算をもらうだけの協議会なのか？内容は何も理解されないままスタートした組織で、事務局に能力がなく、支所にもカバーできる人材がいらない。こんな組織を、住民は期待していない。市長の想いを的確に受け、事業を住民レベルまで持って行ける人材が必要ではないのか。まちづくり協議会の予算はほとんどが事務局員の人件費だとか？事務局員に能力がなく、支所でも消極的なまちづくり協議会は、なくても良い組織ではないかと思う。各地域で今一番困っていること、成し遂げたい事業は、住民の幸せ、安全安心な生活環境、若い人たちの生きがい、高齢者のゆとり（作業の中心は高齢者）、若い人たちの定住（結婚して地域外へ移る人が多い）、少子化はやむを得ないかもしれないが子どもたちがのびのびと暮らせる環境、働けなくなってから地域へ帰ってくる人たちへの対応。まち協で検討すべきことはたくさんあると思うが、現在何をしている団体なのか、大いに疑問である。せっかくの組織のため、もっと活用を望む。
・町内会に加入しているが、家庭に病人が多く（みな病気を持っている）、負担に思う事が多い。何とかないとありがたいが、いろいろと難しい。
・伝統や文化を守っていくことは大切と思うが、スリム化できるところはスリム化して、忙しい現代に合わせていけると良いと思う。町内会のイベントなども、多いところは多いようスリム化できないか。役員も、したい人や時間に余裕のある方を中心に受けていただけると負担やストレスなく回っていくと思う。他県から来たため、祭りや飲み会の多さにげんなりする。
・まちづくり協議会は本当に必要？役の方だけが大変。仕事をしている・子どものいる方は大変。暇な人（老人）と役所の方だけでしている。
・少子高齢化のため町内役員に毎年なっていますが、正直迷惑です。役員の仕事を楽にしてください。町内会長の地位向上をしてください。今現在は、町内の「小間使い」でしかなく、誰も「小間使い」にはなりたくないと思います。そして、町内の統廃合は？？
・まちづくり協議会は、一部の人がされている、知っている人は知っているといった印象がある。学校区であるため、小学校で行われるが、小学校近隣の方の利用に留まらないよう各町内へ出て活動してほしい。
・まちづくり協議会の取り組みが、今後の高山市が持続・発展していく上で、重要な位置を占めていると思います。発足から数年が経ちますが、組織づくりや活動内容に苦慮しているまち協が多く

あるように感じます。各まち協には、市職員が複数名配置されていますが、コーディネーターあるいはオブザーバー的な役割を果たし、様々な世代の方々が運営にかかわり、そのまち協ならではの特色のある活動が展開されることを期待します。多額の税金がまち協の運営資金となっていますが、有効に活用するためにも、まち協のさらなる活発化・活性化を望みます。
・高山市から町内会長を経て、各団体からの寄附以来が年に何回も来ます。寄附だからしくなくても良いとは言われますが、班長さんが各家庭をまわり嫌味を言われながら集めています。自分が班長になったの時の事を考え、皆さん嫌々出金されています。市から各町内への依頼はやめていただきたい。
・高山市内に住んで20年近く経ちますが町内会に入っていないため、一度も高山市の「何か」に参加したことがありません。健康なのに何もしていないのは楽しくはないです。
・まちづくり協議会の活動は地域のつながりを強めていくためには大切だと思います。成果を出そうと休みのたびに様々なイベントを行っていますが、そのうちイベント疲れを起こし運営が難しくなる所がでてきそうです。将来的には統合も考えてもいいと思います。10年後、20年後を見据えた企画運営をしてもらいたいです。
・まちづくり協議会は何年か前からあることは知っているが、何をしていた、これから何をしたいのかが分かりにくい。従来の町内会組織との違いは何でしょうか。
・町内会の役に当たると仕事で疲れた体を押して夜間の会合など、何かと出かける事が多く、とても負担に感じます。住みやすいまちづくりとして、役の簡素化を切に望みます。
・まちづくり協議会が不明瞭だと感じている。地域全体のものというよりは特定の人達のものになっている。地域の自治力、地域力の向上につながる状態ではないと思う。市から地域(町内など)へのアプローチもまちづくり協議会を介してぼやけてしまう。願いはあると思うが、願いは願い。現実現実。
・町内会に入っていないため、情報はあまり伝わってきません。休日に時折消防署と町内の方々が公園などに集まって何か話してみえますが、私も市県民税等を支払っているため、町内会に入っていないでも消防署の方の説明には参加してもいいんじゃないかと思いました。

交流
・使われていない空き家を資源として、市が移住を希望するファミリー世代に貸し出す制度を行ってほしい。お試し移住という形でもよいと思います。
・友好都市の必要性が感じられません(特に海外)。
・海外の都市との友好提携が盛んに行われており、高山市を世界に知ってもらい、また、高山市民にとっても知らなかった外国の事を知る良い取組みだと思います。ただし、失礼な言い方にはなりますが、高山市より経済的に貧しい都市などへ資金援助のようなことをするのであれば、(相手の都市もそれらを望んで友好提携をするのであれば)あまり意味がないように思います。高山市はどちらかといえば健全財政の自治体と聞いていますが、高山市にも課題は山ほどあるため、高山市民のためにお金を使ってください！どうかよろしくお願いします。
・姉妹友好都市が多すぎませんか？どれだけの市民がどの国、どの市と提携しているのか知っているのでしょうか？提携することで得られるメリットが認知されていないと思います。また姉妹都市について情報(どんな国か。高山市と協力していることなど。)が少ないと考じますが、発信はされているのでしょうか？市長が姉妹都市へと交流に出かけたことによる成果はどこに表れていますか？政策ですか？防災ですか？観光ですか？都市との付き合いには市民の税金が使われてい

と思うので、どう使われているか、今後どう使っていくのかを広報などで明らかにしてほしいです。
・数日前、テレビで飛騨古川ファンクラブができて岐阜で集まりがあり、飛騨市長が古川の観光地を案内する内容の紹介がありました(「君の名は。」で有名になったせいかもしれません)。高山市長も頑張ってください。
・秋神の家について、目的がずれているのでは？運営方法が悪いと思う。目的をはっきりさせるとともに具体的な計画を立て、地域とのかかわり合いや市担当者の役割を明確化するなど再考が必要。
・市内の観光地に人が住んでくれたら良いと思う。
・高山市の人口減少は最大の問題であろう。今後市民の増加は望めない。このため市外・県外からのI・Uターンの誘致こそが将来の高山の豊かさに繋がるものと思う。ところが高山市は移住者にとっては、大都市から遠い地理的条件や冬季の生活など不利な条件が多い。しかし世間は広く、山国の文化を好む人にとっては、四季を堪能し自然豊かな生活が伸び伸びとできる夢の世界である。また、子どものために田舎生活を希望する者も多い。観光客誘致より、I・Uターン誘致に予算配分と政策を傾斜することが大切と考える。しかし今のままでの誘致に期待することは難しい。来る人にとっては「魅力のある(有利)、安心できる高山」が絶対条件である。特に若者や若い夫婦のための政策として、妊娠、出産、保育、義務教育はすべて無償とする。若夫婦には最高の魅力となり、市民にもその恩恵が及ぶ。市街地を好む人には、市街地の空き家、貸し家等の活用等に補助を行う。郊外を好む人には、土地の提供や森林の活用によるマイホームの建設。森林組合の指導による間伐材の活用。企業誘致により働く場を確保する。移住者は自立のために希望する職種が選択できる。その他、移住者は地域との連携や「班活動」が必要であり、昔の「結」や「向こう3軒両隣」的な付き合いにより防災・消防・環境・行事・高齢者交流などがスムーズにいくだろう。

行財政運営
・私は主人を亡くしています。現役で給与所得者でしたので、住民税が普通徴収に切り替わりました。その件で税務課に電話したところ、「死ぬ時期が悪かったため、この方法でしか徴収できません。」と女性職員に言われました。払わないと申し上げたのではなく、一括で納付書を作っていた、あるいは一括で口座振替をと申し上げたと思います。主人は病死ですので、わざわざこの時期を選んで亡くなったわけではありません。税務課はお金のことから、はっきりとお答え下さったのだと思いますが、涙が出てきて何も申せなくなりました。今でもこの対応は忘れることはありません。以来、私も電話対応は特に留意するようになりました。福祉課・子育て支援課・市民課国保御担当・水道課窓口では、本当にご親切に手早く対応して下さい、感謝しています。私も民間の者はES(従業員満足度)よりもCS(顧客満足度)を優先致します。公務員の方は私どもよりも法律で身分が保証されてみえ、超難関試験に合格された優秀な方ばかりだと思います。高山市には感謝しています。安心して毎日暮らせています。
・支所に要望に行っても、権限がないのか、あまりにも頼りにならないように感じます。もっと支所にも目を向けていただきたいと思います。
・都会から離れた高山にとって、何が良いところで、何が住みやすいのかをもっと考えて下さい。一部の市民のみが常に役について、片寄った人選をされる事が片寄った考えになる事を認識して下さい。その上で決定をすみやかに行う行政であって下さい。日本全土にも言える事です、

意思決定が遅すぎます。
・あまりにも広大な土地の高山市ですが、今後も頑張ってください。
・使用していない施設を、何かに利用できないかと思います。
・観光は随分発展してきているのでは。それ以外の方面も一つひとつ充実していけるよう考えていってほしい。今取り組んでいることを柱に、分かりやすく現状、見通し、経過、結果と伝えていってほしい。
・広く読まれている「未来の年表」を、行政に携わる方にはぜひ読んでいただきたいです。
・今回のアンケートに対しての苦言。設問数がとても多く、設問の内容が広がりすぎていてとても面倒！テーマをしぼって簡単に答えられるようにしてほしい。アンケート用紙が 18 ページにわたる冊子にまでもする必要があったのか？調査後捨てられる物にコストをかけすぎ！大型の封筒に往復の郵便代も抑えられたはず！市民の血税の使い方を考えて！
・以前にも似たようなアンケートがあったと思います。二度行う意味は？経費の無駄遣いではないでしょうか？
・トップの掛け声だけではなく、市職員の意識改革が進むことを望みます。
・市議会議員の活動があまり分からない。
・先を見るばかりではなく、今の高山は本当に商売だけに走っていないか、立ち止まって、整理すべき点を見つめてみては。
・市役所の雰囲気をもっと温かくなりませんか？仕方がないかもしれませんが、訪れるたび、いつも事務的で冷たい気がします。もっと一人ひとりに寄り添ってもらいたいと思います（証明書などの受取りに行っても、少しこわい気がします）。
・市職員の方々も、市長や市議への忖度だけではなく、自分の職責に合った思い切った言動も時には必要なではありませんか。職員に元気がないと、市域全体が元気がないことにつながると思います。市議と衝突しても、市長に叱責されても正しいと思って仕事をしていれば、許されるのではないのか、そのような職員を応援しています。ただし、金銭的な欲を持っているような人物とは、決して深い付き合いをせずに職員としての節度を堅持すること。現市長には、そのような疑いは全くありませんが。
・高山市のまちづくり！！という言葉で市域全体の将来まで決定していこうとする現状、あまり賛成できません！市民に押しつけの行政、市民にやる気がなければ、行政として何もしない。市民の勝手。いくら市民中心とは言っても、市民・地域には差があります。行政の手助け、行政頼み、行政任せ、行政のおかげ、行政のチカラ、市役所あつての高山市であってほしい。今後ますますの市役所職員一同のご協力、ご活躍があつてこそ、これからの高山市がますます発展していくということを固く信じている市民の一人です。
・まちづくり協議会の予算のほとんどが事務局員の人件費？（誰か知らない）支所機能がカバーできていない。支所長が全く本地域に参画していない。ほかの地域で不要な人材は、当地域でも同じです。
・ほとんどの地域活動に参加しているが、単なる事業の消化ではなく、活動を通じて真に地域の活性化につながる活動（事業）をしてほしいものです。もっと支所職員を現地（地域）に出し、顔の見える行政にしてほしい。支所長が毎日パソコンだけと向き合っていては、地域は活性化しないと思います。
・アンケートの量が多すぎる。もっと手軽にできるアンケートに変えたほうがいいと思う。
・後期高齢者（85 歳）で健康なおかげでアンケートに回答させていただきましたが、時間がかかり

大変でした。ちょっと高齢者には無理だと感じました。
・いろんな申請書をもっと簡単にしてほしい。申請手続きも郵送でできるようになるとありがたい。
・以前、風土記の丘に遊びに行った際、骨組みの住居の老朽化により、危険を感じたため、早急に修復するべき。
・市職員の減員と給与の削減。
・市役所職員の温かい対応を望みます。親切なのか、上辺だけなのか分からない。市長が、市をどうしたいと思っているのか方針が良くわからない。もっと皆に届くようにお願いします。
・もう少しアンケートの内容を考えてください！何をくみ取りたいのかが良くわかりません。例えば、高山市の取り組みに対する満足度について、市が取り組んでいることが記入してありますが、具体例が少なく、イメージがわかりません。アンケートを記入しながら、これでは期待できないと強く感じました。
・高山市の幹部の方々は、どこを向いて仕事をしているのかと思う事がある。一般企業でいう社長の立場である市長の方ばかり向いていないだろうか？支所地域からは、本庁の方ばかり向いていないだろうか？難しいとは思いますが、市民の方を向いて働くことはできないのだろうか？市民が何を求めているのか、広大な高山市の中では人それぞれ違うと思うが、市民の声を聞き、努力してもらえれば、市民の希望に添えなくとも、大部分の市民は「納得」すると思う！多くの仕事を持ち、市職員の方々も大変だと思うが、少しでも市民の力となってもらいたい！
・アンケートの内容が多いような気がします。計画の中間見直しだけの机上のものだけにならないことを祈ります。計画自体が、全住民に周知されていないのではないのでしょうか？
・市職員の給料が高すぎる。県内自治体の中でも上位なので地域水準に合わせるべき。
・アンケート対象者をどのように選択しているのですか？忙しくて書くのが大変で、わからない所もあり困った。
・どんなに少ない収入でも車がないと不便な町です。若い時は良くて、年を取ると車もあまり乗れなくなり年金も少なくなるばかりです。税金も車が古いと高くなり、収入の少ない私達はやっと納めてます。そのことを頭に置いて公務員の給料、市職員の時給は高い方だと思います。市民の人は少ない時給で頑張っています。市役所(保健センター)等での対応は丁寧をお願いします。
・例えばですが、岡本町のスーパーのように、市役所にご意見箱を置いて、困りごと、良い所など記入してもらってはどうか。市民のリアルな声が届くと思います。観光客の方はどう思っているか、市民はどう感じているかなど分かれば、自然と税金の使い道も見えてきて、より良い高山市になるのではと思います。住みはじめて間もない市民ですが、末永く住むつもりで嫁いできました。より良い高山市となり、心から高山市に住んでいることを誇れるようになることを願っています。いつもありがとうございます。
・市役所の職員は皆親切で丁寧です。
・市長を先頭に市役所のスタッフの方々は、日々高山市の活性化、発展に努力してみえます。ありがとうございます。私達の子どもが将来高山に住んでいて「幸せ」になれるよう、今後ともよろしくお願いします。
・公共施設(学校等)の有効利用。
・各種選挙の投票率を上げる工夫をする。
・各種補助金の見直し。
・議員の数を少なくする。その分町内会長等の待遇を良くする。
・本町3丁目のイータウンのように、新しく何かをやっても失敗に終わると思う。お金のムダ遣いを

せずに大事に使ってほしい。ツメが甘い。安易に考えすぎ。血税を大事に使ってほしい！！市民は将来が不安で、生活だけで余裕がない。税金も高いし、市県民税も高すぎる。子育て世代は特に大変と思う。生活費がかかりすぎて、購買意欲をなくして地元の商店が赤字。大型店が次々と参入してきて、人口の少ないこの小さな町がもう本当に目茶苦茶。観光ばかりに力を入れず、地元を一番に考えてほしい。
・市の職員が忙しそうでかわいそう。一般企業で資本主義にもまれて働いた事のない公務員が、研修や勉強などでアイデア出しや効率化を求められてもかわいそう。企業からの出向職員、社団法人との連携、さらなる企業委託を増やして、まずはゆとりある市職員になってもらいたい。まずは育児休業(男性)の取得が、市職員から始まれば、すばらしい高山市になると思う。働き方改革のシンボルに。高山には頭の良い人がたくさんいる。ぜひ企業からの出向職員、大企業OBの取り入れをして、かしこく市を運営していただきたい。
・市職員の横柄な態度にあって大変不快だった。
・市民向けの施設を充実させてください(市民が離れていきます)。
・休日診療所の受付窓口対応が非常に悪いと思います。治療したいと思ってもらえなくて悪化しそうです。その場所の顔、窓口にいらっしゃる方の横柄な態度、言動を改めていただきたいと多くの住民が思っています。又、本庁においても、電話対応が元気がない。はっきりした受け答えがない。分かったのかどうか不明な返事が多々あります。今一度本庁職員の応対等の教育を行っていただきたいと思います。私達の血と汗による税金で働いてみえる公務員の皆様に言いたい事です。大変勝手に申し訳ありませんが、日常思っていることを書かせていただきました。良い方向に変わることを願っています。
・各支所間で定例になっている行事、事業の年間スケジュールを出し合い、他の地区とできるだけバッチングしないよう調整し、市民に周知する(定例化したものが必ずあります)。各地域の住民の相互交流が図られる(各事業の地域性や歴史をより体験する機会が広がると思います)。各地域に一任することは決して悪いことではありませんが、全市的な連帯が弱くなるのでは！
・私自身も積極的ではないこともあり、高山市の取り組みが分かりません(観光については少し分かります)。どこかに聞こうとしても、聞くと分らない状態です。市議会議員の方々に知合いがいますが、あまり伝わってきません。ホームページやチラシではなかなか伝わらないため、広く皆さんに興味を持ってもらえるような発信方法が大事だと思います。高山市として教育委員会を通じ、子どもの親や学校の先生に対して倫理遵守、保健指導に少しでも力を入れていただきたいと思います。また、個人的な意見ですが、市職員の挨拶を徹底してほしいと思います。入札時など、入札が終わっても一人くらいは小さな声で「ご苦労様でした」と言われますが、業者の皆さんが一生懸命、時間に合わせて来ていただくのですから、全員とは言いませんが「ご苦労様(ありがとうございました)」の言葉をかけていただくと、相手の方にも響くのではないのでしょうか？いつでも相手のことを考える市行政になっていただけたら大変うれしいと思います。
・20代の税を減らす。
・大企業の誘致で法人税の確保。

空家等対策
・空き家を活用し、憩いの場に行っていることは、おしゃべりなどができてとても良い。
・空き家対策。
・空き家・廃屋問題。特に雪国のため、雪害がある。未来のため、先手を打った方がいいと思いま

す。
・今後空き家が増えると思いますが、安心して暮らせる環境を守るためにも何か方策を検討してもらいたいです。
・空き家が増加している。
・自分の住んでいる近くの市営住宅(石浦町1丁目)が空き家になって10年以上経過している。早く解体して、建て直すか公園等にしてもらいたい。
・我が家の真向かい(1軒)横(3軒)に空き家があり、周辺がゴースタウンのようになりつつあります。空き家対策は急務です。
・空き家問題は日本中の課題であるにも関わらず、新築の家が建ち続け、新しい宅地も開発されているが、とても疑問に思う。古い家をリノベーションして住み続けたり、若い世代が引っ越してくるなど、もっと古い家を活用した方がいいと思う。将来のことを考えると、街中にスーパーがなくなり、車がないと不便となっているが、地元の人が街を散策しながら買い物ができるといい。

地域格差
・合併により広域となった新高山市。明治8年以降、各地域が苦労を繰り返し、発展してきた合併前の旧町村も人口減少が進んでいる。私が住んでいる旧町村地域でも、ただ暮せていけばよいという思いが目に見える。活気なし。働く事業所なし。若者の減少。用水路・農地の維持・改良もほとんどなし。市街地と同じ市税(合併前より高くなっている)を支払っているが、合併前よりもサービス低下。地域振興補助金から協働のまちづくりへの転換(これもサービス低下)。地域を代表する市議の低能。特に大きな財源は必要としないが、各地域(合併前の旧町村)の特性を活かした行政を期待するものです。
・旧高山市内に来るたびに、次から次へと整備が進んでいるのを目にすると、私たちの税金をもっと支所地域にも使ってほしいと思うばかりです。
・駅西ばかりにお金(税金)を使わないで、ほかの地区にも目を向けてほしいです。
・旧高山市と合併で1つになった旧町村の差がいろいろあるように思います。丹生川に住んでいますが、例えば、のらマイカーが丹生川の入り口で引き返してしまったり、何かの配達で旧高山市のみと、いった不便はことあるごとに感じます。
・郡部(ぐんぶ)という言葉無くしてほしい。

若者
・若者が定着し、人口減少に歯止めがかかるように対策をお願いします。若者が定着しないと少子高齢化が進むばかりだと思います。
・若者が高山はいいと思えるふるさとづくり、絆づくりをみんなで進めたいです。郷土出身で活躍するお笑い芸人、作家の活躍、テレビで顔を知られている方など、高山のためのCM作りにより若い人の心をつかむのが早道だと思います。文化、芸能、歴史などを織り込んで皆の心を引き寄せられるようになればと思います。

その他
・最近、外国の方が増えてきました。おかげで以前よりは、さみしくなくなりましたが、まだ不十分です。高山は田舎なので、どうしてもパチンコ・パチスロをしてしまう方が非常に多くいますし、タバコくさいです。

・市の行事は一切なしにする。自分の生活で精一杯。
・現在、国政が非常に道德感(正直であること)のないものとなっています。地方から強く申し入れをし、道德感をしっかりと持った政治を行うよう進言してください。具体的には一連の文書改ざん問題やセクハラに対する一部政治家の認識不足、嘘を平気で言う長官や秘書官など。原発の廃止、国の財政の健全化(特に医療費など)、嘘を言わない政治についても国政に進言してください。国全体のことを考えていかなくては、高山市の繁栄はあり得ません。
・祭や運動会、盆踊り、展示会など喜んで参加できる行事が企画されています。続けていけるよう願っています。
・全国的な人口減少のなか、高山市も例外ではなく、人口が減り続けているのはなぜかと考えたところ、やはり大学が無いということ、飛騨地域全体に言えますが、所得が低いことがあげられると思います。私も日々、営業活動するなか、お客様に稼いでいただかないと共倒れになると感じています。企業誘致を推進し、教育にも力を入れて全体的な活性化を促していただきたいと思います。
・月二回の「広報たかやま」を読んで、地元のこと(イベント)などが分かり、出かけてみたい気持ちになりますが、上宝は高山への移動時間が約1時間かかるため、残念に思うことがあります。
・このようなアンケートで、私の大好きな高山について真剣に考えてくださりありがとうございます。現在は大学に通うために高山を離れていますが、卒業したら必ず高山に帰ってきて、両親と祖父母と、このあたたかい高山で暮らしたいです。これからも、高山のみなさんがそうであってくれることを願っています。
・市民全体が、もう少し物事に理解、協力できたらと思う(私も含め)。行政もある程度決断力が必要と思う。
・今百歳ですが、汽車もない、バスもない時代に女学校まで国府木曾垣内から毎日行き帰り歩きました。あの頃の高山市からすれば、今は夢のようです。市役所の皆様、役につかれた方、若い方など頑張ってください。今では百歳が当たり前になったのは、生活が良いからだと思います。そのために、色々考えて良くしていただいて幸せです。これから寿命が一層長くなるように頼みます。
・火葬場・医者不足は優先すべき問題だと考えます。
・市は広いですが、市民と近く感じます。老人にもやさしいと思います。市や町内会の行事にも参加します。一人ひとり顔も違うように、気持ちも違うので大変ですが、自分のため、他人のため、市民として高山を盛り上げていきたいと思います。
・若者の定住が少ない。数の少ない若者が結婚しても親と共に暮らすことなく、神岡・国府・高山地域に住居を移して、暮らす人が多い。確かに、上宝は若者が暮らすには魅力が乏しい地域だが、合併の弊害や親子の考え方の違いもあるのかもしれない。
・高山が大好きで、大学を卒業したら絶対高山に戻ってくる！！と決め、戻ってきて会社に入り、働き、結婚、家を建て、これから子どもを考えています。これからも高山にずっと住みたいと思っています。今の暮らしがすごく幸せ！！と感じたことはないです。目に見える変化を求めています。
・住んでいると、生活する上での利便性(買い物や飲食店の充実、ライブ会場がほしいなど)を求めるが、高山市に遊びに来る人のことを思うと、町並みや自然などの高山ならではの景観は大切にできればと思う。
・私は高山が大好きで、できればずっと住み続けたいと思っています。高山の環境や風情を守っていききたい半面、高山に住んでいる人が楽しめるところが少ない気がします。若い今はここに住まなくてもいいのではと思ってしまいます。交通も気軽には行きづらいと思います。わがままで個人

的な意見ですが、せっかく機会をいただいたので、素直に書かせていただきました。最近では観光客も増え、とてもにぎやかになりました。大好きな高山がたくさんの人に知ってもらえて「良いところだ」と言ってもらえて、とてもうれしく思います。大変なこともたくさんあると思いますが、大好きな高山のためにこれからもがんばってください。よろしくお願いします。意見を聞いていただけるのかうれしく思いました。
・現在、一之宮に家を建てて暮らしています。一之宮には、JAの小さなスーパーがありましたが、閉店してしまい、日常の買い物は、高山の方まで行く必要があるため、不便に感じています。コンビニもなく、病院也没有せん。今は自分も元気で車を運転できるので大丈夫ですが、将来が心配です。老後も安心して暮らしていけるような地域になることを望んでいます。
・いろいろな役員になる方は、いつも同じ方ばかりです。市民時報のリレー随筆で様々なことを考えてみえる方がいてうれしくなりますが、そのような方たちの思いをもっと役立ててほしいです。
・空き家対策について、少子・高齢化対策について、ゴミ処理施設の高度事業化・収益化について、直接議員に提案させていただきたいと思います。
・年代が年代だけにお手伝いはできませんが、これからの高山の姿を楽しみに祈っています。
・市議会議員が出されるレポートで、行政のことが分かり読むのが楽しみです。
・少子化対策。
・どこへ(県外)行くにも移動が大変。
・自宅の畑にある木や花を勝手に切って持っていったり、枯らしたりする高齢者がいて困っています。
・昨今、表面的な豊かさを求める傾向があるように思えます。根源がしっかりしていないと、その表面的な豊かさは、すぐに泡と消えると考えます。行政の方々には、これまでも、根本的な生き方を支えて下さったとは思いますが、今一度、見直していただきたい。懸念されている東京一局集中と地方の人口減少を打破できるのは、表面的な豊かさにはない、根本的な生き方のモデルの発信だと思います。高山には、力強く生きている方がたくさんいます。そのような方々の魅力を発信して、東京で幻のような豊かさに疲弊している人達を高山に呼び戻し、もっと力強い高山にしていって下さい。
・飛騨市に行って高山市にはない正午のチャイムに気が付きました。外で作業している人にとって正午のチャイムはとても助かるのではと感じましたが、高山市でも鳴らしてはいかがでしょうか。
・日本語、英語、中国語、スペイン語など多言語の教育が受けられる専門学校(短大)をつくり、日本人だけではなく世界中から学生を集める。アルバイト先に観光、宿泊施設を提供すれば人手不足の解消にもなる。卒業後も飛騨で就職してもらえれば、人口減少の歯止めにもなる。
・色々とおっても大好きな街です。頑張ってください！！
・過疎地域の町内会合併に対する優遇策を推進してほしい。戸数が少なく町内会運営が厳しい地域に対し、他の町内会との合併を検討させ、市からの働き掛けや支援をしてもらいたい。戸数が増えることにより、一つひとつの町内会に活気を出させる政策を考えてほしい。戸数が少ない町内会はすぐに役がまわってくる。町内会の負担金が多い。公民館などの施設の維持ができない。住みにくい町内会からは若者が離れていく。子どもがいない。高齢者ばかりになる。活気がない。このため、町内会合併に関係する事業に対し補助金を出してほしい(例:古い公民館の解体費補助、合併特別支援金、若者定住優遇策)。
・春秋の高山祭などの例祭に故郷へ帰ってきやすいよう(有給を取りやすくするよう)、市長名で依頼状を作成したり、出役したら勤務先に手土産をもたせるのはどうか。PRを兼ねて。

・観光客に経済面で頼るところが大きいのであればこそ、居心地の良い環境作りは必要(例えば道路や川など)。ごみや雑草のない地域とできたらすばらしいと思う。反面、何でも受け入れることは治安面で心配。年寄りやよそ者が来ることをあまり歓迎しない。行儀が悪かったり、ごみの後始末、信号無視、交通事故、泥棒、暴行、事件事故を危惧する。安心安全でなければ子どもを作る気にならないのは、人も動物も一緒である。